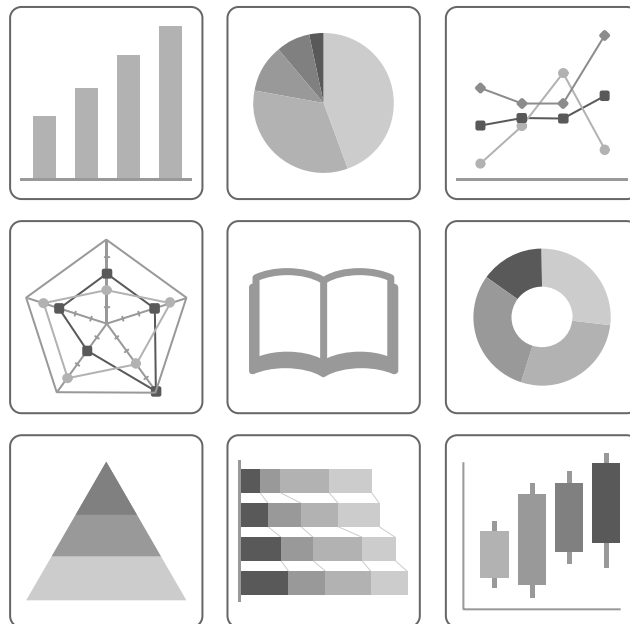


寝屋川市
地域福祉計画の見直しに向けた
アンケート調査
調査結果報告書



令和2年3月

寝屋川市

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
II	調査結果.....	2
1	市民調査.....	2
2	団体調査.....	133
	調査票.....	143

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、第四次寝屋川市地域福祉計画の策定にあたり、基礎資料を得ることを目的として実施したものです。

2 調査対象

市民調査：寝屋川市在住の18歳以上の市民

団体調査：寝屋川市内で地域福祉に関わる活動や事業を行っている団体

3 調査期間

令和元年10月11日から令和元年11月29日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	有効配布数	有効回収数	有効回収率
市民	2,996 通	1,429 通	47.7%
団体	597 通	328 通	54.9%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

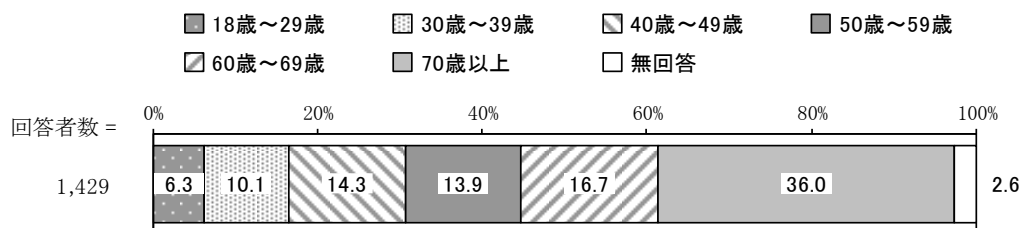
II 調査結果

1 市民調査

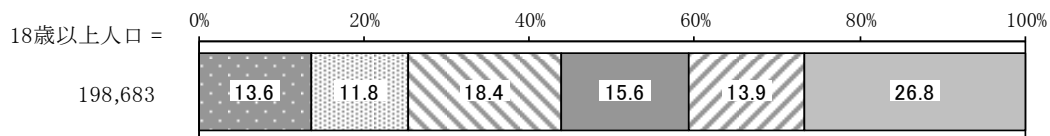
問1 あなたの年齢、性別をお答えください。

①年齢

「70歳以上」の割合が36.0%と最も高く、次いで「60歳～69歳」の割合が16.7%、「40歳～49歳」の割合が14.3%となっています。



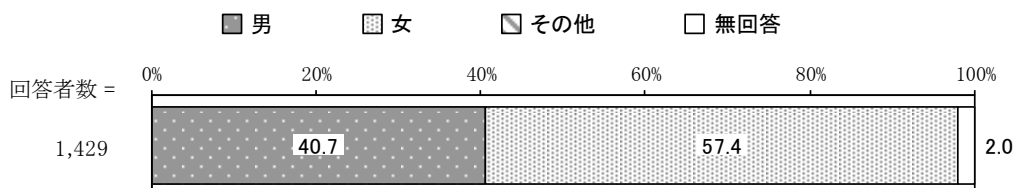
寝屋川市の年齢構成



※住民基本台帳 令和元年10月1日現在

②性別

「男」の割合が40.7%、「女」の割合が57.4%となっています。



※「その他」と回答した人はいなかったため、以下の集計では「その他」の項目を除外しています。

問2 あなたのお住まいの小学校区はどこですか。(〇は1つ)

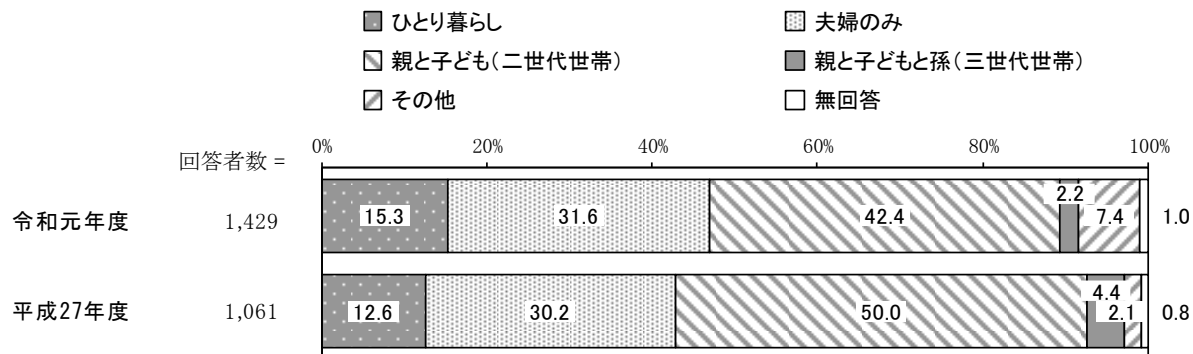
「第五小校区」の割合が10.7%と最も高くなっています。



問3 現在同居されている世帯の構成は。(〇は1つ)

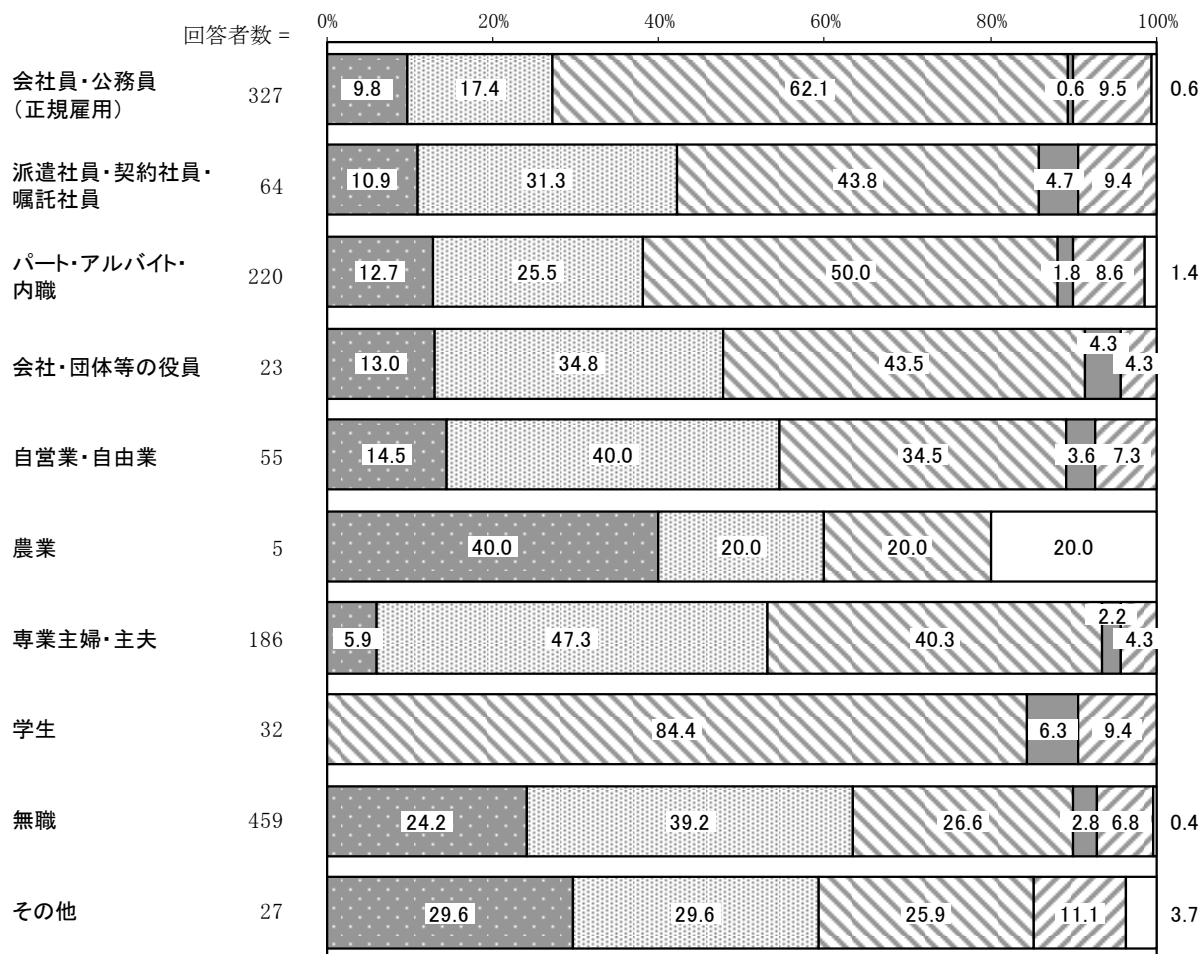
「親と子ども(二世帯世帯)」の割合が42.4%と最も高く、次いで「夫婦のみ」の割合が31.6%、「ひとり暮らし」の割合が15.3%となっています。

平成27年度と比較すると、「ひとり暮らし」「夫婦のみ」の割合が増加しています。



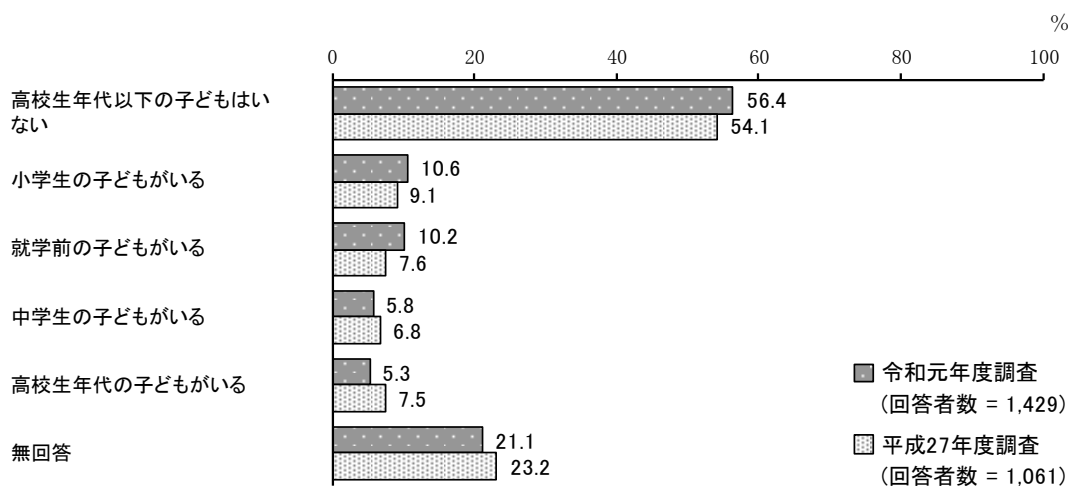
【就労状況別】

就労状況別でみると、他に比べ、「無職でひとり暮らし」の割合が高くなっています。



問4 あなた御自身を含め、御家族に高校生年代以下の子どもがいますか。
(○はいくつでも可)

「高校生年代以下の子どもはいない」の割合が56.4%と最も高く、次いで「小学生の子どもがいる」の割合が10.6%、「就学前の子どもがいる」の割合が10.2%となっています。
平成27年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【就労状況別】

就労状況別でみると、他に比べ、派遣社員・契約社員・嘱託社員、会社・団体等の役員で「高校生年代以下の子どもはいない」の割合が高くなっています。

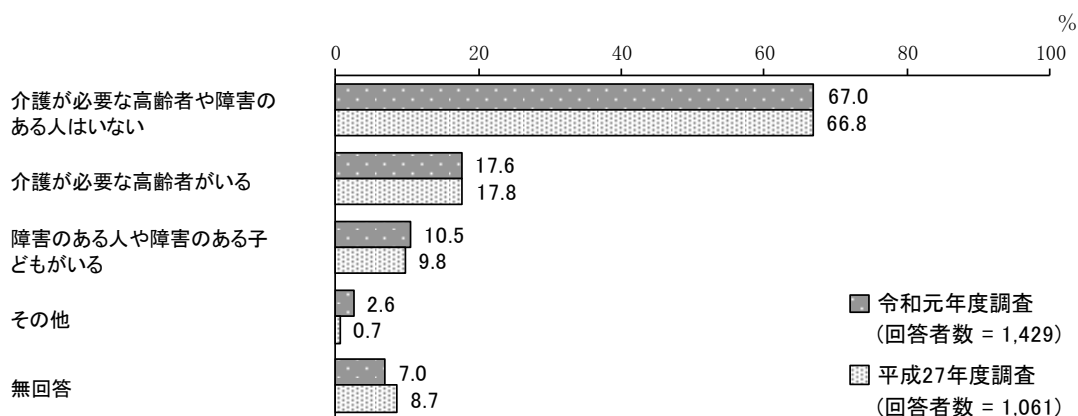
単位：%

区分	有効回答数(件)	就学前の子どもがいる	小学生の子どもがいる	中学生の子どもがいる	高校生年代の子どもがいる	高校生年代以下の子どもはいない	無回答
会社員・公務員(正規雇用)	327	18.3	17.4	9.8	7.0	55.7	6.4
派遣社員・契約社員・嘱託社員	64	6.3	7.8	6.3	3.1	76.6	9.4
パート・アルバイト・内職	220	9.5	15.9	7.3	10.5	57.3	11.4
会社・団体等の役員	23	13.0	4.3	4.3	—	78.3	4.3
自営業・自由業	55	9.1	10.9	3.6	3.6	65.5	12.7
農業	5	—	—	40.0	—	—	60.0
専業主婦・主夫	186	16.7	15.6	4.8	4.3	44.6	26.9
学生	32	15.6	3.1	18.8	25.0	56.3	—
無職	459	3.3	3.7	2.4	2.2	58.8	34.0
その他	27	7.4	—	—	—	55.6	37.0

**問5 あなた御自身を含め、御家族に介護が必要な高齢者や障害のある人がいますか。
(〇はいくつでも可)**

「介護が必要な高齢者や障害のある人はいない」の割合が67.0%と最も高く、次いで「介護が必要な高齢者がいる」の割合が17.6%、「障害のある人や障害のある子どもがいる」の割合が10.5%となっています。

平成27年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【就労状況別】

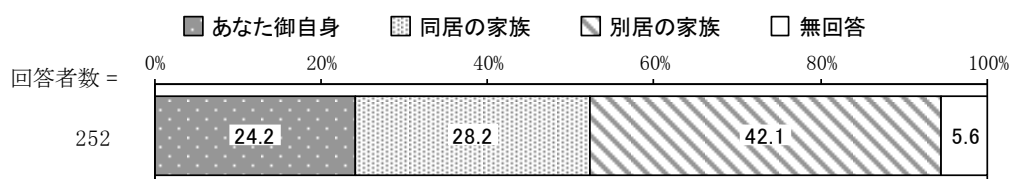
就労状況別でみると、他に比べ、無職で「介護が必要な高齢者や障害のある人はいない」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	介護が必要な 高齢者や障害のある人 はいない	介護が必要な 高齢者がいる	障害のある人や 障害のある子どもが いる	その他	無回答
会社員・公務員(正規雇用)	327	78.0	13.8	8.0	1.2	3.1
派遣社員・契約社員・嘱託社員	64	65.6	23.4	6.3	3.1	3.1
パート・アルバイト・内職	220	69.1	16.8	10.5	1.4	6.4
会社・団体等の役員	23	82.6	13.0	—	4.3	—
自営業・自由業	55	69.1	20.0	12.7	1.8	3.6
農業	5	60.0	20.0	—	—	20.0
専業主婦・主夫	186	68.8	12.9	12.4	3.8	5.9
学生	32	90.6	3.1	—	—	6.3
無職	459	58.2	22.4	12.4	3.1	10.2
その他	27	55.6	11.1	18.5	14.8	3.7

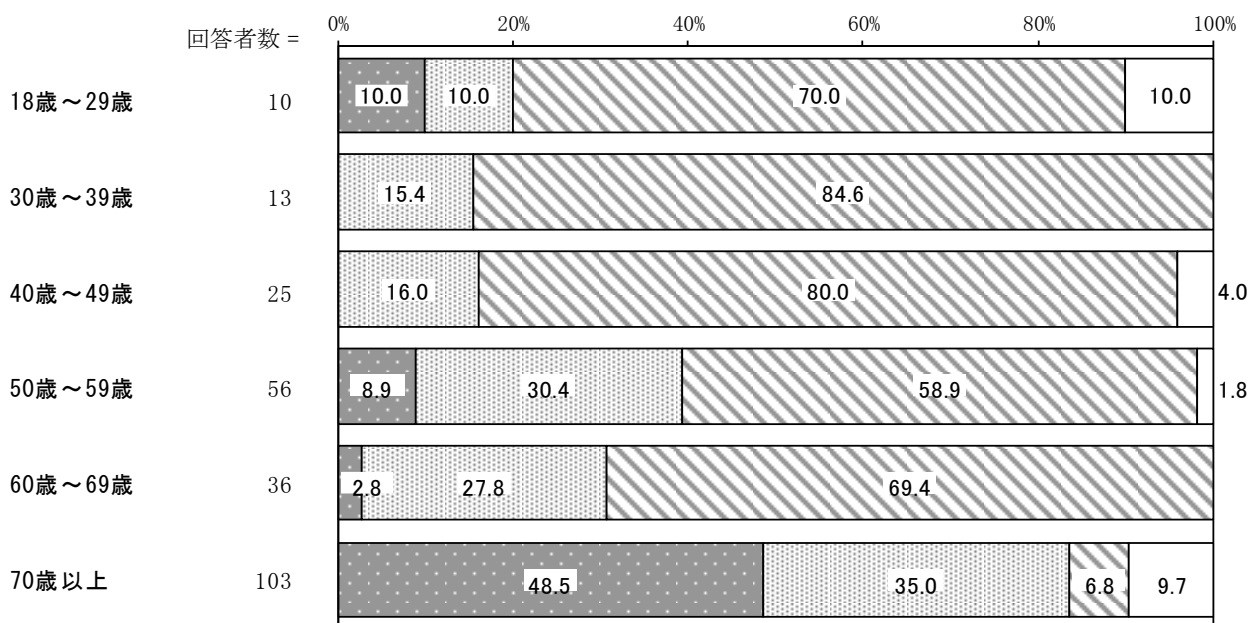
①介護が必要な高齢者

「別居の家族」の割合が42.1%と最も高く、次いで「同居の家族」の割合が28.2%、「あなた御自身」の割合が24.2%となっています。



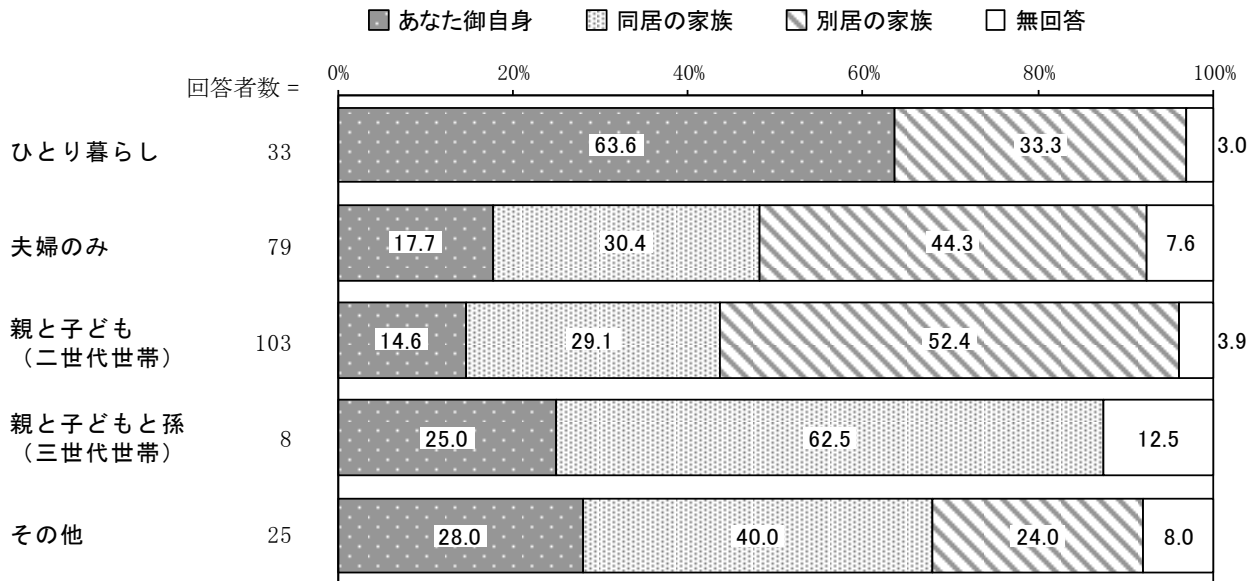
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～69歳で「別居の家族」の割合が、70歳以上で「あなた御自身」の割合が高くなっています。



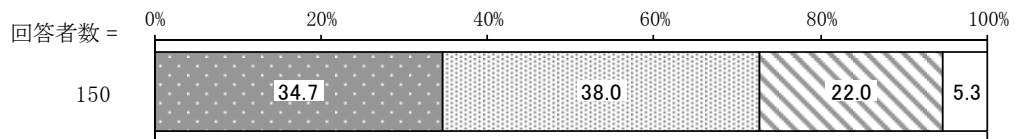
【世帯構成別】

世帯構成別でみると、他に比べ、ひとり暮らしで「あなた御自身」の割合が高くなっています。



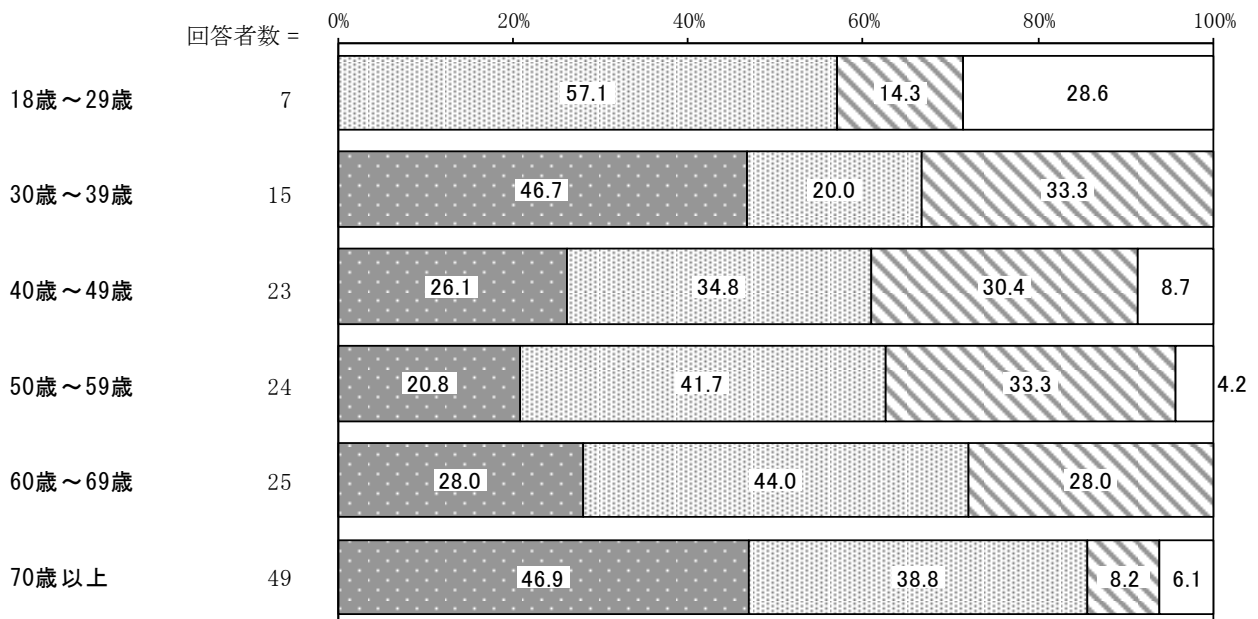
②障害のある人や障害のある子ども

「同居の家族」の割合が38.0%と最も高く、次いで「あなた御自身」の割合が34.7%、「別居の家族」の割合が22.0%となっています。



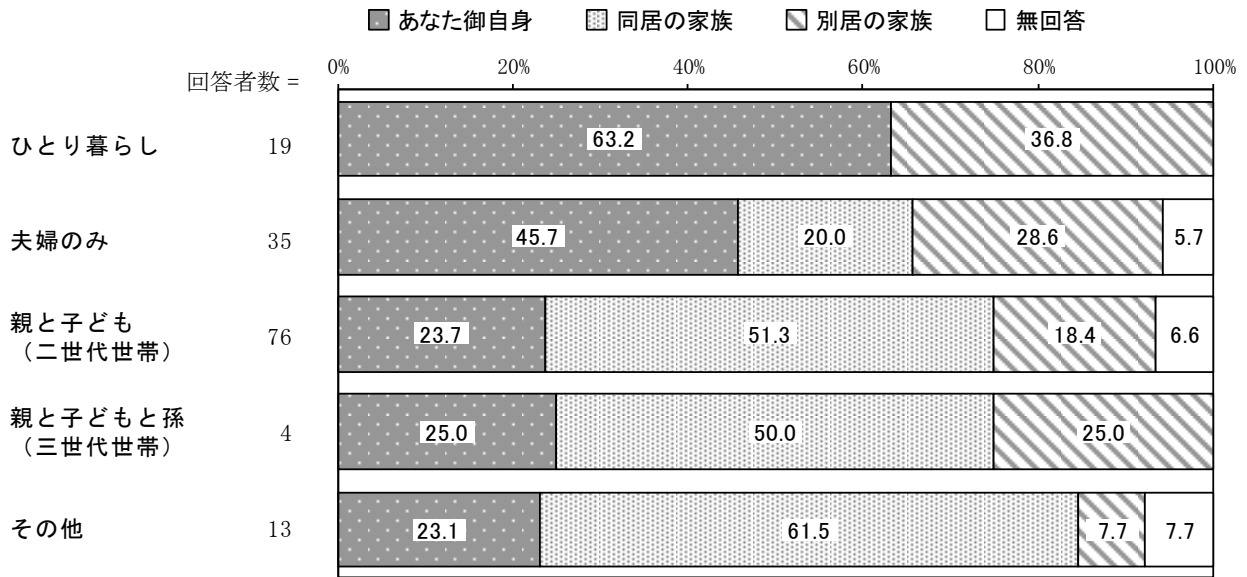
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳、70歳以上で「あなた御自身」の割合が高くなっています。



【世帯構成別】

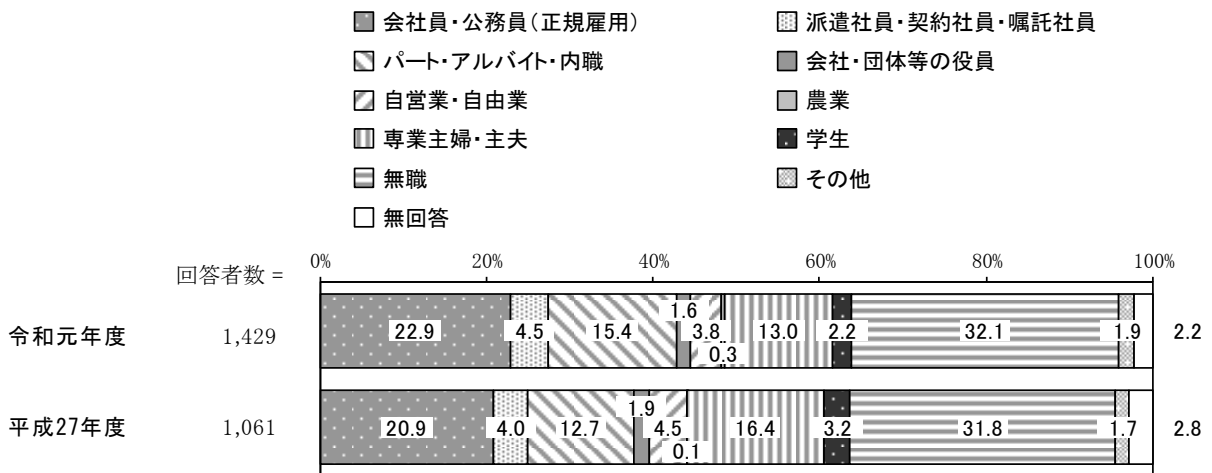
世帯構成別でみると、他に比べ、ひとり暮らしで「あなた御自身」の割合が高くなっています。



問6 あなたは就業または就学されていますか。(〇は1つ)

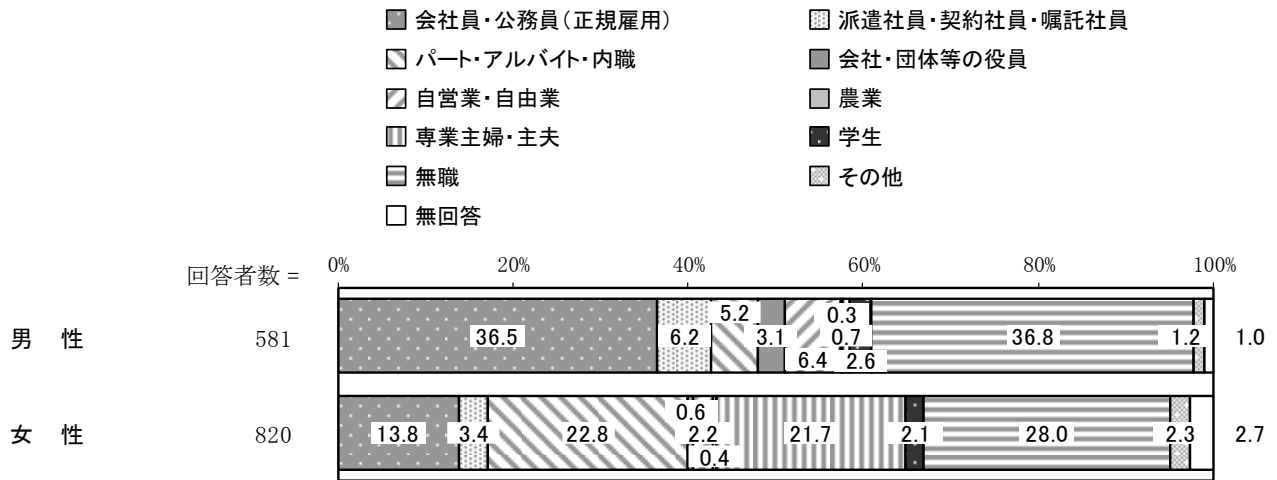
「無職」の割合が32.1%と最も高く、次いで「会社員・公務員(正規雇用)」の割合が22.9%、「パート・アルバイト・内職」の割合が15.4%となっています。

平成27年度と比較すると、大きな変化はみられません。



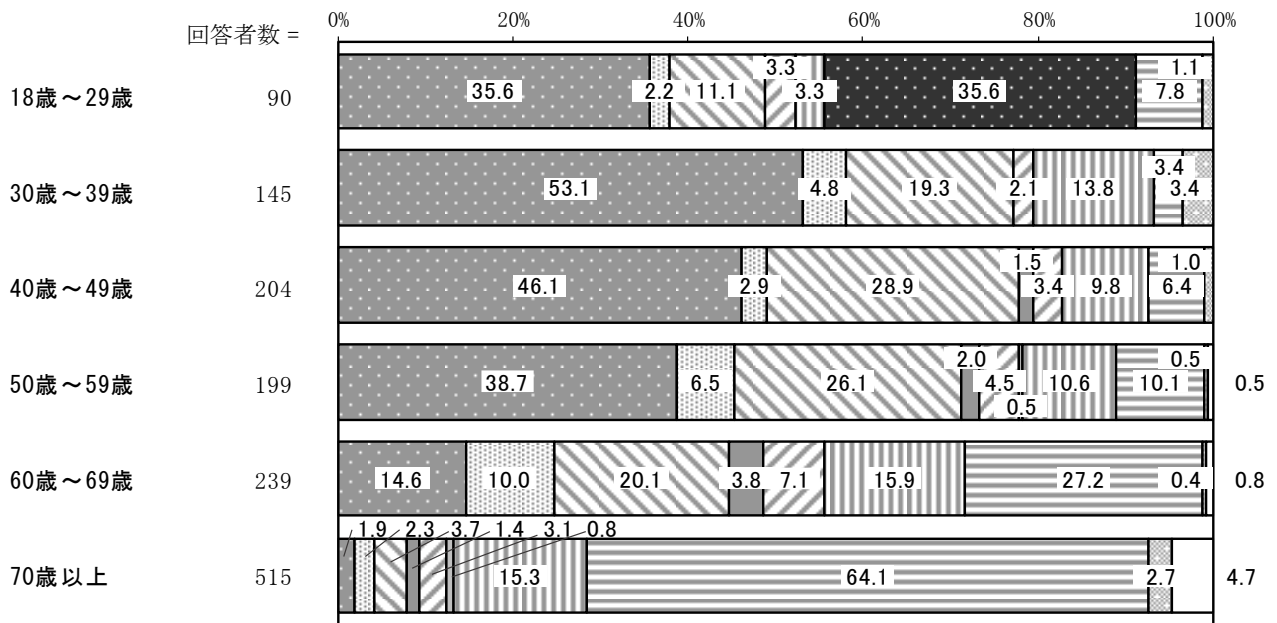
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「会社員・公務員（正規雇用）」「無職」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「パート・アルバイト・内職」「専業主婦・主夫」の割合が高くなっています。



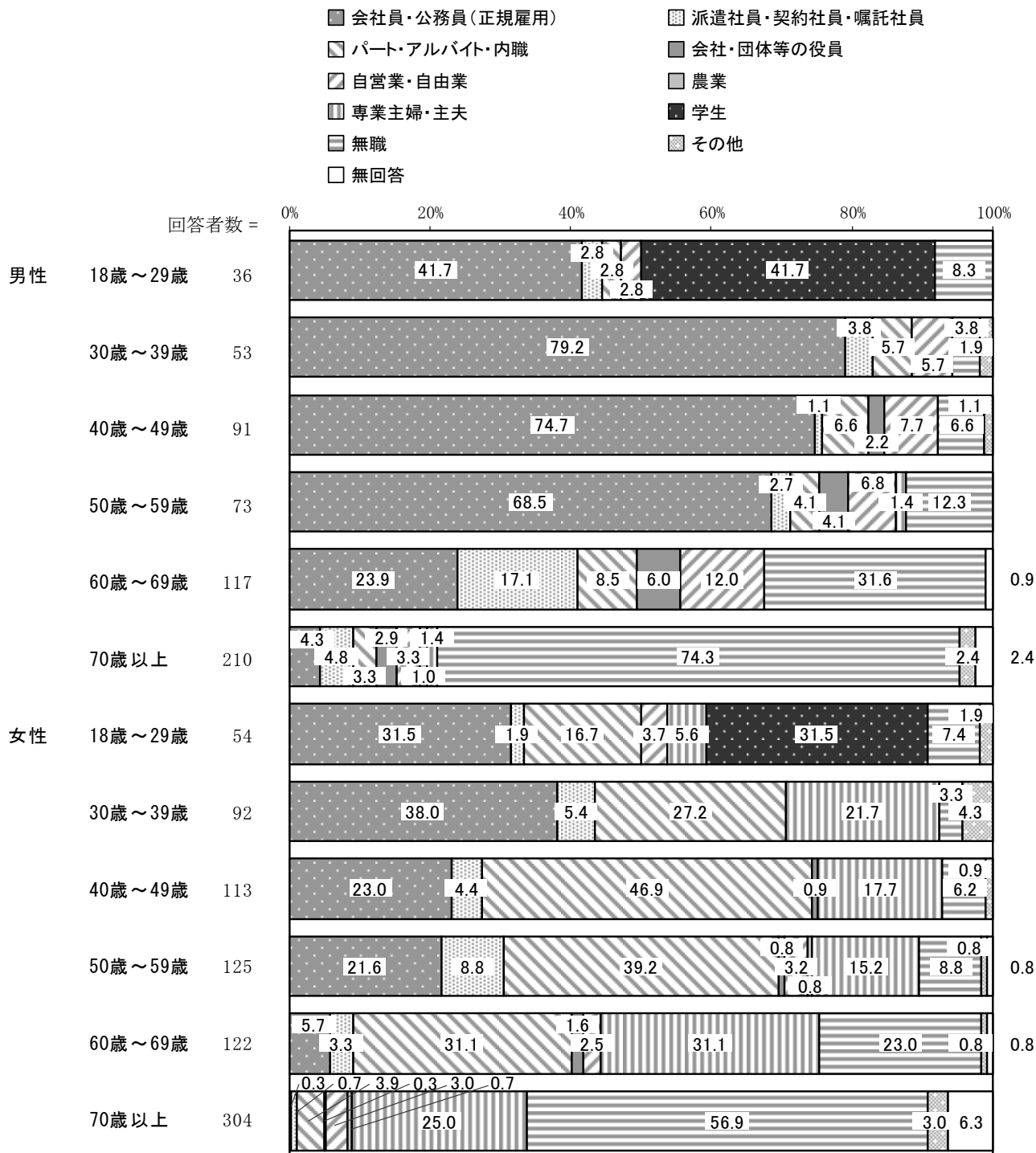
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳で「会社員・公務員（正規雇用）」の割合が、70歳以上で「無職」の割合が高くなっています。



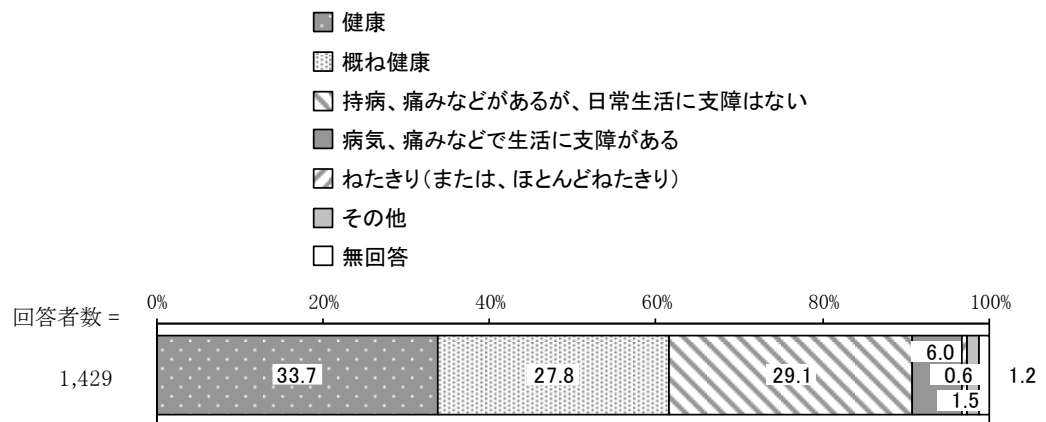
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、他に比べ、男性の30歳～59歳で「会社員・公務員（正規雇用）」の割合が、女性の40歳～49歳で「パート・アルバイト・内職」の割合が高くなっています。また、男女ともに年齢が高くなるにつれて「無職」の割合が高くなっています。



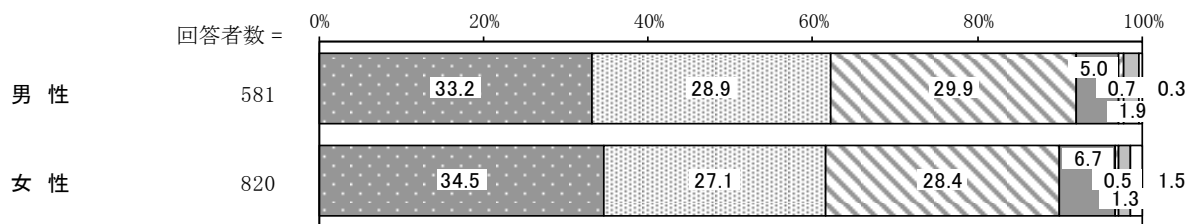
問7 あなたの現在の健康状態は。(○は1つ)

「健康」の割合が33.7%と最も高く、次いで「持病、痛みなどがあるが、日常生活に支障はない」の割合が29.1%、「概ね健康」の割合が27.8%となっています。



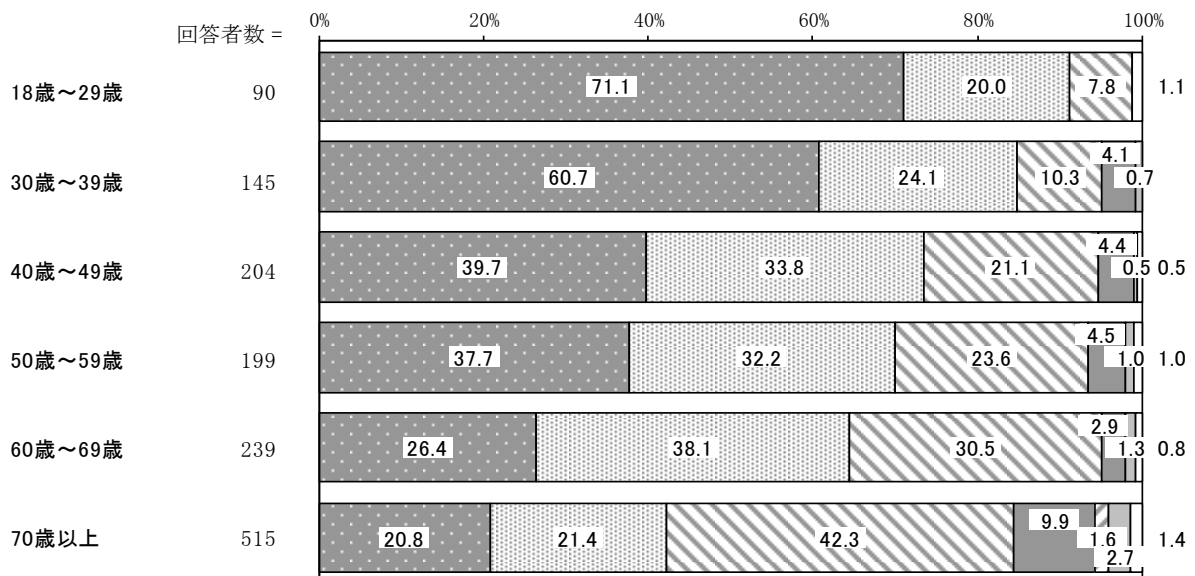
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



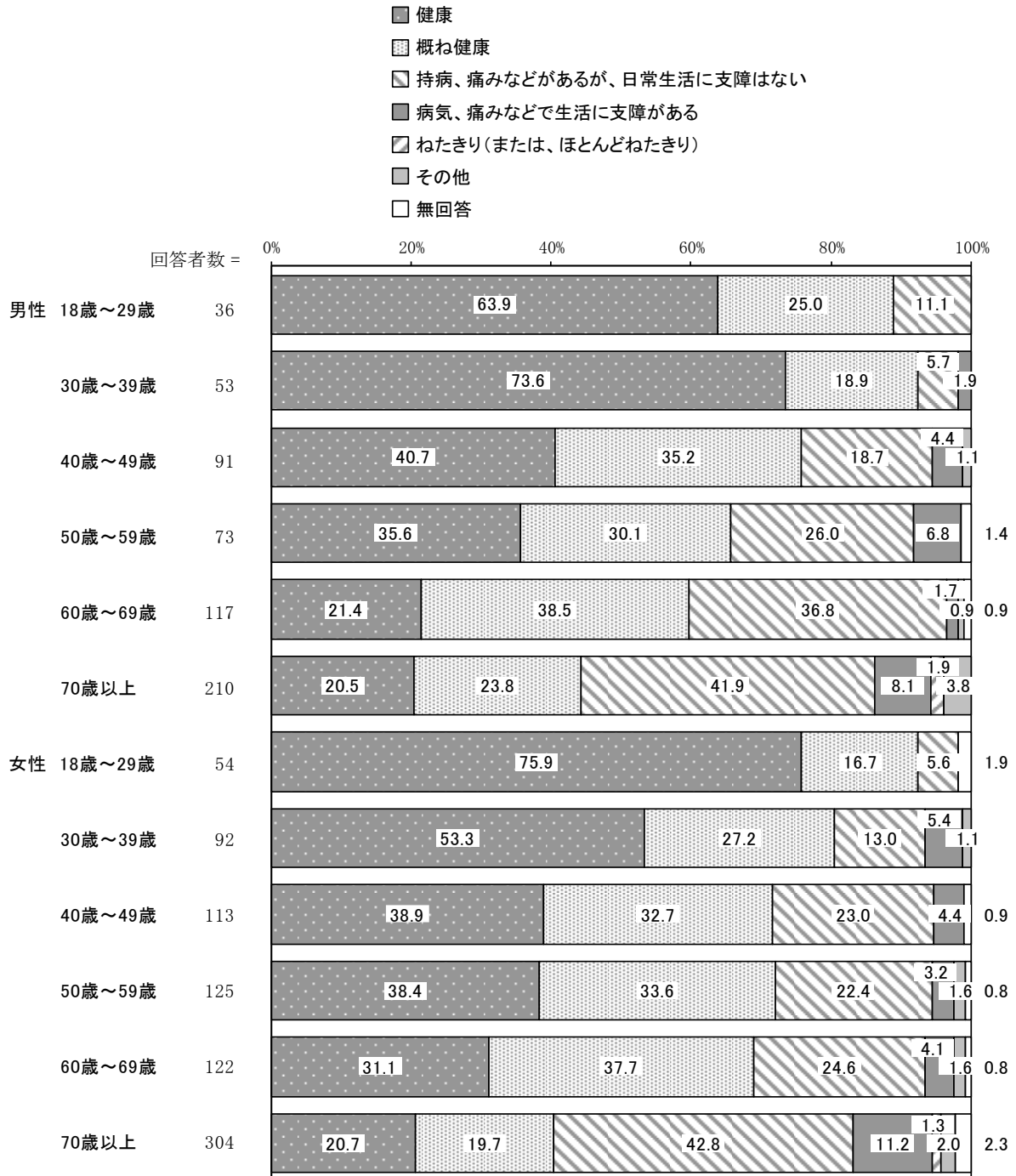
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「健康」の割合が、年齢が高くなるにつれ「持病、痛みなどがあるが、日常生活に支障はない」の割合が高くなっています。



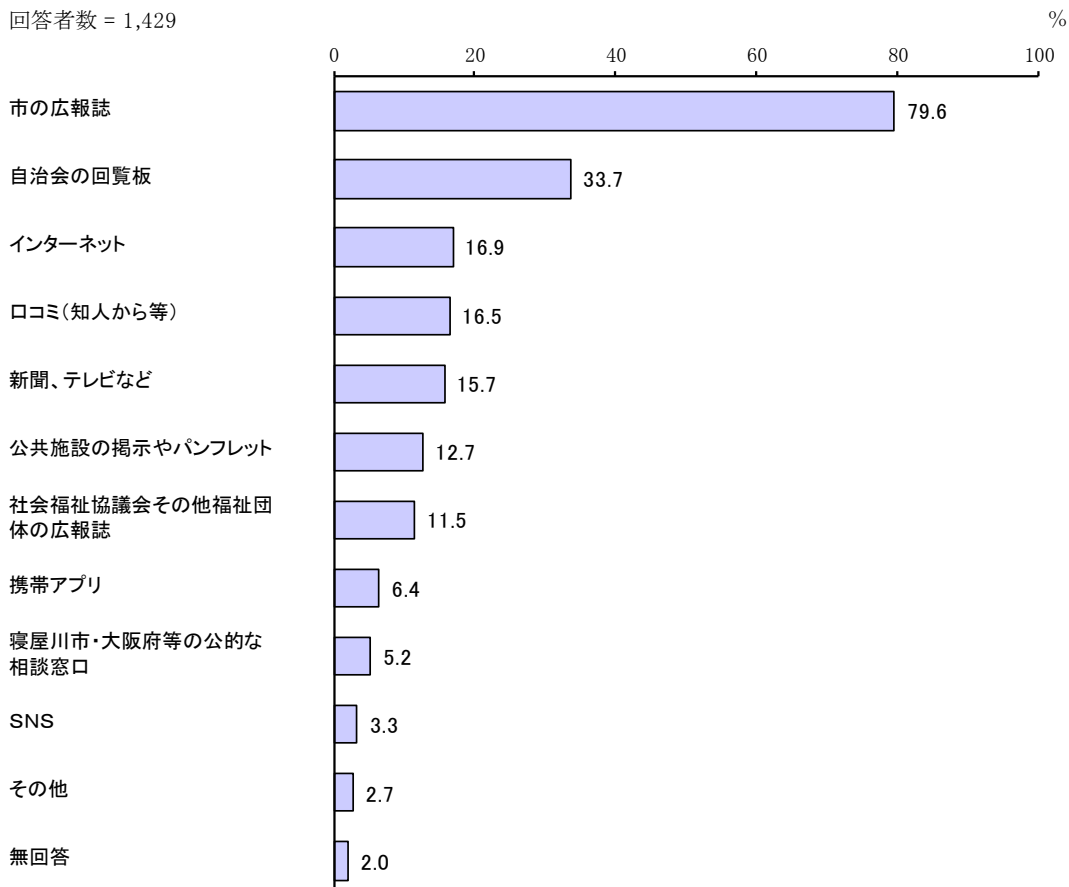
【性・年齢別】

性・年齢別でみると、男女とも年齢が低くなるにつれ「健康」の割合が、年齢が高くなるにつれ「持病、痛みなどがあるが、日常生活に支障はない」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、女性の70歳以上で「病気、痛みなどで生活に支障がある」の割合が高くなっています。



問8 あなたが市の福祉に関する情報を得る手段はどれですか。(〇はいくつでも可)

「市の広報誌」の割合が79.6%と最も高く、次いで「自治会の回覧板」の割合が33.7%、「インターネット」の割合が16.9%となっています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「口コミ (知人から等)」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	市の広報誌	自治会の回覧板	インターネット	口コミ(知人から等)	新聞、テレビなど	公共施設の掲示やパンフレット	社会福祉協議会その他福祉団体の広報誌	携帯アプリ	寝屋川市・大阪府等の公的な相談窓口	SNS	その他	無回答
男性	581	78.1	32.2	19.6	12.7	15.1	12.2	10.8	4.1	4.5	1.5	2.4	1.9
女性	820	80.9	35.0	15.2	19.5	16.0	13.2	12.0	8.2	5.7	4.6	2.9	1.7

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「社会福祉協議会その他福祉団体の広報誌」「自治会の回覧板」「新聞、テレビなど」の割合が、年齢が低くなるにつれ「インターネット」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、50歳～59歳、60歳～69歳で「市の広報誌」の割合が、18歳～29歳で「SNS」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	市の広報誌	自治会の回覧板	インターネット	口コミ(知人から等)	新聞、テレビなど	パンフレット	公共施設の掲示や	社会福祉協議会その他福祉団体の広報誌	携帯アプリ	寝屋川市・大阪府等の公的な相談窓口	SNS	その他	無回答
18歳～29歳	90	56.7	13.3	34.4	14.4	11.1	8.9	1.1	8.9	2.2	20.0	7.8	1.1	
30歳～39歳	145	75.9	22.1	35.9	13.8	3.4	19.3	3.4	13.8	4.8	8.3	3.4	—	
40歳～49歳	204	81.9	19.6	27.5	14.2	7.4	10.3	4.4	12.3	3.4	4.9	2.5	1.0	
50歳～59歳	199	84.4	32.7	25.6	13.1	10.1	12.1	5.5	9.5	4.0	2.5	2.0	0.5	
60歳～69歳	239	84.9	38.1	13.8	16.7	20.5	13.8	13.4	5.4	5.4	0.8	0.8	3.3	
70歳以上	515	80.0	44.9	2.7	20.0	23.3	12.6	19.6	1.2	6.8	—	2.7	2.3	

【性・年齢別】

性・年齢別でみると、男女とも年齢が高くなるにつれ「自治会の回覧板」の割合が、男性で年齢が高くなるにつれ「市の広報誌」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、男性の18歳～29歳、30歳～39歳で「インターネット」の割合が、女性の18歳～29歳で「SNS」の割合が、男性の70歳以上、女性の60歳～69歳、70歳以上で「社会福祉協議会その他福祉団体の広報誌」の割合が高くなっています。

単位：％

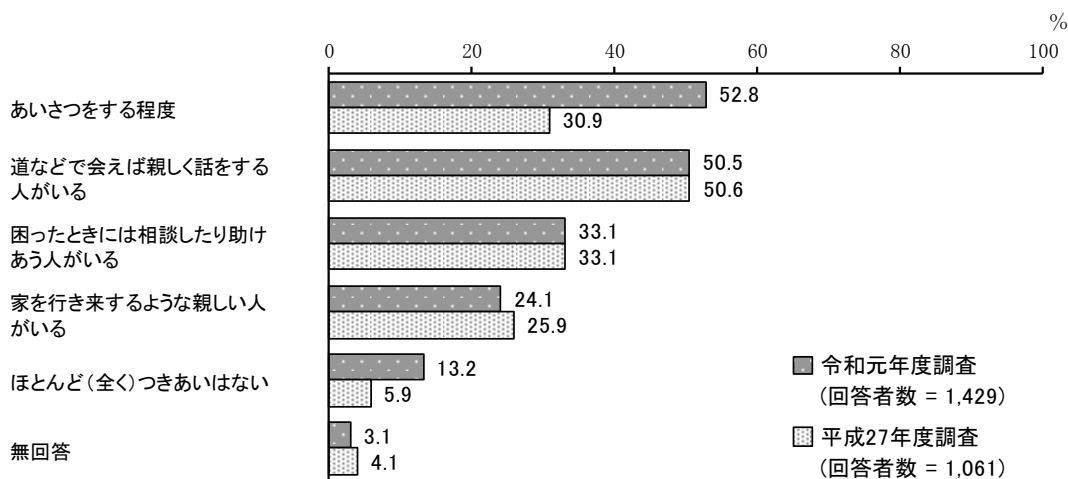
区分	回答者数(件)	市の広報誌	自治会の回覧板	インターネット	口コミ(知人から等)	新聞、テレビなど	パンフレット	公共施設の掲示や	社会福祉協議会その他福祉団体の広報誌	携帯アプリ	寝屋川市・大阪府等の公的な相談窓口	SNS	その他	無回答
男性 18歳～29歳	36	55.6	11.1	41.7	13.9	11.1	8.3	—	2.8	2.8	11.1	8.3	—	
30歳～39歳	53	67.9	22.6	47.2	11.3	5.7	13.2	1.9	5.7	3.8	3.8	1.9	—	
40歳～49歳	91	79.1	18.7	28.6	12.1	11.0	11.0	5.5	8.8	2.2	1.1	2.2	1.1	
50歳～59歳	73	79.5	31.5	24.7	11.0	9.6	11.0	4.1	5.5	5.5	1.4	2.7	1.4	
60歳～69歳	117	82.1	36.8	19.7	9.4	14.5	13.7	8.5	5.1	2.6	0.9	—	3.4	
70歳以上	210	81.9	41.9	3.3	15.7	22.4	12.9	21.0	1.0	6.7	—	2.4	2.4	
女性 18歳～29歳	54	57.4	14.8	29.6	14.8	11.1	9.3	1.9	13.0	1.9	25.9	7.4	1.9	
30歳～39歳	92	80.4	21.7	29.3	15.2	2.2	22.8	4.3	18.5	5.4	10.9	4.3	—	
40歳～49歳	113	84.1	20.4	26.5	15.9	4.4	9.7	3.5	15.0	4.4	8.0	2.7	0.9	
50歳～59歳	125	88.0	33.6	25.6	14.4	10.4	12.8	6.4	12.0	3.2	3.2	1.6	—	
60歳～69歳	122	87.7	39.3	8.2	23.8	26.2	13.9	18.0	5.7	8.2	0.8	1.6	3.3	
70歳以上	304	78.6	47.0	2.3	23.0	23.7	12.5	18.8	1.3	6.9	—	3.0	2.3	

問9 あなたや同居の御家族は、近所の人とどの程度の交流がありますか。
(〇はいくつでも可)

①回答者自身

「あいさつをする程度」の割合が52.8%と最も高く、次いで「道などで会えば親しく話をする人がいる」の割合が50.5%、「困ったときには相談したり助けあう人がいる」の割合が33.1%となっています。

平成27年度と比較すると、「あいさつをする程度」「ほとんど(全く)つきあいはない」の割合が増加しています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「あいさつをする程度」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「困ったときには相談したり助けあう人がいる」「家を行き来するような親しい人がいる」「道などで会えば親しく話をする人がいる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	あいさつをする程度	道などで会えば親しく話をする人がいる	困ったときには相談したり助けあう人がいる	家を行き来するような親しい人がいる	ほとんど(全く)つきあいはない	無回答
男性	581	60.4	36.5	21.2	15.7	15.3	2.8
女性	820	47.7	60.6	41.5	29.8	12.0	2.9

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「困ったときには相談したり助けあう人がいる」「家を行き来するような親しい人がいる」「道などで会えば親しく話をする人がいる」の割合が、年齢が低くなるにつれ「あいさつをする程度」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	回答者数 (件)	あいさつをする程度	道などで会えば親しく話をする人がいる	困ったときには相談したり助けあう人がいる	家を行き来するような親しい人がいる	ほとんど(全く)つきあいはない	無回答
18歳～29歳	90	61.1	24.4	20.0	13.3	18.9	2.2
30歳～39歳	145	62.1	33.8	24.8	15.9	20.7	2.1
40歳～49歳	204	60.3	38.2	29.4	17.6	19.1	1.5
50歳～59歳	199	56.3	47.2	27.1	13.6	13.6	1.5
60歳～69歳	239	54.4	54.0	33.5	22.6	13.0	2.9
70歳以上	515	44.3	64.9	41.4	35.0	8.0	4.1

【性・年齢別】

性・年齢別でみると、他に比べ、女性の70歳以上で「困ったときには相談したり助けあう人がいる」「家を行き来するような親しい人がいる」「道などで会えば親しく話をする人がいる」の割合が高くなっています。また、男性の40歳～49歳で「あいさつをする程度」の割合が、男性が30歳～39歳で「ほとんど(全く)つきあいはない」の割合が高くなっています。

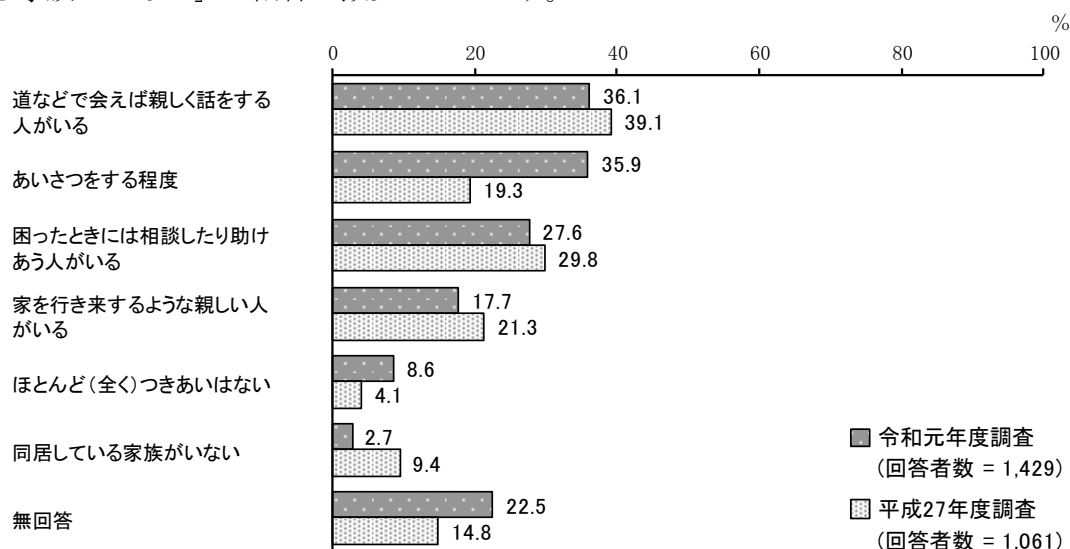
単位：％

区分	回答者数 (件)	あいさつをする程度	道などで会えば親しく話をする人がいる	困ったときには相談したり助けあう人がいる	家を行き来するような親しい人がいる	ほとんど(全く)つきあいはない	無回答
男性 18歳～29歳	36	61.1	25.0	19.4	11.1	22.2	—
30歳～39歳	53	64.2	20.8	7.5	9.4	24.5	3.8
40歳～49歳	91	75.8	18.7	12.1	7.7	17.6	2.2
50歳～59歳	73	64.4	34.2	19.2	8.2	15.1	1.4
60歳～69歳	117	56.4	41.9	21.4	16.2	17.1	3.4
70歳以上	210	53.8	48.1	29.5	23.3	10.0	3.3
女性 18歳～29歳	54	61.1	24.1	20.4	14.8	16.7	3.7
30歳～39歳	92	60.9	41.3	34.8	19.6	18.5	1.1
40歳～49歳	113	47.8	54.0	43.4	25.7	20.4	0.9
50歳～59歳	125	52.0	54.4	31.2	16.0	12.8	1.6
60歳～69歳	122	52.5	65.6	45.1	28.7	9.0	2.5
70歳以上	304	37.8	76.6	49.7	42.8	6.6	4.6

②同居の家族

「道などで会えば親しく話をする人がいる」の割合が36.1%と最も高く、次いで「あいさつをする程度」の割合が35.9%、「困ったときには相談したり助けあう人がいる」の割合が27.6%となっています。

平成27年度と比較すると、「あいさつをする程度」の割合が増加しています。一方、「同居している家族がない」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「あいさつをする程度」「ほとんど(全く)つきあいはない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「家を行き来するような親しい人がいる」「道などで会えば親しく話をする人がいる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	道などで会えば親しく話をする人がいる	あいさつをする程度	困ったときには相談したり助けあう人がいる	家を行き来するような親しい人がいる	ほとんど(全く)つきあいはない	同居している家族がない	無回答
男	581	47.0	29.1	29.6	22.0	5.5	2.9	19.4
女	820	28.8	41.0	26.2	14.6	10.9	2.3	24.1

【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、他に比べ、男性の40歳～49歳で「道などで会えば親しく話をする人がいる」の割合が、女性の18歳～29歳、30歳～39歳で「あいさつをする程度」の割合が高くなっています。また、男性の70歳以上で「困ったときには相談したり助けあう人がいる」の割合が、男性の60歳～69歳、70歳以上で「家を行き来するような親しい人がいる」の割合が高くなっています。

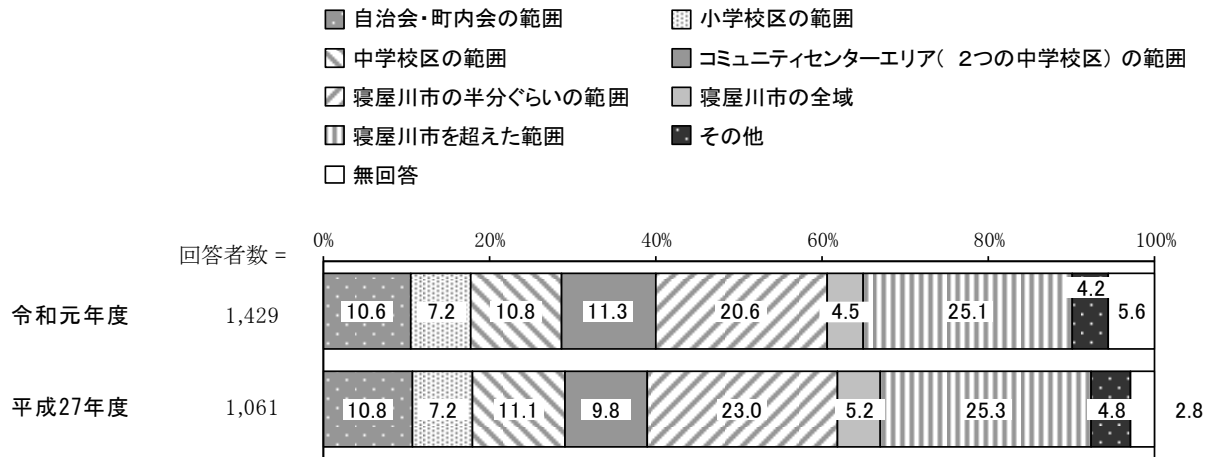
単位：%

区分	回答者数 (件)	道などで会えば親しく 話をする人がいる	あいさつをする程度	困ったときには相談 したり助けあう人がいる	家を行き来するよう な親しい人がいる	ほとんど(全く)つきあ いはない	同居している家族が いない	無回答
男性 18歳～29歳	36	38.9	44.4	33.3	19.4	5.6	2.8	8.3
30歳～39歳	53	49.1	34.0	17.0	15.1	13.2	5.7	1.9
40歳～49歳	91	59.3	29.7	28.6	17.6	3.3	3.3	14.3
50歳～59歳	73	46.6	47.9	17.8	15.1	5.5	2.7	15.1
60歳～69歳	117	42.7	23.9	29.1	24.8	4.3	2.6	26.5
70歳以上	210	45.2	21.4	37.1	27.1	5.2	2.4	25.2
女性 18歳～29歳	54	38.9	61.1	33.3	16.7	9.3	—	3.7
30歳～39歳	92	30.4	58.7	26.1	18.5	10.9	3.3	10.9
40歳～49歳	113	37.2	46.9	30.1	22.1	16.8	3.5	8.8
50歳～59歳	125	24.8	56.0	18.4	11.2	16.8	—	13.6
60歳～69歳	122	22.1	41.8	30.3	15.6	10.7	3.3	27.0
70歳以上	304	28.3	23.4	25.3	11.8	6.6	2.3	40.8

問 10 通勤や通学は除いて、あなたが日常の買物、活動などで行動する範囲は、次のどれに近いですか。（○は1つ）

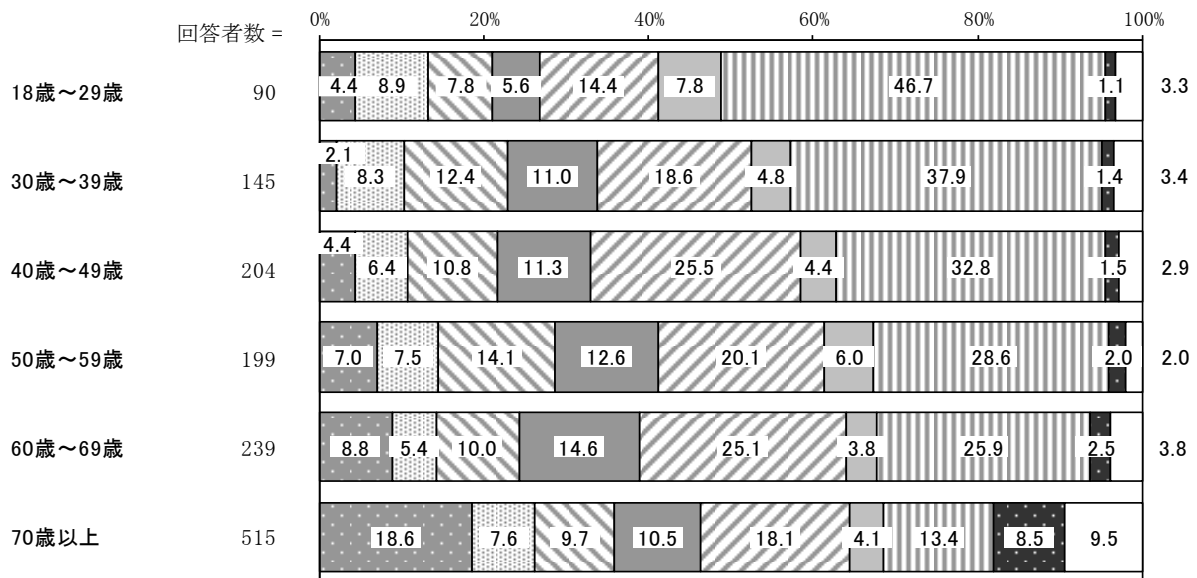
「寝屋川市を超えた範囲」の割合が 25.1%と最も高く、次いで「寝屋川市の半分ぐらいの範囲」の割合が 20.6%、「コミュニティセンターエリア（2つの中学校区）の範囲」の割合が 11.3%となっています。

平成 27 年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「寝屋川市を超えた範囲」の割合が高くなっています。また、他に比べ、70歳以上で「自治会・町内会の範囲」の割合が高くなっています。



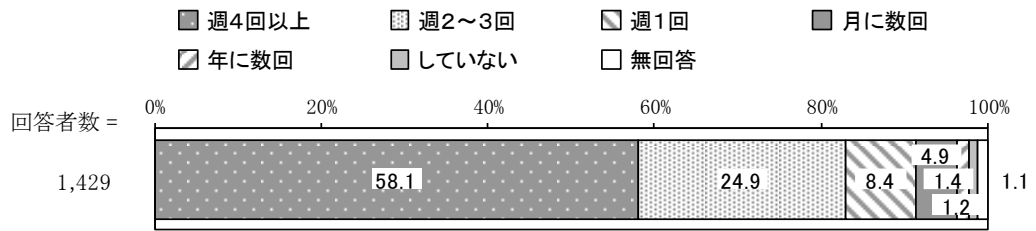
【小学校区別】

小学校区別でみると、他に比べ、堀溝小校区で「寝屋川市を超えた範囲」の割合が、木屋小校区で「コミュニティセンターエリア(2つの中学校区)の範囲」の割合が高くなっています。また、北小校区で「小学校区の範囲」の割合が、梅が丘小校区、明和小校区で「中学校区の範囲」の割合が高くなっています。



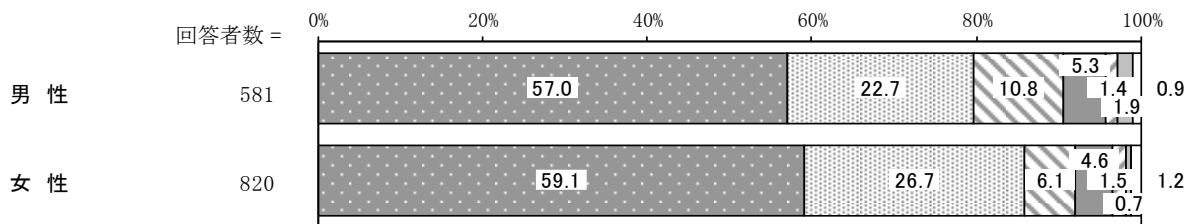
問 11 あなたが外出する頻度はどのくらいですか。(○は1つ)

「週4回以上」の割合が58.1%と最も高く、次いで「週2～3回」の割合が24.9%となっています。



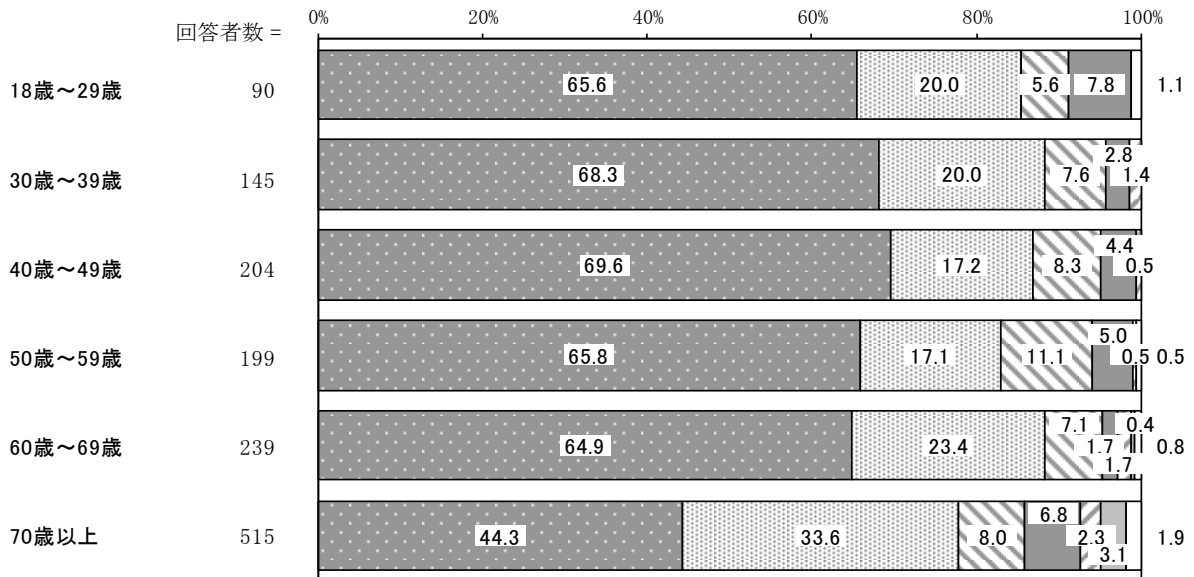
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



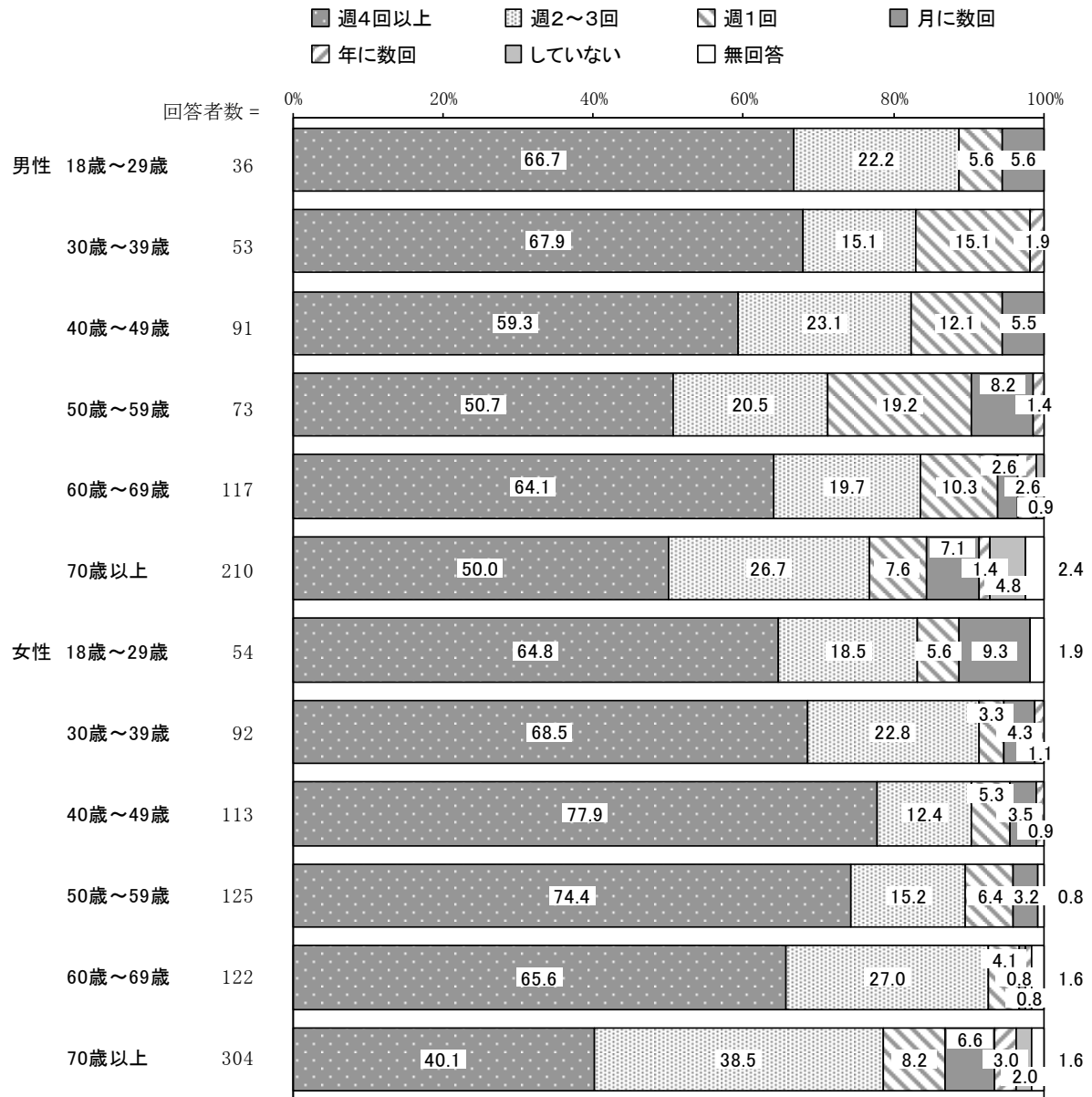
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で「週2～3回」の割合が高くなっています。



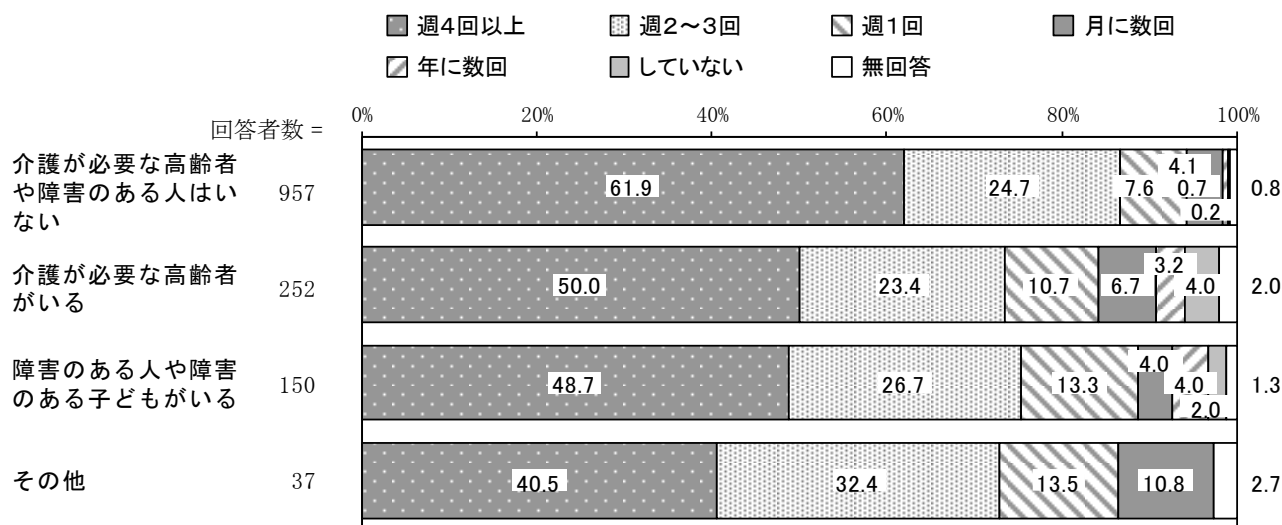
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、他に比べ、女性の40歳～49歳、50歳～59歳で「週4回以上」の割合が高くなっています。また、女性の70歳以上で「週2～3回」の割合が、男性の50歳～59歳で「週1回」の割合が高くなっています。



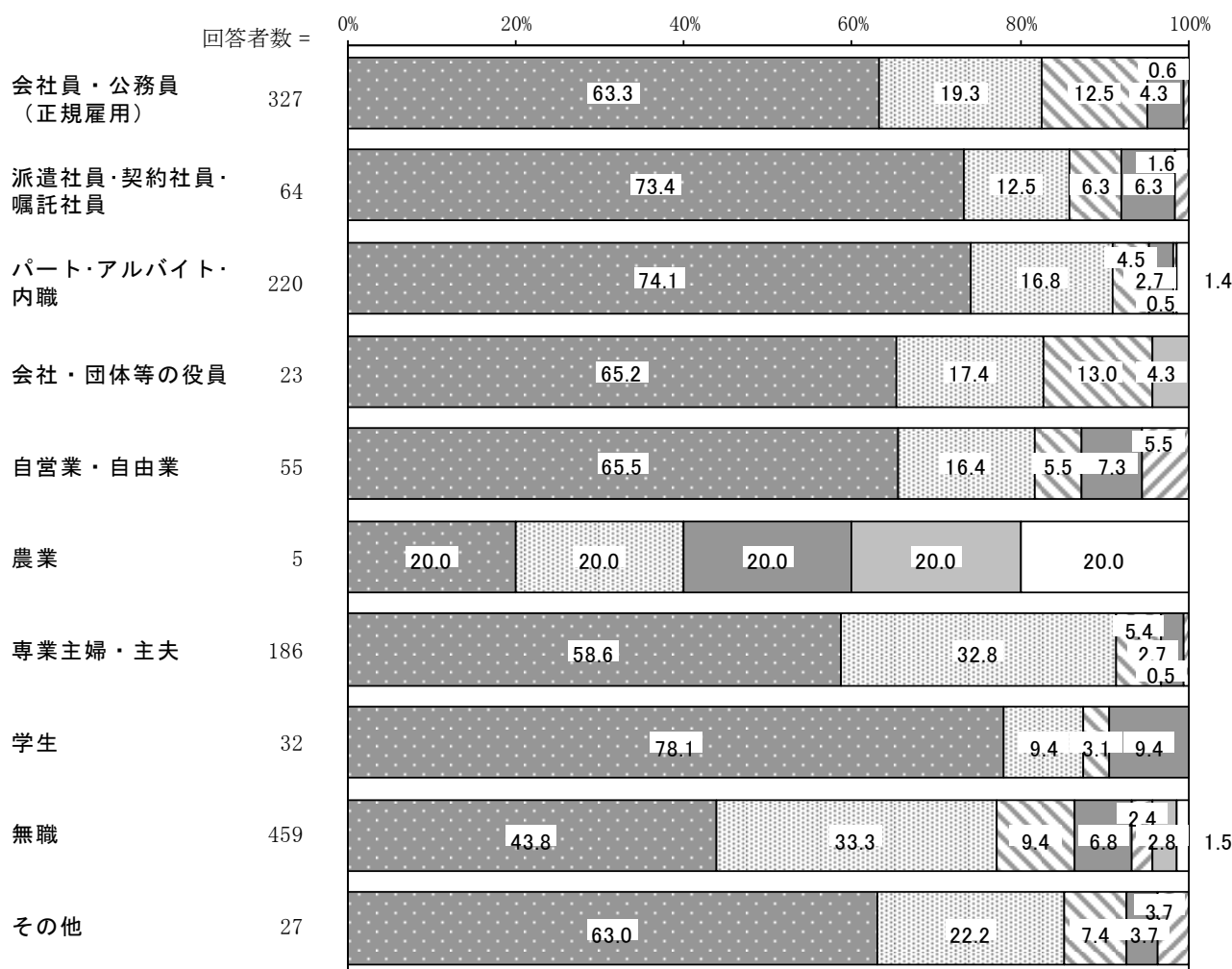
【要介護の高齢者や障害のある人の有無別】

要介護の高齢者や障害のある人の有無別でみると、他に比べ、介護が必要な高齢者や障害のある人は「週4回以上」の割合が高くなっています。



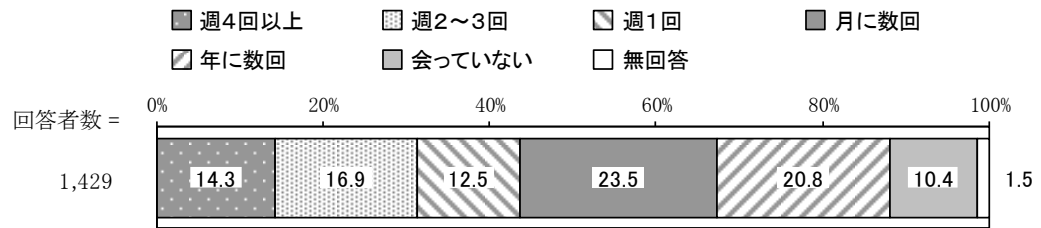
【就労状況別】

就労状況別でみると、他に比べ、派遣社員・契約社員・嘱託社員、パート・アルバイト・内職、学生で「週4回以上」の割合が高くなっています。



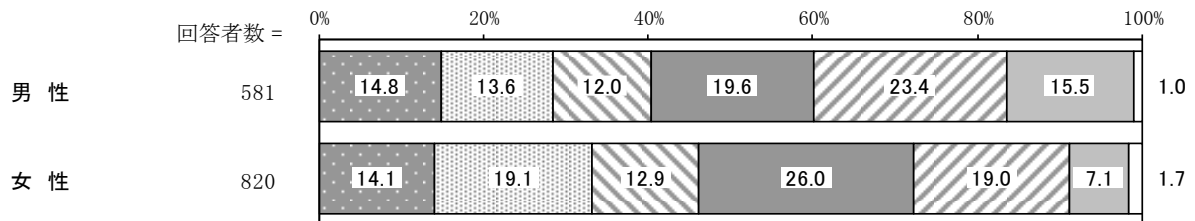
問 12 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

「月に数回」の割合が23.5%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が20.8%、「週2～3回」の割合が16.9%となっています。



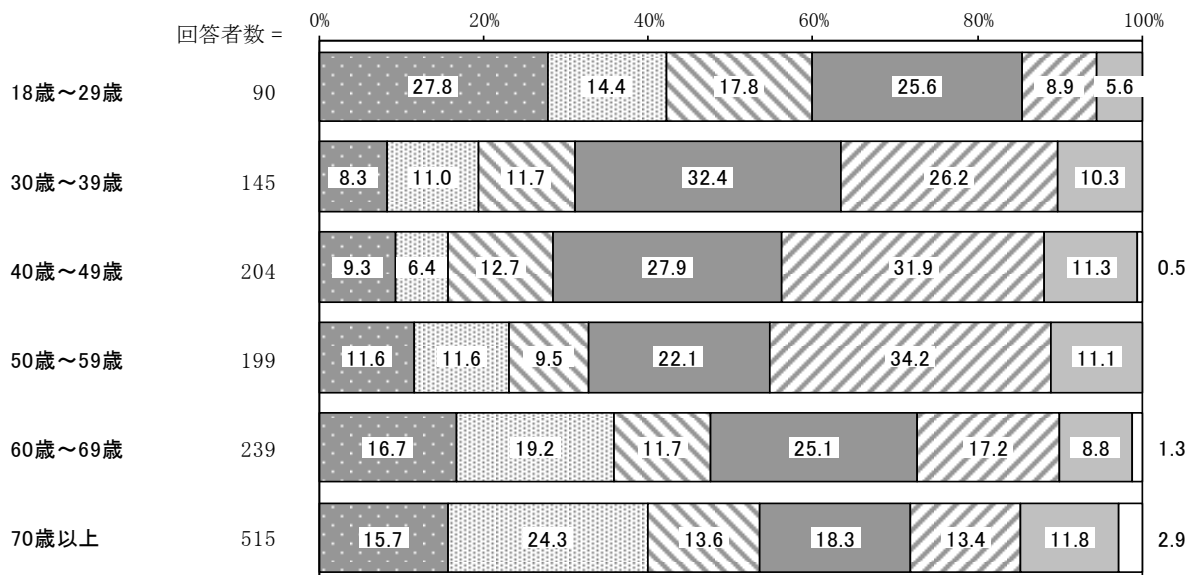
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「会っていない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「週2～3回」「月に数回」の割合が高くなっています。



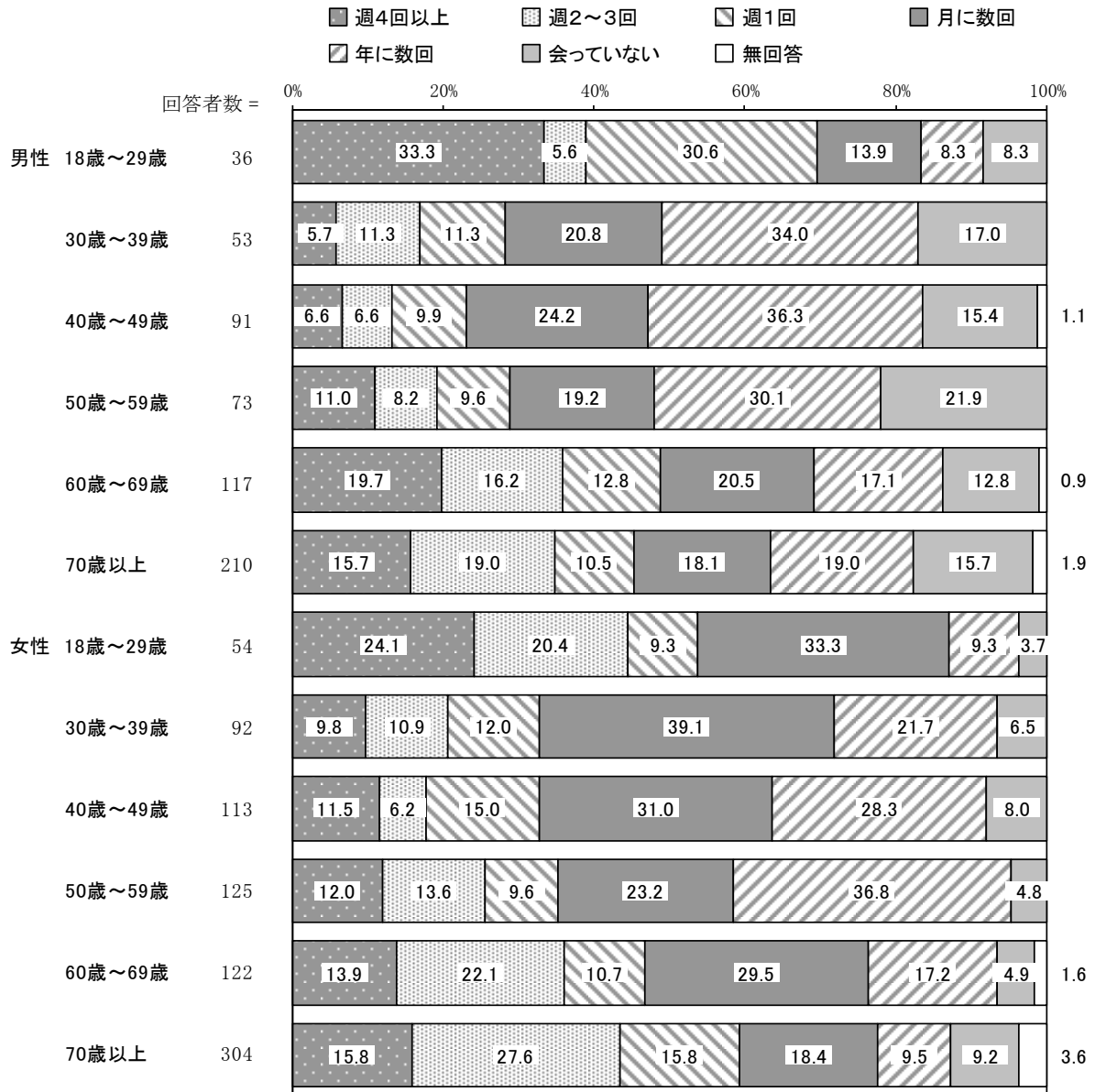
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳で「月に数回」の割合が、40歳～49歳、50歳～59歳で「年に数回」の割合が高くなっています。また、18歳～29歳で「週4回以上」の割合が、70歳以上で「週2～3回」の割合が高くなっています。



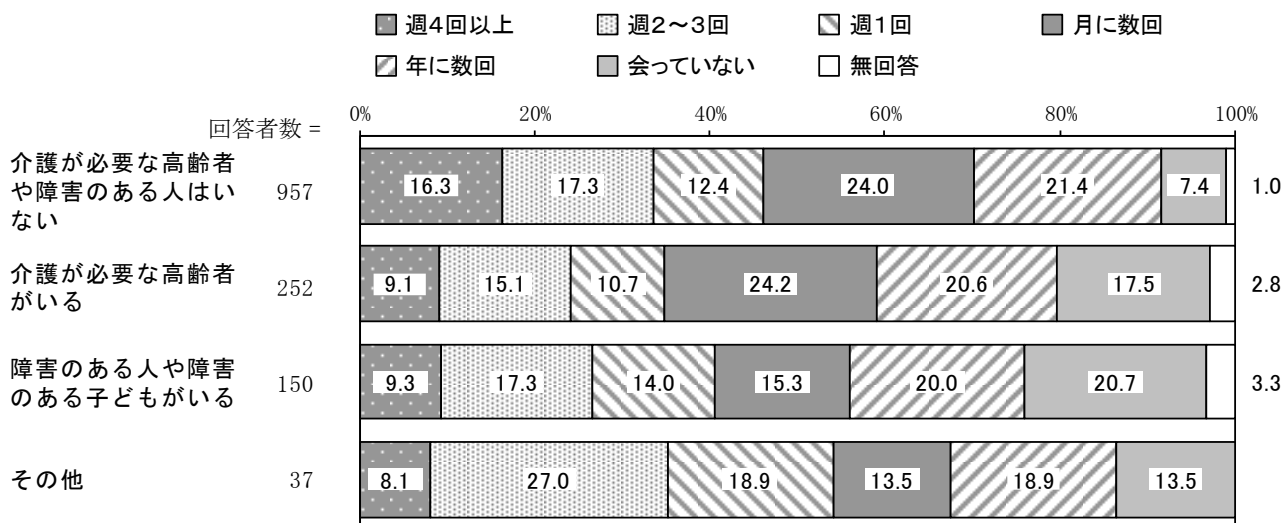
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、他に比べ、男性の18歳～29歳で「週4回以上」「週1回」の割合が、男性の30歳～39歳、40歳～49歳、女性の50歳～59歳で「年に数回」の割合が高くなっています。また、女性の70歳以上で「週2～3回」の割合が、男性の50歳～59歳で「会っていない」の割合が高くなっています。



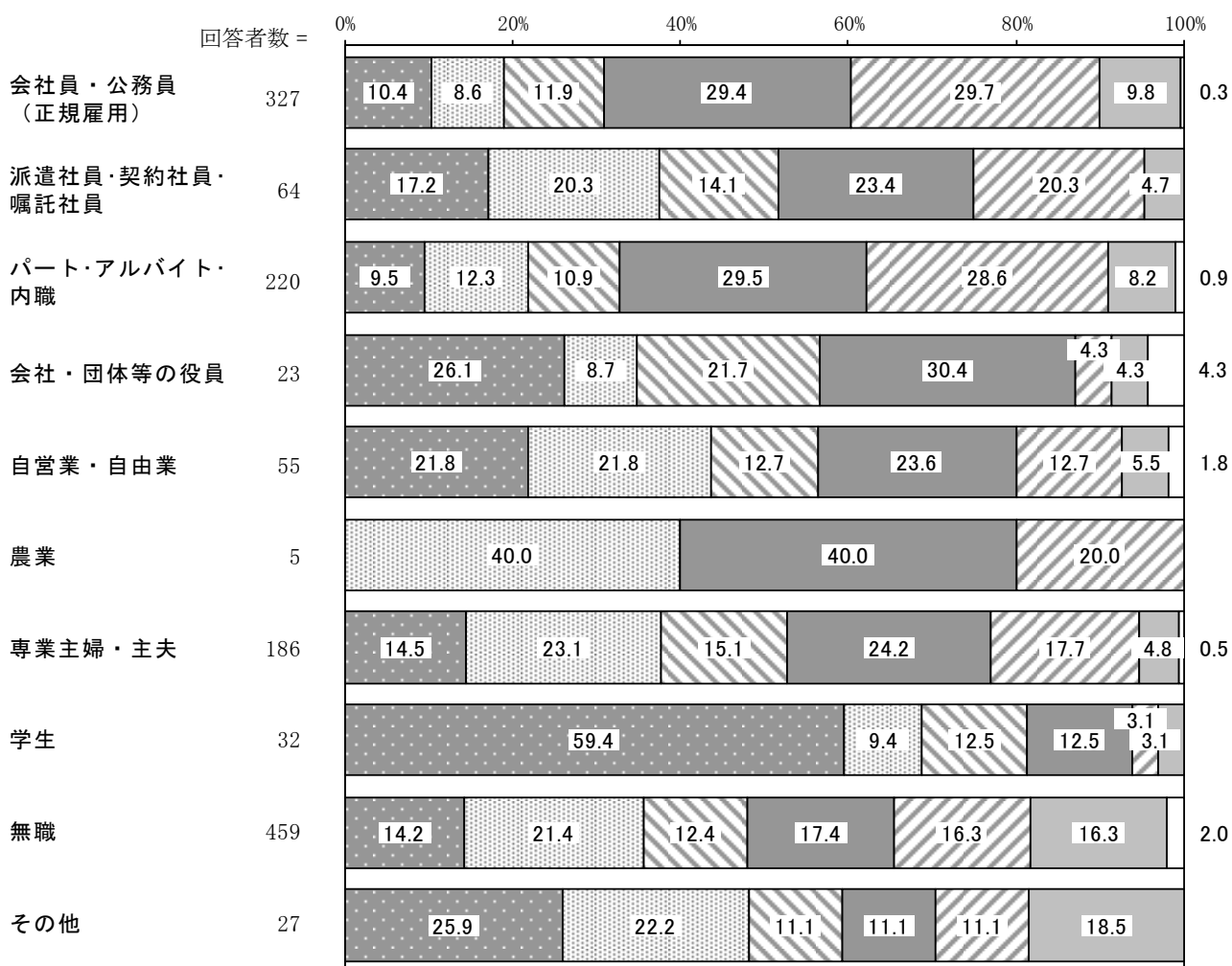
【要介護の高齢者や障害のある人の有無別】

要介護の高齢者や障害のある人の有無別でみると、他に比べ、介護が必要な高齢者や障害のある人はいないで「週4回以上」の割合が、障害のある人や障害のある子どもがいるで「会っていない」の割合が高くなっています。



【就労状況別】

就労状況別でみると、他に比べ、学生で「週4回以上」の割合が、無職で「会っていない」の割合が高くなっています。

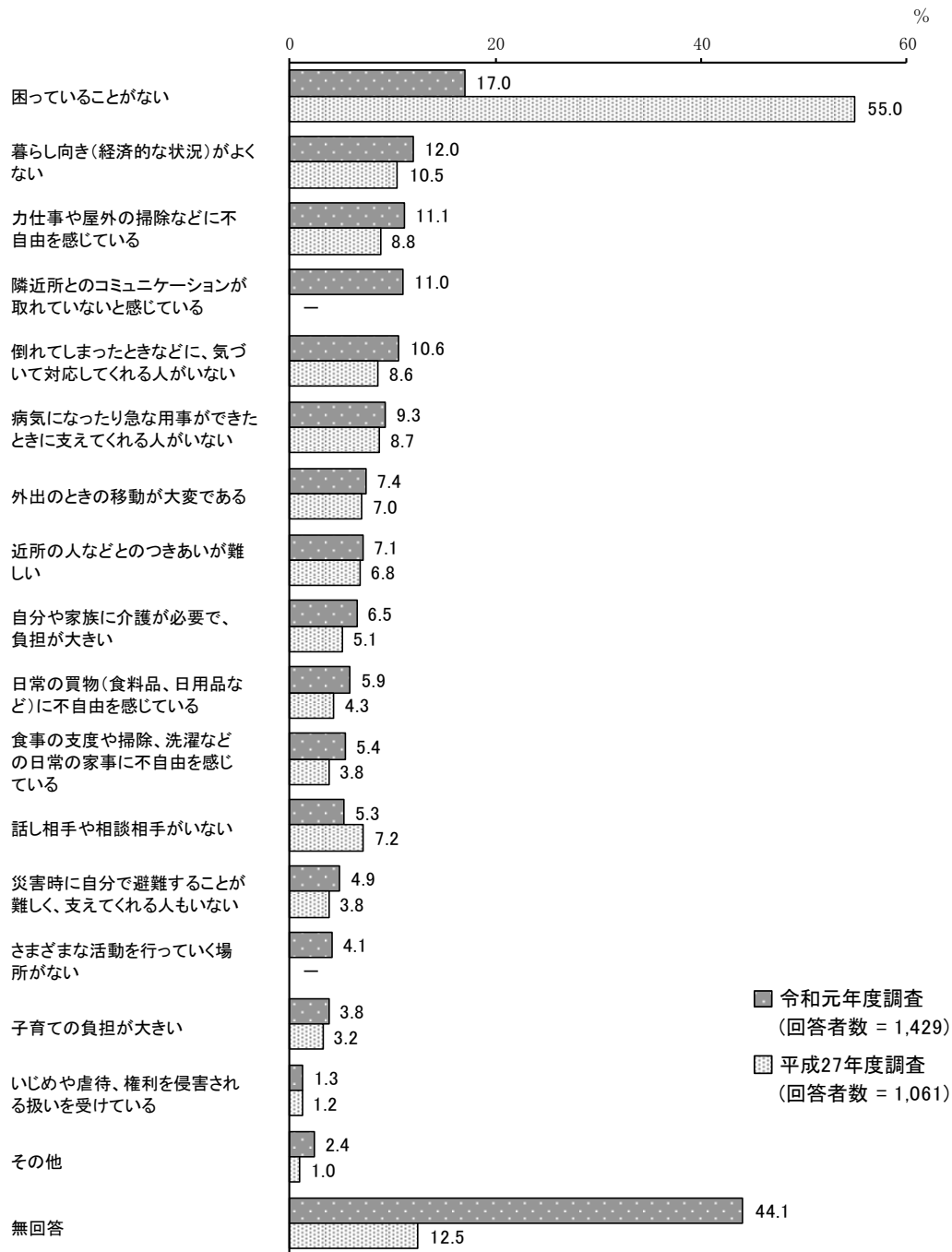


問 13 あなたは、日常生活で困っていることがありますか。また、だれかに助けてほしいと思うような特に困っていることがありますか。(〇はいくつでも可)

①困っていること

「困っていないことがない」の割合が 17.0%と最も高く、次いで「暮らし向き（経済的な状況）がよくない」の割合が 12.0%、「力仕事や屋外の掃除などに不自由を感じている」の割合が 11.1%となっています。

平成 27 年度と比較すると、「困っていないことがない」の割合が減少しています。



※「さまざまな活動を行っていく場所がない」「隣近所とのコミュニケーションが取れていないと感じている」は令和元年度調査から新たに追加しました。

【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、70歳以上で「力仕事や屋外の掃除などに不自由を感じている」の割合が高くなっています。また、30歳～39歳で「子育ての負担が大きい」の割合が、30歳～39歳、70歳以上で「外出のときの移動が大変である」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	暮らし向き(経済的な状況)がよくない	力仕事や屋外の掃除などに不自由を感じている	隣近所とのコミュニケーションが取れていないと感じている	気づいて対応してくれる人がいない	倒れてしまったときなどに、ときに支えてくれる人がいない	病気になったり急な用事ができたときに支えてくれる人がいない	外出のときの移動が大変である	近所の人などとのつきあいが難しい	自分や家族に介護が必要で、負担が大きい	日常の買物(食料品、日用品など)に不自由を感じている	日常の家事に不自由を感じている	食事の支度や掃除、洗濯などの話し相手や相談相手がいない	災害時に自分で避難することが難しい、支えてくれる人もいない	場所がない	さまざまな活動を行っていく	子育ての負担が大きい	いじめや虐待、権利を侵害される扱いを受けている	その他	困っていることがない	無回答
18歳～29歳	90	11.1	7.8	12.2	7.8	10.0	7.8	4.4	7.8	5.6	3.3	5.6	4.4	6.7	2.2	2.2	2.2	22.2	40.0		
30歳～39歳	145	17.9	6.2	12.4	12.4	13.8	10.3	8.3	4.1	4.1	6.9	6.2	3.4	4.1	13.8	1.4	4.1	19.3	31.7		
40歳～49歳	204	11.8	5.4	10.8	7.4	11.3	5.9	5.9	4.4	3.4	3.4	6.9	2.0	3.4	6.9	1.5	2.9	20.6	44.1		
50歳～59歳	199	14.1	10.6	12.6	14.1	10.6	5.0	7.5	8.0	6.0	5.0	5.5	5.5	6.0	4.5	1.5	3.0	22.1	43.2		
60歳～69歳	239	7.9	5.0	9.6	8.8	8.4	2.5	7.5	2.9	2.9	2.5	2.9	2.5	3.3	1.3	0.8	1.3	23.0	44.8		
70歳以上	515	11.8	18.4	10.5	11.8	7.4	10.1	7.4	8.5	9.3	8.0	5.6	7.2	3.5	1.0	1.0	1.7	10.3	47.2		

【小学校区別】

小学校区別でみると、他に比べ、楠根小校区で「暮らし向き（経済的な状況）がよくない」の割合が高くなっています。また、梅が丘小校区で「日常の買物（食料品、日用品など）に不自由を感じている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	暮らし向き（経済的な状況）がよくない	感じている	力仕事や屋外の掃除などに不自由を感じている	隣近所とのコミュニケーションが取れていないと感じている	気づいて対応してくれる人がいない	倒れてしまったときなどに、ときに支えてくれる人がいない	病気になったり急な用事ができたときに支えてくれる人がいない	外出のときの移動が大変である	近所の人などとのつきあいが難しい	自分や家族に介護が必要で、負担が大きい	日常の買物（食料品、日用品など）に不自由を感じている	食事の支度や掃除、洗濯などの日常の家事に不自由を感じている	話し相手や相談相手がいらない	難しく、支えてくれる人もいない	災害時に自分で避難することが難しい	場所がない	さまざまな活動を行っていく	子育ての負担が大きい	扱いを受けている	いじめや虐待、権利を侵害される	その他	困っていることがない	無回答
池田小校区	74	18.9	12.2	8.1	12.2	13.5	9.5	8.1	5.4	9.5	12.2	6.8	8.1	5.4	5.4	1.4	2.7	17.6	45.9					
石津小校区	36	11.1	5.6	11.1	8.3	11.1	5.6	11.1	16.7	5.6	5.6	8.3	8.3	5.6	—	5.6	2.8	25.0	47.2					
宇谷小校区	53	3.8	3.8	9.4	1.9	1.9	5.7	3.8	1.9	—	1.9	1.9	—	—	1.9	—	1.9	28.3	49.1					
梅が丘小校区	61	6.6	13.1	13.1	9.8	8.2	6.6	6.6	1.6	16.4	8.2	8.2	3.3	4.9	3.3	—	4.9	21.3	34.4					
神田小校区	41	17.1	19.5	12.2	4.9	2.4	7.3	7.3	4.9	4.9	2.4	4.9	4.9	4.9	—	2.4	2.4	9.8	41.5					
北小校区	85	11.8	14.1	11.8	4.7	5.9	2.4	5.9	3.5	3.5	5.9	5.9	4.7	2.4	4.7	1.2	3.5	17.6	43.5					
木田小校区	49	2.0	4.1	8.2	4.1	8.2	4.1	8.2	2.0	2.0	4.1	6.1	2.0	6.1	4.1	—	2.0	20.4	49.0					
楠根小校区	24	29.2	20.8	8.3	4.2	4.2	12.5	—	4.2	8.3	8.3	4.2	4.2	—	—	—	4.2	8.3	45.8					
国松緑丘小校区	53	9.4	11.3	15.1	11.3	13.2	13.2	5.7	3.8	5.7	5.7	7.5	3.8	1.9	3.8	—	—	26.4	37.7					
啓明小校区	46	13.0	13.0	8.7	6.5	6.5	2.2	6.5	8.7	4.3	—	2.2	4.3	2.2	4.3	—	2.2	15.2	47.8					
木屋小校区	50	6.0	6.0	6.0	10.0	8.0	2.0	4.0	4.0	—	—	—	2.0	—	2.0	—	2.0	14.0	50.0					
桜小校区	30	20.0	10.0	13.3	6.7	6.7	6.7	10.0	13.3	6.7	3.3	6.7	6.7	10.0	3.3	—	—	20.0	33.3					
点野小校区	70	12.9	10.0	5.7	8.6	7.1	10.0	7.1	4.3	10.0	5.7	5.7	7.1	1.4	1.4	1.4	4.3	18.6	47.1					
成美小校区	54	18.5	11.1	7.4	9.3	5.6	5.6	11.1	9.3	1.9	5.6	3.7	5.6	3.7	1.9	—	—	16.7	46.3					
田井小校区	50	10.0	6.0	6.0	10.0	6.0	2.0	12.0	4.0	4.0	4.0	2.0	6.0	4.0	—	2.0	4.0	22.0	42.0					
第五小校区	153	5.2	9.8	9.2	11.1	9.2	3.3	3.3	2.6	2.0	2.0	4.6	2.6	2.6	4.6	—	0.7	17.6	50.3					
中央小校区	80	7.5	5.0	7.5	16.3	8.8	8.8	6.3	8.8	5.0	7.5	3.8	2.5	2.5	5.0	1.3	3.8	13.8	46.3					
西小校区	55	10.9	10.9	14.5	10.9	10.9	7.3	7.3	7.3	5.5	5.5	3.6	5.5	7.3	3.6	5.5	3.6	16.4	49.1					
東小校区	66	13.6	19.7	10.6	7.6	7.6	13.6	1.5	13.6	10.6	9.1	3.0	6.1	4.5	6.1	1.5	1.5	13.6	45.5					
堀溝小校区	31	9.7	6.5	16.1	9.7	12.9	12.9	6.5	3.2	12.9	3.2	9.7	6.5	9.7	6.5	3.2	6.5	12.9	45.2					
三井小校区	86	19.8	14.0	10.5	16.3	12.8	11.6	12.8	12.8	9.3	5.8	7.0	7.0	5.8	5.8	—	2.3	10.5	36.0					
南小校区	44	25.0	11.4	15.9	9.1	11.4	9.1	4.5	9.1	2.3	4.5	2.3	4.5	4.5	4.5	—	—	18.2	31.8					
明和小校区	39	7.7	12.8	23.1	20.5	12.8	12.8	15.4	5.1	7.7	5.1	7.7	7.7	7.7	2.6	5.1	—	5.1	56.4					
和光小校区	43	14.0	14.0	16.3	14.0	14.0	4.7	11.6	11.6	4.7	7.0	7.0	4.7	4.7	9.3	2.3	2.3	18.6	34.9					

②特に困っていること

「暮らし向き（経済的な状況）がよくない」の割合が3.1%と最も高くなっています。平成27年度と比較すると、大きな変化はみられません。



※「さまざまな活動を行っていく場所がない」「隣近所とのコミュニケーションが取れていないと感じている」「困っていることがない」は令和元年度調査から新たに追加しました。

【年齢別】

年齢別でみると、大きな差異はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	暮らし向き(経済的な状況)がよくない	倒れてしまったときなどに、気づいて対応してくれる人がいない	病気になるったり急な用事ができたときに支えてくれる人がいない	外出のときの移動が大変である	自分や家族に介護が必要で、負担が大きい	力仕事や屋外の掃除などに不自由を感じている	隣近所とのコミュニケーションが取れていないと感じている	子育ての負担が大きい	話し相手や相談相手がいない	に不自由を感じている	日常の買物(食料品、日用品など)	食事の支度や掃除、洗濯などの	災害時に自分で避難することが難しく、支えてくれる人もいない	さまざまな活動を行っていく場所がない	近所の人などのつきあいが難しい	扱いを受けている	いじめや虐待、権利を侵害される	その他	困っていることがない	無回答
18歳～29歳	90	4.4	—	1.1	2.2	3.3	1.1	—	—	—	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	—	1.1	1.1	1.1	—	92.2
30歳～39歳	145	5.5	2.8	2.1	2.8	1.4	1.4	3.4	4.8	2.1	1.4	2.1	0.7	2.1	1.4	1.4	1.4	2.8	1.4	1.4	84.8
40歳～49歳	204	3.9	1.5	2.9	—	—	0.5	1.5	1.0	1.0	—	0.5	—	0.5	—	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	90.7
50歳～59歳	199	5.0	4.0	3.0	3.5	4.5	2.0	3.5	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.0	2.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.0	87.4
60歳～69歳	239	1.3	2.5	2.5	0.8	0.4	1.3	0.4	0.8	0.8	0.4	0.4	0.8	1.3	—	0.4	0.4	1.3	0.4	1.3	92.5
70歳以上	515	2.1	1.6	1.0	1.9	1.9	2.5	0.8	0.6	1.2	1.6	1.4	1.6	0.8	0.8	0.4	1.0	0.6	0.6	0.6	91.7

【小学校区別】

小学校区別でみると、大きな差異はみられません。

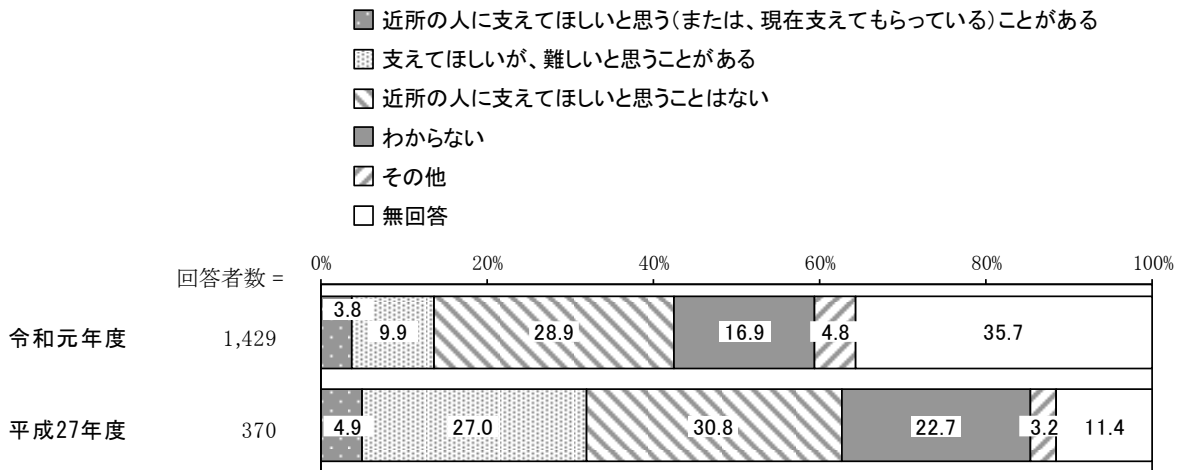
単位：%

区分	回答者数(件)	暮らし向き(経済的な状況)がよくない	倒れてしまったときなどに、気づいて対応してくれる人がいない	病気になるったり急な用事ができたときに支えてくれる人がいない	外出のときの移動が大変である	自分や家族に介護が必要で、負担が大きい	力仕事や屋外の掃除などに不自由を感じている	隣近所とのコミュニケーションが取れていないと感じている	子育ての負担が大きい	話し相手や相談相手がいない	日常の買物(食料品、日用品など)に不自由を感じている	食事の支度や掃除、洗濯などの日常の家事に不自由を感じている	難しく、支えてくれる人もいない	災害時に自分で避難することが難しい	さまざまな活動を行っていく場所がない	近所の人などのつきあいが難しい	扱いを受けている	いじめや虐待、権利を侵害される	その他	困っていることがない	無回答
池田小校区	74	4.1	1.4	2.7	2.7	2.7	2.7	1.4	4.1	2.7	2.7	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	2.7	1.4	89.2	
石津小校区	36	5.6	2.8	2.8	2.8	5.6	—	8.3	—	2.8	2.8	—	2.8	2.8	5.6	2.8	—	2.8	—	86.1	
宇谷小校区	53	—	—	—	1.9	1.9	—	—	1.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	96.2	
梅が丘小校区	61	1.6	3.3	1.6	1.6	—	1.6	1.6	3.3	—	1.6	—	1.6	1.6	—	—	1.6	—	—	86.9	
神田小校区	41	7.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.4	—	2.4	—	—	90.2	
北小校区	85	2.4	1.2	1.2	—	2.4	2.4	1.2	—	1.2	1.2	—	—	1.2	—	—	1.2	1.2	—	92.9	
木田小校区	49	—	—	2.0	—	—	—	—	4.1	2.0	—	—	—	2.0	2.0	—	2.0	—	—	89.8	
楠根小校区	24	4.2	—	—	4.2	—	4.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	95.8	
国松緑丘小校区	53	1.9	—	—	1.9	1.9	1.9	—	—	—	—	1.9	—	—	—	—	—	—	—	98.1	
啓明小校区	46	6.5	2.2	2.2	—	—	—	—	2.2	—	2.2	—	2.2	—	—	—	—	—	—	93.5	
木屋小校区	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	
桜小校区	30	3.3	—	3.3	—	—	—	3.3	—	3.3	—	—	3.3	3.3	3.3	—	—	—	—	86.7	
点野小校区	70	4.3	2.9	5.7	2.9	1.4	5.7	1.4	1.4	2.9	2.9	2.9	4.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	90.0	
成美小校区	54	3.7	1.9	1.9	1.9	—	—	1.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.9	94.4	
田井小校区	50	4.0	2.0	2.0	—	2.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.0	2.0	—	86.0	
第五小校区	153	2.0	2.0	1.3	—	0.7	—	—	1.3	0.7	—	0.7	—	—	0.7	—	0.7	1.3	—	94.8	
中央小校区	80	5.0	3.8	1.3	—	1.3	1.3	1.3	—	—	—	1.3	—	—	—	—	1.3	—	—	90.0	
西小校区	55	5.5	5.5	1.8	1.8	5.5	3.6	3.6	3.6	1.8	3.6	5.5	1.8	3.6	1.8	3.6	1.8	1.8	1.8	85.5	
東小校区	66	4.5	—	—	7.6	6.1	6.1	1.5	1.5	—	1.5	1.5	1.5	—	—	1.5	1.5	1.5	1.5	83.3	
堀溝小校区	31	3.2	3.2	6.5	6.5	3.2	—	6.5	—	—	3.2	3.2	3.2	3.2	—	3.2	6.5	—	—	83.9	
三井小校区	86	2.3	2.3	3.5	4.7	2.3	2.3	—	—	1.2	1.2	1.2	2.3	1.2	1.2	—	1.2	—	—	86.0	
南小校区	44	2.3	4.5	2.3	2.3	2.3	—	2.3	—	—	—	2.3	—	2.3	—	—	—	—	2.3	88.6	
明和小校区	39	—	—	—	—	—	—	2.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	97.4	
和光小校区	43	—	4.7	4.7	4.7	2.3	7.0	2.3	4.7	4.7	4.7	4.7	2.3	2.3	—	2.3	2.3	2.3	2.3	83.7	

問14 問13でお答えいただいたような「困りごと」について、近所の人に支援してほしいと思うことがありますか。(○は1つ)

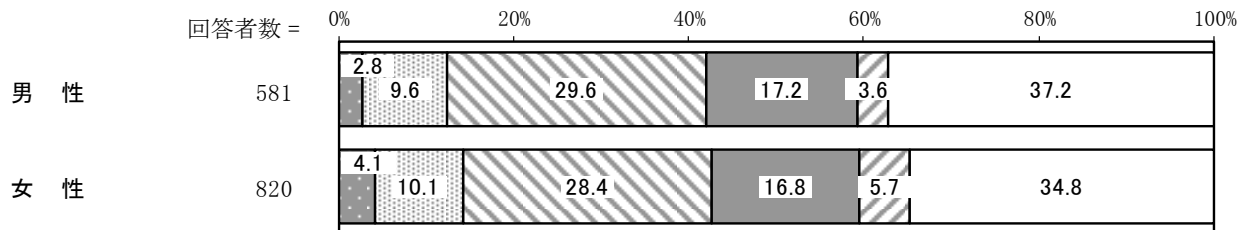
「近所の人に支えてほしいと思うことはない」の割合が28.9%と最も高く、次いで「わからない」の割合が16.9%となっています。

平成27年度と比較すると、「支えてほしいが、難しいと思うことがある」「わからない」の割合が減少しています。



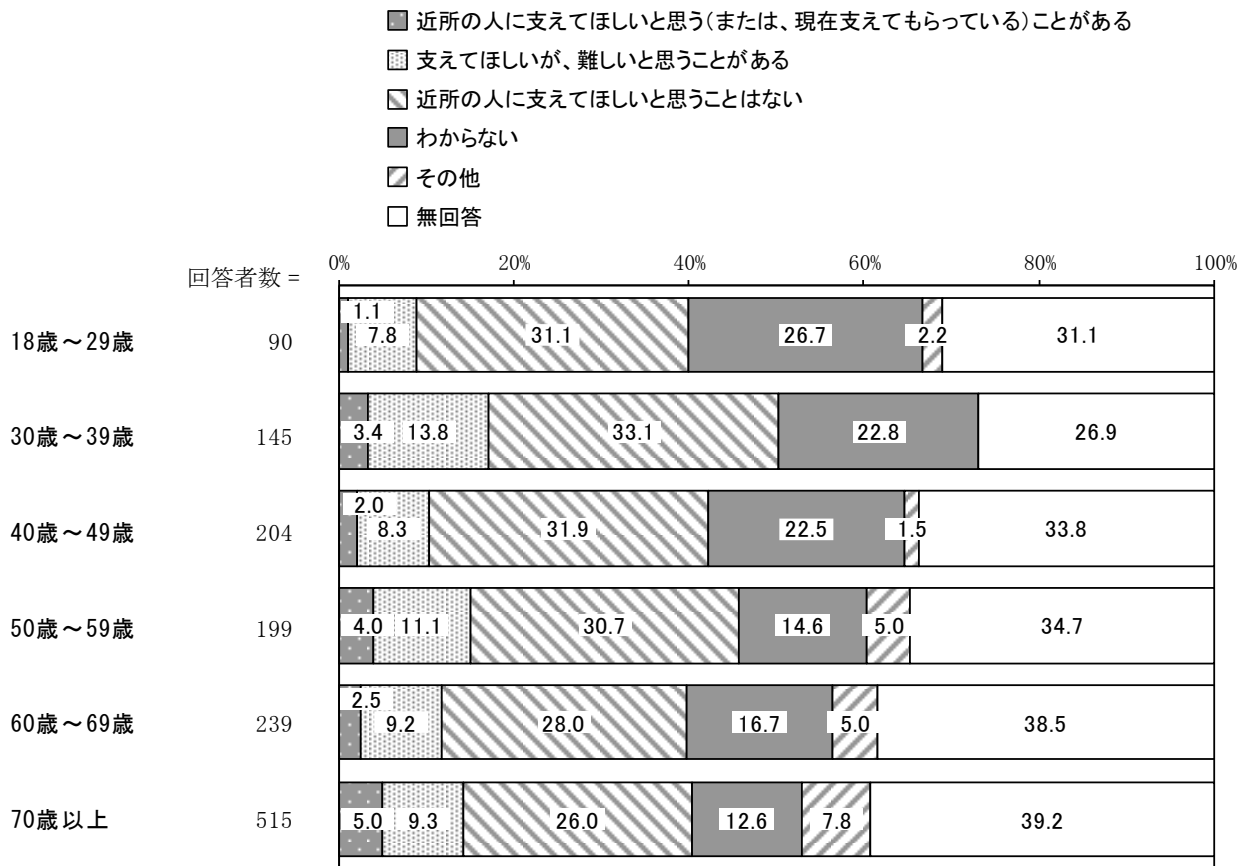
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



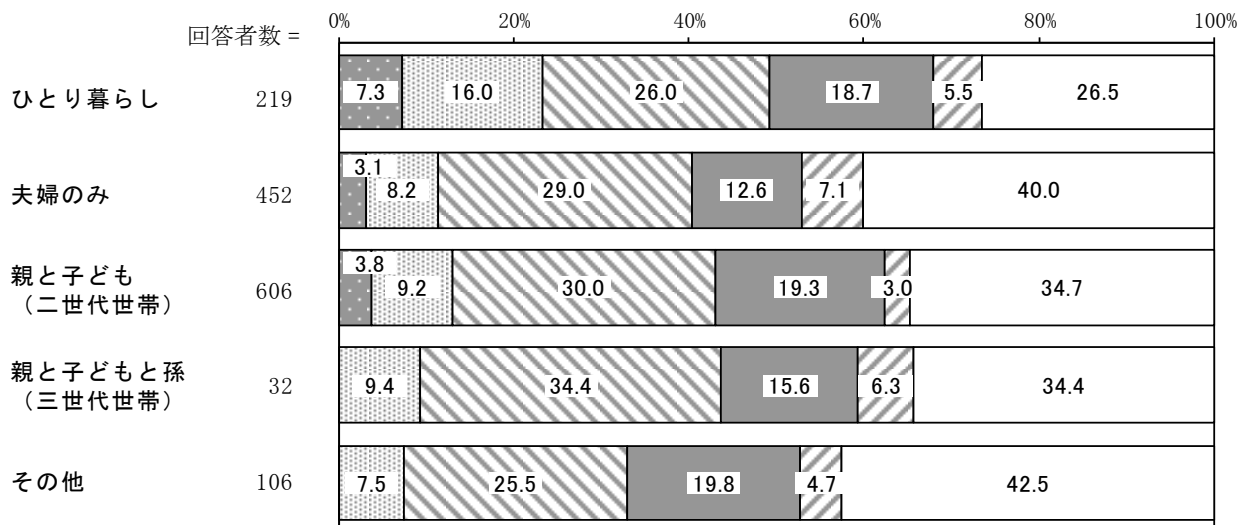
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳で「支えてほしいが、難しいと思うことがある」の割合が、18歳～29歳で「わからない」の割合が高くなっています。



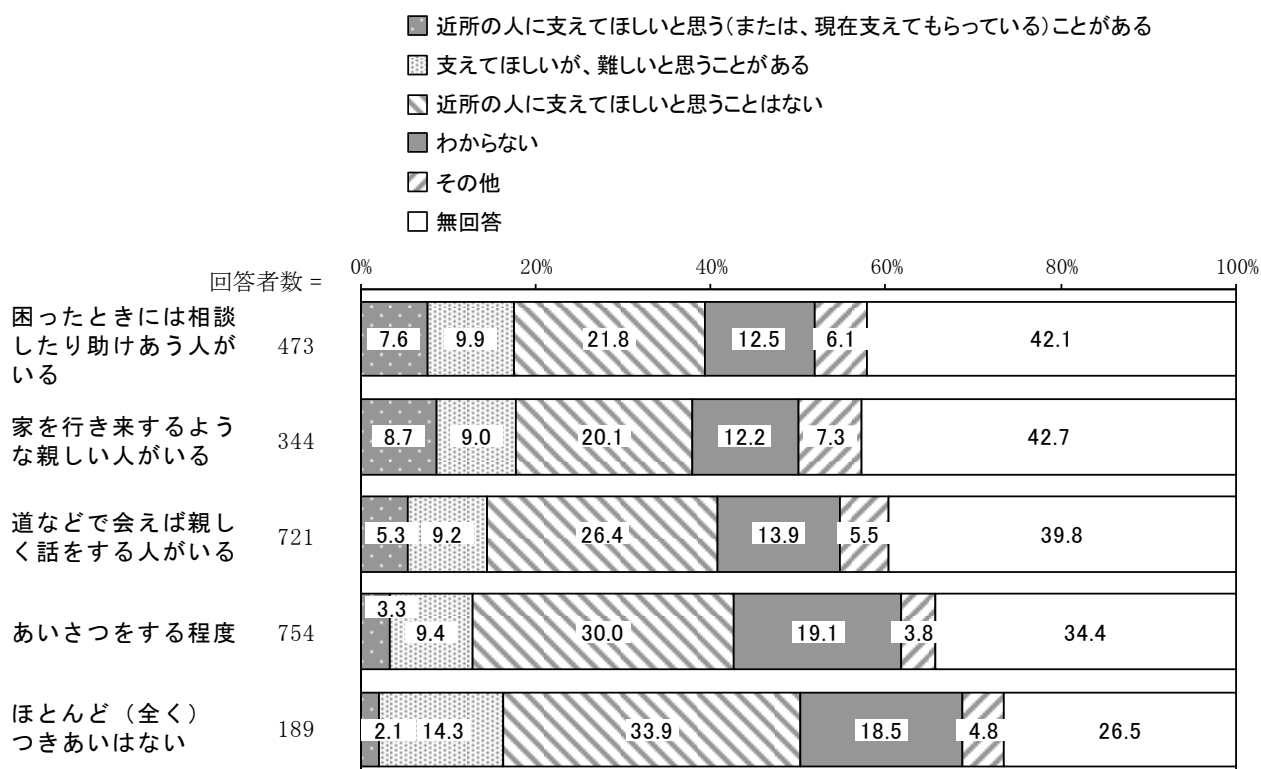
【世帯構成別】

世帯構成別でみると、他に比べ、ひとり暮らしで「支えてほしいが、難しいと思うことがある」の割合が、親と子どもと孫（三世代世帯）で「近所の人に支えてほしいと思うことはない」の割合が高くなっています。



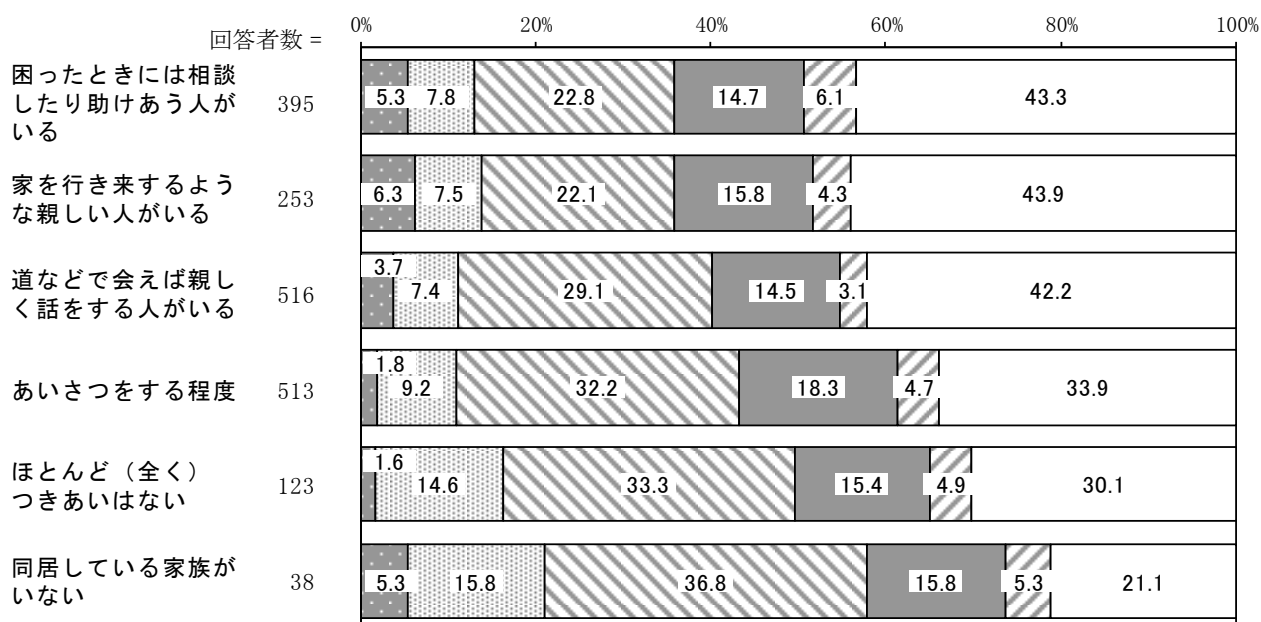
【近所付き合いの程度別】

近所付き合いの程度別でみると、近所付き合いがない人ほど「近所の人に支えてほしいと思うことはない」の割合が高くなる傾向がみられます。



【同居家族の近所付き合いの程度別】

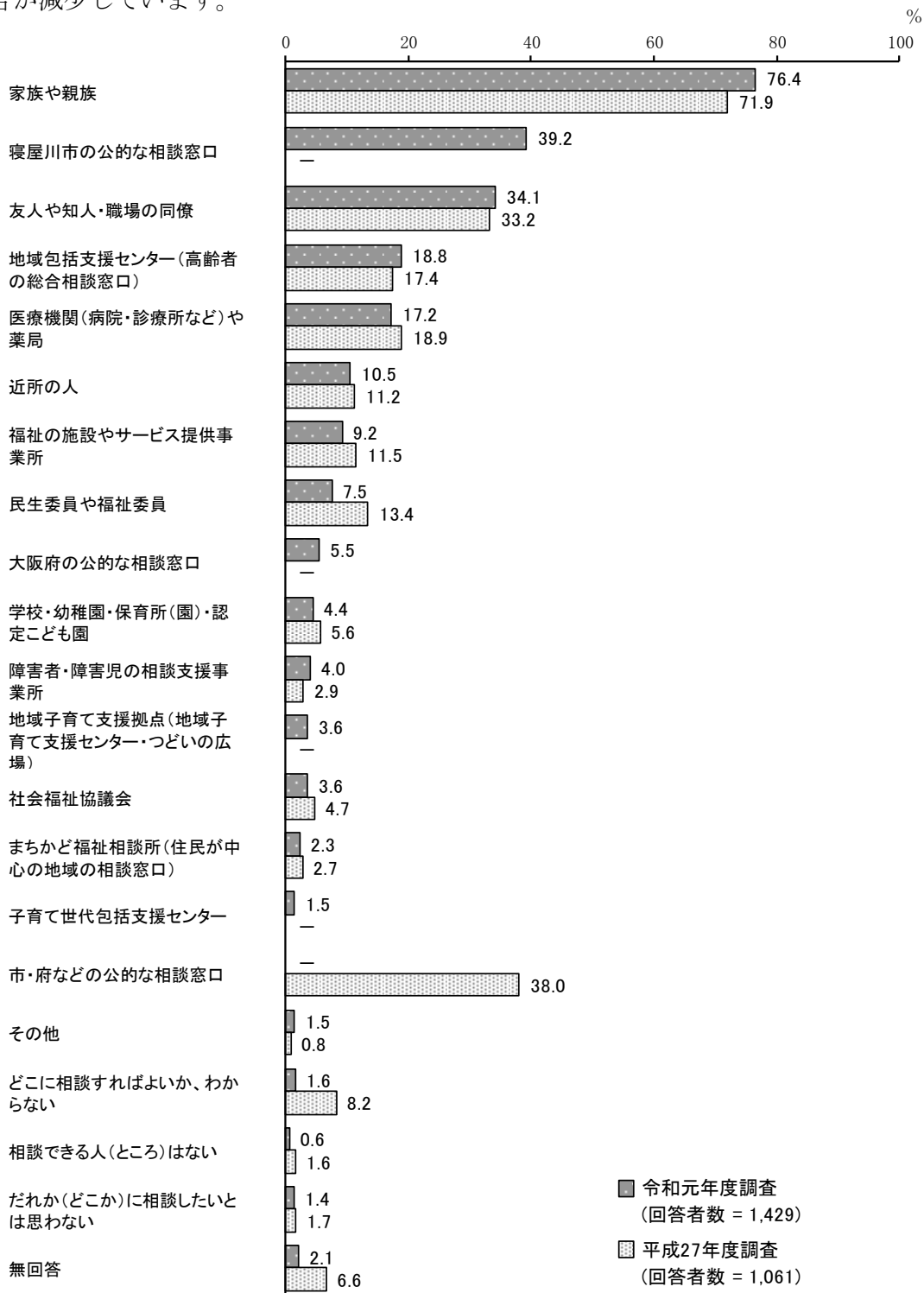
同居家族の近所付き合いの程度別でみると、近所付き合いがない人ほど「近所の人に支えてほしいと思うことはない」の割合が高くなる傾向がみられます。



問 15 あなたは福祉、介護、子育てなどに関して困ったときに、だれ（どこ）に相談しようと思いますか。（〇はいくつでも可）

「家族や親族」の割合が76.4%と最も高く、次いで「寝屋川市の公的な相談窓口」の割合が39.2%、「友人や知人・職場の同僚」の割合が34.1%となっています。

平成27年度と比較すると、「民生委員や福祉委員」「どこに相談すればよいか、わからない」の割合が減少しています。



※「寝屋川市の公的な相談窓口」「大阪府の公的な相談窓口」「地域子育て支援拠点(地域子育て支援センター・つどいの広場)」「子育て世代包括支援センター」は令和元年度調査から新たに追加しました。また、「市・府などの公的な相談窓口」は令和元年度調査にはありませんでした。

【高校生以下の家族の有無別】

高校生以下の家族の有無別でみると、高校生年代以下の子どもはいない人に比べ、子どもがいる人で「家族や親族」「友人や知人・職場の同僚」の割合が高くなっています。また、他に比べ、就学前の子どもがいる人、小学生の子どもがいる人で「学校・幼稚園・保育所（園）・認定こども園」の割合が、就学前の子どもがいる人で「地域子育て支援拠点（地域子育て支援センター・つどいの広場）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	家族や親族	寝屋川市の公的な相談窓口	友人や知人・職場の同僚	地域包括支援センター （高齢者の総合相談窓口）	医療機関（病院・診療所など）や薬局	近所の人	福祉の施設やサービス提供事業所	民生委員や福祉委員	大阪府の公的な相談窓口	学校・幼稚園・保育所（園）・認定こども園
就学前の子どもがいる	146	91.1	28.8	55.5	6.8	11.6	11.6	4.8	2.1	6.2	20.5
小学生の子どもがいる	151	87.4	30.5	57.6	4.6	13.9	19.2	4.6	4.0	4.0	22.5
中学生の子どもがいる	83	88.0	32.5	39.8	14.5	15.7	18.1	8.4	7.2	7.2	10.8
高校生年代の子どもがいる	76	82.9	30.3	56.6	10.5	14.5	14.5	10.5	3.9	6.6	1.3
高校生年代以下の子どもはいない	806	77.2	42.3	33.1	21.1	18.5	9.2	10.5	7.8	6.5	1.1

区分	障害者・障害児の相談支援事業所	地域子育て支援拠点（地域子育て支援センター・つどいの広場）	社会福祉協議会	まちかど福祉相談所 （住民が中心の地域の相談窓口）	子育て世代包括支援センター	その他	どこに相談すればよいか、わからない	相談できる人（ところ）はない	だれか（どこか）に相談したいとは思わない	無回答
就学前の子どもがいる	1.4	19.9	2.1	1.4	8.2	0.7	1.4	—	—	0.7
小学生の子どもがいる	2.0	9.3	0.7	1.3	3.3	2.0	0.7	—	1.3	0.7
中学生の子どもがいる	3.6	7.2	4.8	1.2	3.6	—	1.2	—	1.2	—
高校生年代の子どもがいる	3.9	5.3	2.6	1.3	2.6	1.3	1.3	—	1.3	1.3
高校生年代以下の子どもはいない	5.1	1.1	3.7	2.1	0.2	1.5	1.7	0.6	1.7	1.2

【介護が必要な家族の有無別】

介護が必要な家族の有無別でみると、他に比べ、介護が必要な高齢者や障害のある人はいない人、介護が必要な高齢者がいる人で「家族や親族」の割合が高くなっています。また、介護が必要な高齢者や障害のある人はいない人で「友人や知人・職場の同僚」の割合が、介護が必要な高齢者がいる人で「地域包括支援センター（高齢者の総合相談窓口）」の割合が、障害のある人や障害のある子どもがいる人で「障害者・障害児の相談支援事業所」の割合が高くなっています。

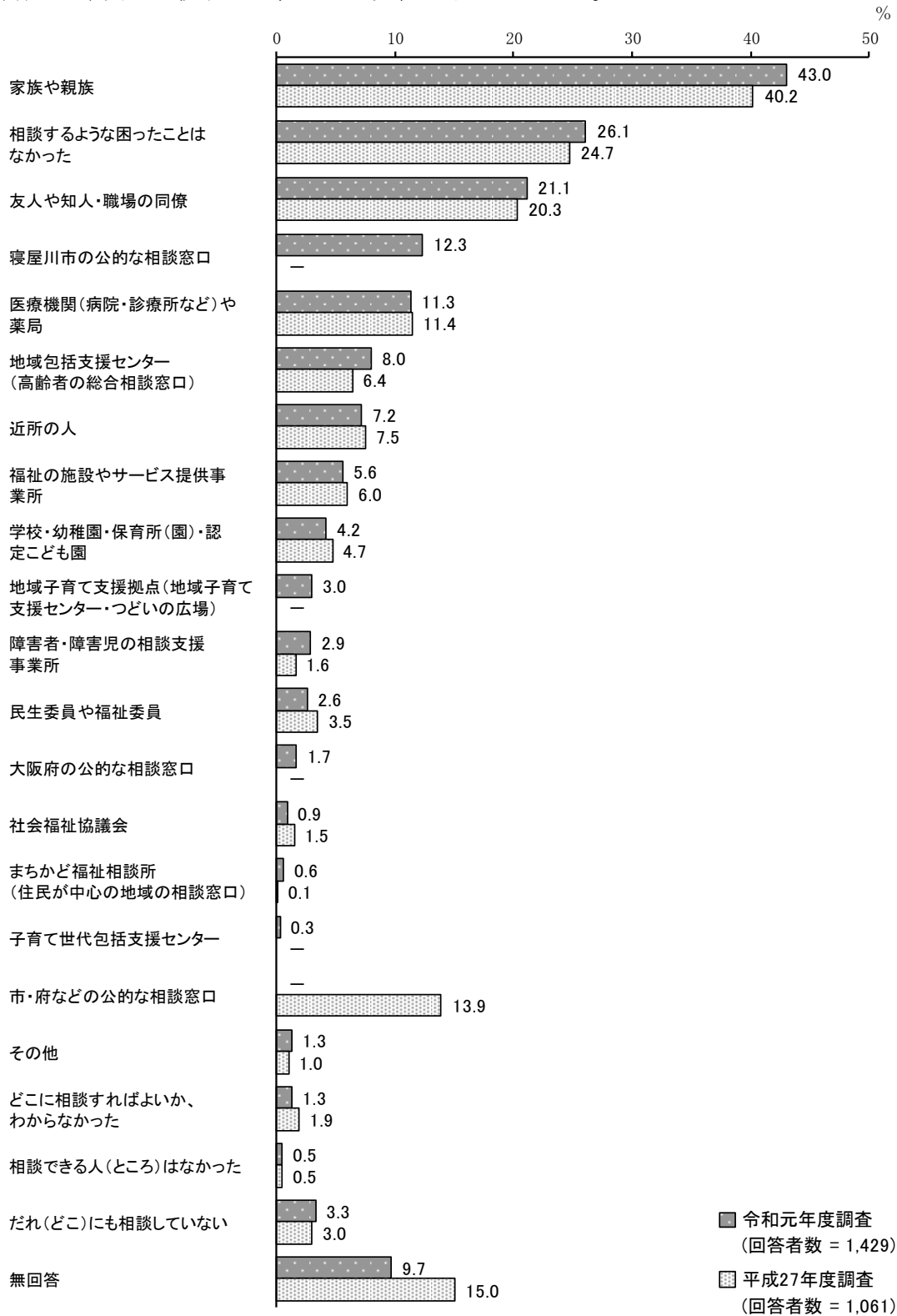
単位：％

区分	回答者数（件）	家族や親族	寝屋川市の公的な相談窓口	友人や知人・職場の同僚	地域包括支援センター（高齢者の総合相談窓口）	医療機関（病院・診療所など）や薬局	近所の人	福祉の施設やサービス提供事業所	民生委員や福祉委員	大阪府の公的な相談窓口	学校・幼稚園・保育所（園） 認定こども園
介護が必要な高齢者や障害のある人はいない	957	79.9	42.0	38.0	17.3	15.9	10.7	6.7	7.8	5.1	5.6
介護が必要な高齢者がいる	252	74.6	32.9	26.2	27.8	20.6	10.3	15.9	4.8	6.7	1.6
障害のある人や障害のある子どもがいる	150	67.3	34.7	30.7	18.7	24.7	8.0	18.7	4.0	8.0	2.7
その他	37	64.9	24.3	32.4	21.6	27.0	13.5	16.2	10.8	5.4	—

区分	障害者・障害児の相談支援事業所	地域子育て支援拠点（地域子育て支援センター・つどいの広場）	社会福祉協議会	まちかど福祉相談所（住民が中心の地域の相談窓口）	子育て世代包括支援センター	その他	どこに相談すればよいか、わからない	相談できる人（ところ）はない	だれか（どこか）に相談したいとは思わない	無回答
介護が必要な高齢者や障害のある人はいない	1.3	4.5	3.3	2.3	1.8	0.9	1.8	0.4	1.7	1.0
介護が必要な高齢者がいる	6.0	3.2	4.8	2.0	1.6	3.2	0.8	0.8	1.2	3.6
障害のある人や障害のある子どもがいる	26.7	0.7	4.0	2.0	—	1.3	2.0	0.7	1.3	2.7
その他	5.4	5.4	16.2	2.7	—	2.7	—	2.7	—	5.4

問 16 これまでに福祉、介護、子育てなどで困ったときに、あなたが実際に相談したことがある人（ところ）がありますか。（〇はいくつでも可）

「家族や親族」の割合が43.0%と最も高く、次いで「相談するような困ったことはなかった」の割合が26.1%、「友人や知人・職場の同僚」の割合が21.1%となっています。
平成27年度と比較すると、大きな変化はみられません。



※「寝屋川市の公的な相談窓」「大阪府の公的な相談窓口」「地域子育て支援拠点(地域子育て支援センター・つどいの広場)」「子育て世代包括支援センター」は令和元年度調査から新たに追加しました。また、「市・府などの公的な相談窓口」は令和元年度調査にはありませんでした。

【高校生以下の家族の有無別】

高校生以下の家族の有無別でみると、他に比べ、就学前の子どもがいる人、小学生の子どもがいる人、中学生の子どもがいる人で「家族や親族」の割合が高く、「相談するような困ったことはなかった」の割合が低くなっています。また、就学前の子どもがいる人、小学生の子どもがいる人で「友人や知人・職場の同僚」「学校・幼稚園・保育所（園）・認定こども園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	家族や親族	友人や知人・職場の同僚	寝屋川市の公的な相談窓口	医療機関（病院・診療所など）や薬局	地域包括支援センター（高齢者の総合相談窓口）	近所の人	福祉の施設やサービス提供事業所	学校・幼稚園・保育所（園）・認定こども園	地域子育て支援拠点（地域子育て支援センター・つどいの広場）	障害者・障害児の相談支援事業所
就学前の子どもがいる	146	69.2	44.5	14.4	10.3	4.8	8.2	2.1	16.4	16.4	2.1
小学生の子どもがいる	151	66.9	45.0	6.0	11.9	2.0	12.6	1.3	19.2	11.3	2.0
中学生の子どもがいる	83	63.9	26.5	9.6	6.0	4.8	16.9	2.4	8.4	3.6	—
高校生年代の子どもがいる	76	51.3	32.9	2.6	11.8	3.9	13.2	2.6	1.3	3.9	1.3
高校生年代以下の子どもはいない	806	39.1	18.5	13.5	10.9	8.7	6.3	7.2	1.6	0.9	3.6

区分	民生委員や福祉委員	大阪府の公的な相談窓口	社会福祉協議会	まちかど福祉相談所（住民が中心の地域の相談窓口）	子育て世代包括支援センター	その他	どこに相談すればよいか、わからなかった	相談できる人（ところ）はなかった	だれ（どこ）にも相談していない	相談するような困ったことはなかった	無回答
就学前の子どもがいる	1.4	1.4	—	0.7	2.7	0.7	0.7	0.7	2.1	15.1	1.4
小学生の子どもがいる	2.0	0.7	—	—	2.0	2.0	1.3	0.7	2.6	16.6	3.3
中学生の子どもがいる	2.4	3.6	—	—	—	—	—	—	3.6	19.3	2.4
高校生年代の子どもがいる	1.3	—	—	1.3	—	1.3	6.6	—	—	27.6	3.9
高校生年代以下の子どもはいない	3.0	1.7	1.2	0.6	—	1.5	1.4	0.4	3.7	29.5	7.9

【介護が必要な家族の有無別】

介護が必要な家族の有無別でみると、他に比べ、介護が必要な高齢者や障害のある人はいない人で「相談するような困ったことはなかった」の割合が高くなっています。また、介護が必要な高齢者がいる人で「家族や親族」「地域包括支援センター（高齢者の総合相談窓口）」の割合が、障害のある人や障害のある子どもがいる人で「寝屋川市の公的な相談窓口」「障害者・障害児の相談支援事業所」「医療機関（病院・診療所など）や薬局」の割合が高くなっています。

単位：％

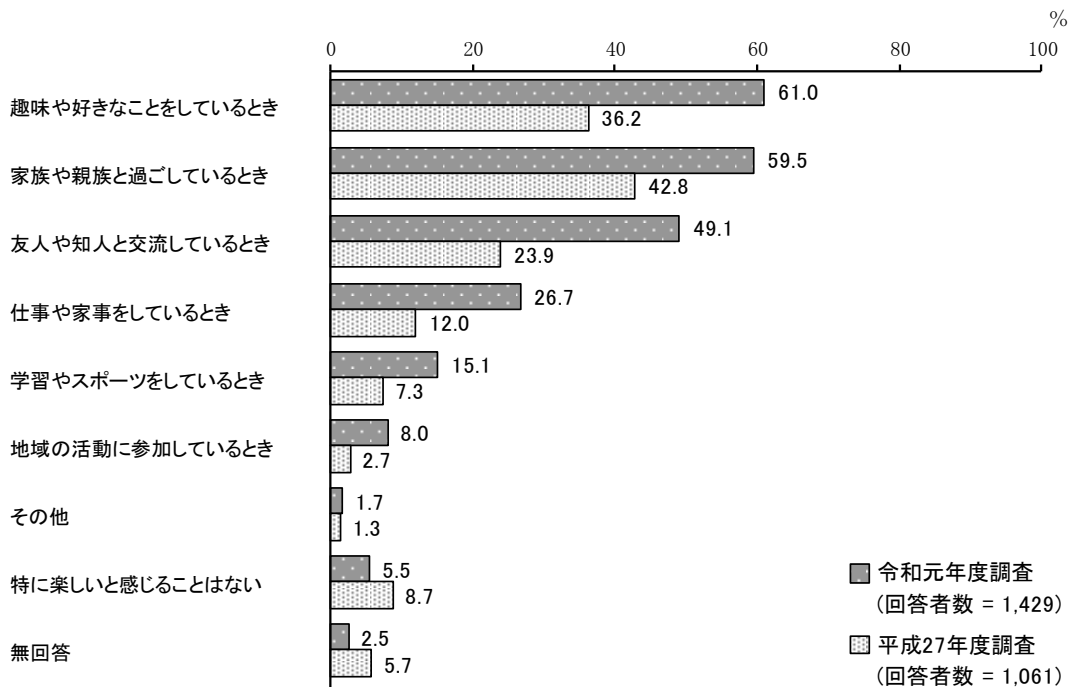
区分	回答者数（件）	家族や親族	友人や知人・職場の同	寝屋川市の公的な相談窓口	医療機関（病院・診療所など）や薬局	地域包括支援センター（高齢者の総合相談窓口）	近所の人	福祉の施設やサービス提供事業所	認定こども園	学校・幼稚園・保育所（園）	地域子育て支援拠点（地域子育て支援センター・つどいの広場）	障害者・障害児の相談支援事業所
介護が必要な高齢者や障害のある人はいない	957	40.2	21.7	8.8	7.7	4.7	6.8	3.1	5.1	3.8	0.6	
介護が必要な高齢者がいる	252	57.9	21.4	18.7	18.7	20.6	9.1	13.1	2.0	1.6	5.6	
障害のある人や障害のある子どもがいる	150	49.3	24.0	24.7	26.7	13.3	6.7	14.7	2.7	0.7	21.3	
その他	37	43.2	29.7	16.2	8.1	10.8	—	—	2.7	8.1	2.7	

区分	民生委員や福祉委員	大阪府の公的な相談窓口	社会福祉協議会	まちかど福祉相談所（住民が中心の地域の相談窓口）	子育て世代包括支援センター	その他	どこに相談すればよいか、わからなかった	相談できる人（ところ）はなかった	だれ（どこ）にも相談していない	相談するような困ったことはなかった	無回答
介護が必要な高齢者や障害のある人はいない	1.7	1.1	0.7	0.3	0.4	0.7	1.0	0.3	3.4	34.0	9.3
介護が必要な高齢者がいる	3.2	3.2	1.2	1.6	—	3.2	2.4	—	3.6	7.5	6.3
障害のある人や障害のある子どもがいる	3.3	5.3	1.3	2.0	—	2.7	1.3	1.3	2.0	8.0	5.3
その他	8.1	—	8.1	—	—	—	—	—	8.1	13.5	8.1

問 17 あなたは、日常生活の中で、どのようなときに生きがいや充実感を感じますか。
(〇はいくつでも可)

「趣味や好きなことをしているとき」の割合が 61.0%と最も高く、次いで「家族や親族と過ごしているとき」の割合が 59.5%、「友人や知人と交流しているとき」の割合が 49.1%となっています。

平成 27 年度と比較すると、「家族や親族と過ごしているとき」「友人や知人と交流しているとき」「趣味や好きなことをしているとき」「地域の活動に参加しているとき」「学習やスポーツをしているとき」「仕事や家事をしているとき」の割合が増加しています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「家族や親族と過ごしているとき」「友人や知人と交流しているとき」「仕事や家事をしているとき」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	趣味や好きなことをしているとき	家族や親族と過ごしているとき	友人や知人と交流しているとき	仕事や家事をしているとき	学習やスポーツをしているとき	地域の活動に参加しているとき	その他	特に楽しいと感じることはない	無回答
男性	581	60.6	51.8	37.9	22.0	16.5	6.5	1.0	7.1	2.1
女性	820	61.7	65.2	57.3	30.4	14.3	8.9	1.8	4.3	2.6

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「友人や知人と交流しているとき」「趣味や好きなことをしているとき」「学習やスポーツをしているとき」の割合が、30歳～39歳で「家族や親族と過ごしているとき」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	趣味や好きなことをしているとき	家族や親族と過ごしているとき	友人や知人と交流しているとき	仕事や家事をしているとき	学習やスポーツをしているとき	地域の活動に参加しているとき	その他	特に楽しいと感じることはない	無回答
18歳～29歳	90	73.3	54.4	65.6	20.0	23.3	—	1.1	5.6	—
30歳～39歳	145	64.1	72.4	55.9	30.3	17.9	2.1	1.4	4.8	—
40歳～49歳	204	60.3	61.8	43.6	32.4	14.7	2.0	0.5	6.4	0.5
50歳～59歳	199	67.3	60.8	45.7	35.7	17.6	7.5	—	5.0	1.5
60歳～69歳	239	62.8	55.6	49.4	31.8	17.2	8.4	1.3	2.9	2.5
70歳以上	515	55.7	57.7	48.2	19.2	11.7	13.4	2.7	6.6	4.1

【性・年齢別】

性・年齢別でみると、他に比べ、女性の30歳～39歳で「家族や親族と過ごしているとき」の割合が、女性の18歳～29歳で「友人や知人と交流しているとき」の割合が、男性の18歳～29歳で「趣味や好きなことをしているとき」の割合が高くなっています。また、女性の40歳～49歳、50歳～59歳で「仕事や家事をしているとき」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	趣味や好きなことをしているとき	家族や親族と過ごしているとき	友人や知人と交流しているとき	仕事や家事をしているとき	学習やスポーツをしているとき	地域の活動に参加しているとき	その他	特に楽しいと感じることはない	無回答
男性 18歳～29歳	36	75.0	30.6	50.0	19.4	25.0	—	—	8.3	—
30歳～39歳	53	69.8	66.0	50.9	28.3	24.5	1.9	—	3.8	—
40歳～49歳	91	59.3	52.7	27.5	24.2	15.4	2.2	—	7.7	1.1
50歳～59歳	73	63.0	52.1	31.5	27.4	21.9	11.0	—	8.2	2.7
60歳～69歳	117	59.0	44.4	39.3	29.1	15.4	6.0	1.7	4.3	1.7
70歳以上	210	56.7	55.2	38.6	14.3	12.4	9.5	1.9	8.6	3.3
女性 18歳～29歳	54	72.2	70.4	75.9	20.4	22.2	—	1.9	3.7	—
30歳～39歳	92	60.9	76.1	58.7	31.5	14.1	2.2	2.2	5.4	—
40歳～49歳	113	61.1	69.0	56.6	38.9	14.2	1.8	0.9	5.3	—
50歳～59歳	125	70.4	65.6	53.6	40.8	15.2	5.6	—	3.2	0.8
60歳～69歳	122	66.4	66.4	59.0	34.4	18.9	10.7	0.8	1.6	3.3
70歳以上	304	54.9	59.2	54.9	22.7	10.9	16.1	3.3	5.3	4.6

問 18 隣近所で困っている方がおられた場合、「1 手助けできる（現在既に手助けしている）こと」、「2 今後手助けできると思うこと」はありますか。また、あなたが「4 現在、または、将来的に手助けをしてほしいと思うこと」はありますか。それぞれに○を付けてください。

『①安否確認の声かけ』で「手助けできる（現在、既に手助けしている）」の割合が高くなっています。また、『①安否確認の声かけ』『⑭災害時における避難』で「現在、または、将来的に手助けをしてほしいと思うこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	1 手助けできる (現在、既に手助け している)	2 今後手助けできる	3 手助けできない	4 現在、または、将来的 に手助けをしてほし いと思うこと	無回答
①安否確認の声かけ	1,429	23.4	37.2	12.7	15.7	23.4
②話し相手	1,429	17.2	30.2	20.2	7.0	31.1
③悩み事、心配事の相談	1,429	12.2	20.6	27.3	6.0	37.8
④ちょっとした買い物	1,429	12.7	27.5	24.1	7.2	33.3
⑤ちょっとした家事(電球交換など)	1,429	11.1	25.3	24.2	7.3	36.4
⑥ごみ出し	1,429	13.1	27.2	24.2	4.5	34.5
⑦食事づくりや洗濯	1,429	4.5	9.0	43.0	5.0	41.0
⑧短時間の子どもの預かり	1,429	4.5	11.4	40.0	2.4	43.3
⑨子育ての相談	1,429	5.3	15.2	33.9	2.4	44.6
⑩保育園、幼稚園の送迎	1,429	3.2	9.3	42.8	2.4	43.5
⑪通院の付き添い・送迎	1,429	4.2	10.0	41.2	7.3	40.4
⑫病気の時の看病	1,429	3.5	6.6	45.3	5.1	41.5
⑬高齢者や障害のある人の介護、介助	1,429	3.5	8.1	43.4	7.2	41.1
⑭災害時における避難	1,429	9.7	30.9	18.5	17.2	32.3

①安否確認の声かけ

【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「手助けできる（現在、既に手助けしている）」「現在、または、将来的に手助けをしてほしいと思うこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	手助けできる （現在、既に手助けしている）	今後手助けできる	手助けできない	現在、または、将来的に 手助けをしてほしいと 思うこと	無回答
男	581	18.4	39.2	15.3	11.4	24.6
女	820	27.0	36.5	10.9	19.1	21.8

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「今後手助けできる」の割合が低くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	有効回答数（件）	手助けできる （現在、既に手助けしている）	今後手助けできる	手助けできない	現在、または、将来的に 手助けをしてほしいと 思うこと	無回答
18歳～29歳	90	24.4	48.9	15.6	11.1	7.8
30歳～39歳	145	23.4	49.0	13.8	20.0	9.7
40歳～49歳	204	21.6	46.6	16.7	12.7	11.8
50歳～59歳	199	25.1	47.2	14.1	20.6	13.1
60歳～69歳	239	25.5	38.5	10.9	15.1	23.0
70歳以上	515	21.9	25.4	10.5	15.1	37.7

②話し相手

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「手助けできない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「手助けできる（現在、既に手助けしている）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	手助けできる （現在、既に手助け している）	今後手助けできる	手助けできない	現在、または、将来的に 手助けをしてほしいと 思うこと	無回答
男	581	12.9	28.2	24.8	5.9	31.8
女	820	20.4	31.8	17.2	8.0	29.9

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「今後手助けできる」の割合が低くなる傾向がみられます。また、他に比べ、30歳～59歳で「手助けできない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	手助けできる （現在、既に手助け している）	今後手助けできる	手助けできない	現在、または、将来的に 手助けをしてほしいと 思うこと	無回答
18歳～29歳	90	18.9	47.8	20.0	3.3	11.1
30歳～39歳	145	20.0	37.2	29.7	10.3	12.4
40歳～49歳	204	16.2	34.8	29.4	7.8	17.6
50歳～59歳	199	15.6	35.7	29.6	8.5	17.6
60歳～69歳	239	15.9	30.5	20.1	5.9	33.1
70歳以上	515	17.7	22.1	10.9	6.6	48.0

③悩み事、心配事の相談

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「手助けできない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「手助けできる（現在、既に手助けしている）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	手助けできる （現在、既に手助けしている）	今後手助けできる	手助けできない	現在、または、将来的に手助けをしてほしいと思うこと	無回答
男	581	8.4	20.3	32.4	5.5	36.7
女	820	15.1	21.3	24.0	6.5	37.6

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「今後手助けできる」の割合が低くなる傾向がみられます。年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳、50歳～59歳で「手助けできない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	手助けできる （現在、既に手助けしている）	今後手助けできる	手助けできない	現在、または、将来的に手助けをしてほしいと思うこと	無回答
18歳～29歳	90	14.4	34.4	34.4	4.4	13.3
30歳～39歳	145	15.9	29.7	37.2	11.7	13.8
40歳～49歳	204	13.2	28.9	33.8	8.3	21.1
50歳～59歳	199	12.6	27.1	37.2	6.5	21.1
60歳～69歳	239	13.4	18.8	27.6	3.3	39.3
70歳以上	515	9.7	11.8	17.5	4.9	59.4

④ちょっとした買い物

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「手助けできない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	手助けできる (現在、既に手助け している)	今後手助けできる	手助けできない	現在、または、将来的に 手助けをしてほしいと 思うこと	無回答
男	581	11.0	26.3	27.4	4.6	33.2
女	820	14.0	28.9	22.1	9.3	32.3

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～49歳で「手助けできない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	手助けできる (現在、既に手助け している)	今後手助けできる	手助けできない	現在、または、将来的に 手助けをしてほしいと 思うこと	無回答
18歳～29歳	90	17.8	33.3	33.3	1.1	14.4
30歳～39歳	145	14.5	35.2	35.9	9.0	13.1
40歳～49歳	204	12.7	29.4	34.3	8.8	19.6
50歳～59歳	199	12.1	38.7	29.1	4.5	20.1
60歳～69歳	239	13.8	33.1	18.0	7.5	34.7
70歳以上	515	10.7	18.1	16.5	8.0	50.7

⑤ちょっとした家事（電球交換など）

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「今後手助けできる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	手助けできる （現在、既に手助け している）	今後手助けできる	手助けできない	現在、または、将来的に 手助けをしてほしいと 思うこと	無回答
男	581	11.5	28.9	23.2	4.8	34.1
女	820	10.7	23.5	25.0	9.3	37.2

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「今後手助けできる」の割合が低くなる傾向がみられます。また、他に比べ、18歳～59歳で「手助けできない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	手助けできる （現在、既に手助け している）	今後手助けできる	手助けできない	現在、または、将来的に 手助けをしてほしいと 思うこと	無回答
18歳～29歳	90	15.6	36.7	32.2	1.1	14.4
30歳～39歳	145	13.8	39.3	32.4	6.9	13.8
40歳～49歳	204	12.3	31.9	30.9	8.8	20.6
50歳～59歳	199	11.6	35.2	30.2	5.5	22.1
60歳～69歳	239	12.1	24.3	22.6	6.7	39.7
70歳以上	515	8.0	15.1	16.7	8.9	55.3

⑥ごみ出し

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「手助けできない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	手助けできる (現在、既に手助け している)	今後手助けできる	手助けできない	現在、または、将来的に 手助けをしてほしいと 思うこと	無回答
男	581	11.5	27.4	27.4	3.1	32.5
女	820	14.3	27.4	22.3	5.6	35.0

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～59歳で「手助けできない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	手助けできる (現在、既に手助け している)	今後手助けできる	手助けできない	現在、または、将来的に 手助けをしてほしいと 思うこと	無回答
18歳～29歳	90	17.8	28.9	36.7	1.1	15.6
30歳～39歳	145	12.4	40.0	34.5	3.4	12.4
40歳～49歳	204	13.2	28.4	33.8	6.4	22.1
50歳～59歳	199	12.6	33.7	31.2	4.0	22.1
60歳～69歳	239	12.6	31.4	19.2	4.6	36.4
70歳以上	515	12.4	19.4	15.5	4.9	51.7

⑦食事づくりや洗濯

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「手助けできない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	手助けできる （現在、既に手助け している）	今後手助けできる	手助けできない	現在、または、将来的に 手助けをしてほしいと 思うこと	無回答
男	581	4.0	7.4	47.8	5.7	37.7
女	820	5.0	10.4	40.1	4.8	42.3

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳、30歳～39歳、50歳～59歳「手助けできない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	手助けできる （現在、既に手助け している）	今後手助けできる	手助けできない	現在、または、将来的に 手助けをしてほしいと 思うこと	無回答
18歳～29歳	90	10.0	12.2	61.1	2.2	15.6
30歳～39歳	145	6.2	12.4	63.4	6.2	15.9
40歳～49歳	204	3.9	14.2	54.4	6.4	23.5
50歳～59歳	199	3.0	8.5	59.8	3.5	27.1
60歳～69歳	239	5.0	11.7	40.2	3.3	42.7
70歳以上	515	3.5	4.9	25.4	6.2	62.5

⑧短時間の子どもの預かり

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「手助けできない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	手助けできる （現在、既に手助け している）	今後手助けできる	手助けできない	現在、または、将来的に 手助けをしてほしいと 思うこと	無回答
男	581	2.4	8.8	46.0	1.5	41.7
女	820	6.1	13.7	36.1	3.0	43.5

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「今後手助けできる」の割合が低くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	有効回答数（件）	手助けできる （現在、既に手助け している）	今後手助けできる	手助けできない	現在、または、将来的に 手助けをしてほしいと 思うこと	無回答
18歳～29歳	90	10.0	21.1	47.8	5.6	16.7
30歳～39歳	145	6.2	22.8	54.5	9.0	15.2
40歳～49歳	204	6.4	13.7	52.0	5.4	24.5
50歳～59歳	199	4.0	16.1	52.3	1.5	27.6
60歳～69歳	239	5.4	10.0	41.4	0.4	43.5
70歳以上	515	2.1	5.0	25.0	—	67.8

⑨子育ての相談

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「手助けできない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「手助けできる（現在、既に手助けしている）」「今後手助けできる」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	手助けできる （現在、既に手助け している）	今後手助けできる	手助けできない	現在、または、将来的に 手助けをしてほしいと 思うこと	無回答
男	581	2.4	10.7	42.3	2.1	43.2
女	820	7.6	18.8	28.4	2.7	44.6

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「今後手助けできる」の割合が低くなる傾向がみられます。また、他に比べ、18歳～29歳で「手助けできない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	手助けできる （現在、既に手助け している）	今後手助けできる	手助けできない	現在、または、将来的に 手助けをしてほしいと 思うこと	無回答
18歳～29歳	90	6.7	23.3	48.9	6.7	15.6
30歳～39歳	145	9.7	29.0	42.8	8.3	17.9
40歳～49歳	204	7.4	24.5	40.2	5.4	24.5
50歳～59歳	199	9.5	20.6	41.2	1.5	28.6
60歳～69歳	239	2.9	13.0	37.2	0.4	46.4
70歳以上	515	2.7	5.8	22.9	0.2	68.7

⑩保育園、幼稚園の送迎

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「手助けできない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	手助けできる (現在、既に手助け している)	今後手助けできる	手助けできない	現在、または、将来的に 手助けをしてほしいと 思うこと	無回答
男	581	2.6	8.8	46.3	1.7	41.0
女	820	3.8	10.0	41.0	2.9	44.3

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～39歳で「手助けできない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	手助けできる (現在、既に手助け している)	今後手助けできる	手助けできない	現在、または、将来的に 手助けをしてほしいと 思うこと	無回答
18歳～29歳	90	7.8	10.0	61.1	6.7	15.6
30歳～39歳	145	4.8	17.2	59.3	9.7	16.6
40歳～49歳	204	3.9	11.3	56.9	5.4	24.0
50歳～59歳	199	3.5	12.1	57.3	1.0	27.1
60歳～69歳	239	2.9	13.4	39.7	—	44.4
70歳以上	515	1.9	3.7	26.4	0.2	67.8

①通院の付き添い・送迎

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「手助けできない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	手助けできる (現在、既に手助け している)	今後手助けできる	手助けできない	現在、または、将来的に 手助けをしてほしいと 思うこと	無回答
男	581	4.1	9.0	44.6	5.7	38.9
女	820	4.4	11.1	39.5	8.7	40.2

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳で「手助けできない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	手助けできる (現在、既に手助け している)	今後手助けできる	手助けできない	現在、または、将来的に 手助けをしてほしいと 思うこと	無回答
18歳～29歳	90	12.2	13.3	56.7	4.4	14.4
30歳～39歳	145	5.5	15.2	60.0	5.5	17.9
40歳～49歳	204	3.4	13.7	53.9	9.3	22.5
50歳～59歳	199	2.5	13.1	57.3	5.5	24.6
60歳～69歳	239	3.8	13.8	37.7	6.3	43.1
70歳以上	515	3.7	4.3	25.0	8.7	61.0

⑫病気の時の看病

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「手助けできない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	手助けできる (現在、既に手助け している)	今後手助けできる	手助けできない	現在、または、将来的に 手助けをしてほしいと 思うこと	無回答
男	581	3.3	5.7	49.2	5.2	39.1
女	820	3.8	7.4	43.4	5.2	42.1

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳で「手助けできない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	手助けできる (現在、既に手助け している)	今後手助けできる	手助けできない	現在、または、将来的に 手助けをしてほしいと 思うこと	無回答
18歳～29歳	90	11.1	11.1	62.2	3.3	13.3
30歳～39歳	145	3.4	12.4	64.8	9.0	15.2
40歳～49歳	204	2.9	11.3	58.3	7.4	23.5
50歳～59歳	199	2.0	7.5	61.8	4.0	26.1
60歳～69歳	239	2.9	5.4	44.4	4.6	44.4
70歳以上	515	3.5	2.9	27.4	4.3	63.5

⑬高齢者や障害のある人の介護、介助

【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

単位：％

区分	有効回答数(件)	手助けできる (現在、既に手助け している)	今後手助けできる	手助けできない	現在、または、将来的に 手助けをしてほしいと 思うこと	無回答
男	581	2.9	7.9	46.1	7.4	39.2
女	820	3.8	8.5	42.2	7.1	41.6

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳で「手助けできない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	手助けできる (現在、既に手助け している)	今後手助けできる	手助けできない	現在、または、将来的に 手助けをしてほしいと 思うこと	無回答
18歳～29歳	90	7.8	17.8	55.6	6.7	15.6
30歳～39歳	145	3.4	11.7	63.4	8.3	17.9
40歳～49歳	204	2.9	13.7	55.9	10.3	22.5
50歳～59歳	199	4.0	10.1	57.3	9.0	24.1
60歳～69歳	239	3.8	7.5	41.0	6.3	44.4
70歳以上	515	2.3	3.3	27.8	5.4	63.1

⑭災害時における避難

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「今後手助けできる」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	手助けできる （現在、既に手助け している）	今後手助けできる	手助けできない	現在、または、将来的に 手助けをしてほしいと 思うこと	無回答
男	581	10.0	37.9	17.0	14.6	28.1
女	820	9.9	26.8	19.5	19.3	34.1

【年齢別】

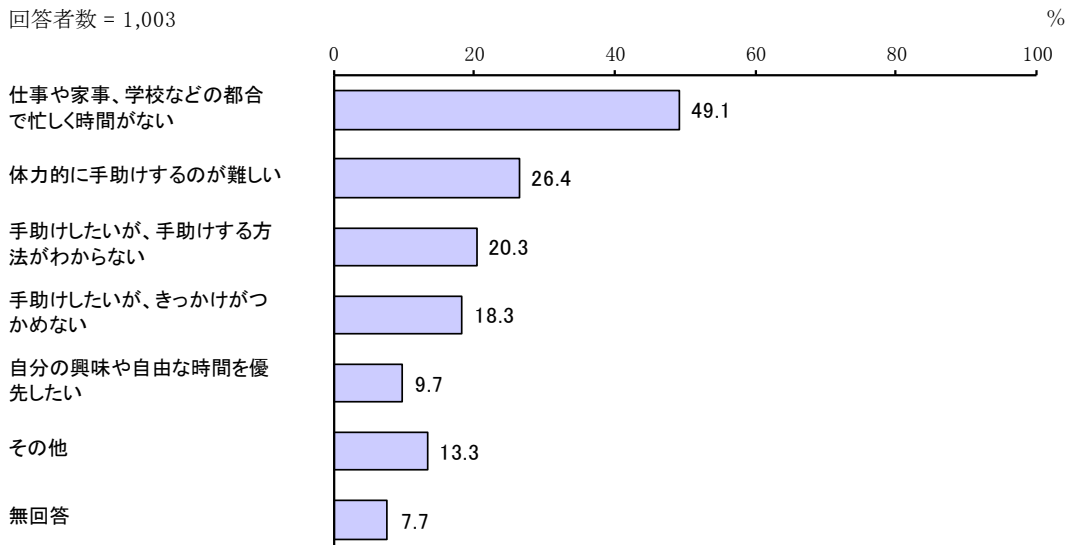
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「今後手助けできる」の割合が低くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	有効回答数（件）	手助けできる （現在、既に手助け している）	今後手助けできる	手助けできない	現在、または、将来的に 手助けをしてほしいと 思うこと	無回答
18歳～29歳	90	16.7	53.3	13.3	13.3	10.0
30歳～39歳	145	13.1	48.3	16.6	23.4	14.5
40歳～49歳	204	11.3	39.7	22.5	16.7	19.1
50歳～59歳	199	11.1	37.7	24.6	21.6	20.1
60歳～69歳	239	9.6	34.7	17.6	15.5	31.0
70歳以上	515	6.6	16.1	16.5	15.5	49.7

問 19 現在、手助けできない、または、手助けできない理由は何ですか。
(〇はいくつでも可)

「仕事や家事、学校などの都合で忙しく時間がない」の割合が 49.1%と最も高く、次いで「体力的に手助けするのが難しい」の割合が 26.4%、「手助けしたいが、手助けする方法がわからない」の割合が 20.3%となっています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「体力的に手助けするのが難しい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	仕事や家事、学校などの都合で忙しく時間がない	体力的に手助けするのが難しい	手助けしたいが、手助けする方法がわからない	手助けしたいが、きっかけがつかめない	自分の興味や自由な時間を優先したい	その他	無回答
男	420	50.0	22.1	20.7	18.6	11.4	9.0	6.4
女	570	48.8	29.1	20.4	18.2	8.2	16.5	8.2

【年齢別】

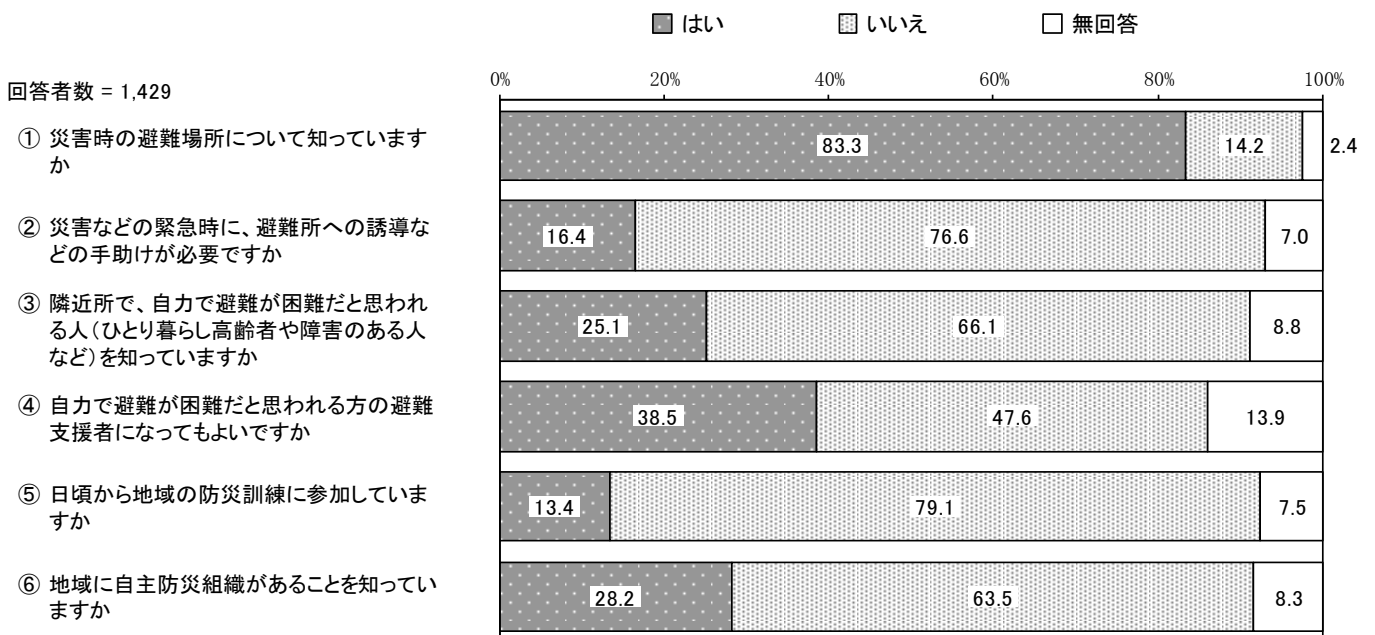
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「体力的に手助けするのが難しい」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、30歳～39歳で「仕事や家事、学校などの都合で忙しく時間がない」の割合が、18歳～29歳で「手助けしたいが、きっかけがつかめない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	仕事や家事、学校などの都合で忙しく時間がない	体力的に手助けするのが難しい	手助けしたいが、手助けする方法がわからない	手助けしたいが、きっかけがつかめない	自分の興味や自由な時間を優先したい	その他	無回答
18歳～29歳	78	61.5	2.6	29.5	29.5	9.0	7.7	3.8
30歳～39歳	128	78.9	11.7	26.6	21.9	10.2	17.2	1.6
40歳～49歳	169	71.0	11.2	20.7	14.8	9.5	12.4	2.4
50歳～59歳	168	67.9	20.8	23.2	14.9	13.1	14.9	6.0
60歳～69歳	165	46.1	21.8	24.2	23.0	9.7	13.9	7.9
70歳以上	279	10.0	53.8	11.5	15.4	7.2	11.8	15.4

問 20 あなたの防災に対する日頃からの取組や、災害など緊急時の対応について、お聞かせください。

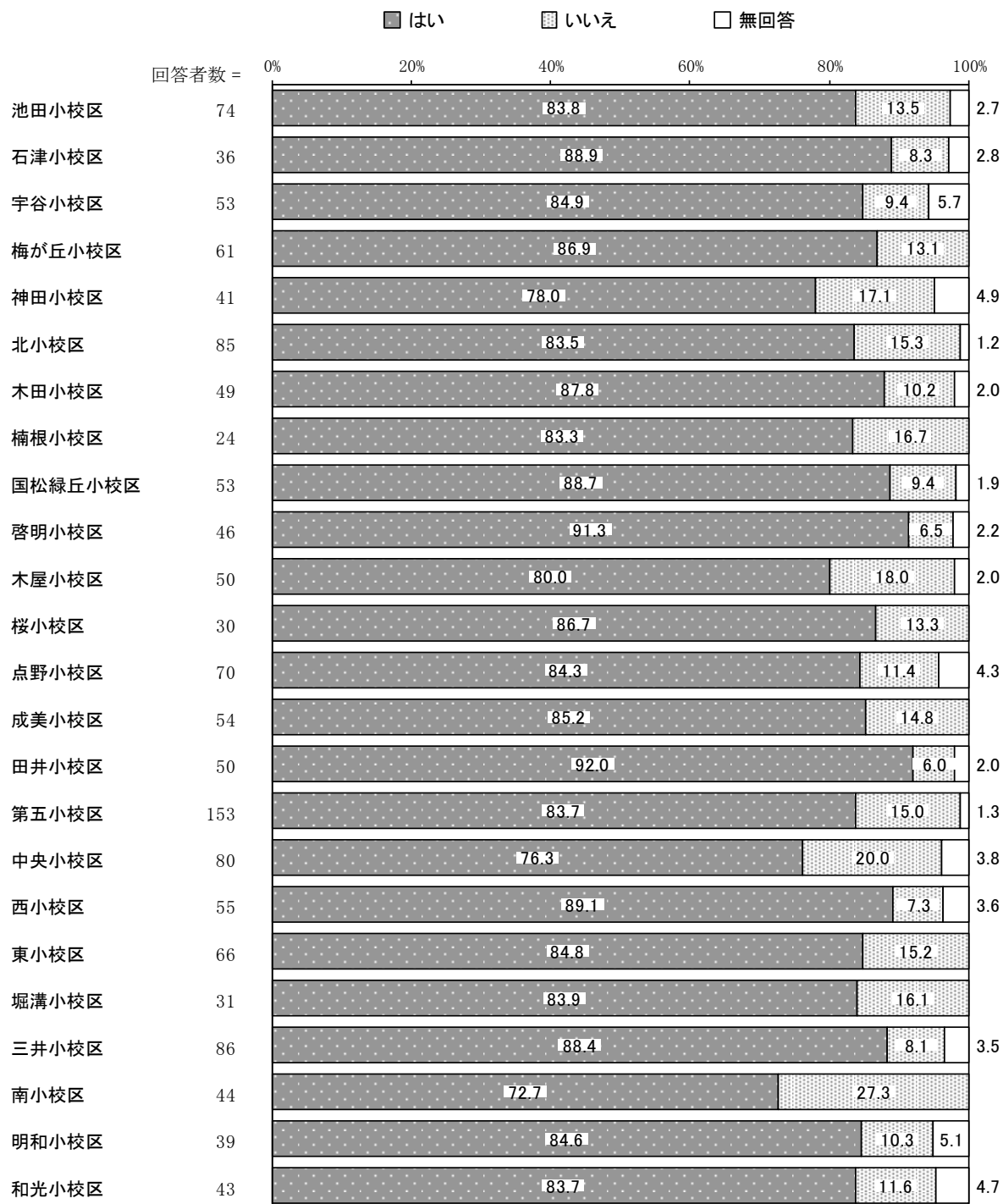
『①災害時の避難場所について知っていますか』で「はい」の割合が高くなっています。また、『②災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要ですか』『⑤日頃から地域の防災訓練に参加していますか』で「いいえ」の割合が高くなっています。



①災害時の避難場所について知っていますか

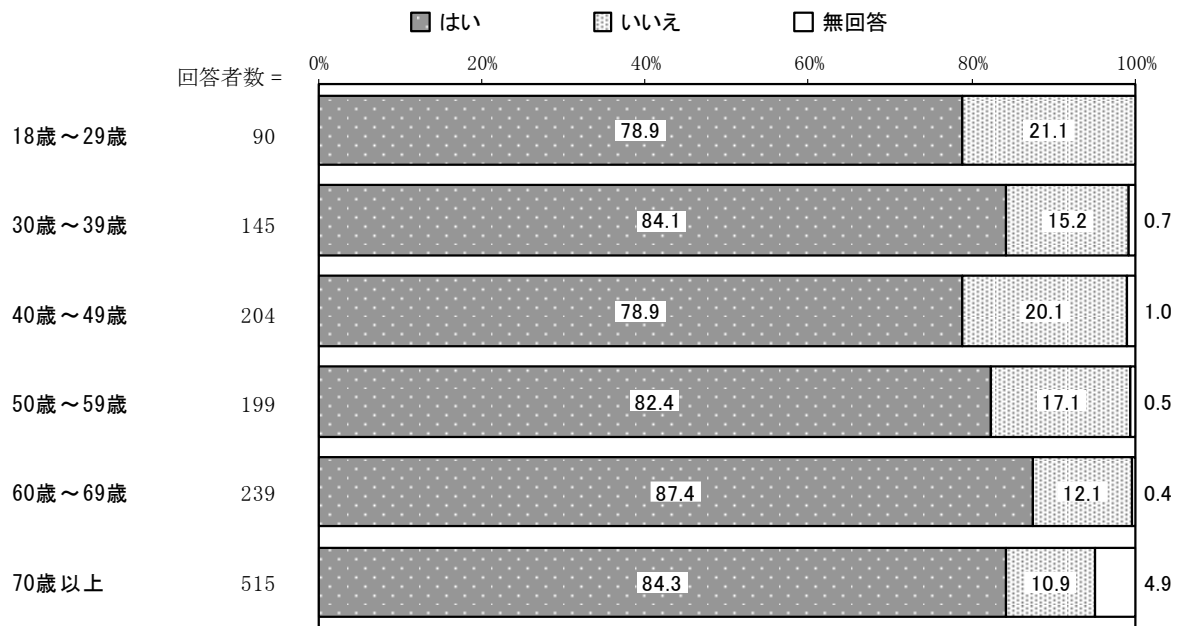
【小学校区別】

小学校区別でみると、他に比べ、啓明小校区で「はい」の割合が高くなっています。また、南小校区で「いいえ」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳、40歳～49歳で「はい」の割合が低くなっています。



②災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要ですか

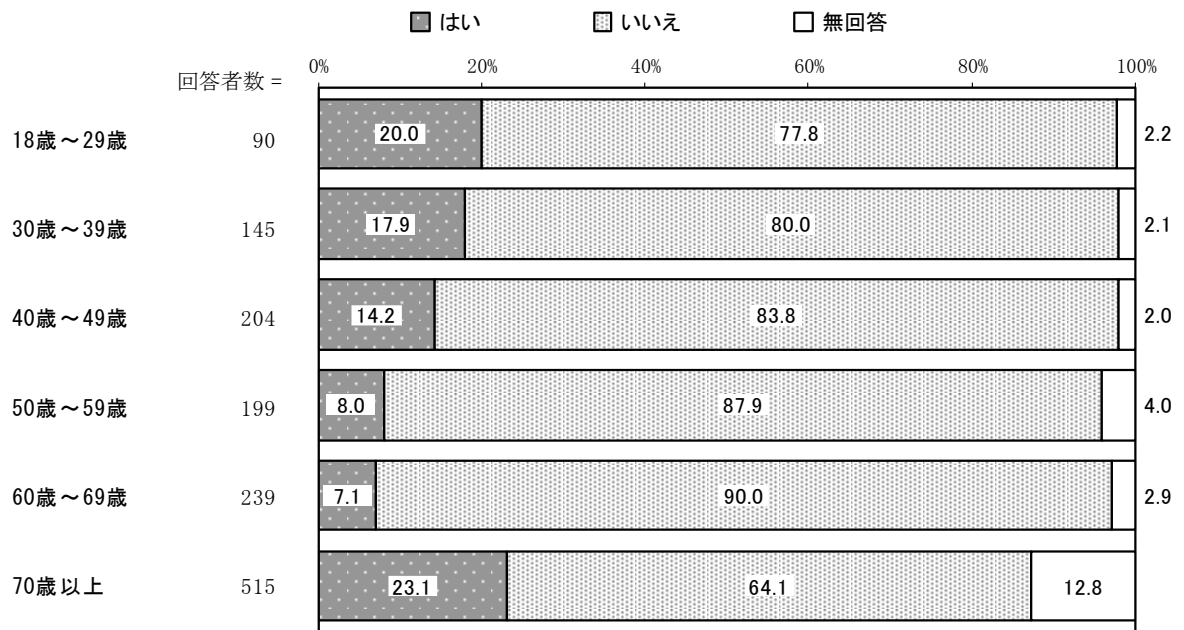
【小学校区別】

小学校区別でみると、他に比べ、三井小校区で「はい」の割合が高くなっています。



【年齢別】

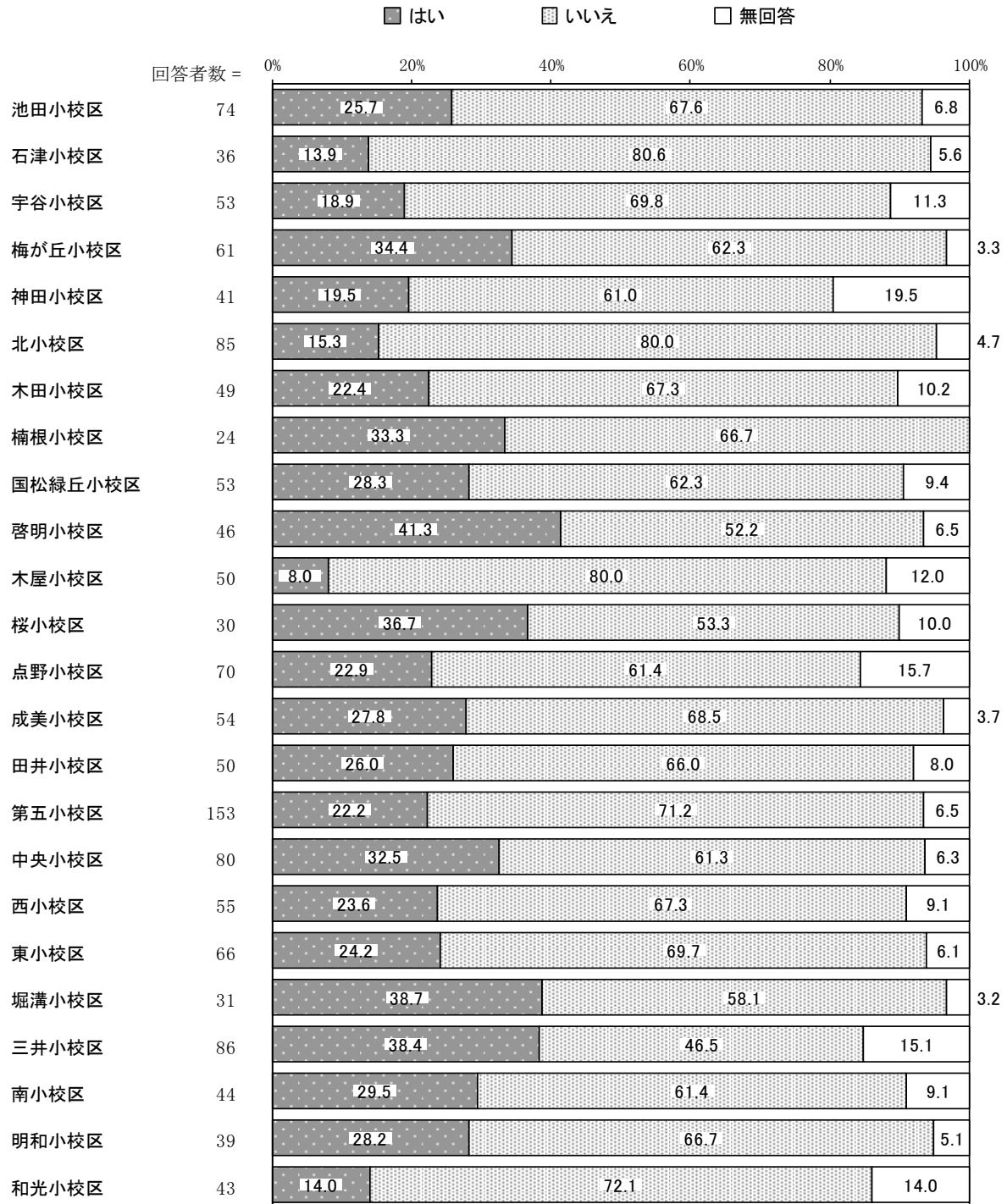
年齢別でみると、他に比べ、50歳～69歳で「はい」の割合が低くなっています。



③隣近所で、自力で避難が困難だと思われる人（ひとり暮らし高齢者や障害のある人など）を知っていますか

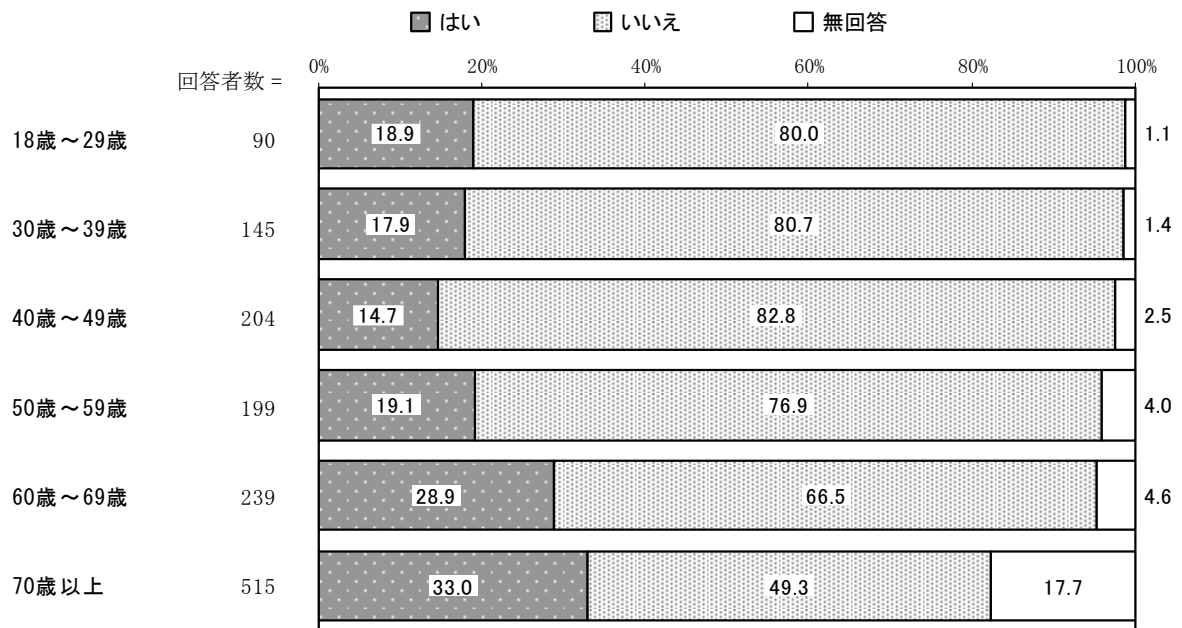
【小学校区別】

小学校区別でみると、他に比べ、啓明小校区、堀溝小校区、三井小校区で「はい」の割合が高くなっています。また、石津小校区、北小校区、木屋小校区で「いいえ」の割合が高くなっています。



【年齢別】

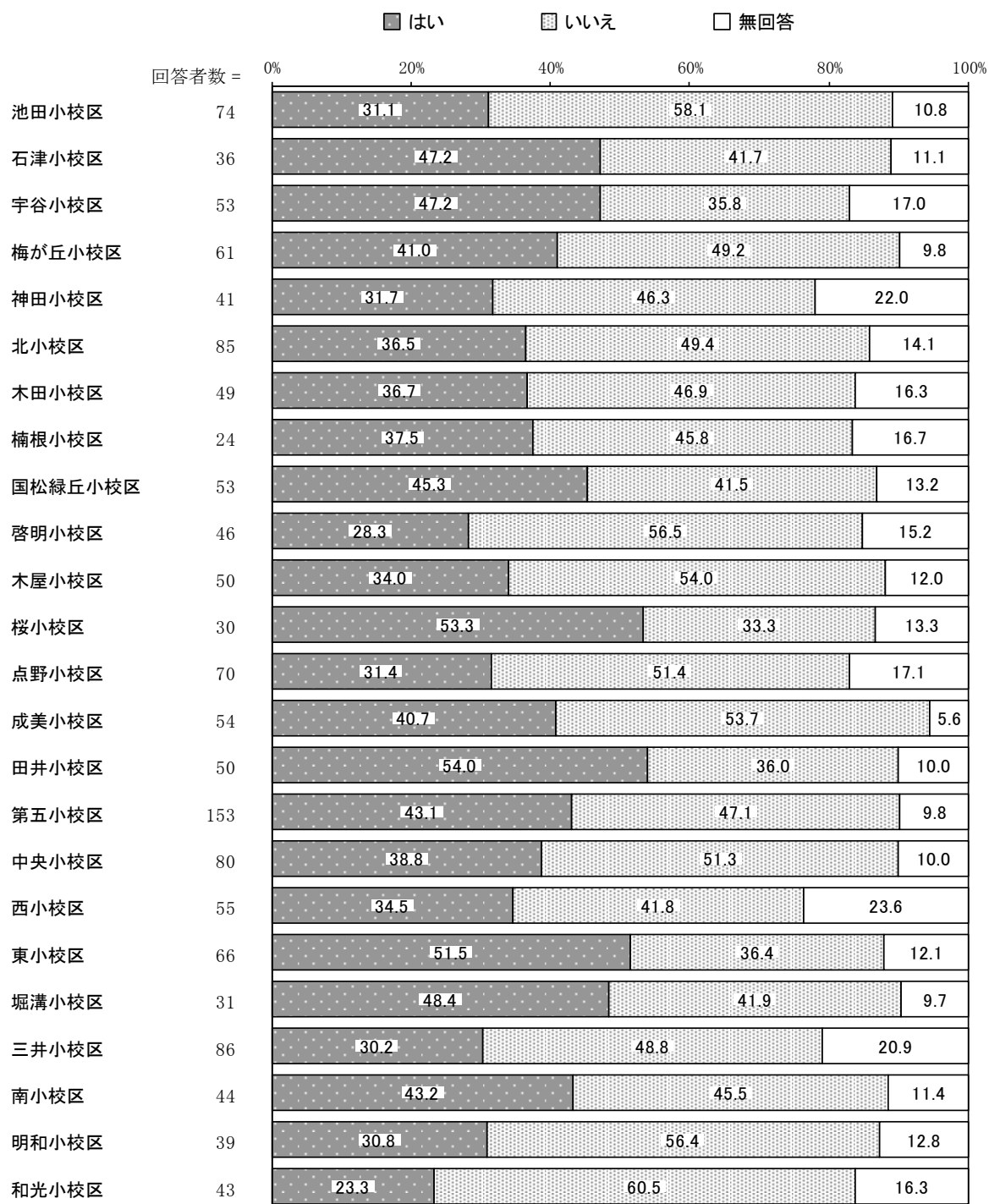
年齢別でみると、他に比べ、60歳以上で「はい」の割合が高くなっています。



④自力で避難が困難だと思われる方の避難支援者になってもよいですか

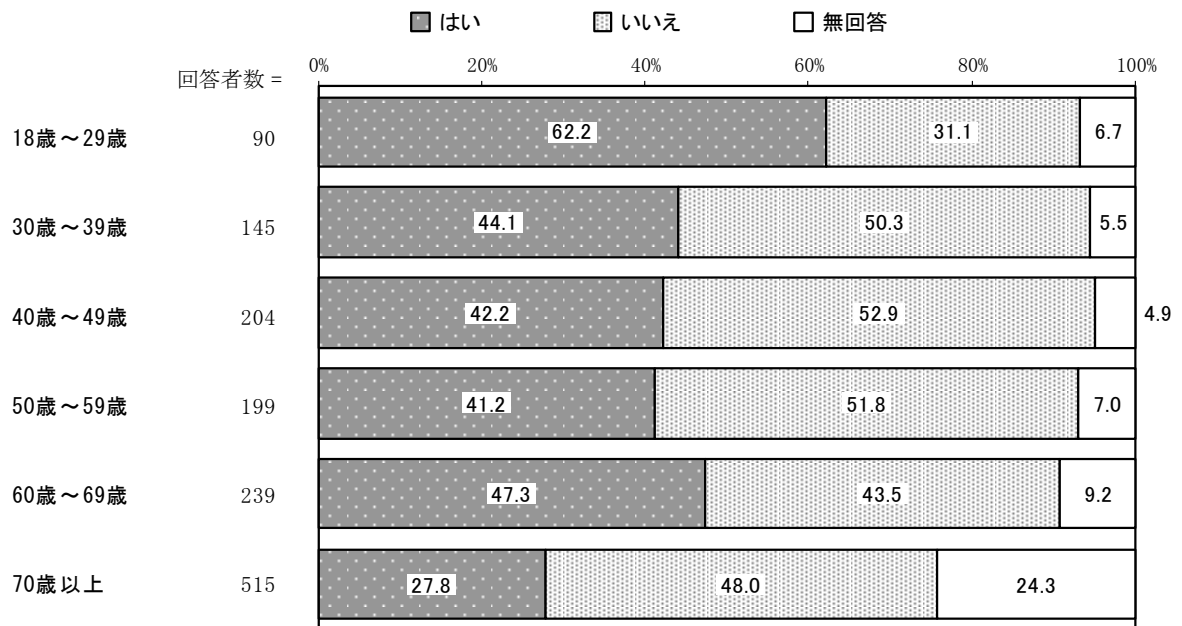
【小学校区別】

小学校区別で見ると、他に比べ、桜小校区、田井小校区、東小校区で「はい」の割合が高くなっています。また、池田小校区、和光小校区で「いいえ」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で「はい」の割合が低くなっています。



⑤日頃から地域の防災訓練に参加していますか

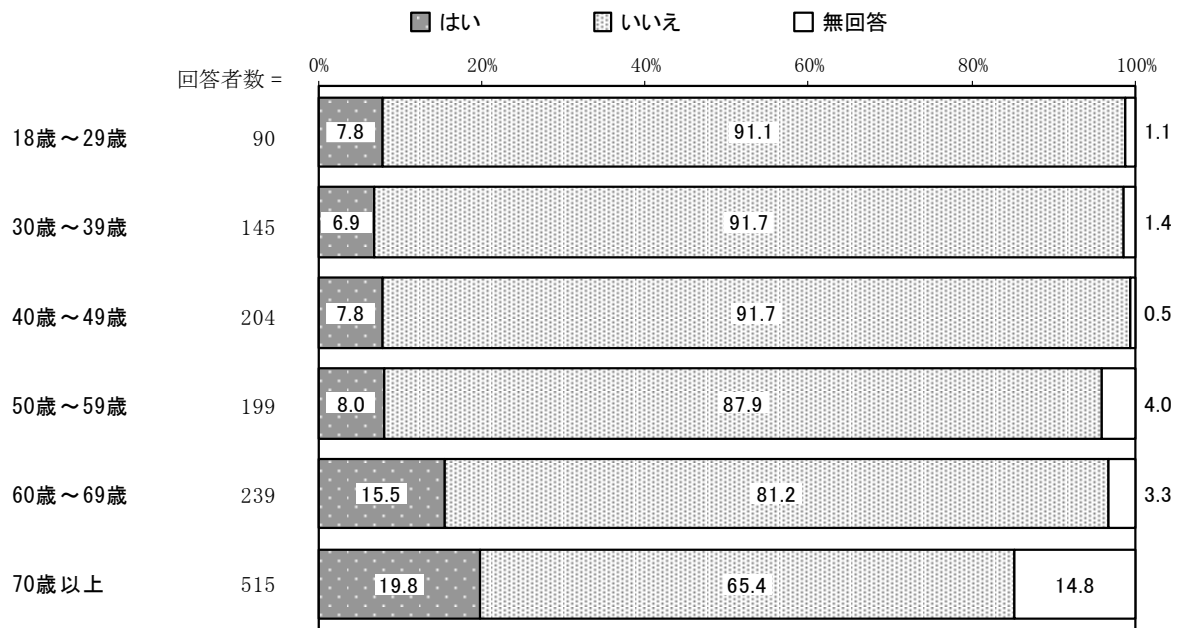
【小学校区別】

小学校区別でみると、他に比べ、堀溝小校区で「はい」の割合が高くなっています。また、池田小校区、東小校区で「いいえ」の割合が高くなっています。



【年齢別】

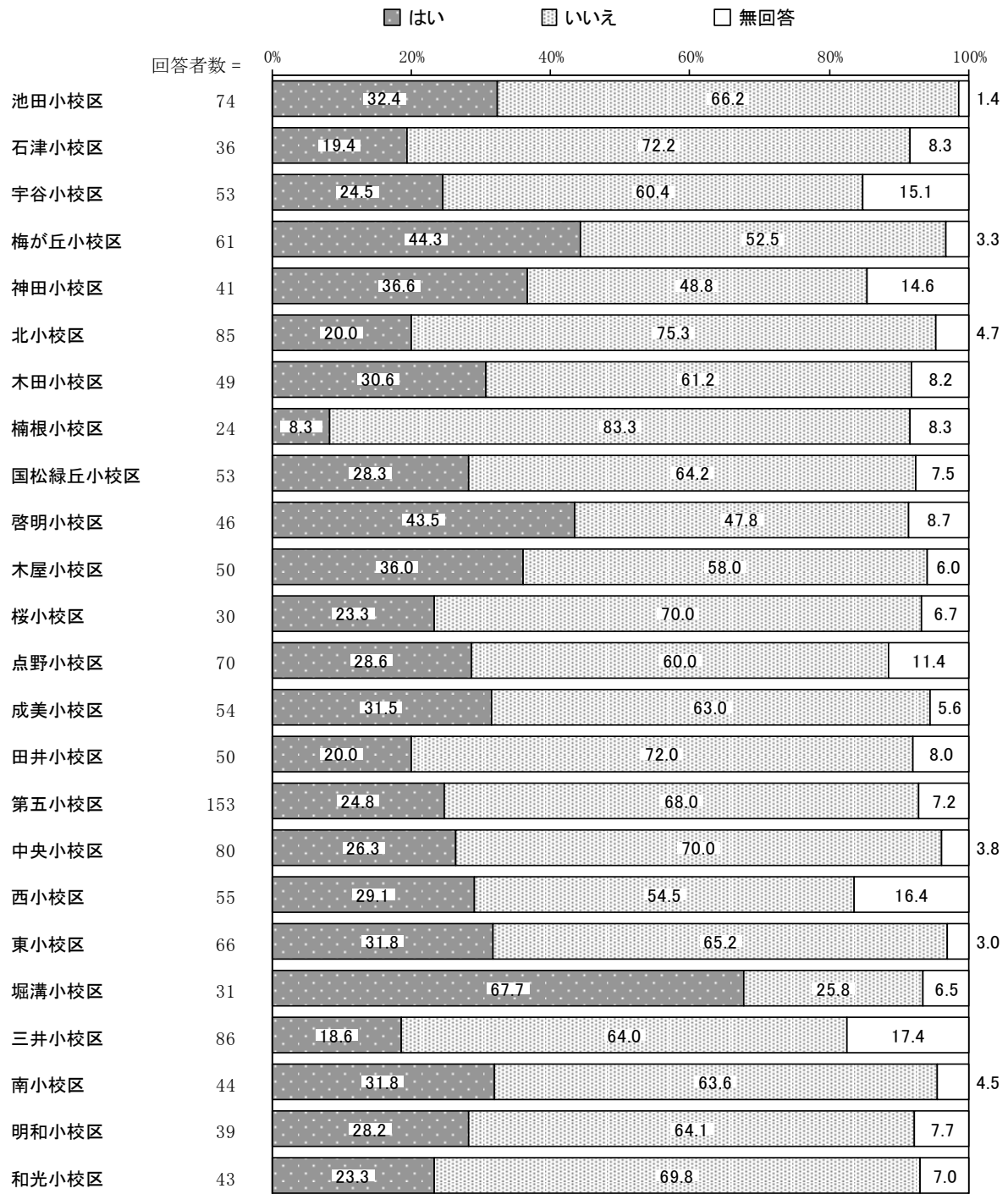
年齢別でみると、他に比べ、60歳以上で「はい」の割合が高くなっています。



⑥地域に自主防災組織があることを知っていますか

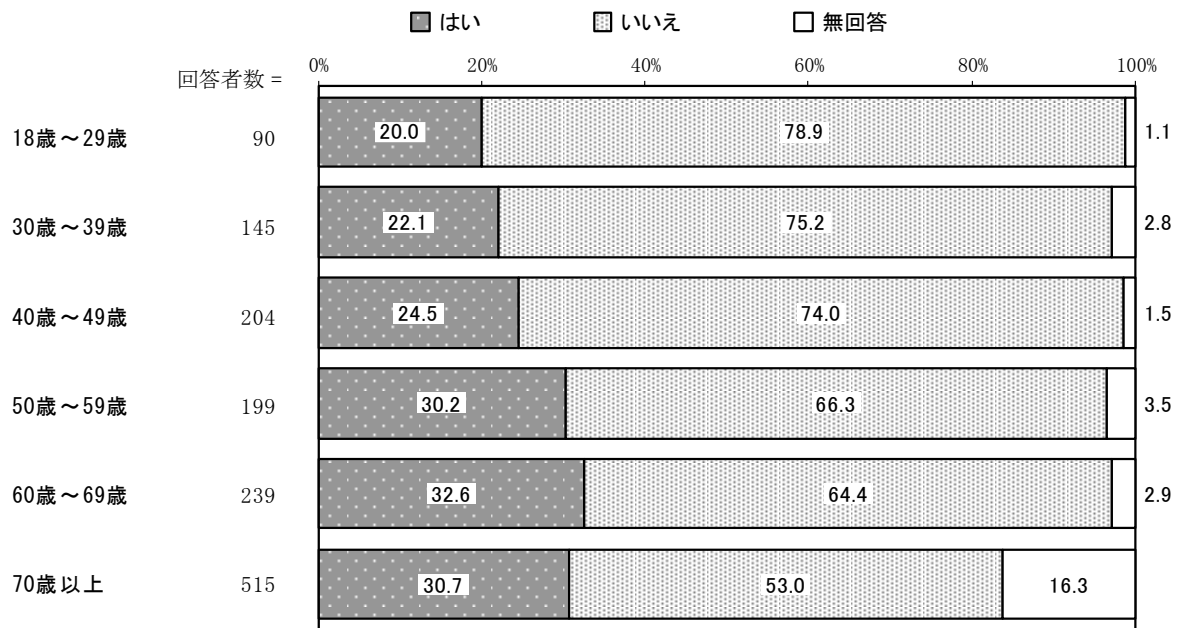
【小学校区別】

小学校区別でみると、他に比べ、堀溝小校区で「はい」の割合が高くなっています。また、楠根小校区で「いいえ」の割合が高くなっています。



【年齢別】

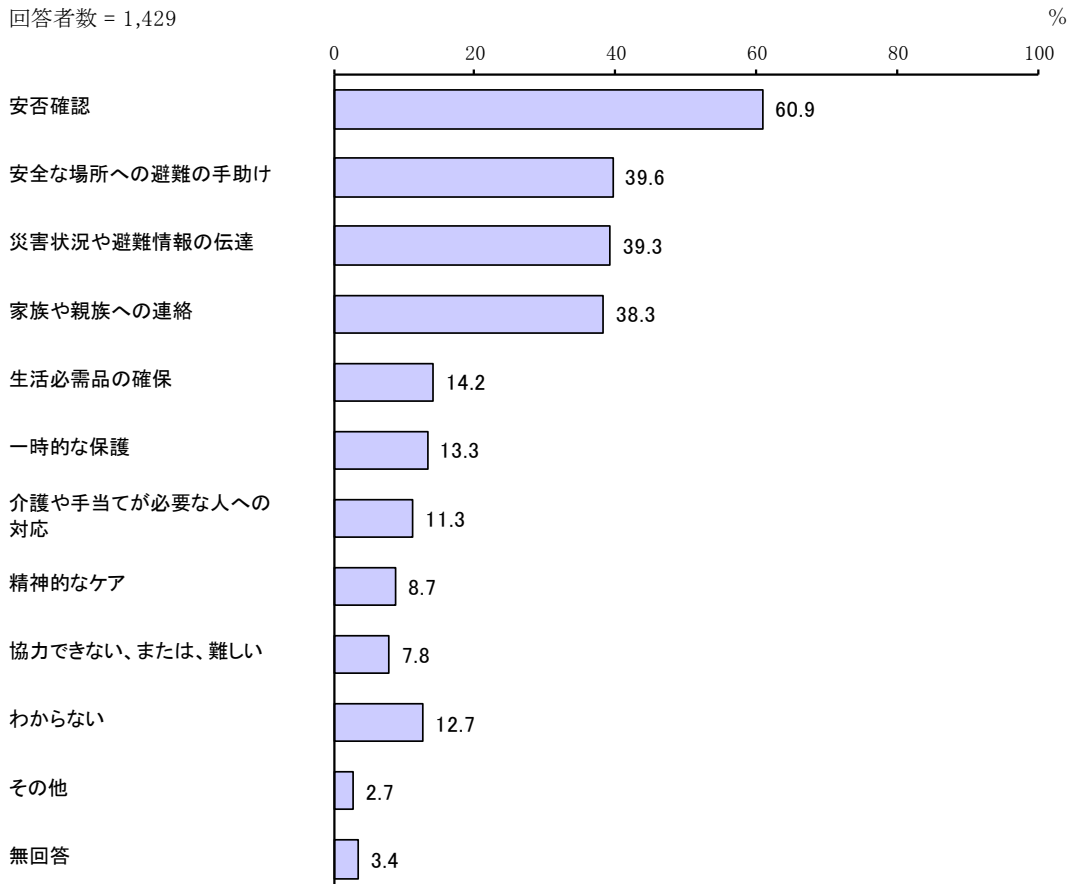
年齢別でみると、他に比べ、18歳～49歳で「はい」の割合が低くなっています。



問 21 大地震などの災害が起こった時に、あなたは家族以外の災害時に支援が必要な方のためにどのような助け合いや協力ができますか。(〇はいくつでも可)

「安否確認」の割合が 60.9%と最も高く、次いで「安全な場所への避難の手助け」の割合が 39.6%、「災害状況や避難情報の伝達」の割合が 39.3%となっています。

回答者数 = 1,429



【年齢別】

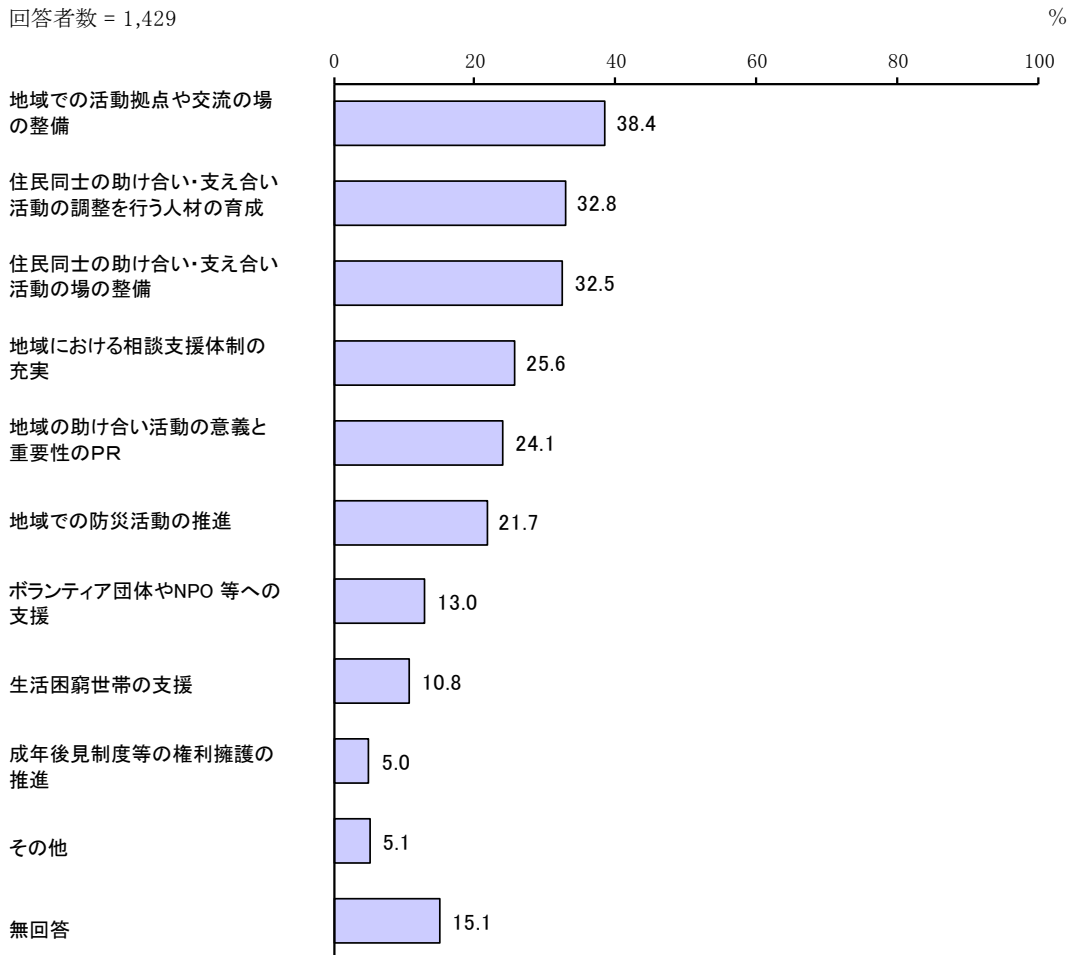
年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳、30歳～39歳で「災害状況や避難情報の伝達」「介護や手当てが必要な人への対応」の割合が高くなっています。また、30歳～39歳で「安全な場所への避難の手助け」の割合が、18歳～29歳、30歳～39歳で「介護や手当てが必要な人への対応」高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	安否確認	安全な場所への避難の手助け	災害状況や避難情報の伝達	家族や親族への連絡	生活必需品の確保	一時的な保護	介護や手当てが必要な人への対応	精神的なケア	協力できない、または、難しい	わからない	その他	無回答
18歳～29歳	90	66.7	47.8	52.2	36.7	16.7	11.1	20.0	18.9	4.4	12.2	1.1	1.1
30歳～39歳	145	64.8	52.4	53.1	43.4	14.5	11.0	17.2	7.6	4.8	11.0	1.4	1.4
40歳～49歳	204	59.8	45.1	40.2	36.3	15.7	11.3	8.8	9.3	4.9	17.6	2.5	0.5
50歳～59歳	199	65.3	46.2	47.7	37.2	13.6	14.6	9.0	9.0	5.5	12.1	1.5	2.0
60歳～69歳	239	66.9	46.0	44.4	41.4	13.8	16.7	15.1	7.5	5.0	15.1	1.3	1.7
70歳以上	515	55.3	27.8	28.2	37.1	13.4	13.6	8.7	7.4	12.0	10.7	4.3	6.4

問 22 あなたは、身近な地域における住民同士の助け合い、支え合いを推進していくためには、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(〇はいくつでも可)

「地域での活動拠点や交流の場の整備」の割合が 38.4%と最も高く、次いで「住民同士の助け合い・支え合い活動の調整を行う人材の育成」の割合が 32.8%、「住民同士の助け合い・支え合い活動の場の整備」の割合が 32.5%となっています。



【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「地域での活動拠点や交流の場の整備」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	地域での活動拠点や交流の場の整備	住民同士の助け合い・支え合い活動の調整を行う人材の育成	住民同士の助け合い・支え合い活動の場の整備	地域における相談支援体制の充実	地域の助け合い活動の意義と重要性のPR	地域での防災活動の推進	ボランティア団体やNPO 等への支援	生活困窮世帯の支援	成年後見制度等の権利擁護の推進	その他	無回答
男性	581	42.0	34.1	35.3	25.5	25.8	24.4	13.1	11.7	6.4	3.8	11.7
女性	820	36.2	32.2	30.6	25.9	22.9	19.9	13.2	10.2	4.1	6.1	16.8

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳、30歳～39歳で「地域での活動拠点や交流の場の整備」の割合が高くなっています。また、18歳～29歳で「地域での防災活動の推進」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	地域での活動拠点や交流の場の整備	住民同士の助け合い・支え合い活動の調整を行う人材の育成	住民同士の助け合い・支え合い活動の場の整備	地域における相談支援体制の充実	地域の助け合い活動の意義と重要性のPR	地域での防災活動の推進	NPO等への支援	ボランティア団体やNPO等への支援	生活困窮世帯の支援	成年後見制度等の権利擁護の推進	その他	無回答
18歳～29歳	90	47.8	30.0	37.8	24.4	15.6	28.9	20.0	14.4	7.8	8.9	3.3	
30歳～39歳	145	47.6	37.9	34.5	20.7	22.8	19.3	12.4	8.3	4.8	6.2	8.3	
40歳～49歳	204	38.2	24.5	27.5	20.1	18.1	22.1	12.7	7.8	3.4	4.9	12.7	
50歳～59歳	199	37.7	32.7	24.1	24.6	25.6	19.6	16.6	11.6	5.0	8.0	10.6	
60歳～69歳	239	39.7	36.4	37.7	28.5	24.7	24.7	9.6	12.6	5.4	4.6	13.4	
70歳以上	515	35.3	34.0	34.4	28.2	27.8	20.2	12.4	11.1	5.0	3.7	21.2	

【性・年齢別】

性・年齢別でみると、他に比べ、男性の30歳～39歳、女性の18歳～29歳で「地域での活動拠点や交流の場の整備」の割合が、男性の18歳～29歳で「住民同士の助け合い・支え合い活動の場の整備」「地域での防災活動の推進」の割合が高くなっています。また、男性の30歳～39歳、70歳以上で「住民同士の助け合い・支え合い活動の調整を行う人材の育成」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	地域での活動拠点や交流の場の整備	住民同士の助け合い・支え合い活動の調整を行う人材の育成	住民同士の助け合い・支え合い活動の場の整備	地域における相談支援体制の充実	地域の助け合い活動の意義と重要性のPR	地域での防災活動の推進	NPO等への支援	ボランティア団体やNPO等への支援	生活困窮世帯の支援	成年後見制度等の権利擁護の推進	その他	無回答
男性 18歳～29歳	36	44.4	25.0	47.2	22.2	27.8	36.1	16.7	8.3	8.3	5.6	2.8	
30歳～39歳	53	50.9	41.5	34.0	30.2	26.4	22.6	13.2	5.7	7.5	3.8	7.5	
40歳～49歳	91	44.0	22.0	29.7	14.3	18.7	20.9	14.3	9.9	5.5	7.7	9.9	
50歳～59歳	73	43.8	24.7	24.7	24.7	24.7	21.9	16.4	17.8	6.8	4.1	13.7	
60歳～69歳	117	38.5	36.8	37.6	28.2	23.9	24.8	12.0	15.4	6.8	3.4	6.0	
70歳以上	210	40.0	41.0	38.6	28.6	30.0	25.2	11.4	10.5	5.7	1.9	17.1	
女性 18歳～29歳	54	50.0	33.3	31.5	25.9	7.4	24.1	22.2	18.5	7.4	11.1	3.7	
30歳～39歳	92	45.7	35.9	34.8	15.2	20.7	17.4	12.0	9.8	3.3	7.6	8.7	
40歳～49歳	113	33.6	26.5	25.7	24.8	17.7	23.0	11.5	6.2	1.8	2.7	15.0	
50歳～59歳	125	34.4	37.6	24.0	24.8	26.4	18.4	16.8	8.0	4.0	9.6	8.8	
60歳～69歳	122	41.0	36.1	37.7	28.7	25.4	24.6	7.4	9.8	4.1	5.7	20.5	
70歳以上	304	31.9	29.3	31.3	28.0	26.3	16.8	13.2	11.5	4.6	4.9	24.0	

【小学校区別】

小学校区別でみると、他に比べ、堀溝小校区で「地域での活動拠点や交流の場の整備」の割合が高くなっています。また、中央小校区、東小校区、堀溝小校区で「住民同士の助け合い・支え合い活動の場の整備」の割合が、東小校区で「地域における相談支援体制の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	地域での活動拠点や交流の場の整備	住民同士の助け合い・支え合い活動の調整を行う人材の育成	住民同士の助け合い・支え合い活動の場の整備	地域における相談支援体制の充実	地域の助け合い活動の意義と重要性のPR	地域での防災活動の推進	ボランティア団体やNPO等への支援	生活困窮世帯の支援	成年後見制度等の権利擁護の推進	その他	無回答
池田小校区	74	29.7	28.4	25.7	21.6	18.9	16.2	18.9	9.5	4.1	5.4	21.6
石津小校区	36	36.1	11.1	36.1	16.7	16.7	16.7	22.2	2.8	—	2.8	19.4
宇谷小校区	53	35.8	34.0	35.8	24.5	22.6	32.1	17.0	15.1	11.3	7.5	9.4
梅が丘小校区	61	47.5	42.6	39.3	26.2	23.0	29.5	8.2	11.5	6.6	1.6	8.2
神田小校区	41	43.9	34.1	24.4	26.8	34.1	22.0	9.8	12.2	4.9	9.8	9.8
北小校区	85	34.1	37.6	29.4	25.9	21.2	17.6	14.1	9.4	7.1	3.5	11.8
木田小校区	49	46.9	30.6	40.8	22.4	22.4	20.4	16.3	10.2	2.0	2.0	14.3
楠根小校区	24	37.5	37.5	29.2	33.3	12.5	20.8	16.7	8.3	—	8.3	8.3
国松緑丘小校区	53	43.4	41.5	35.8	35.8	20.8	26.4	13.2	17.0	3.8	5.7	7.5
啓明小校区	46	39.1	37.0	23.9	26.1	28.3	23.9	13.0	15.2	2.2	10.9	13.0
木屋小校区	50	38.0	22.0	24.0	20.0	20.0	22.0	8.0	10.0	6.0	8.0	18.0
桜小校区	30	40.0	40.0	36.7	13.3	33.3	10.0	6.7	13.3	6.7	10.0	13.3
点野小校区	70	27.1	22.9	30.0	28.6	24.3	17.1	8.6	15.7	12.9	4.3	22.9
成美小校区	54	46.3	37.0	25.9	33.3	25.9	20.4	16.7	7.4	3.7	9.3	7.4
田井小校区	50	40.0	32.0	36.0	22.0	34.0	18.0	2.0	6.0	2.0	4.0	20.0
第五小校区	153	44.4	32.0	40.5	24.8	27.5	26.8	11.8	7.2	4.6	2.6	11.8
中央小校区	80	37.5	32.5	45.0	21.3	20.0	20.0	12.5	12.5	2.5	7.5	12.5
西小校区	55	27.3	36.4	30.9	29.1	25.5	27.3	10.9	9.1	10.9	3.6	21.8
東小校区	66	48.5	43.9	45.5	39.4	28.8	30.3	13.6	13.6	6.1	7.6	9.1
堀溝小校区	31	54.8	48.4	45.2	29.0	32.3	19.4	19.4	16.1	9.7	3.2	6.5
三井小校区	86	32.6	31.4	20.9	22.1	19.8	25.6	11.6	11.6	3.5	2.3	25.6
南小校区	44	31.8	38.6	31.8	38.6	31.8	15.9	34.1	13.6	4.5	2.3	18.2
明和小校区	39	46.2	23.1	25.6	20.5	20.5	17.9	15.4	10.3	5.1	7.7	12.8
和光小校区	43	32.6	20.9	20.9	16.3	20.9	16.3	7.0	4.7	—	7.0	18.6

問 23 あなたは、福祉に関する次のような活動に参加していますか。また、今後参加したいと思いますか。(〇はいくつでも可)

『①自治会、地域協働協議会、校区福祉委員会(サロン)などの身近な地域での福祉活動』『②ボランティア、NPOなどの団体での福祉活動』『③同じ福祉ニーズや課題をもつ人どうしの当事者活動』で「参加したいとは思わない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	1 運営スタッフとして 参加している	2 参加者として参加し ている	3 今後、運営スタッフと して参加してみたい	4 今後、参加者として参 加してみたい	5 参加したいとは思わ ない	無回 答
①自治会、地域協働協議会、校区福祉委員会(サロン)などの身近な地域での福祉活動	1,429	3.6	5.7	2.1	16.6	41.8	31.4
②ボランティア、NPOなどの団体での福祉活動	1,429	2.2	2.0	2.4	14.8	43.8	35.4
③同じ福祉ニーズや課題をもつ人どうしの当事者活動	1,429	0.7	1.3	1.5	15.2	40.7	41.1
④その他	1,429	0.3	0.3	0.1	1.1	10.6	87.6
⑤特にない	1,429	1.0	0.5	0.4	2.3	17.1	79.8

①自治会、地域協働協議会、校区福祉委員会(サロン)などの身近な地域での福祉活動

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳で「今後、参加者として参加してみたい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	運営スタッフとして 参加している	参加者として参加している	今後、運営スタッフとして 参加してみたい	今後、参加者として 参加してみたい	参加したいとは思わない	無回 答
18歳～29歳	90	—	1.1	3.3	22.2	58.9	16.7
30歳～39歳	145	0.7	6.2	0.7	25.5	54.5	13.1
40歳～49歳	204	1.5	4.4	3.4	16.2	54.9	20.6
50歳～59歳	199	1.5	2.0	2.0	20.6	54.8	20.1
60歳～69歳	239	5.9	5.0	2.9	20.9	37.7	29.3
70歳以上	515	5.6	9.1	1.6	10.3	28.2	46.4

② ボランティア、NPOなどの団体での福祉活動

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～39歳で「今後、参加者として参加してみたい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	運営スタッフとして参加している	参加者として参加している	今後、運営スタッフとして参加してみたい	今後、参加者として参加してみたい	参加したいとは思わない	無回答
18歳～29歳	90	2.2	2.2	5.6	23.3	53.3	15.6
30歳～39歳	145	2.1	0.7	0.7	25.5	55.2	15.9
40歳～49歳	204	0.5	1.5	3.9	17.2	57.8	19.6
50歳～59歳	199	2.0	—	4.5	18.6	54.3	21.1
60歳～69歳	239	1.3	3.3	2.9	16.3	44.4	33.1
70歳以上	515	3.7	2.9	1.0	7.4	30.3	55.5

③ 同じ福祉ニーズや課題をもつ人どうしの当事者活動

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～49歳で「今後、参加者として参加してみたい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	運営スタッフとして参加している	参加者として参加している	今後、運営スタッフとして参加してみたい	今後、参加者として参加してみたい	参加したいとは思わない	無回答
18歳～29歳	90	—	2.2	2.2	21.1	54.4	20.0
30歳～39歳	145	0.7	—	2.1	23.4	55.9	18.6
40歳～49歳	204	0.5	0.5	2.0	21.1	55.4	21.6
50歳～59歳	199	1.0	0.5	2.5	18.1	50.3	27.6
60歳～69歳	239	—	1.7	—	16.7	38.9	43.1
70歳以上	515	1.2	1.9	1.6	8.0	26.2	61.6

④その他

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～59歳で「参加したいとは思わない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	運営スタッフとして 参加している	参加者として参加 している	今後、運営スタッフ として参加してみ たい	今後、参加者として 参加してみたい	参加したいと思 わない	無回答
18歳～29歳	90	1.1	1.1	—	3.3	14.4	81.1
30歳～39歳	145	—	0.7	—	2.1	17.9	79.3
40歳～49歳	204	—	—	1.0	2.9	14.2	82.4
50歳～59歳	199	—	—	—	1.0	14.1	84.9
60歳～69歳	239	0.4	1.3	—	0.4	7.9	90.0
70歳以上	515	0.4	—	—	0.2	6.6	92.8

⑤特にない

【年齢別】

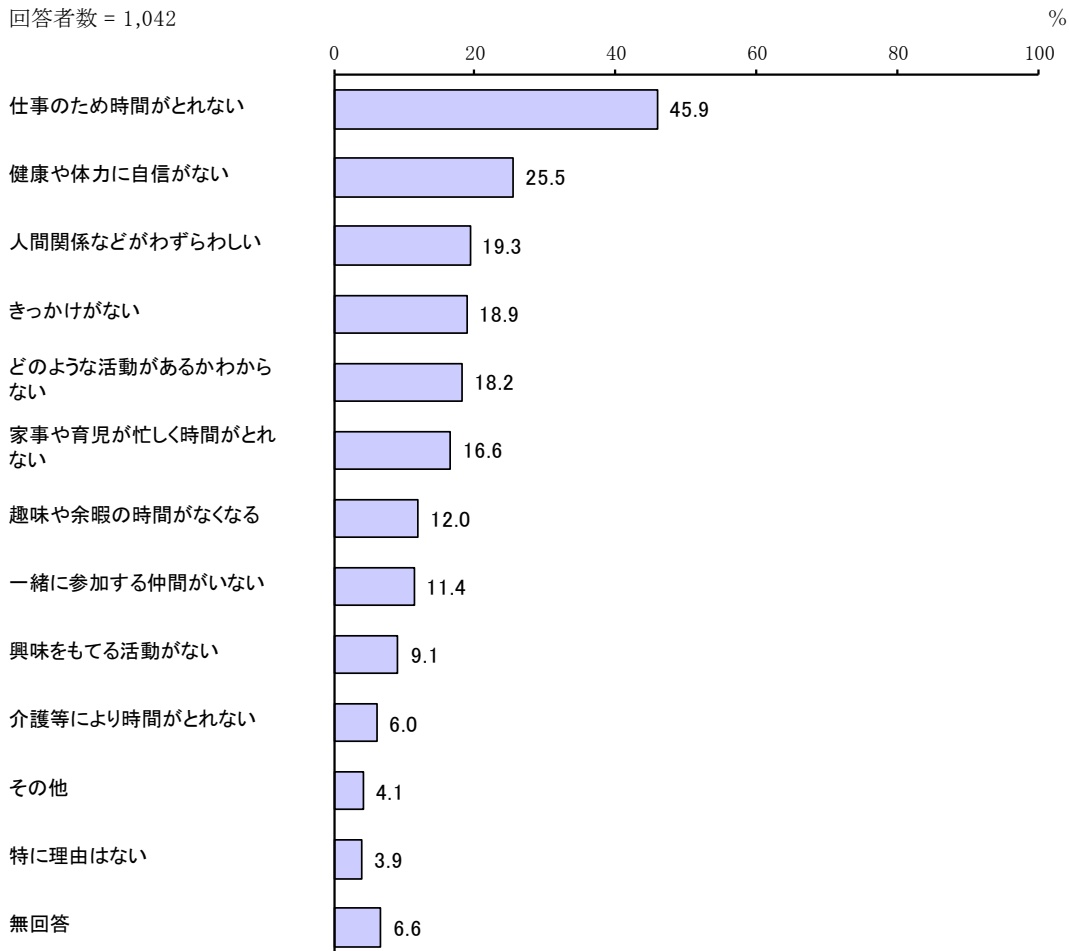
年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳で「参加したいとは思わない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	運営スタッフとして 参加している	参加者として参加 している	今後、運営スタッフ として参加してみ たい	今後、参加者として 参加してみたい	参加したいと思 わない	無回答
18歳～29歳	90	1.1	2.2	1.1	7.8	21.1	70.0
30歳～39歳	145	2.1	0.7	0.7	3.4	26.2	69.0
40歳～49歳	204	—	—	0.5	4.4	21.1	74.5
50歳～59歳	199	0.5	0.5	—	0.5	21.1	77.9
60歳～69歳	239	1.3	0.4	0.8	2.1	13.4	83.3
70歳以上	515	1.2	0.4	0.2	1.0	13.0	85.0

問 25 現在、福祉に関する活動に参加していない、または、参加しない理由は何ですか。
(〇はいくつでも可)

「仕事のため時間がとれない」の割合が 45.9%と最も高く、次いで「健康や体力に自信がない」の割合が 25.5%、「人間関係などがわずらわしい」の割合が 19.3%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「仕事のため時間がとれない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「家事や育児が忙しく時間がとれない」「健康や体力に自信がない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	仕事のため時間がとれない	健康や体力に自信がない	人間関係などがわずらわしい	きっかけがない	どのような活動があるかわからない	家事や育児が忙しく時間がとれない	趣味や余暇の時間がなくなる	一緒に参加する仲間がいない	興味をもてる活動がない	介護等により時間がとれない	その他	特に理由はない	無回答
男性	449	54.6	21.8	20.5	18.5	18.9	9.1	14.5	11.8	9.8	3.3	3.3	4.2	5.6
女性	581	39.6	28.1	18.4	19.3	17.7	22.5	10.3	11.0	8.8	7.7	4.6	3.8	7.4

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳、40歳～49歳で「仕事のため時間がとれない」「家事や育児が忙しく時間がとれない」の割合が高くなっています。また、18歳～29歳で「趣味や余暇の時間がなくなる」「興味をもてる活動がない」「きっかけがない」の割合が、70歳以上で「健康や体力に自信がない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	仕事のため時間がとれない	健康や体力に自信がない	人間関係などがわずらわしい	きっかけがない	どのような活動があるかわからない	家事や育児が忙しく時間がとれない	趣味や余暇の時間がなくなる	一緒に参加する仲間がない	興味をもてる活動がない	介護等により時間がとれない	その他	特に理由はない	無回答
18歳～29歳	81	48.1	4.9	17.3	30.9	19.8	11.1	23.5	17.3	22.2	1.2	4.9	4.9	3.7
30歳～39歳	134	67.9	11.9	18.7	17.2	22.4	50.7	17.9	16.4	11.9	0.7	3.0	4.5	3.0
40歳～49歳	179	67.0	10.1	17.9	19.6	17.3	33.0	10.6	9.5	9.5	3.9	1.1	3.4	1.7
50歳～59歳	171	63.2	21.1	19.3	18.1	19.3	12.3	14.6	10.5	9.9	12.9	1.2	4.1	5.3
60歳～69歳	185	47.0	23.2	24.3	19.5	20.0	4.3	10.8	11.4	8.6	9.7	3.2	4.3	7.0
70歳以上	276	10.9	51.4	17.4	15.9	14.9	2.2	6.2	8.3	4.0	3.6	8.3	3.6	13.0

【性・年齢別】

性・年齢別でみると、他に比べ、男性の30歳～39歳で「仕事のため時間がとれない」の割合が高くなっています。また、女性の30歳～39歳で「家事や育児が忙しく時間がとれない」の割合が、男性の70歳以上、女性の70歳以上で「健康や体力に自信がない」の割合が高くなっています。

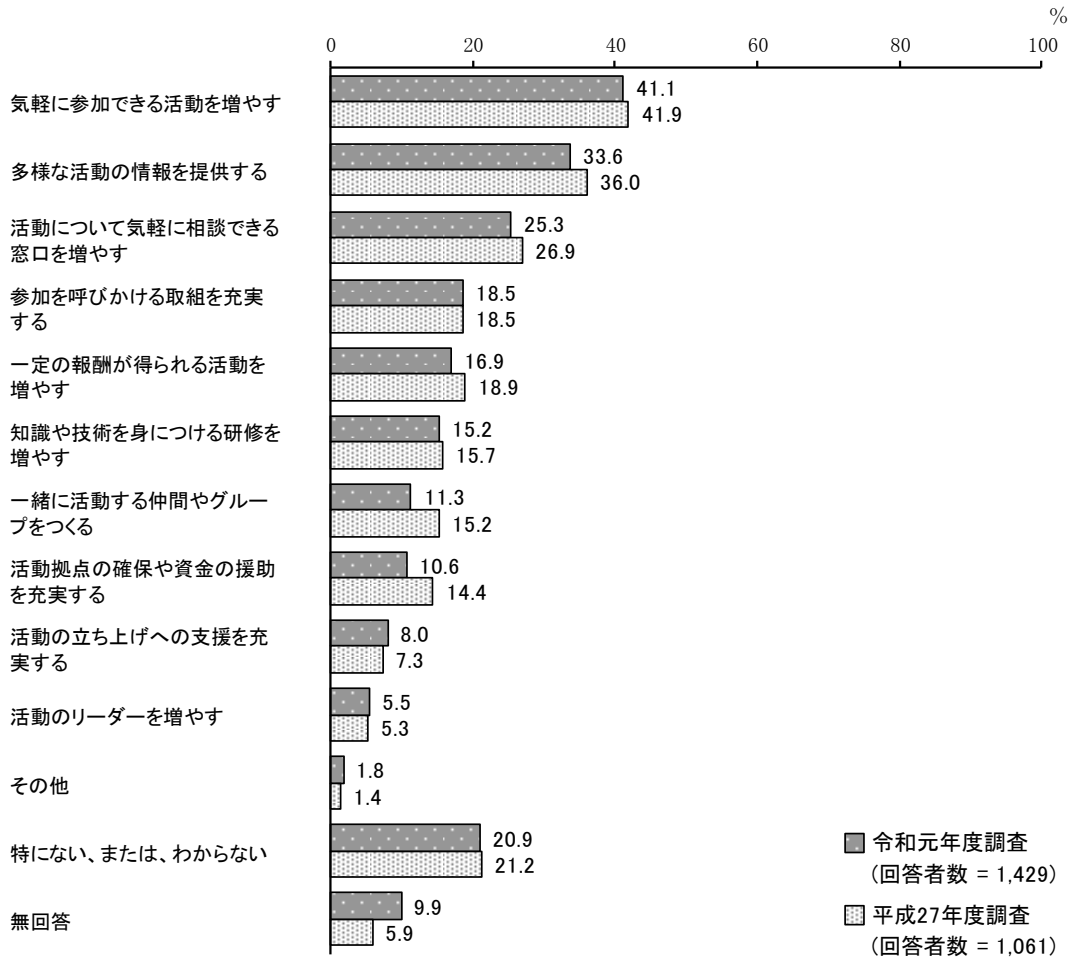
単位：％

区分	回答者数(件)	仕事のため時間がとれない	健康や体力に自信がない	人間関係などがわずらわしい	きっかけがない	どのような活動があるかわからない	家事や育児が忙しく時間がとれない	趣味や余暇の時間がなくなる	一緒に参加する仲間がない	興味をもてる活動がない	介護等により時間がとれない	その他	特に理由はない	無回答
男性 18歳～29歳	32	53.1	3.1	15.6	21.9	25.0	6.3	18.8	12.5	21.9	—	6.3	6.3	3.1
30歳～39歳	47	87.2	10.6	14.9	21.3	17.0	29.8	27.7	12.8	17.0	2.1	—	6.4	2.1
40歳～49歳	87	77.0	4.6	19.5	17.2	18.4	18.4	10.3	11.5	6.9	1.1	—	4.6	2.3
50歳～59歳	65	72.3	12.3	15.4	9.2	15.4	7.7	16.9	6.2	9.2	9.2	3.1	1.5	7.7
60歳～69歳	96	55.2	19.8	30.2	21.9	21.9	3.1	14.6	14.6	11.5	5.2	4.2	3.1	5.2
70歳以上	122	16.4	50.0	19.7	19.7	18.0	0.8	9.8	12.3	4.9	1.6	5.7	4.9	9.0
女性 18歳～29歳	49	44.9	6.1	18.4	36.7	16.3	14.3	26.5	20.4	22.4	2.0	4.1	4.1	4.1
30歳～39歳	87	57.5	12.6	20.7	14.9	25.3	62.1	12.6	18.4	9.2	—	4.6	3.4	3.4
40歳～49歳	92	57.6	15.2	16.3	21.7	16.3	46.7	10.9	7.6	12.0	6.5	2.2	2.2	1.1
50歳～59歳	105	58.1	26.7	21.9	23.8	21.9	14.3	13.3	13.3	10.5	15.2	—	5.7	3.8
60歳～69歳	89	38.2	27.0	18.0	16.9	18.0	5.6	6.7	7.9	5.6	14.6	2.2	5.6	9.0
70歳以上	154	6.5	52.6	15.6	13.0	12.3	3.2	3.2	5.2	3.2	5.2	10.4	2.6	16.2

問 26 市民が福祉に関する活動にもっと参加するには、どのような取組が“特に効果的”だと思いますか。(〇はいくつでも可)

「気軽に参加できる活動を増やす」の割合が41.1%と最も高く、次いで「多様な活動の情報を提供する」の割合が33.6%、「活動について気軽に相談できる窓口を増やす」の割合が25.3%となっています。

平成27年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「多様な活動の情報を提供する」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「気軽に参加できる活動を増やす」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	気軽に参加できる活動を増やす	多様な活動の情報を提供する	活動について気軽に相談できる窓口を増やす	参加を呼びかける取組を充実する	一定の報酬が得られる活動を増やす	知識や技術を身につける研修を増やす	一緒に活動する仲間やグループをつくる	活動拠点の確保や資金の援助を充実する	活動の立ち上げへの支援を充実する	活動のリーダーを増やす	その他	特にない、または、わからない	無回答
男性	581	37.0	36.7	26.0	18.6	17.9	14.3	11.4	13.4	7.2	7.4	1.4	19.4	7.9
女性	820	44.3	31.5	24.6	18.4	16.3	16.0	11.5	8.9	8.5	4.1	2.2	21.7	11.0

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「一定の報酬が得られる活動を増やす」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、60歳～69歳で「多様な活動の情報を提供する」「活動について気軽に相談できる窓口を増やす」の割合が、50歳～59歳、70歳以上で「特にない、または、わからない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	気軽に参加できる活動を増やす	多様な活動の情報を提供する	活動について気軽に相談できる窓口を増やす	参加を呼びかける取組を充実する	一定の報酬が得られる活動を増やす	知識や技術を身につける研修を増やす	一緒に活動する仲間やグループをつくる	活動拠点の確保や資金の援助を充実する	活動の立ち上げへの支援を充実する	活動のリーダーを増やす	その他	特にない、または、わからない	無回答
18歳～29歳	90	48.9	32.2	20.0	18.9	27.8	16.7	14.4	13.3	6.7	5.6	4.4	16.7	4.4
30歳～39歳	145	46.2	36.6	18.6	21.4	29.0	22.8	12.4	11.7	10.3	3.4	3.4	15.2	4.1
40歳～49歳	204	39.7	37.7	25.5	12.3	23.0	12.7	9.3	11.8	8.8	3.9	1.5	18.6	3.4
50歳～59歳	199	45.7	35.2	23.1	21.1	20.1	16.1	9.5	14.6	6.0	6.0	3.0	22.6	2.0
60歳～69歳	239	45.6	41.4	30.1	22.6	15.5	17.6	11.7	12.1	7.1	6.7	0.4	17.6	5.0
70歳以上	515	35.7	27.4	26.4	17.3	8.5	12.0	12.0	7.4	8.5	6.0	1.4	24.7	19.6

【性・年齢別】

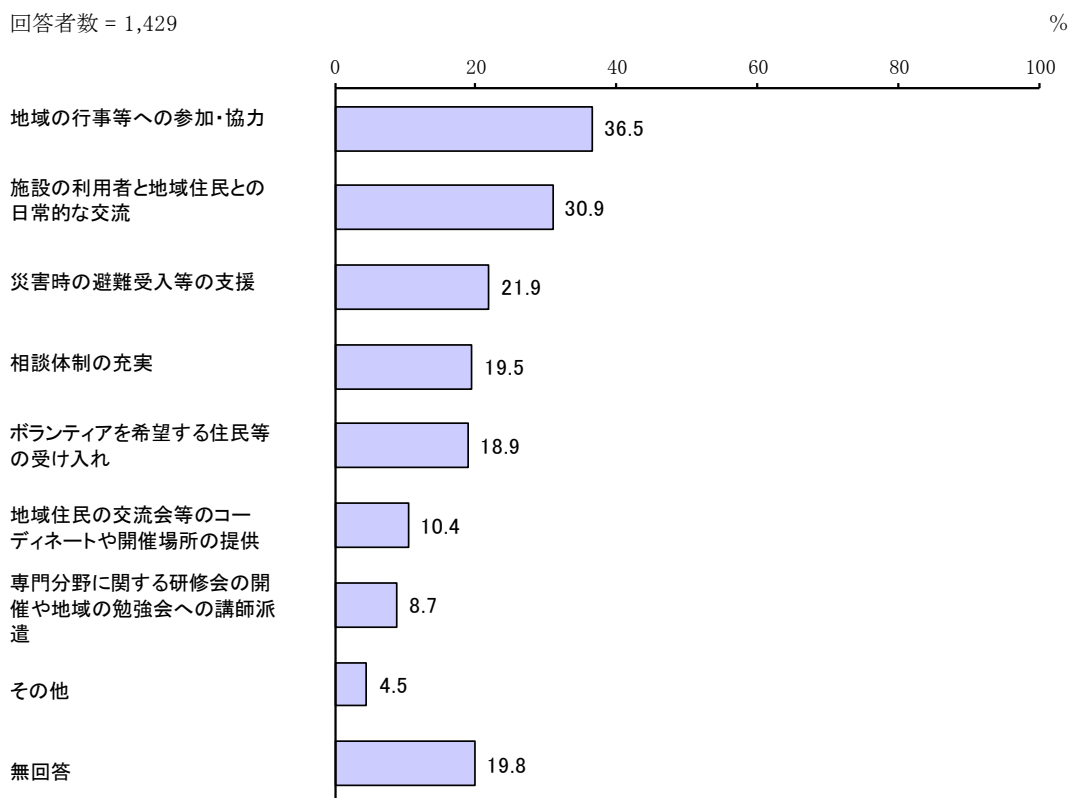
性・年齢別でみると、他に比べ、男性の30歳～39歳、40歳～49歳、女性の18歳～29歳、30歳～39歳で「一定の報酬が得られる活動を増やす」の割合が高くなっています。また、女性の30歳～39歳で「気軽に参加できる活動を増やす」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	気軽に参加できる活動を増やす	多様な活動の情報を提供する	活動について気軽に相談できる窓口を増やす	参加を呼びかける取組を充実する	一定の報酬が得られる活動を増やす	知識や技術を身につける研修を増やす	一緒に活動する仲間やグループをつくる	活動拠点の確保や資金の援助を充実する	活動の立ち上げへの支援を充実する	活動のリーダーを増やす	その他	特にない、または、わからない	無回答
男性 18歳～29歳	36	47.2	36.1	16.7	22.2	22.2	13.9	22.2	19.4	5.6	5.6	—	11.1	—
30歳～39歳	53	32.1	30.2	17.0	13.2	32.1	24.5	11.3	13.2	11.3	7.5	3.8	15.1	9.4
40歳～49歳	91	35.2	40.7	27.5	18.7	29.7	13.2	8.8	16.5	9.9	4.4	1.1	15.4	3.3
50歳～59歳	73	37.0	41.1	23.3	19.2	16.4	13.7	6.8	16.4	2.7	5.5	2.7	21.9	4.1
60歳～69歳	117	40.2	40.2	29.1	23.1	19.7	14.5	12.0	17.1	3.4	7.7	—	17.1	2.6
70歳以上	210	35.7	33.3	28.6	16.7	8.1	12.4	11.9	8.1	9.0	9.5	1.4	24.3	14.8
女性 18歳～29歳	54	50.0	29.6	22.2	16.7	31.5	18.5	9.3	9.3	7.4	5.6	7.4	20.4	7.4
30歳～39歳	92	54.3	40.2	19.6	26.1	27.2	21.7	13.0	10.9	9.8	1.1	3.3	15.2	1.1
40歳～49歳	113	43.4	35.4	23.9	7.1	17.7	12.4	9.7	8.0	8.0	3.5	1.8	21.2	3.5
50歳～59歳	125	51.2	32.0	23.2	22.4	22.4	17.6	11.2	13.6	8.0	6.4	3.2	22.4	0.8
60歳～69歳	122	50.8	42.6	31.1	22.1	11.5	20.5	11.5	7.4	10.7	5.7	0.8	18.0	7.4
70歳以上	304	35.5	23.4	25.0	17.4	8.9	11.8	12.2	6.9	8.2	3.6	1.3	25.0	23.0

問 27 あなたは、地域にある社会福祉施設（老人福祉施設、保育所等）は地域とどのように関わっていけばいいと思いますか。（〇はいくつでも可）

「地域の行事等への参加・協力」の割合が 36.5%と最も高く、次いで「施設の利用者と地域住民との日常的な交流」の割合が 30.9%、「災害時の避難受入等の支援」の割合が 21.9%となっています。



【小学校区別】

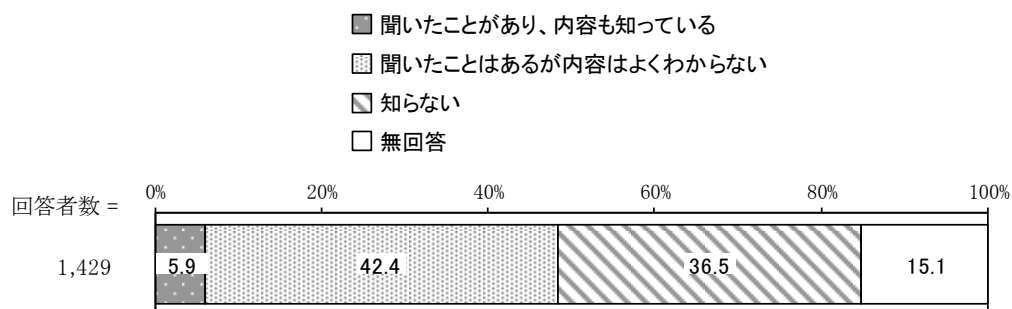
小学校区別でみると、他に比べ、堀溝小校区で「地域の行事等への参加・協力」「専門分野に関する研修会の開催や地域の勉強会への講師派遣」の割合が高くなっています。また、梅が丘小校区、桜小校区、堀溝小校区で「施設の利用者と地域住民との日常的な交流」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	地域の行事等への参加・協力	施設の利用者と地域住民との日常的な交流	災害時の避難受入等の支援	相談体制の充実	ボランティアを希望する住民等の受け入れ	地域住民の交流会等のコーディネートや開催場所の提供	専門分野に関する研修会の開催や地域の勉強会への講師派遣	その他	無回答
池田小校区	74	29.7	24.3	21.6	24.3	25.7	9.5	2.7	5.4	23.0
石津小校区	36	22.2	27.8	22.2	16.7	22.2	19.4	8.3	—	30.6
宇谷小校区	53	39.6	35.8	24.5	22.6	20.8	15.1	11.3	5.7	18.9
梅が丘小校区	61	44.3	44.3	18.0	23.0	26.2	8.2	11.5	3.3	13.1
神田小校区	41	39.0	31.7	24.4	22.0	14.6	7.3	7.3	9.8	14.6
北小校区	85	40.0	30.6	22.4	29.4	24.7	14.1	11.8	3.5	16.5
木田小校区	49	42.9	30.6	30.6	16.3	16.3	8.2	6.1	4.1	22.4
楠根小校区	24	25.0	20.8	20.8	33.3	8.3	—	4.2	12.5	16.7
国松緑丘小校区	53	34.0	32.1	22.6	22.6	22.6	5.7	5.7	1.9	28.3
啓明小校区	46	45.7	21.7	26.1	19.6	19.6	10.9	6.5	6.5	15.2
木屋小校区	50	38.0	26.0	12.0	24.0	12.0	8.0	10.0	8.0	16.0
桜小校区	30	40.0	43.3	30.0	16.7	30.0	20.0	3.3	—	13.3
点野小校区	70	35.7	28.6	25.7	21.4	12.9	11.4	8.6	5.7	22.9
成美小校区	54	31.5	37.0	33.3	25.9	16.7	14.8	5.6	7.4	9.3
田井小校区	50	34.0	26.0	12.0	10.0	16.0	4.0	6.0	8.0	26.0
第五小校区	153	41.8	32.0	17.6	11.8	17.0	8.5	7.2	2.6	20.3
中央小校区	80	32.5	26.3	20.0	21.3	21.3	3.8	12.5	2.5	12.5
西小校区	55	32.7	32.7	12.7	20.0	16.4	9.1	10.9	7.3	25.5
東小校区	66	37.9	39.4	25.8	15.2	25.8	18.2	13.6	6.1	16.7
堀溝小校区	31	54.8	41.9	22.6	16.1	12.9	16.1	25.8	6.5	6.5
三井小校区	86	26.7	29.1	19.8	20.9	10.5	10.5	1.2	4.7	31.4
南小校区	44	45.5	31.8	29.5	13.6	18.2	13.6	20.5	2.3	15.9
明和小校区	39	35.9	25.6	12.8	20.5	17.9	10.3	7.7	7.7	17.9
和光小校区	43	30.2	32.6	25.6	11.6	20.9	7.0	4.7	—	18.6

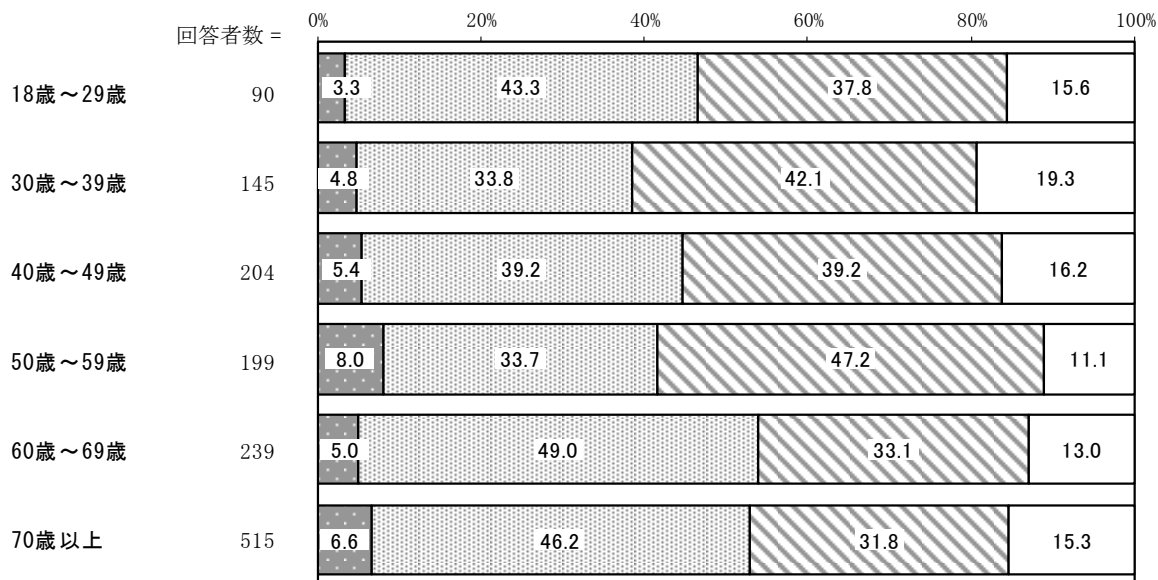
問 28 生活困窮者自立支援法について、どの程度知っていますか。(〇は1つ)

「聞いたことはあるが内容はよくわからない」の割合が42.4%と最も高く、次いで「知らない」の割合が36.5%となっています。



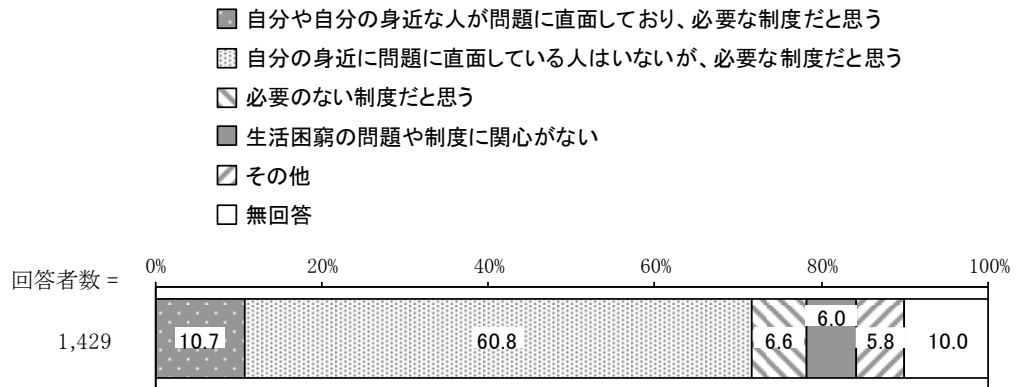
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、50歳～59歳で「知らない」の割合が高くなっています。



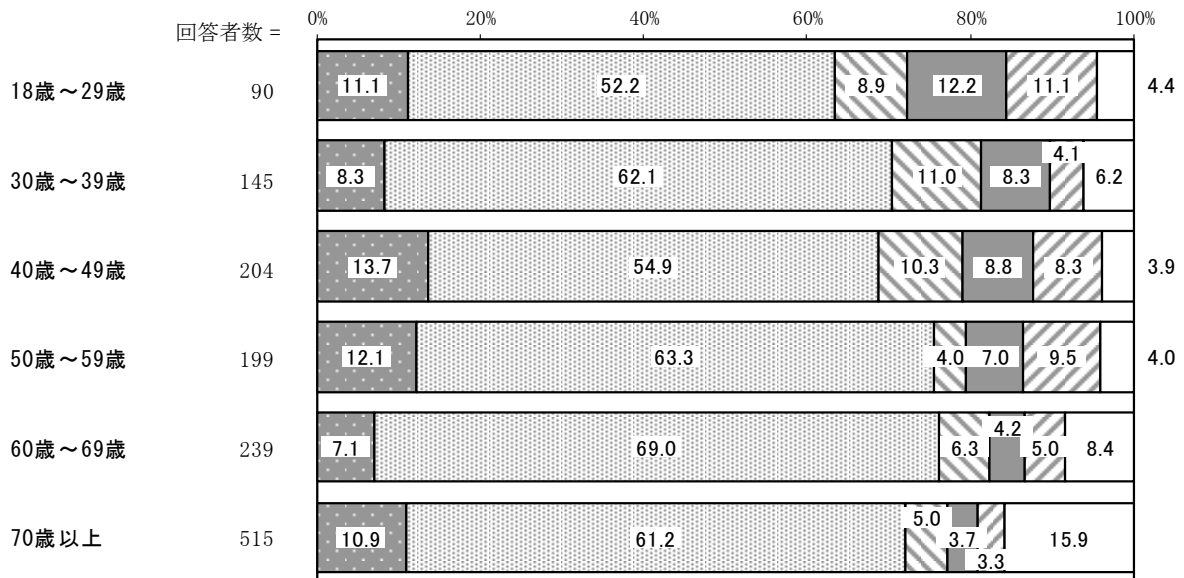
問 29 あなたは生活困窮の問題や支援制度についてどう思われますか。(〇は1つ)

「自分の身近に問題に直面している人はいないが、必要な制度だと思う」の割合が60.8%と最も高く、次いで「自分や自分の身近な人が問題に直面しており、必要な制度だと思う」の割合が10.7%となっています。



【年齢別】

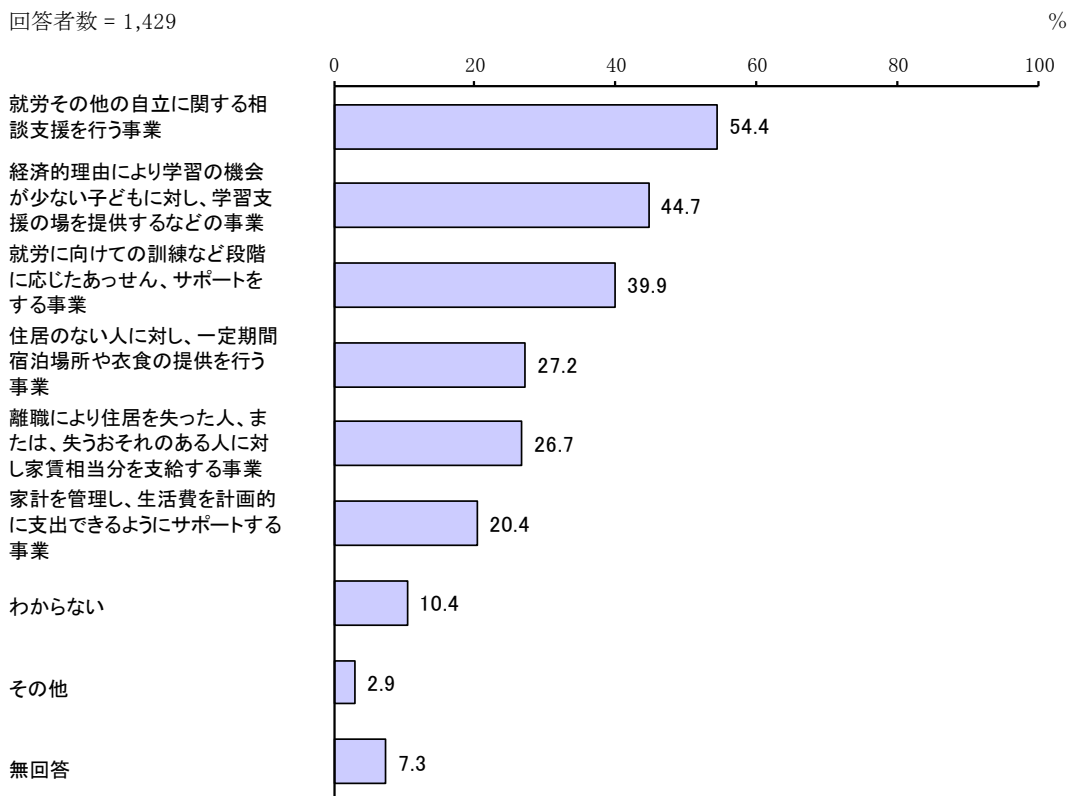
年齢別でみると、他に比べ、60歳～69歳で「自分の身近に問題に直面している人はいないが、必要な制度だと思う」の割合が高くなっています。



問 30 経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することが困難になったとして、必要と思われる支援内容は、次のどれですか。（〇はいくつでも可）

「就労その他の自立に関する相談支援を行う事業」の割合が 54.4%と最も高く、次いで「経済的理由により学習の機会が少ない子どもに対し、学習支援の場を提供するなどの事業」の割合が 44.7%、「就労に向けての訓練など段階に応じたあっせん、サポートをする事業」の割合が 39.9%となっています。

回答者数 = 1,429



【年齢別】

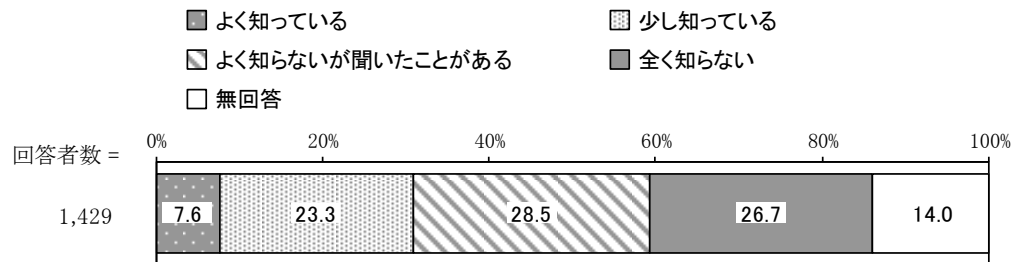
年齢別でみると、他に比べ、50歳～59歳で「就労その他の自立に関する相談支援を行う事業」の割合が高くなっています。また、30歳～39歳で「経済的理由により学習の機会が少ない子どもに対し、学習支援の場を提供するなどの事業」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	就労その他の自立に関する相談支援を行う事業	経済的理由により学習の機会が少ない子どもに対し、学習支援の場を提供するなどの事業	就労に向けての訓練など段階に応じたあっせん、サポートをする事業	住居のない人に対し、一定期間宿泊場所や衣食の提供を行う事業	離職により住居を失った人、または、失うおそれのある人に対し家賃相当分を支給する事業	家計を管理し、生活費を計画的に支出できるようにサポートする事業	わからない	その他	無回答
18歳～29歳	90	53.3	51.1	44.4	30.0	42.2	21.1	11.1	6.7	—
30歳～39歳	145	64.1	57.9	49.0	35.2	32.4	35.2	2.1	2.8	2.8
40歳～49歳	204	61.3	48.5	42.2	26.0	30.9	22.5	9.3	2.5	1.5
50歳～59歳	199	67.3	48.7	45.2	32.7	32.7	22.6	8.0	2.5	1.0
60歳～69歳	239	63.2	50.2	46.9	27.2	26.8	19.2	7.1	2.1	3.3
70歳以上	515	40.6	35.1	31.1	22.5	18.8	15.1	15.3	3.1	15.5

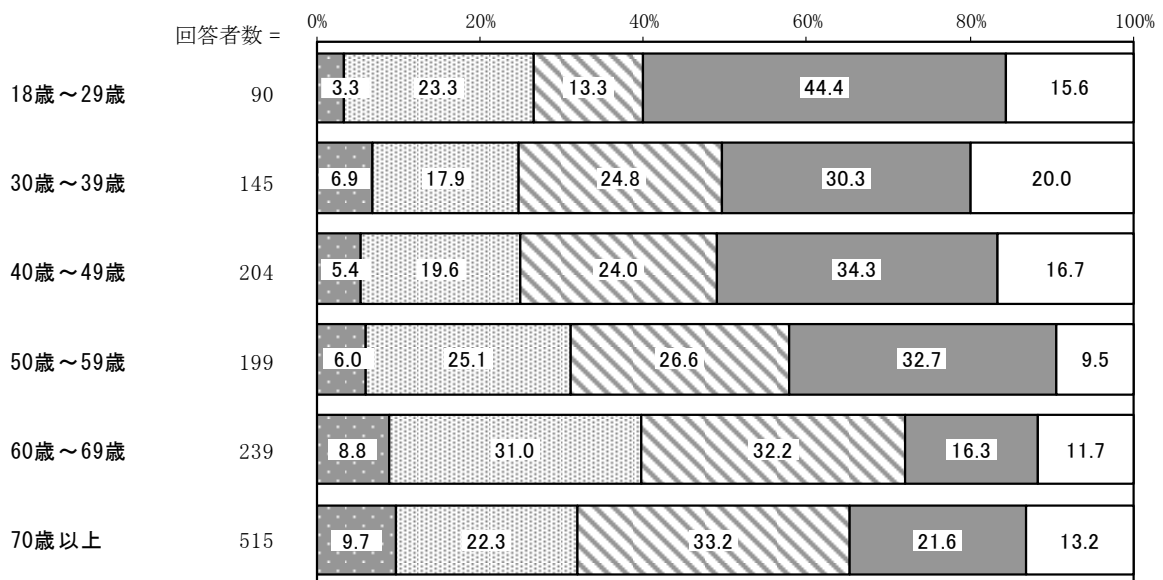
問 31 「成年後見制度」を御存知ですか。(○は1つ)

「よく知らないが聞いたことがある」の割合が28.5%と最も高く、次いで「全く知らない」の割合が26.7%、「少し知っている」の割合が23.3%となっています。



【年齢別】

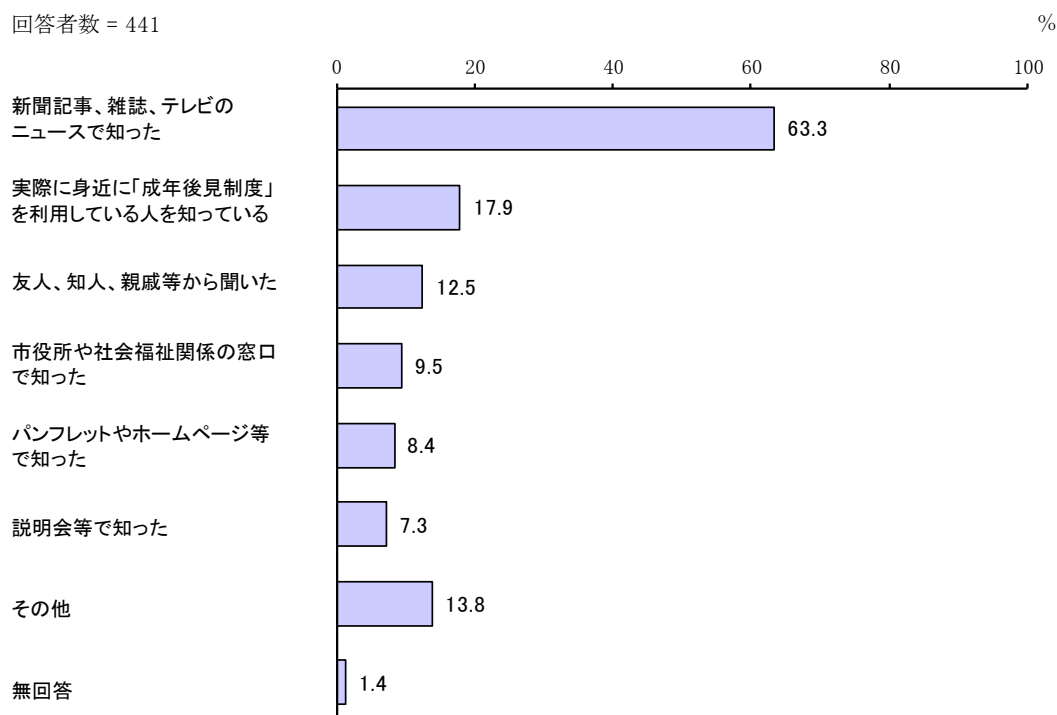
年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で「全く知らない」の割合が高くなっています。



問 32 どこで「成年後見制度」を知りましたか。(〇はいくつでも可)

「新聞記事、雑誌、テレビのニュースで知った」の割合が 63.3%と最も高く、次いで「実際に身近に「成年後見制度」を利用している人を知っている」の割合が 17.9%、「友人、知人、親戚等から聞いた」の割合が 12.5%となっています。

回答者数 = 441



【年齢別】

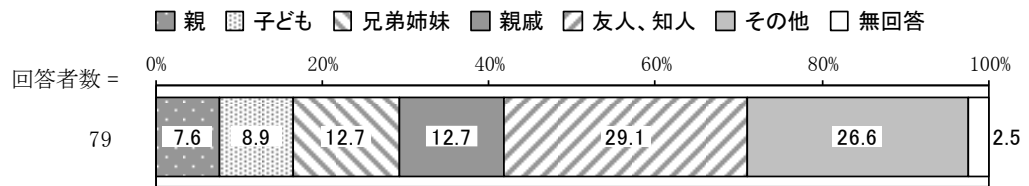
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「新聞記事、雑誌、テレビのニュースで知った」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：%

区分	有効回答数(件)	新聞記事、雑誌、テレビのニュースで知った	実際に身近に「成年後見制度」を利用している人を知っている	友人、知人、親戚等から聞いた	市役所や社会福祉関係の窓口で知った	パンフレットやホームページ等で知った	説明会等で知った	その他	無回答
18歳～29歳	24	54.2	—	8.3	—	4.2	12.5	33.3	—
30歳～39歳	36	38.9	13.9	5.6	2.8	8.3	2.8	38.9	5.6
40歳～49歳	51	47.1	15.7	11.8	11.8	5.9	2.0	31.4	—
50歳～59歳	62	54.8	17.7	17.7	4.8	3.2	1.6	16.1	3.2
60歳～69歳	95	69.5	22.1	11.6	7.4	11.6	8.4	6.3	—
70歳以上	165	75.2	18.8	12.7	14.5	10.3	10.9	4.2	1.2

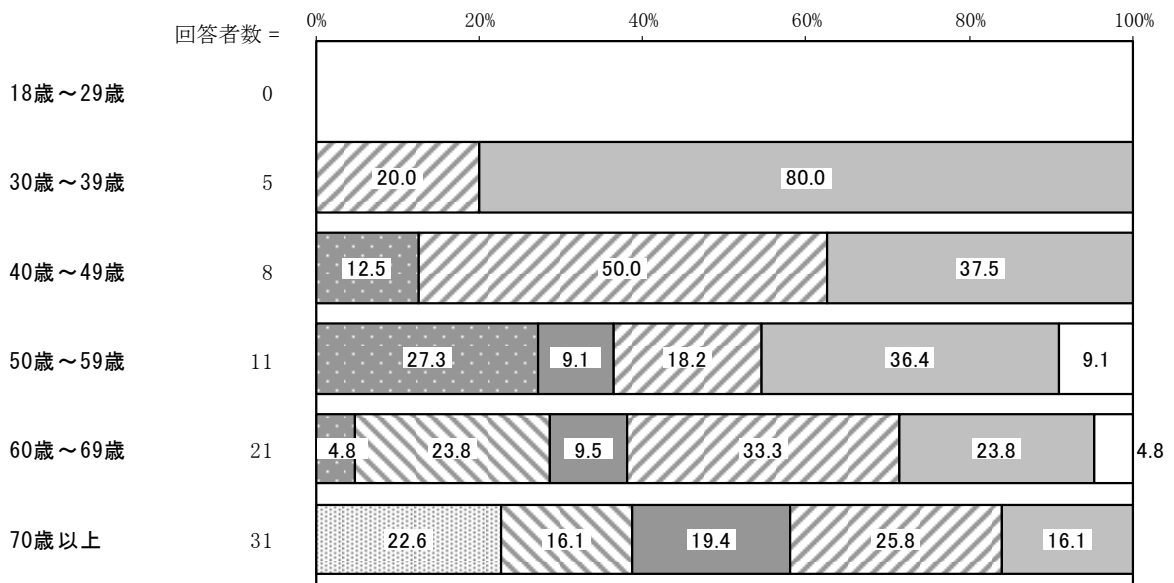
問 33 実際に利用しているのはあなたから見てどなたですか。(〇は1つ)

「友人、知人」の割合が29.1%と最も高く、次いで「兄弟姉妹」、「親戚」の割合が12.7%となっています。



【年齢別】

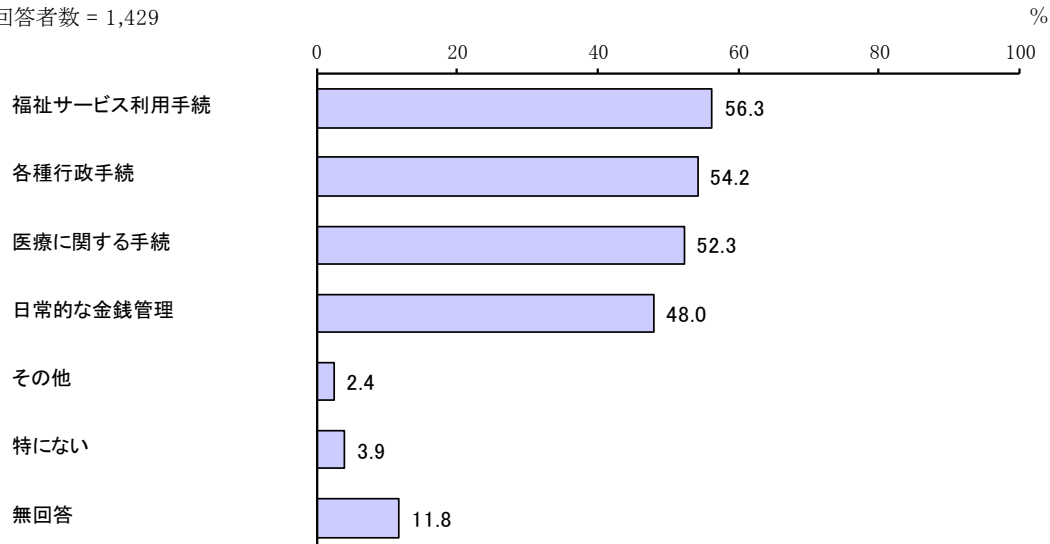
有効回答数が少ないため、コメントはひかえます。



問 34 高齢者や障害のある人にとって、日常生活の中で将来的に不安を感じると思われるものはどのようなことですか。(〇はいくつでも可)

「福祉サービス利用手続」の割合が56.3%と最も高く、次いで「各種行政手続」の割合が54.2%、「医療に関する手続」の割合が52.3%となっています。

回答者数 = 1,429



【介護が必要な家族の有無別】

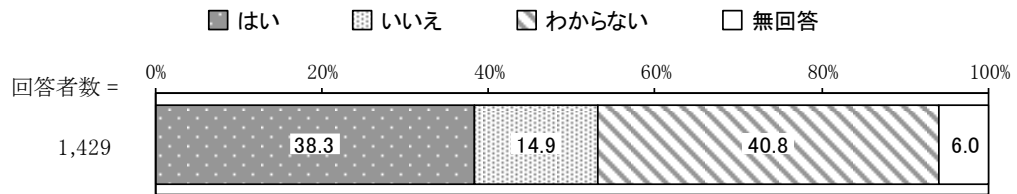
介護が必要な家族の有無別で見ると、他に比べ、介護が必要な高齢者がいる人、障害のある人や障害のある子どもがいる人で「各種行政手続」「福祉サービス利用手続」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	福祉サービス利用手続	各種行政手続	医療に関する手続	日常的な金銭管理	その他	特にない	無回答
介護が必要な高齢者や障害のある人はいない	957	56.4	54.2	52.5	49.7	2.0	3.9	10.7
介護が必要な高齢者がいる	252	62.7	60.7	58.7	48.8	3.2	3.6	11.1
障害のある人や障害のある子どもがいる	150	60.0	62.0	56.0	46.7	6.7	5.3	8.7
その他	37	43.2	45.9	43.2	35.1	2.7	10.8	16.2

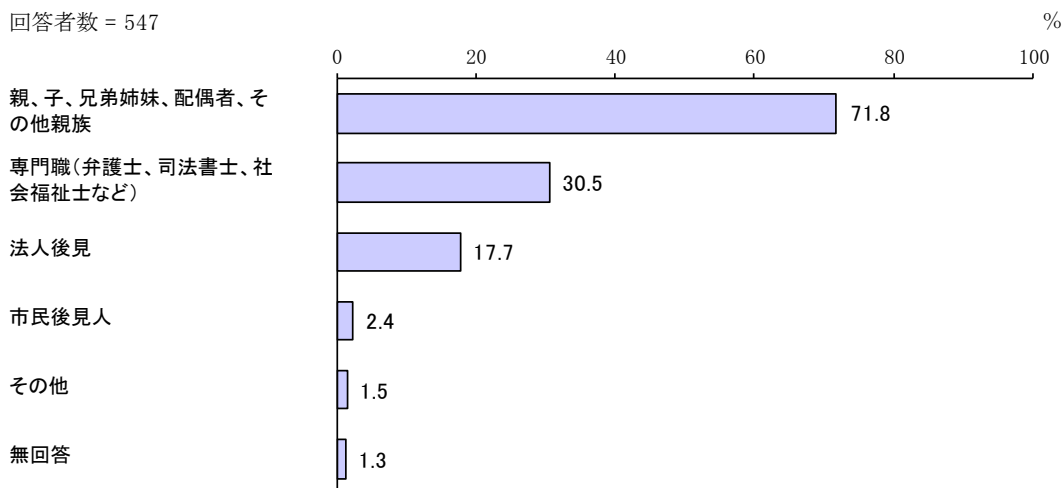
問 35 あなた自身が認知症などで判断が十分にできなくなったとき、「成年後見制度」を利用したいと思いますか。(○は1つ)

「わからない」の割合が40.8%と最も高く、次いで「はい」の割合が38.3%、「いいえ」の割合が14.9%となっています。



問 36 後見人は誰になってもらいたいですか。(○はいくつでも可)

「親、子、兄弟姉妹、配偶者、その他親族」の割合が71.8%と最も高く、次いで「専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士など）」の割合が30.5%、「法人後見」の割合が17.7%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で「親、子、兄弟姉妹、配偶者、その他親族」の割合が高くなっています。

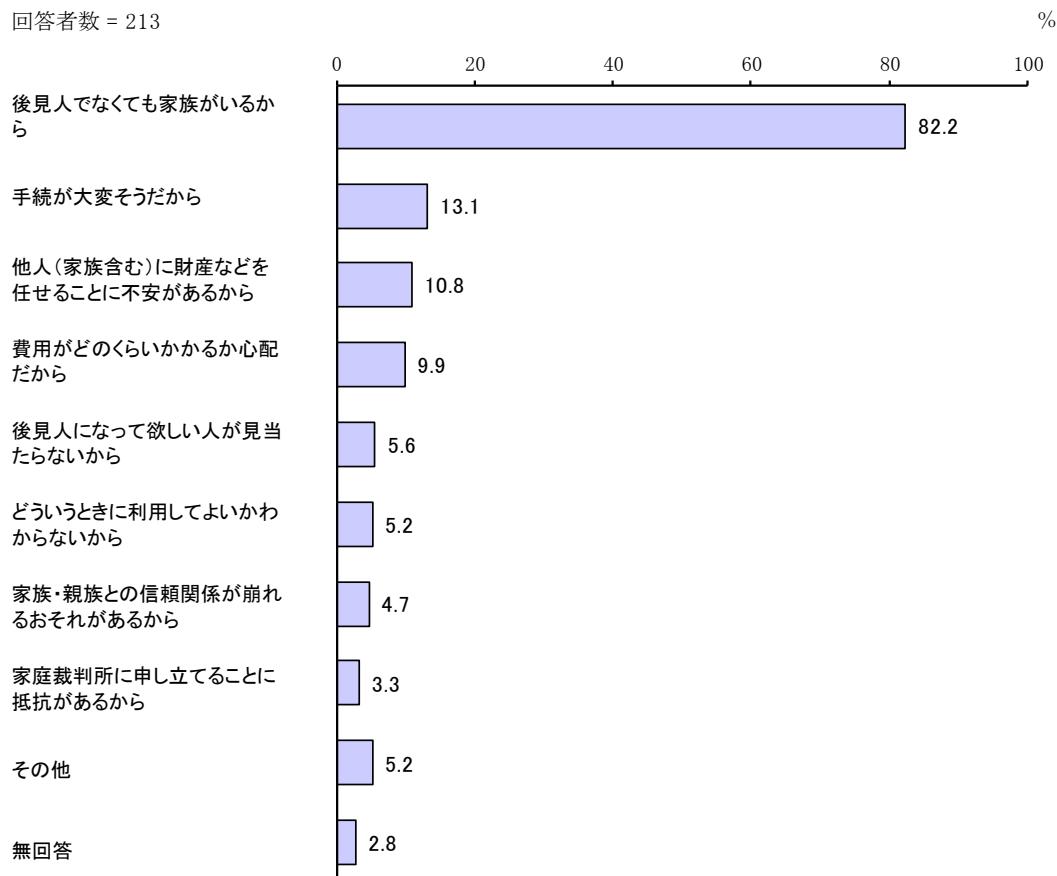
単位：%

区分	有効回答数(件)	親、子、兄弟姉妹、配偶者、その他親族	専門職(弁護士、司法書士、社会福祉士など)	法人後見	市民後見人	その他	無回答
18歳～29歳	34	61.8	29.4	32.4	2.9	2.9	5.9
30歳～39歳	62	62.9	32.3	29.0	3.2	1.6	—
40歳～49歳	80	62.5	27.5	27.5	1.3	1.3	1.3
50歳～59歳	84	71.4	38.1	14.3	1.2	—	1.2
60歳～69歳	92	71.7	29.3	16.3	4.3	2.2	1.1
70歳以上	181	81.8	28.2	8.8	2.2	1.7	1.1

問 37 「成年後見制度」を利用したくない理由は何ですか。(〇はいくつでも可)

「後見人でなくても家族がいるから」の割合が 82.2%と最も高く、次いで「手続が大変そうだから」の割合が 13.1%、「他人（家族含む）に財産などを任せることに不安があるから」の割合が 10.8%となっています。

回答者数 = 213



【年齢別】

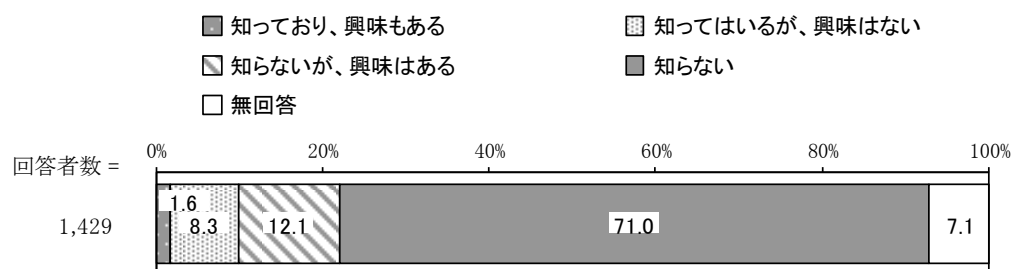
年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で「後見人でなくても家族がいるから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	後見人でなくても家族がいるから	手続が大変そうだから	他人(家族含む)に財産などを任せることに不安があるから	費用がどのくらいかかるか心配だから	後見人になって欲しい人が見当たらないから	どういうときに利用してよいかわからないから	家族・親族との信頼関係が崩れるおそれがあるから	家庭裁判所に申し立てることに抵抗があるから	その他	無回答
18歳～29歳	6	66.7	—	16.7	16.7	—	—	—	—	16.7	16.7
30歳～39歳	9	66.7	—	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	—
40歳～49歳	17	70.6	17.6	23.5	23.5	5.9	11.8	—	5.9	5.9	—
50歳～59歳	23	73.9	17.4	8.7	8.7	—	4.3	4.3	—	17.4	—
60歳～69歳	46	80.4	15.2	10.9	10.9	4.3	2.2	2.2	2.2	6.5	6.5
70歳以上	105	89.5	11.4	8.6	6.7	7.6	4.8	5.7	3.8	—	1.9

問 38 あなたは、「市民後見人」について知っていますか。また、興味はありますか。
(○は1つ)

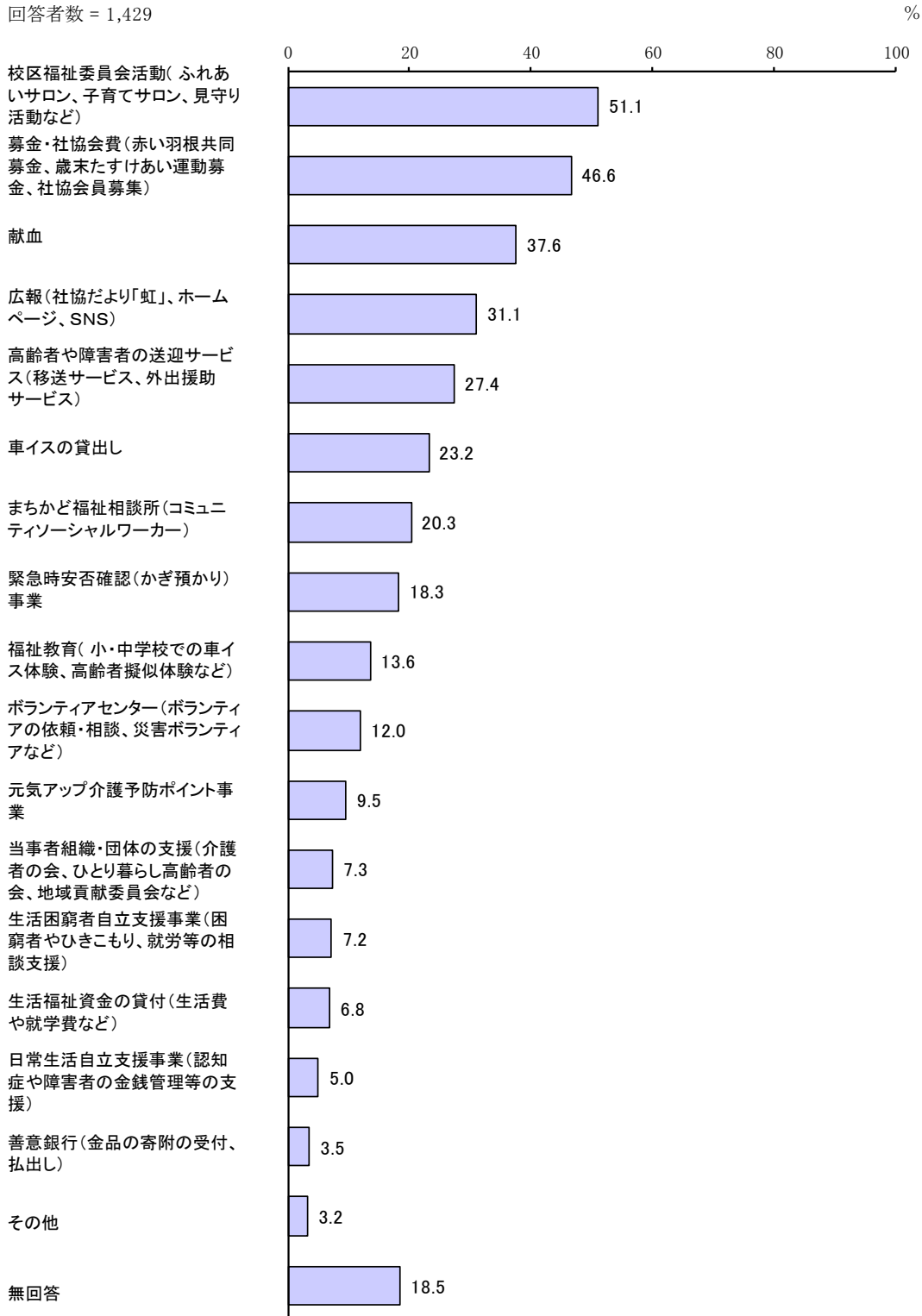
「知らない」の割合が71.0%と最も高く、次いで「知らないが、興味はある」の割合が12.1%となっています。



問 39 社会福祉協議会が行っている事業や活動について、あなたが御存知のものをお聞かせください。(〇はいくつでも可)

「校区福祉委員会活動(ふれあいサロン、子育てサロン、見守り活動など)」の割合が51.1%と最も高く、次いで「募金・社協会費(赤い羽根共同募金、歳末たすけあい運動募金、社協会員募金)」の割合が46.6%、「献血」の割合が37.6%となっています。

回答者数 = 1,429



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「緊急時安否確認（かぎ預かり）事業」「高齢者や障害者の送迎サービス（移送サービス、外出援助サービス）」「車イスの貸出し」「募金・社協会費（赤い羽根共同募金、歳末たすけあい運動募金、社協会員募集）」の割合が、年齢が低くなるにつれ「福祉教育（小・中学校での車イス体験、高齢者擬似体験など）」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、18歳～29歳で「献血」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	校区福祉委員会活動（ふれあいサロン、子育てサロン、見守り活動など）	募金・社協会費（赤い羽根共同募金、歳末たすけあい運動募金、社協会員募集）	献血	広報（社協だより「虹」、ホームページ、SNS）	高齢者や障害者の送迎サービス（移送サービス、外出援助サービス）	車イスの貸出し	まちかど福祉相談所（コミュニケーションソーシャルワーカー）	緊急時安否確認（かぎ預かり）事業	福祉教育（小・中学校での車イス体験、高齢者擬似体験など）
18歳～29歳	90	47.8	28.9	55.6	22.2	15.6	18.9	8.9	5.6	30.0
30歳～39歳	145	55.2	33.1	43.4	29.0	15.2	15.2	23.4	11.7	20.7
40歳～49歳	204	46.6	35.8	34.3	32.4	18.6	11.3	14.2	11.3	16.2
50歳～59歳	199	49.7	44.7	38.7	33.2	23.1	21.1	22.1	15.6	16.1
60歳～69歳	239	50.2	56.9	38.5	37.7	28.9	26.4	20.5	19.7	8.8
70歳以上	515	54.8	54.2	34.0	29.9	36.7	29.9	23.9	26.4	9.9

区分	ボランティアセンター（ボランティアの依頼・相談、災害ボランティアなど）	元気アップ介護予防ポイント事業	当事者組織・団体の支援（介護者の会、ひとり暮らし高齢者の会、地域貢献委員会など）	生活困窮者自立支援事業（困窮者やひきこもり、就労等の相談支援）	生活福祉資金の貸付（生活費や就学費など）	日常生活自立支援事業（認知症や障害者の金銭管理等の支援）	善意銀行（金品の寄附の受付、払出し）	その他	無回答
18歳～29歳	12.2	2.2	2.2	6.7	6.7	1.1	2.2	4.4	17.8
30歳～39歳	13.1	9.7	6.9	7.6	8.3	6.2	1.4	2.8	20.0
40歳～49歳	9.8	7.8	5.9	7.4	5.9	3.9	2.9	3.4	21.6
50歳～59歳	14.6	10.1	8.0	9.0	8.5	5.5	3.5	2.5	18.6
60歳～69歳	11.3	9.2	6.3	6.7	5.4	6.7	3.3	2.9	13.8
70歳以上	11.8	11.8	9.5	6.8	6.6	4.7	4.7	3.7	18.1

【小学校区別】

小学校区別でみると、他に比べ、石津小校区、梅が丘小校区、啓明小校区、西小校区で「校区福祉委員会活動（ふれあいサロン、子育てサロン、見守り活動など）」の割合が高くなっています。また、堀溝小校区で「まちかど福祉相談所（コミュニティソーシャルワーカー）」「車イスの貸出し」の割合が高くなっています。

単位：％

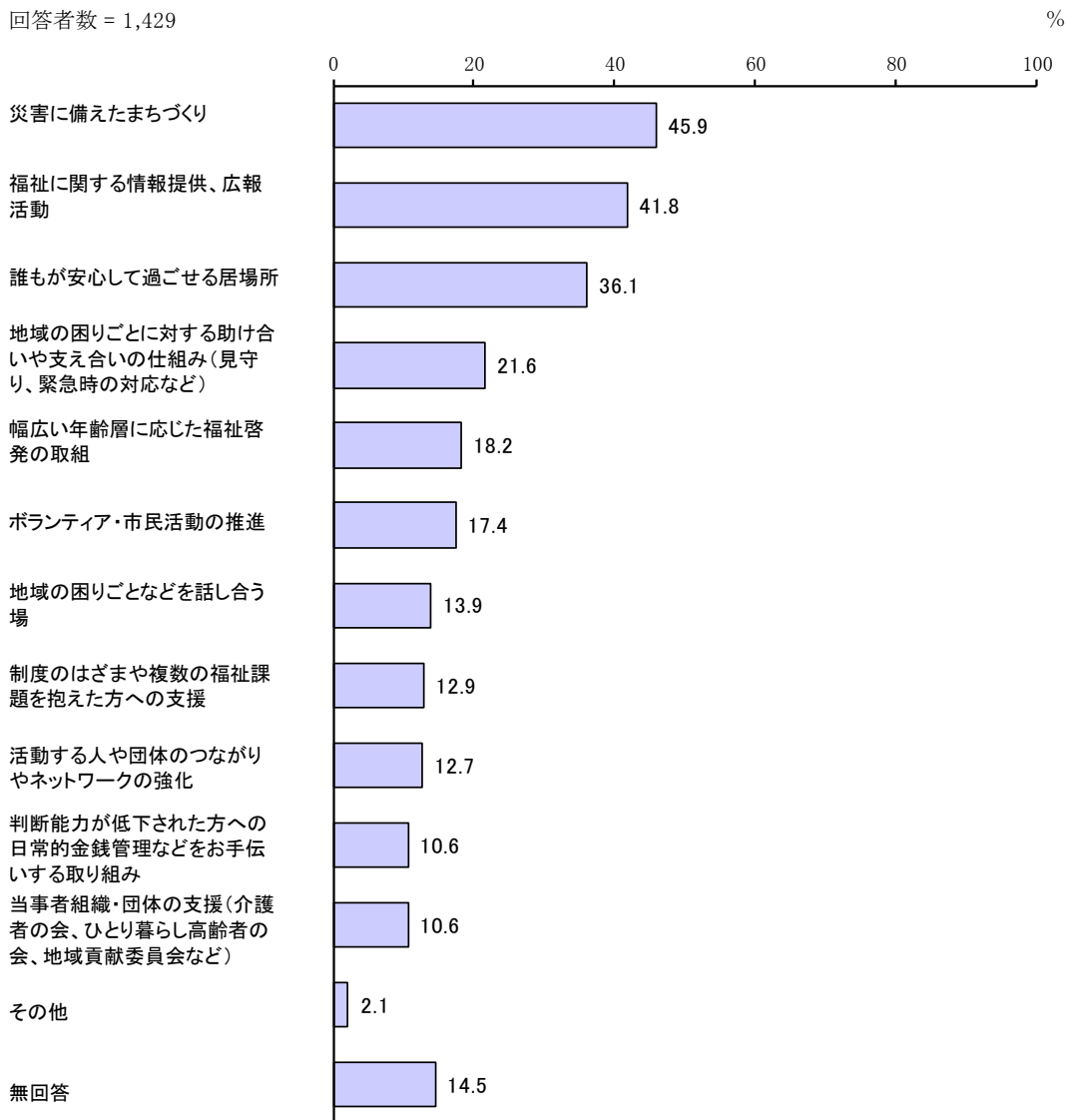
区分	回答者数（件）	校区福祉委員会活動（ふれあいサロン、子育てサロン、見守り活動など）	募金・社協会費（赤い羽根共同募金、歳末たすけあい運動募金、社協会員募集）	献血	広報（社協だより「虹」、ホームページ、SNS）	高齢者や障害者の送迎サービス（移送サービス、外出援助サービス）	車イスの貸出し	まちかど福祉相談所（コミュニティソーシャルワーカー）	緊急時安否確認（かぎ預かり）事業	福祉教育（小・中学校での車イス体験、高齢者擬似体験など）
池田小校区	74	41.9	50.0	37.8	36.5	23.0	32.4	17.6	16.2	17.6
石津小校区	36	66.7	58.3	44.4	19.4	22.2	25.0	30.6	13.9	16.7
宇谷小校区	53	54.7	49.1	30.2	30.2	37.7	28.3	22.6	18.9	17.0
梅が丘小校区	61	63.9	47.5	39.3	37.7	29.5	13.1	34.4	27.9	16.4
神田小校区	41	58.5	34.1	41.5	31.7	34.1	24.4	17.1	22.0	19.5
北小校区	85	44.7	40.0	28.2	35.3	17.6	18.8	15.3	11.8	12.9
木田小校区	49	55.1	51.0	49.0	38.8	28.6	28.6	26.5	22.4	10.2
楠根小校区	24	58.3	50.0	33.3	25.0	25.0	20.8	16.7	4.2	4.2
国松緑丘小校区	53	41.5	47.2	39.6	22.6	28.3	15.1	9.4	15.1	9.4
啓明小校区	46	67.4	65.2	47.8	37.0	23.9	23.9	21.7	23.9	13.0
木屋小校区	50	56.0	46.0	34.0	36.0	18.0	16.0	20.0	12.0	10.0
桜小校区	30	56.7	46.7	40.0	26.7	36.7	36.7	23.3	30.0	16.7
点野小校区	70	52.9	45.7	41.4	27.1	40.0	21.4	22.9	24.3	15.7
成美小校区	54	53.7	55.6	37.0	38.9	35.2	27.8	24.1	20.4	24.1
田井小校区	50	48.0	40.0	26.0	28.0	24.0	24.0	22.0	26.0	16.0
第五小校区	153	47.1	49.0	38.6	36.6	22.9	19.6	15.0	13.1	9.2
中央小校区	80	38.8	42.5	38.8	32.5	26.3	20.0	21.3	17.5	11.3
西小校区	55	65.5	49.1	41.8	34.5	27.3	29.1	25.5	25.5	21.8
東小校区	66	47.0	45.5	42.4	25.8	30.3	24.2	10.6	13.6	12.1
堀溝小校区	31	45.2	58.1	38.7	48.4	41.9	45.2	45.2	32.3	22.6
三井小校区	86	55.8	45.3	36.0	25.6	33.7	20.9	16.3	24.4	7.0
南小校区	44	56.8	56.8	45.5	22.7	22.7	20.5	22.7	20.5	13.6
明和小校区	39	48.7	30.8	41.0	25.6	35.9	23.1	20.5	12.8	12.8
和光小校区	43	62.8	51.2	41.9	30.2	18.6	34.9	25.6	18.6	18.6

単位：％

区分	ボランティアセンター(ボランティアの依頼・相談、災害ボランティアなど)	元気アップ介護予防ポイント事業	当事者組織・団体の支援(介護者の会、ひとり暮らし高齢者の会、地域貢献委員会など)	生活困窮者自立支援事業(困窮者やひきこもり、就労等の相談支援)	生活福祉資金の貸付(生活費や就学費など)	日常生活自立支援事業(認知症や障害者の金銭管理等の支援)	善意銀行(金品の寄附の受付、払出し)	その他	無回答
池田小校区	14.9	13.5	5.4	6.8	6.8	4.1	4.1	4.1	20.3
石津小校区	5.6	8.3	2.8	5.6	2.8	5.6	2.8	—	13.9
宇谷小校区	5.7	15.1	3.8	5.7	3.8	7.5	3.8	3.8	15.1
梅が丘小校区	13.1	11.5	11.5	9.8	9.8	11.5	4.9	3.3	11.5
神田小校区	12.2	9.8	12.2	14.6	7.3	7.3	4.9	7.3	14.6
北小校区	10.6	9.4	5.9	4.7	5.9	3.5	1.2	2.4	21.2
木田小校区	8.2	6.1	12.2	10.2	12.2	8.2	12.2	—	14.3
楠根小校区	—	4.2	—	4.2	4.2	—	—	4.2	12.5
国松緑丘小校区	5.7	3.8	7.5	5.7	5.7	3.8	—	3.8	22.6
啓明小校区	19.6	17.4	15.2	8.7	8.7	4.3	4.3	2.2	19.6
木屋小校区	6.0	4.0	4.0	6.0	6.0	2.0	—	4.0	22.0
桜小校区	16.7	23.3	10.0	13.3	13.3	13.3	3.3	3.3	10.0
点野小校区	12.9	10.0	5.7	5.7	7.1	4.3	5.7	4.3	14.3
成美小校区	9.3	11.1	9.3	5.6	9.3	—	—	1.9	14.8
田井小校区	14.0	12.0	6.0	6.0	8.0	8.0	8.0	4.0	24.0
第五小校区	8.5	5.9	5.9	8.5	5.2	2.6	1.3	2.6	16.3
中央小校区	15.0	11.3	8.8	5.0	10.0	3.8	2.5	3.8	17.5
西小校区	25.5	7.3	3.6	5.5	3.6	5.5	5.5	5.5	10.9
東小校区	21.2	9.1	9.1	7.6	4.5	4.5	6.1	1.5	21.2
堀溝小校区	19.4	12.9	9.7	16.1	12.9	9.7	—	—	12.9
三井小校区	12.8	9.3	5.8	8.1	7.0	3.5	4.7	3.5	20.9
南小校区	6.8	4.5	11.4	6.8	4.5	4.5	4.5	2.3	25.0
明和小校区	15.4	15.4	7.7	10.3	7.7	12.8	5.1	2.6	23.1
和光小校区	11.6	9.3	11.6	—	4.7	2.3	2.3	2.3	11.6

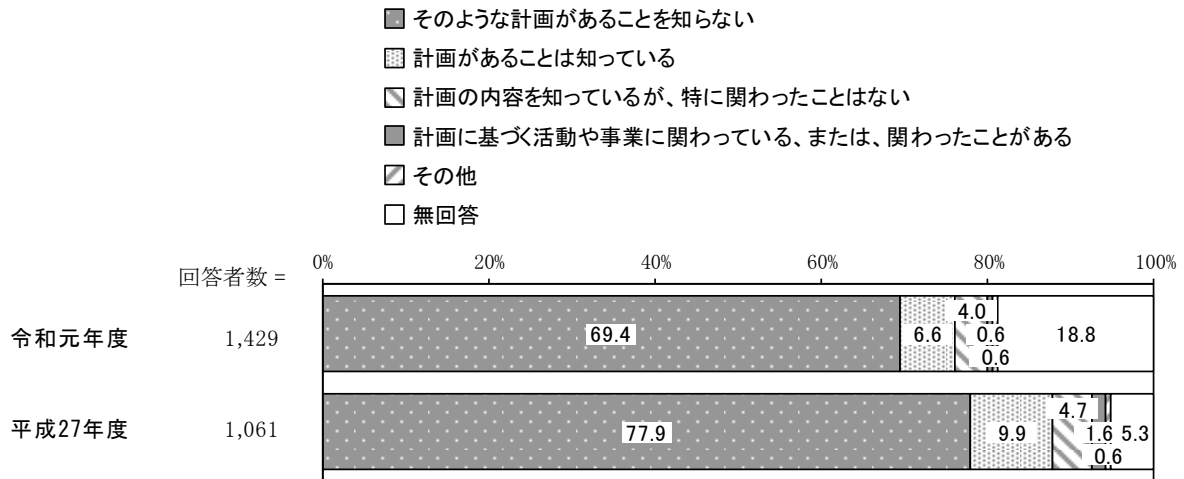
問 40 あなたは社会福祉協議会の活動で、今後充実してほしいものはどれですか。
(〇はいくつでも可)

「災害に備えたまちづくり」の割合が 45.9%と最も高く、次いで「福祉に関する情報提供、広報活動」の割合が 41.8%、「誰もが安心して過ごせる居場所」の割合が 36.1%となっています。



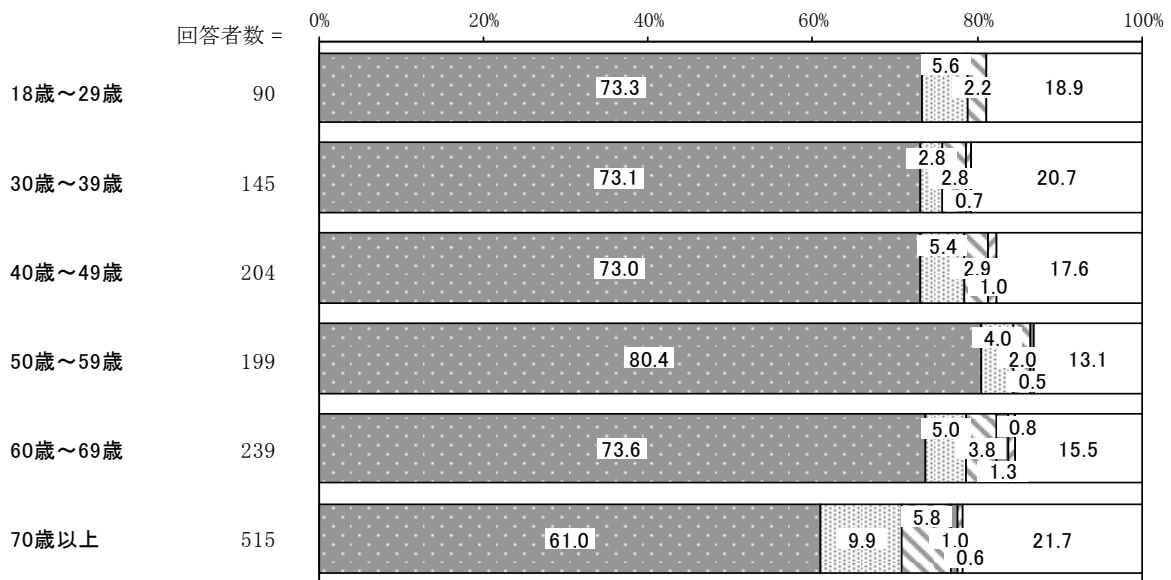
問 41 あなたは「みんながつながる地域福祉プラン」（寝屋川市地域福祉計画）を知っていますか。また、計画に基づく活動や事業に関わったことがありますか。
（○は1つ）

「そのような計画があることを知らない」の割合が69.4%と最も高くなっています。
平成27年度と比較すると、「そのような計画があることを知らない」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、50歳～59歳で「そのような計画があることを知らない」の割合が高くなっています。

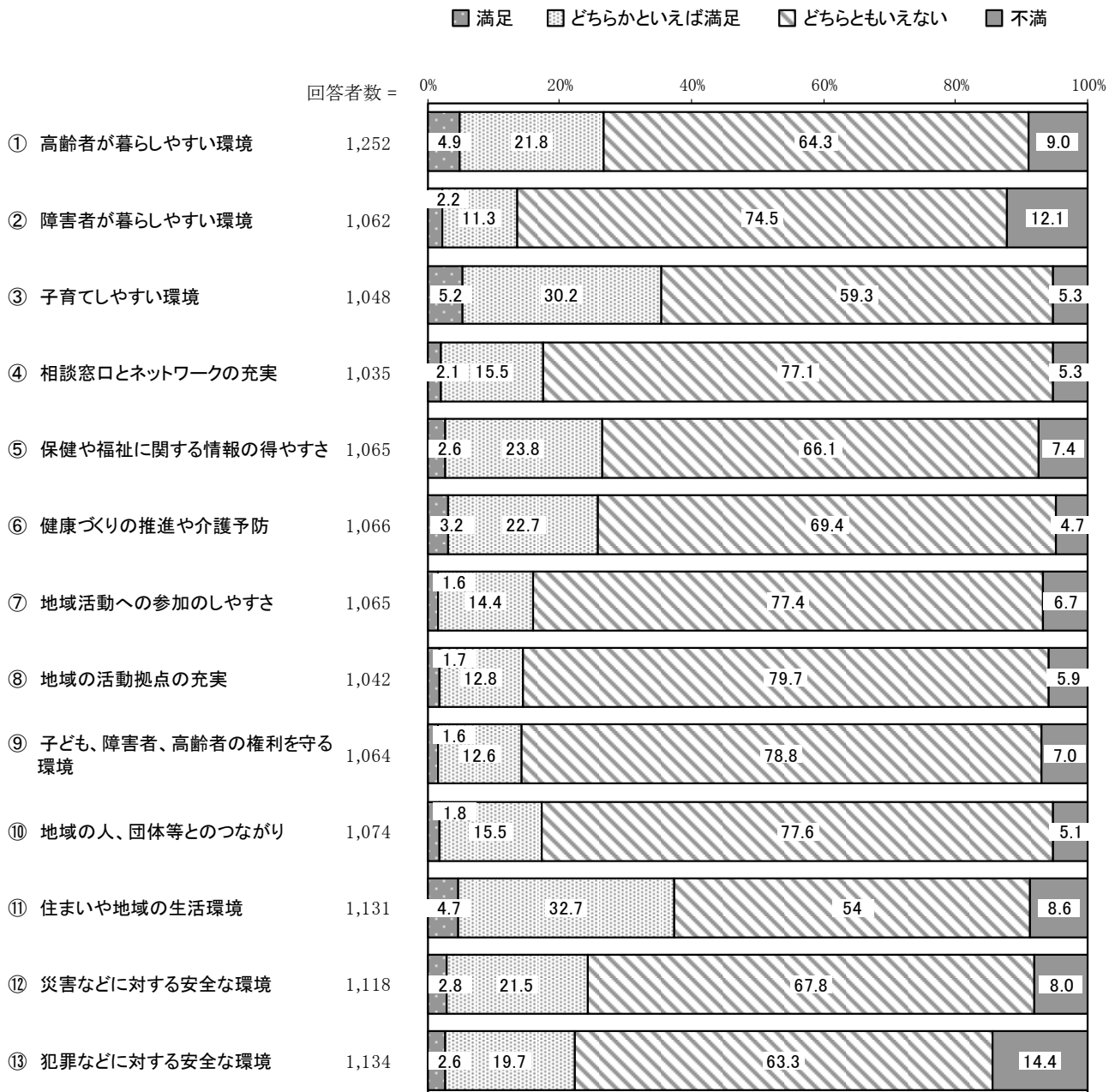


問 42 現在お住いの地域での暮らしに関する環境についてどのように感じていますか。
「現在の状況」と「以前（概ね5年前）と比べた状況」についてそれぞれお答え
ください。（〇は1つ）

※問 42 に関しては無回答を除いた集計としています。

<現在の状況>

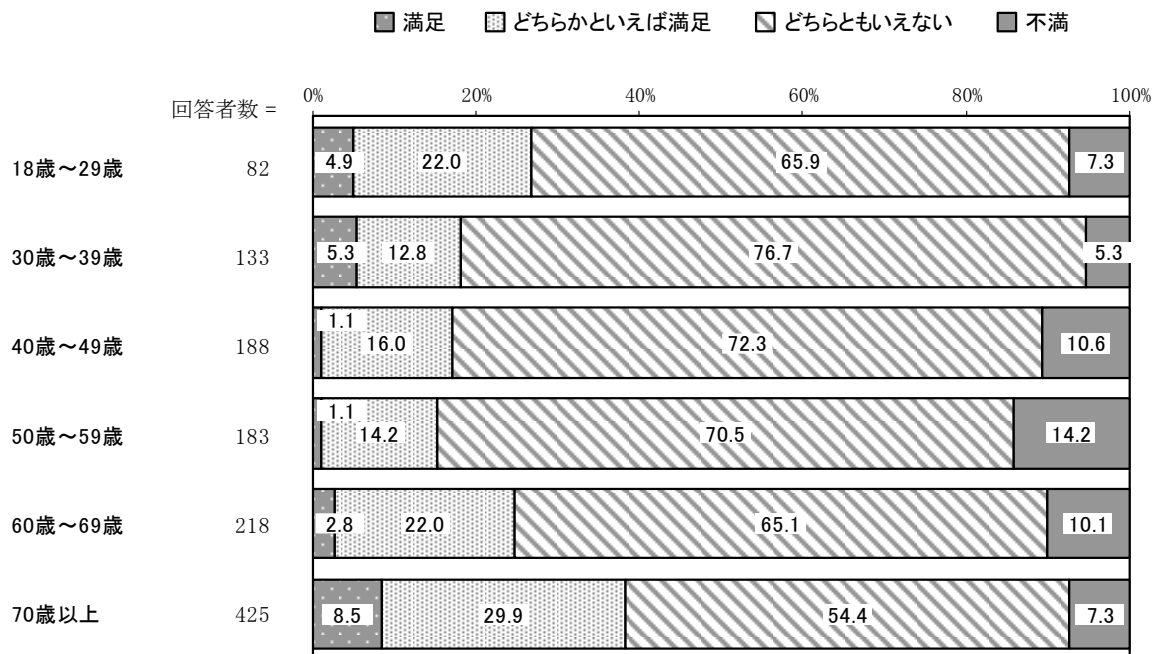
『③ 子育てしやすい環境』『⑪ 住まいや地域の生活環境』で「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた“満足”の割合が高くなっています。



① 高齢者が暮らしやすい環境

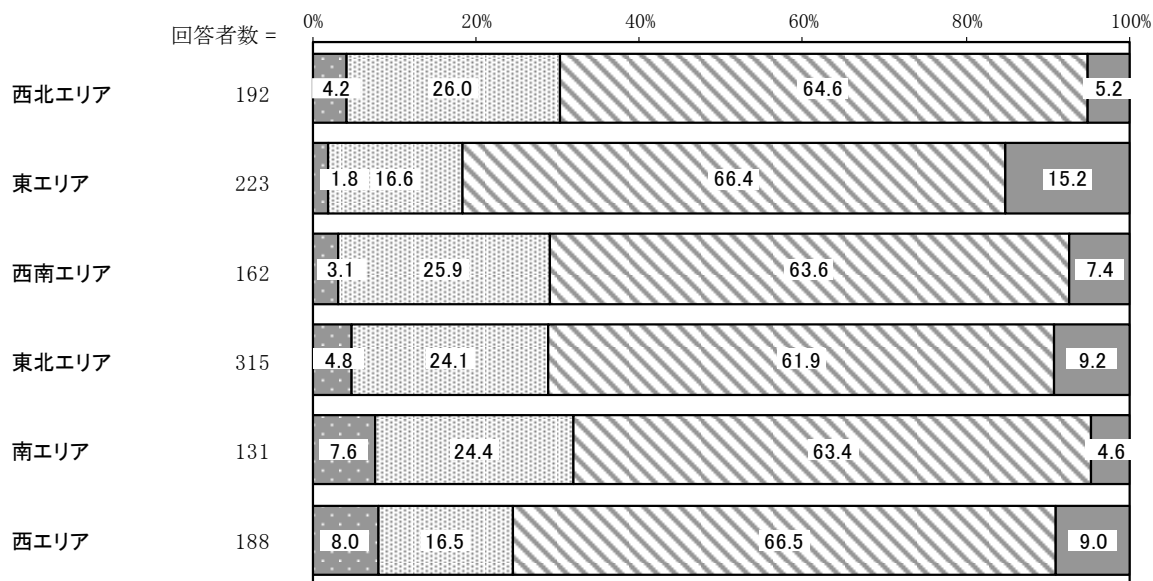
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で“満足”の割合が高くなっています。また、50歳～59歳で「不満」の割合が高くなっています。



【コミュニティセンターエリア別】

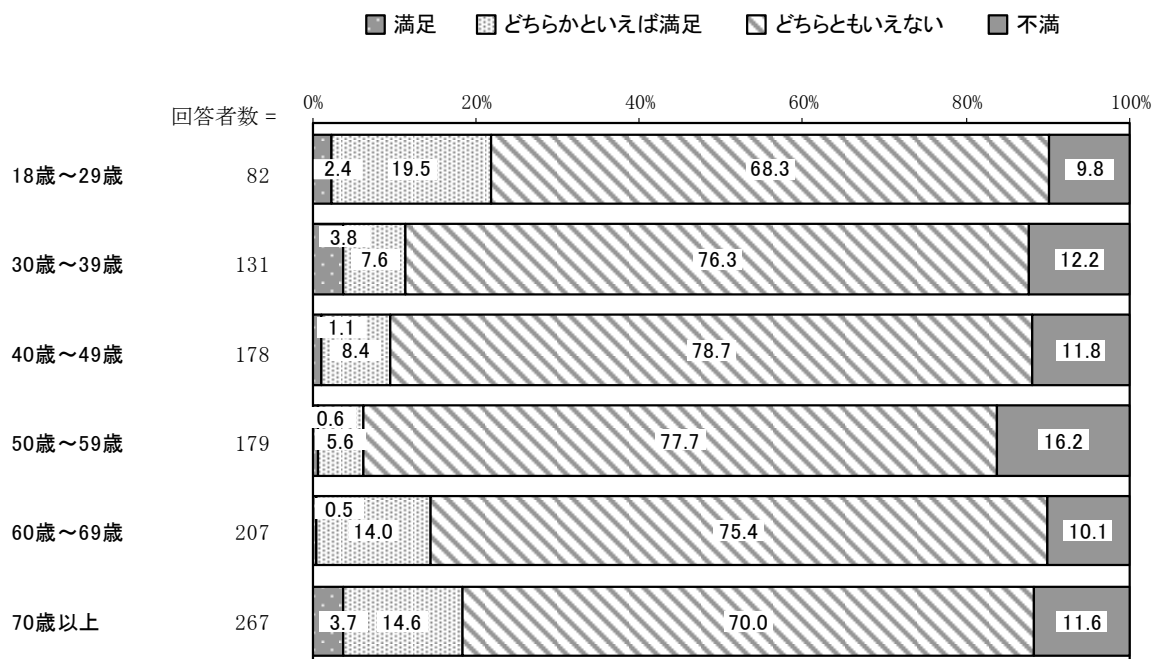
コミュニティセンターエリア別でみると、他に比べ、南エリアで“満足”の割合が高くなっています。また、東エリアで「不満」の割合が高くなっています。



② 障害者が暮らしやすい環境

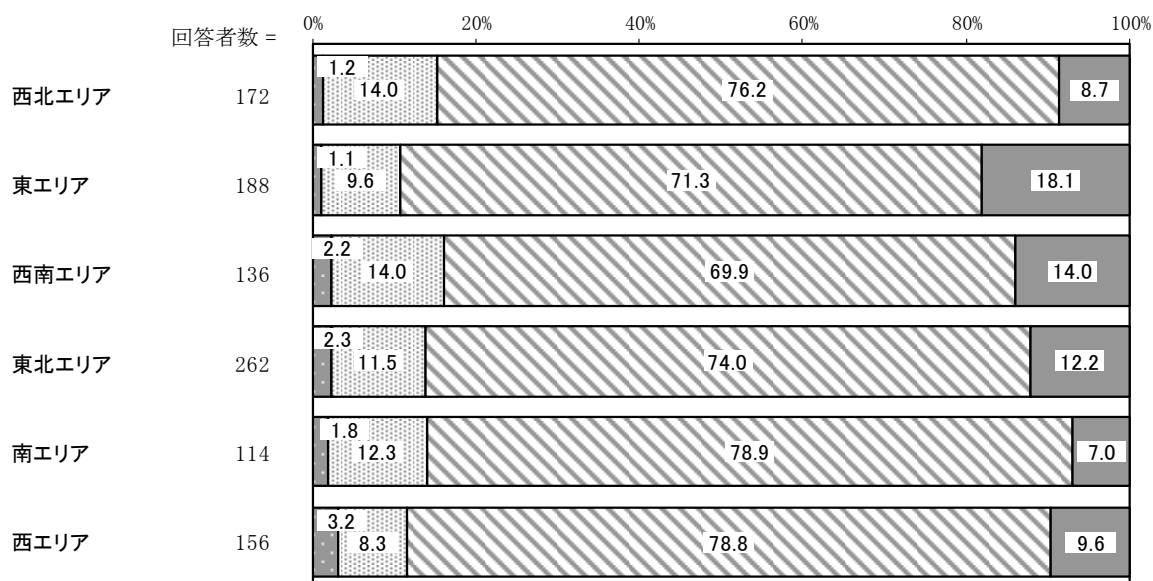
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“満足”の割合が高くなっています。また、50歳～59歳で「不満」の割合が高くなっています。



【コミュニティセンターエリア別】

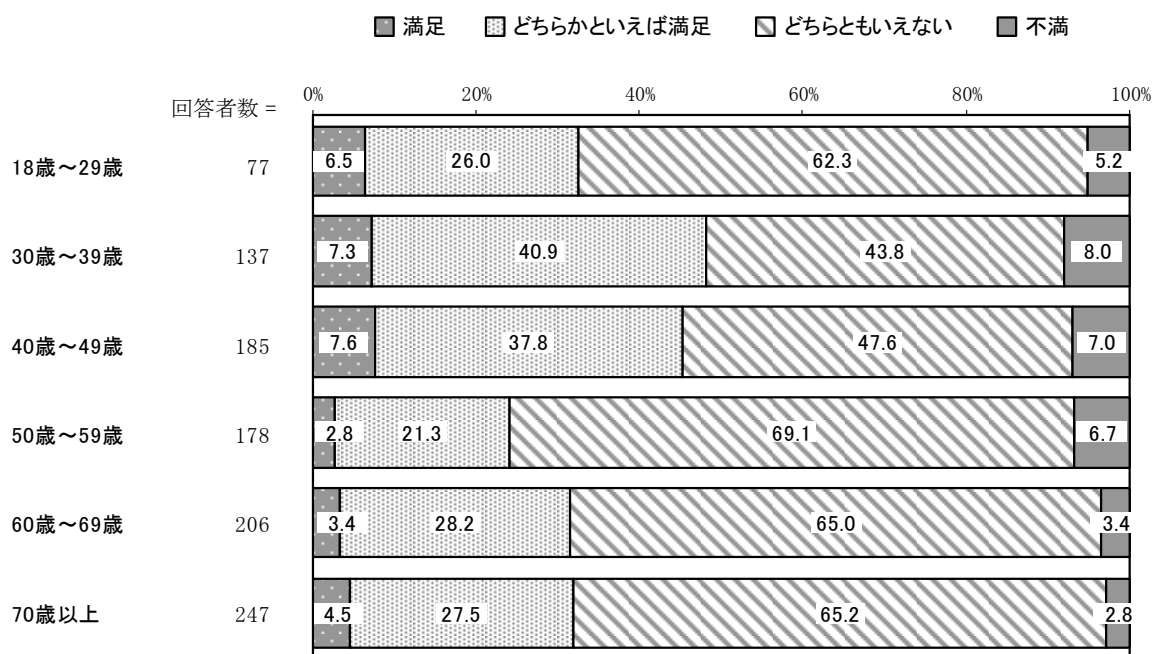
コミュニティセンターエリア別でみると、他に比べ、西北エリア、西南エリアで“満足”の割合が高くなっています。また、東エリアで「不満」の割合が高くなっています。



③ 子育てしやすい環境

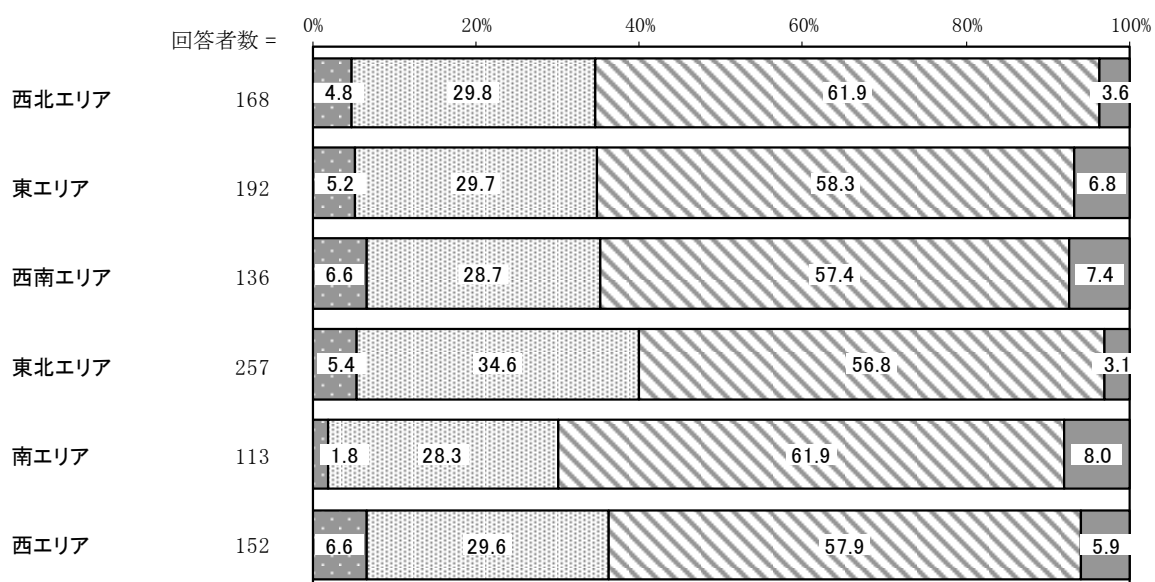
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳～39歳で“満足”の割合が高くなっています。



【コミュニティセンターエリア別】

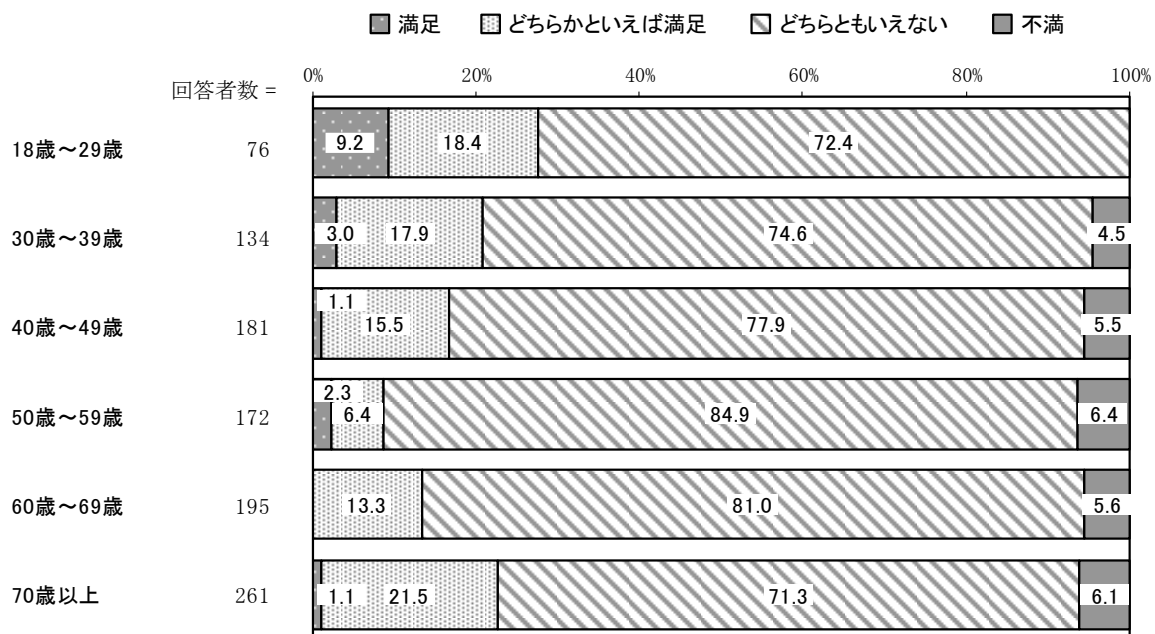
コミュニティセンターエリア別でみると、他に比べ、東北エリアで“満足”の割合が高くなっています。



④ 相談窓口とネットワークの充実

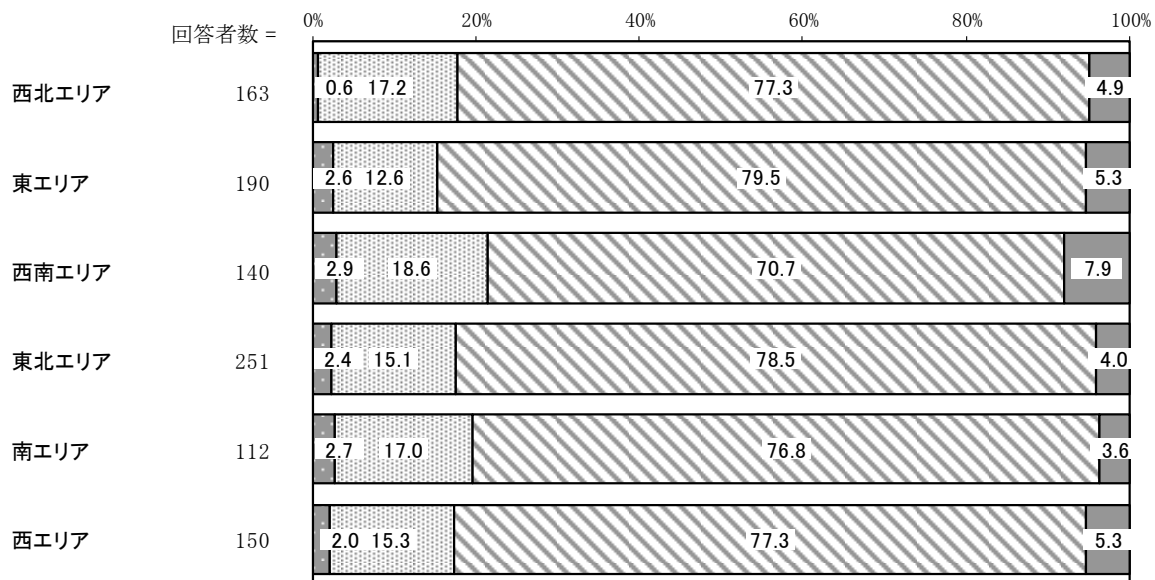
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、18歳～29歳で“満足”の割合が高くなっています。



【コミュニティセンターエリア別】

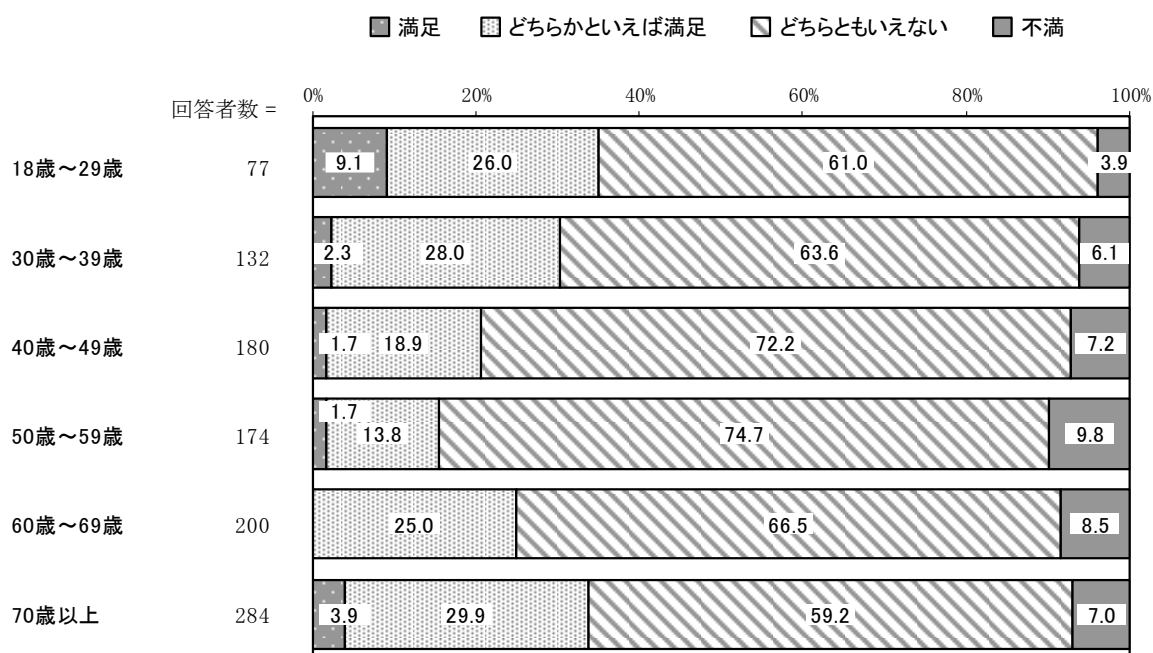
コミュニティセンターエリア別で見ると、他に比べ、西南エリアで“満足”の割合が高くなっています。



⑤ 保健や福祉に関する情報の得やすさ

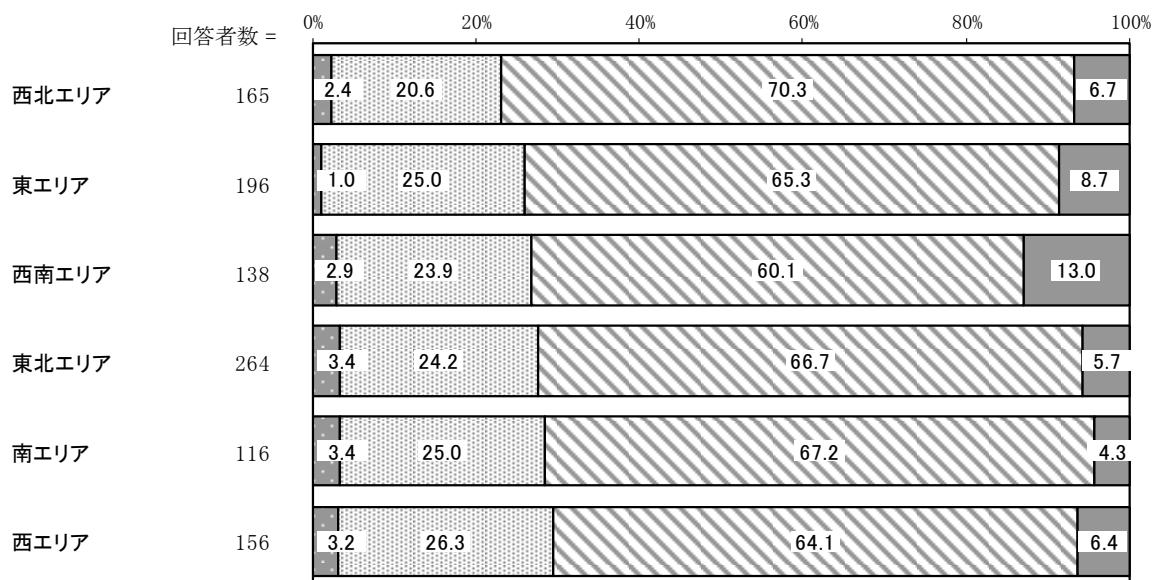
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳、70歳以上で“満足”の割合が高くなっています。



【コミュニティセンターエリア別】

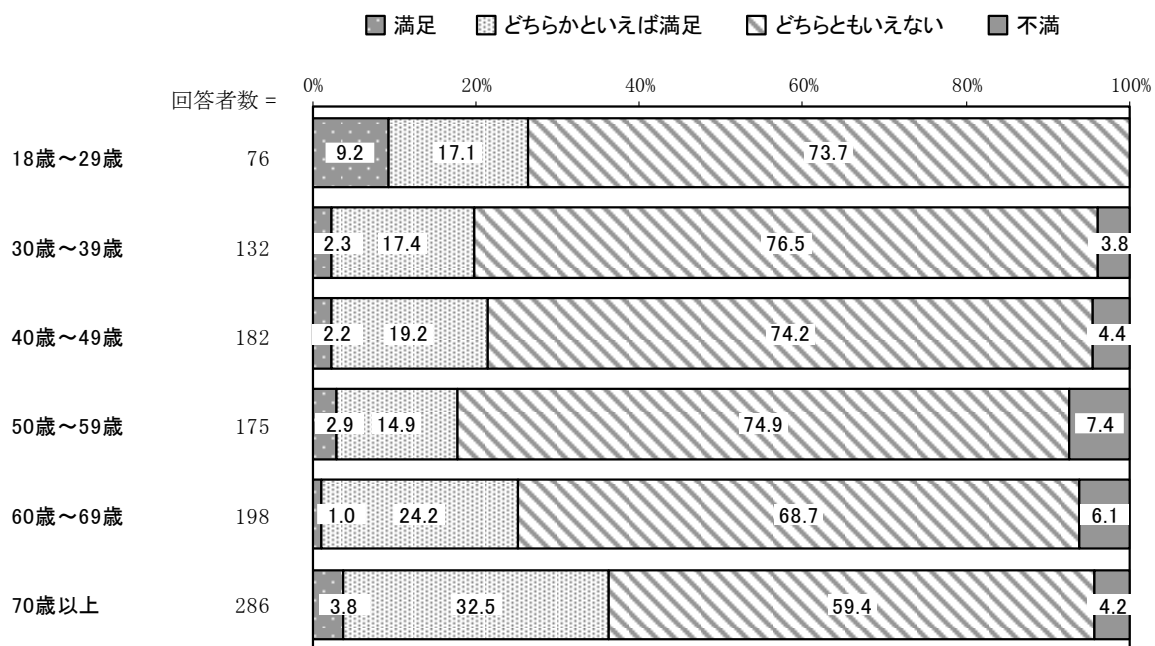
コミュニティセンターエリア別でみると、他に比べ、西北エリアで「不満」の割合が高くなっています。



⑥ 健康づくりの推進や介護予防

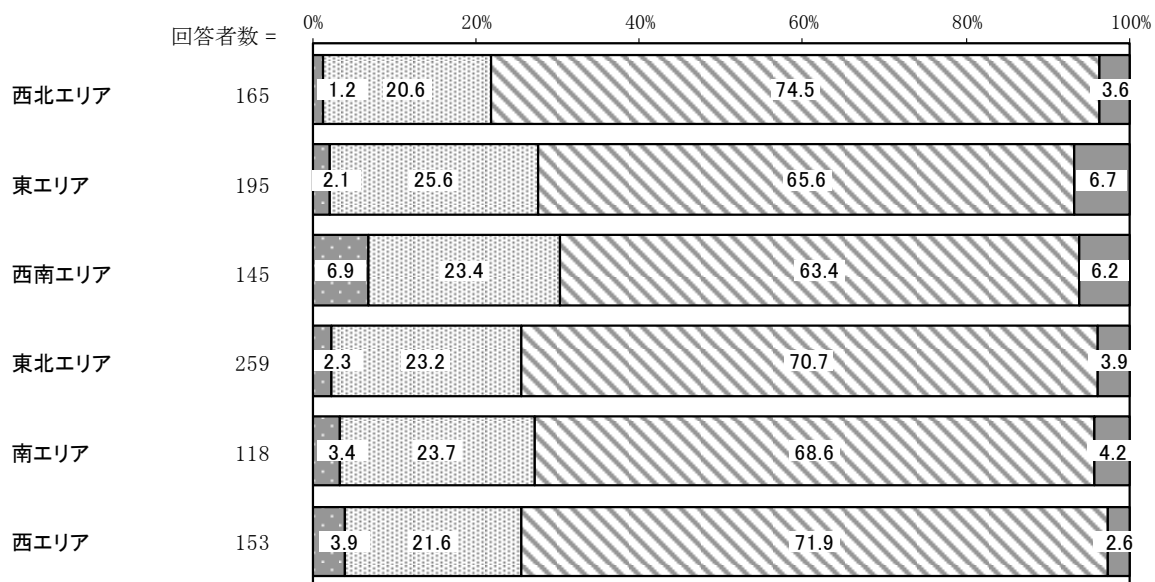
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で“満足”の割合が高くなっています。



【コミュニティセンターエリア別】

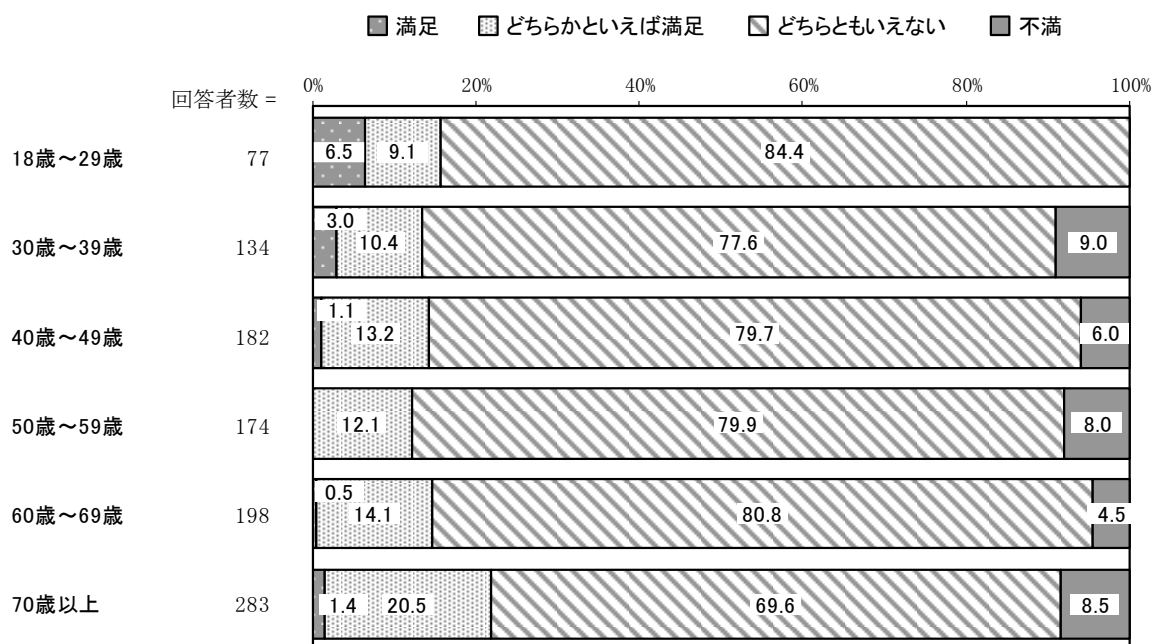
コミュニティセンターエリア別でみると、他に比べ、西南エリアで“満足”の割合が高くなっています。



⑦ 地域活動への参加のしやすさ

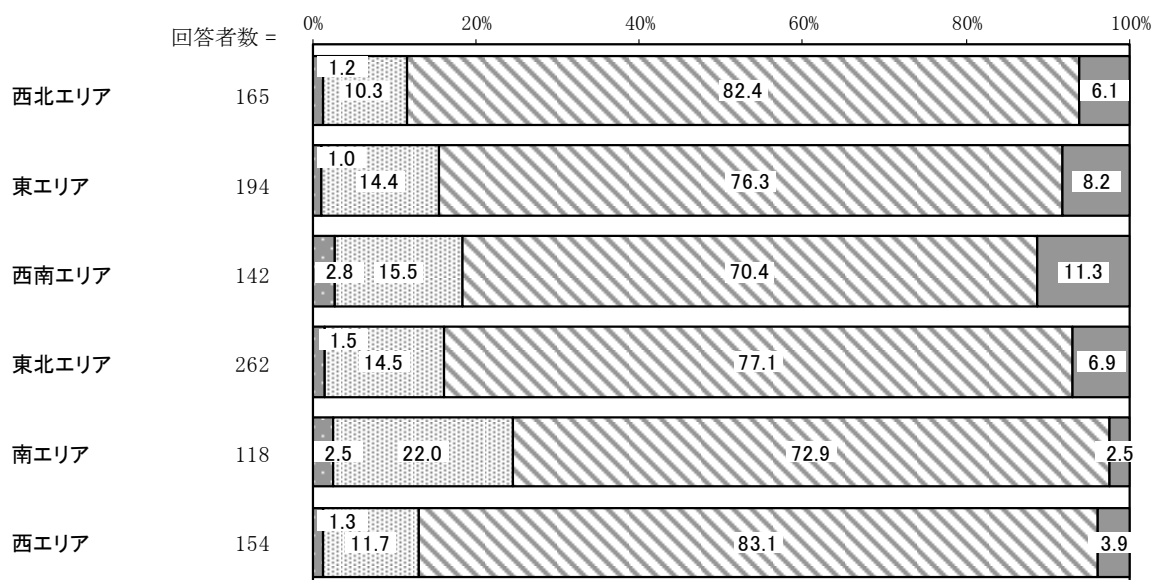
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で“満足”の割合が高くなっています。



【コミュニティセンターエリア別】

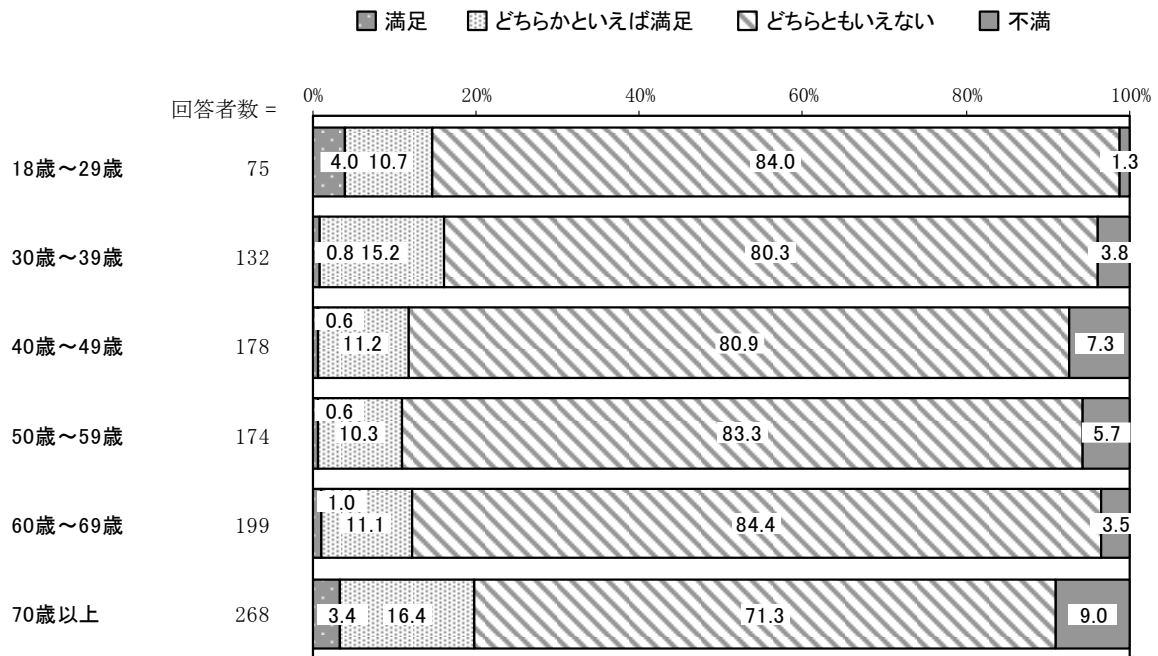
コミュニティセンターエリア別でみると、他に比べ、南エリアで“満足”の割合が高くなっています。また、西北エリアで「不満」の割合が高くなっています。



⑧ 地域の活動拠点の充実

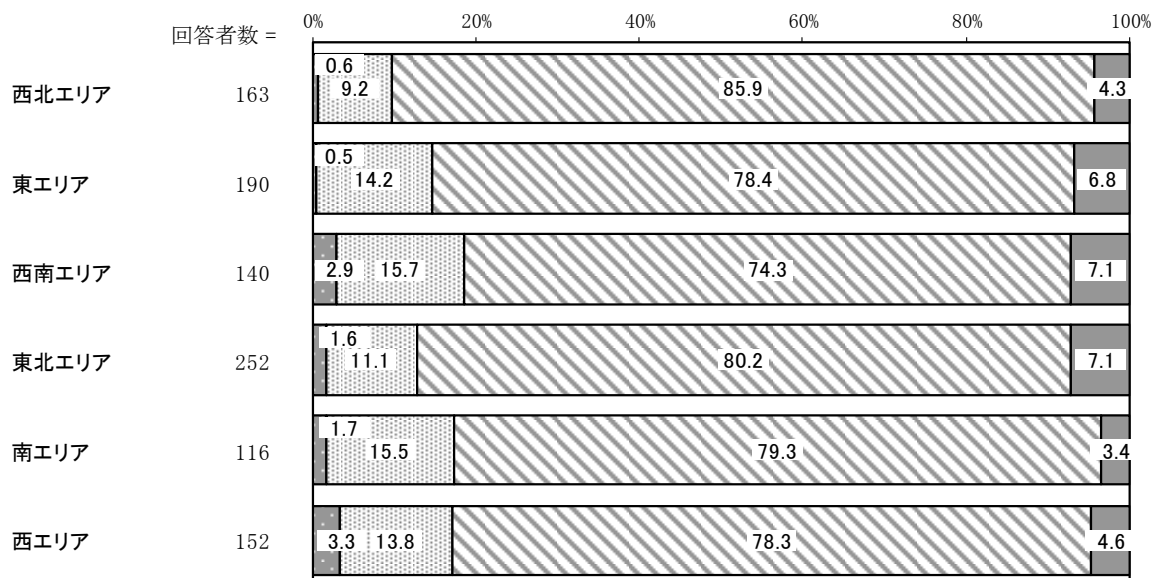
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で“満足”の割合が高くなっています。



【コミュニティセンターエリア別】

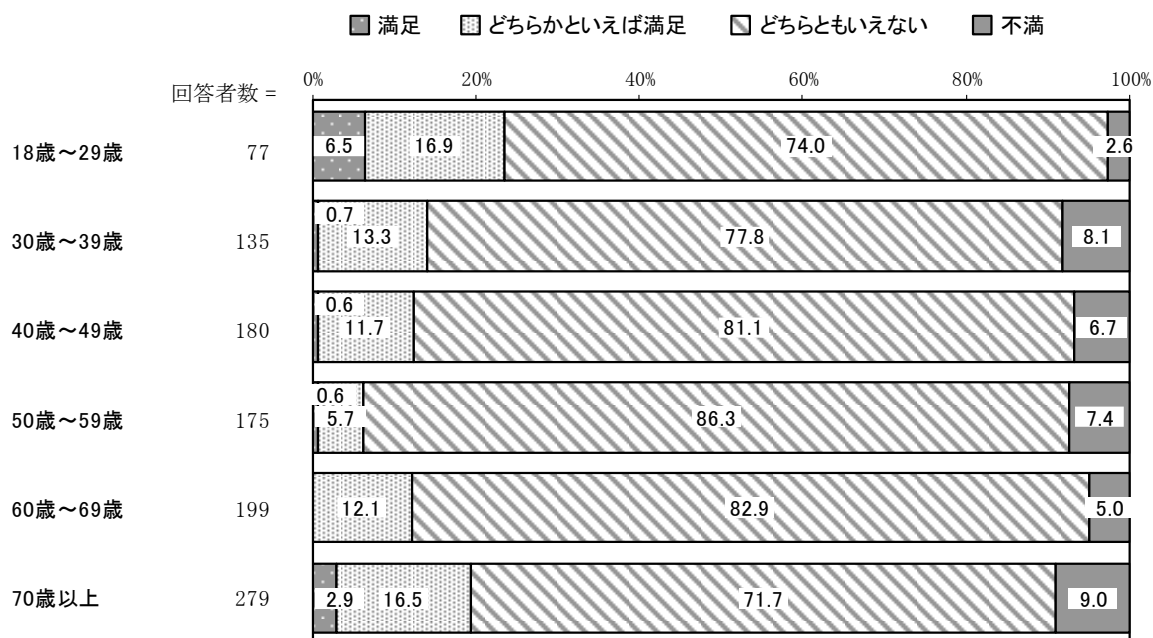
コミュニティセンターエリア別でみると、他に比べ、西南エリア、南エリア、西エリアで“満足”の割合が高くなっています。



⑨ 子ども、障害者、高齢者の権利を守る環境

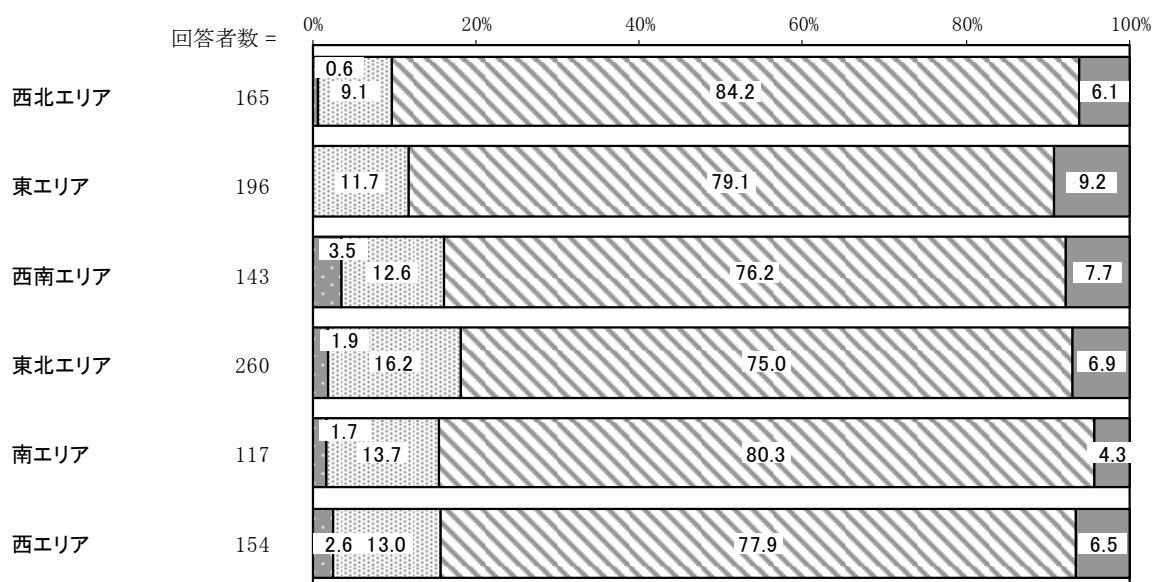
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳で“満足”の割合が高くなっています。



【コミュニティセンターエリア別】

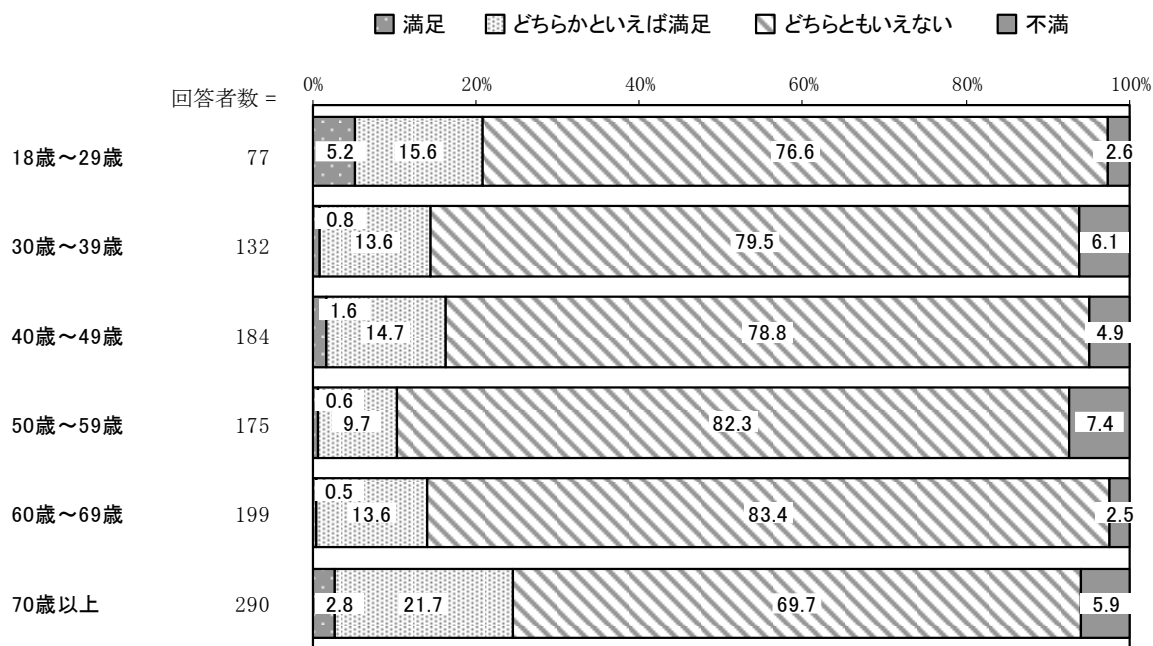
コミュニティセンターエリア別でみると、他に比べ、東北エリアで“満足”の割合が高くなっています。また、西北エリアで“不満”の割合が高くなっています。



⑩ 地域の人、団体等とのつながり

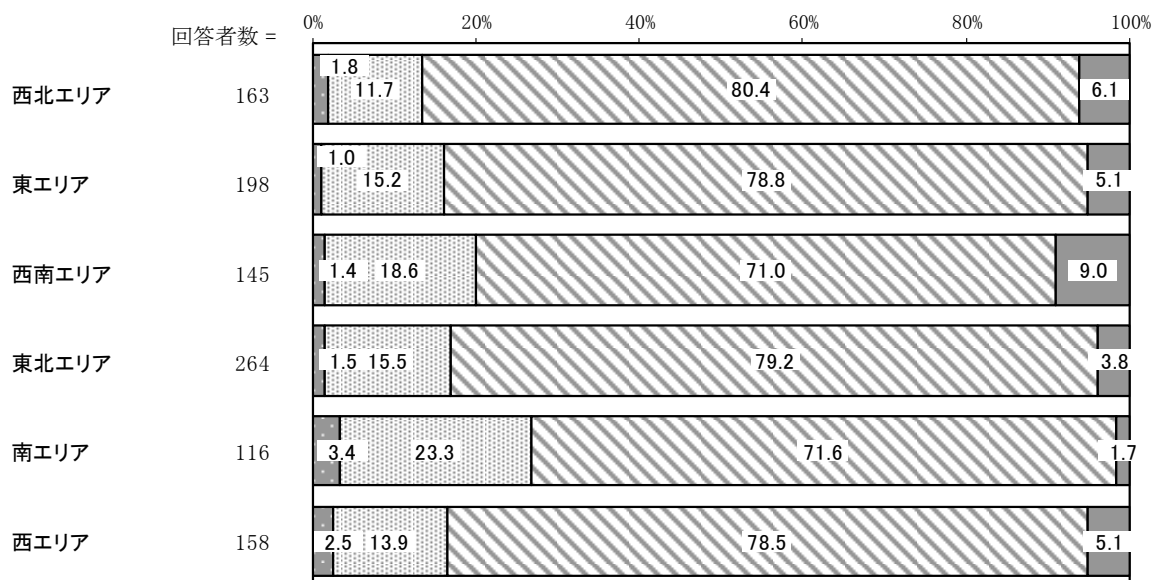
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で“満足”の割合が高くなっています。



【コミュニティセンターエリア別】

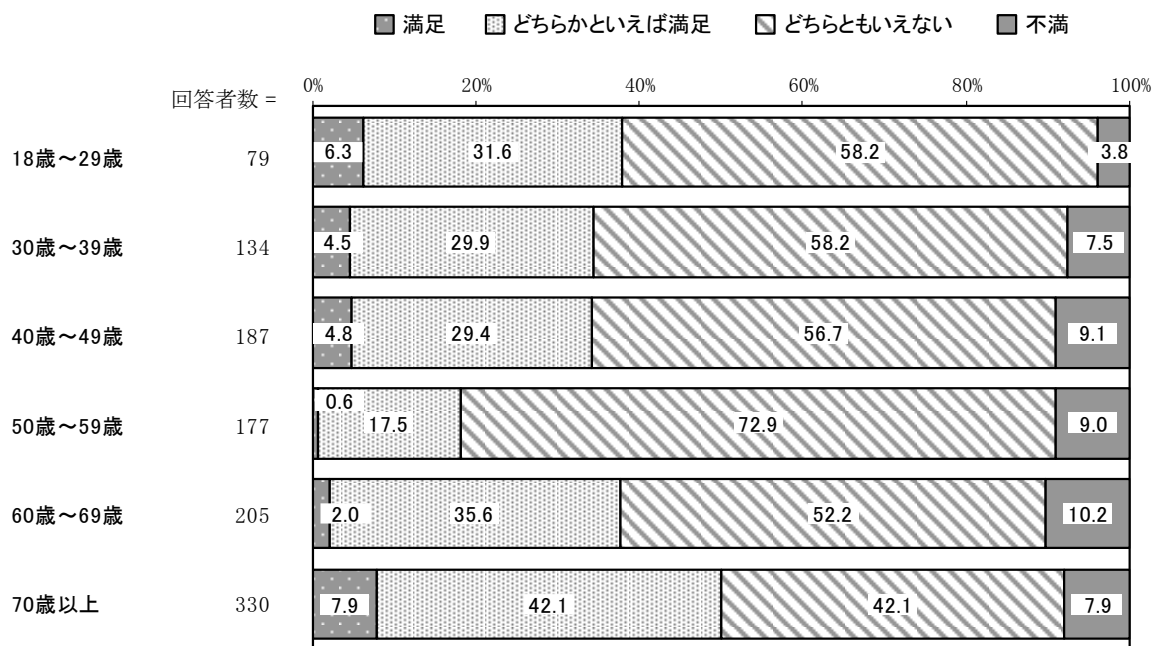
コミュニティセンターエリア別でみると、他に比べ、南エリアで“満足”の割合が高くなっています。



⑪ 住まいや地域の生活環境

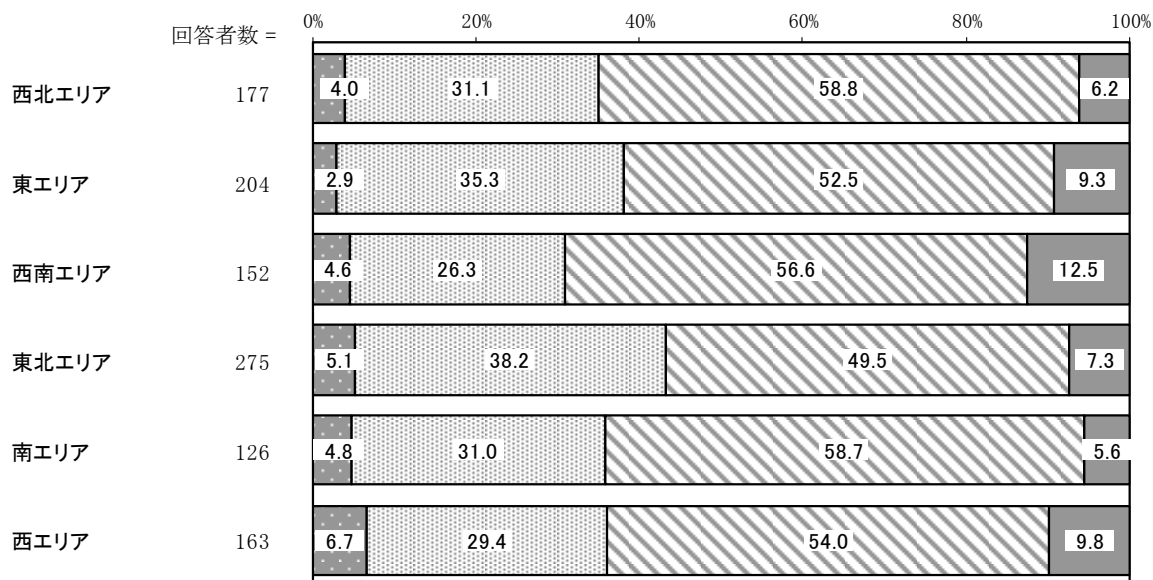
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で“満足”の割合が高くなっています。



【コミュニティセンターエリア別】

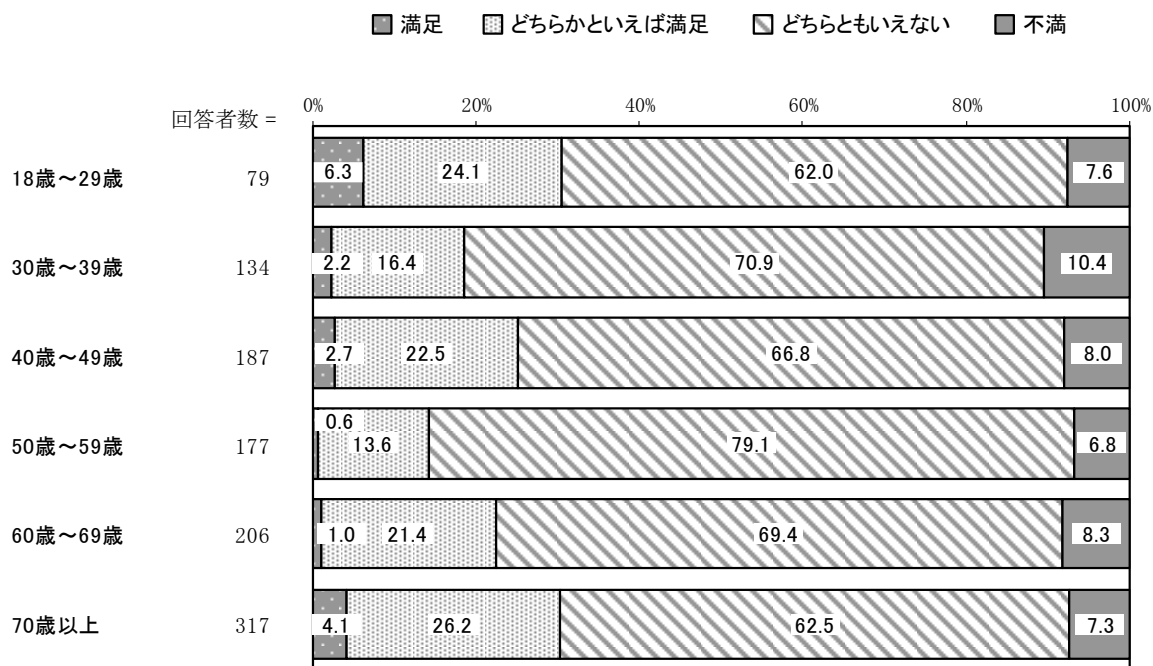
コミュニティセンターエリア別でみると、他に比べ、東北エリアで“満足”の割合が高くなっています。また、西南エリアで「不満」の割合が高くなっています。



⑫ 災害などに対する安全な環境

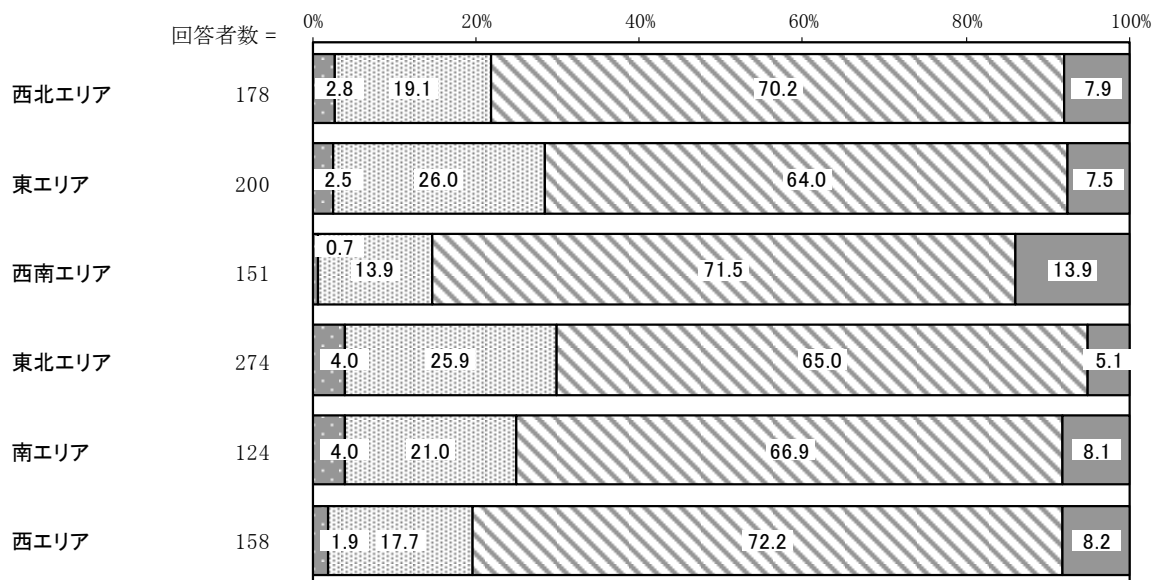
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、18歳～29歳、70歳以上で“満足”の割合が高くなっています。



【コミュニティセンターエリア別】

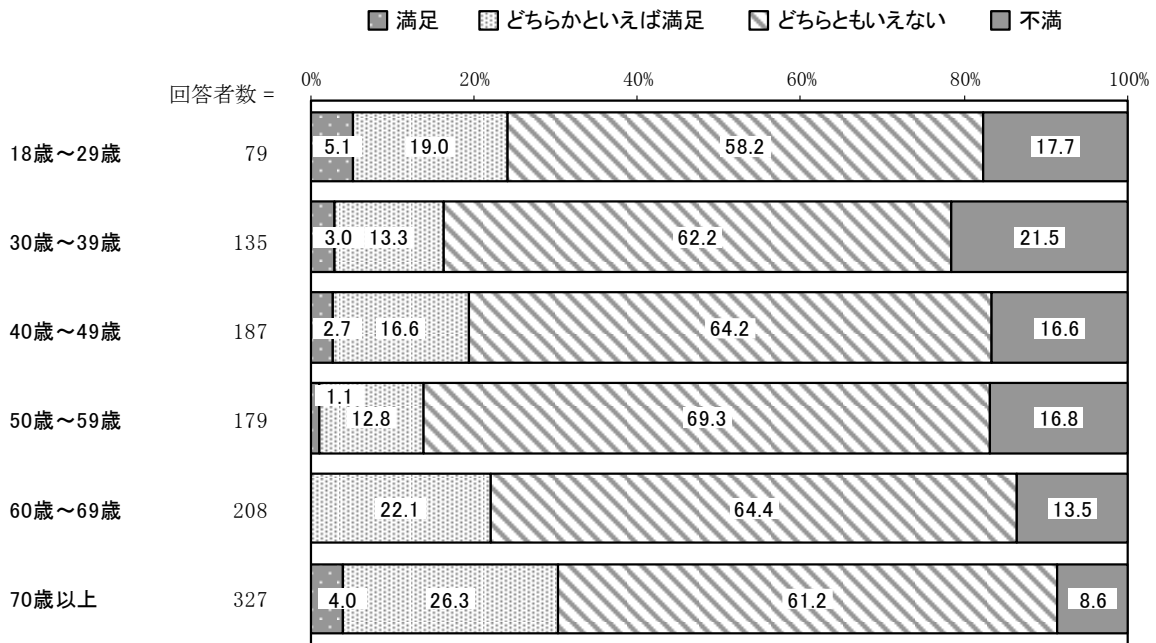
コミュニティセンターエリア別で見ると、他に比べ、東エリア、東北エリアで“満足”の割合が高くなっています。また、西南エリアで「不満」の割合が高くなっています。



⑬ 犯罪などに対する安全な環境

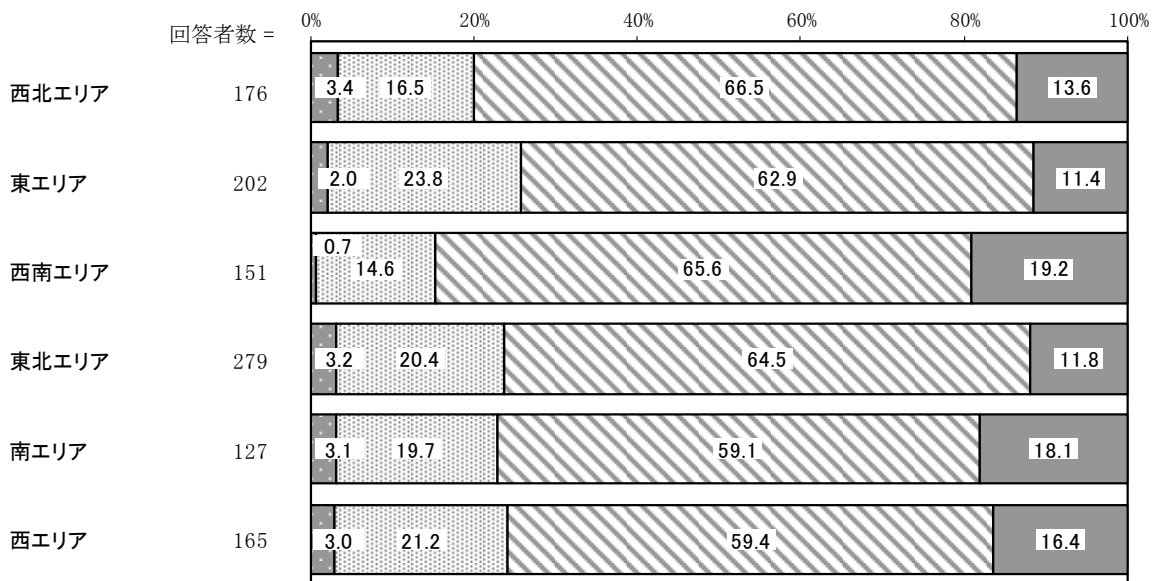
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、70歳以上で“満足”の割合が高くなっています。また、30歳～39歳で「不満」の割合が高くなっています。



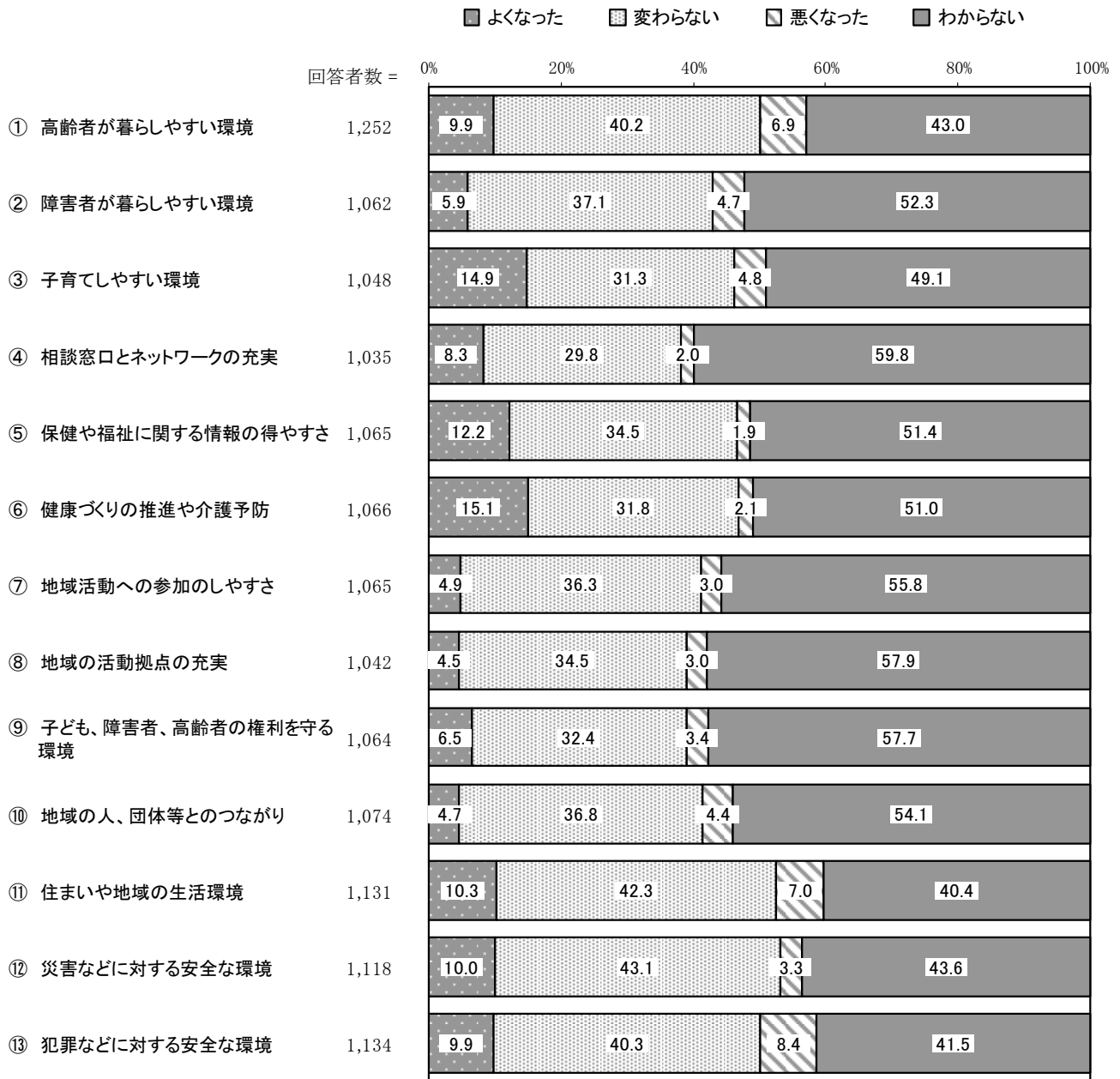
【コミュニティセンターエリア別】

コミュニティセンターエリア別で見ると、他に比べ、西南エリアで“満足”の割合が低くなっています。



<以前と比べた状況>

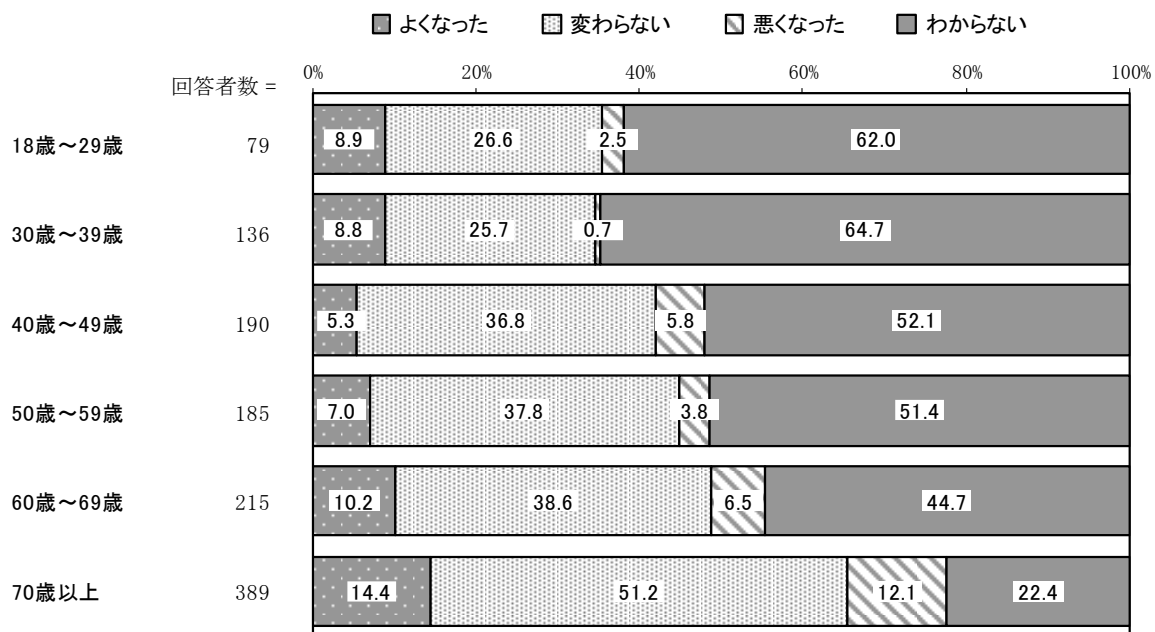
『③ 子育てしやすい環境』『⑥ 健康づくりの推進や介護予防』で「よくなった」の割合が高くなっています。また、『⑪ 住まいや地域の生活環境』『⑫ 災害などに対する安全な環境』で「変わらない」の割合が高くなっています。



① 高齢者が暮らしやすい環境

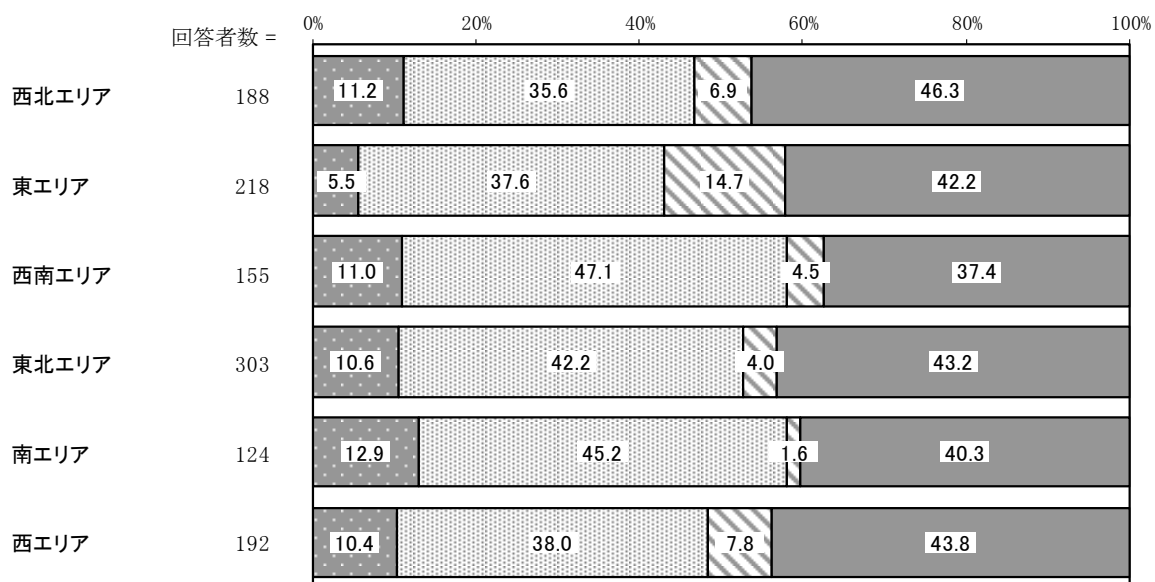
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、70歳以上で「変わらない」の割合が高くなっています。



【コミュニティセンターエリア別】

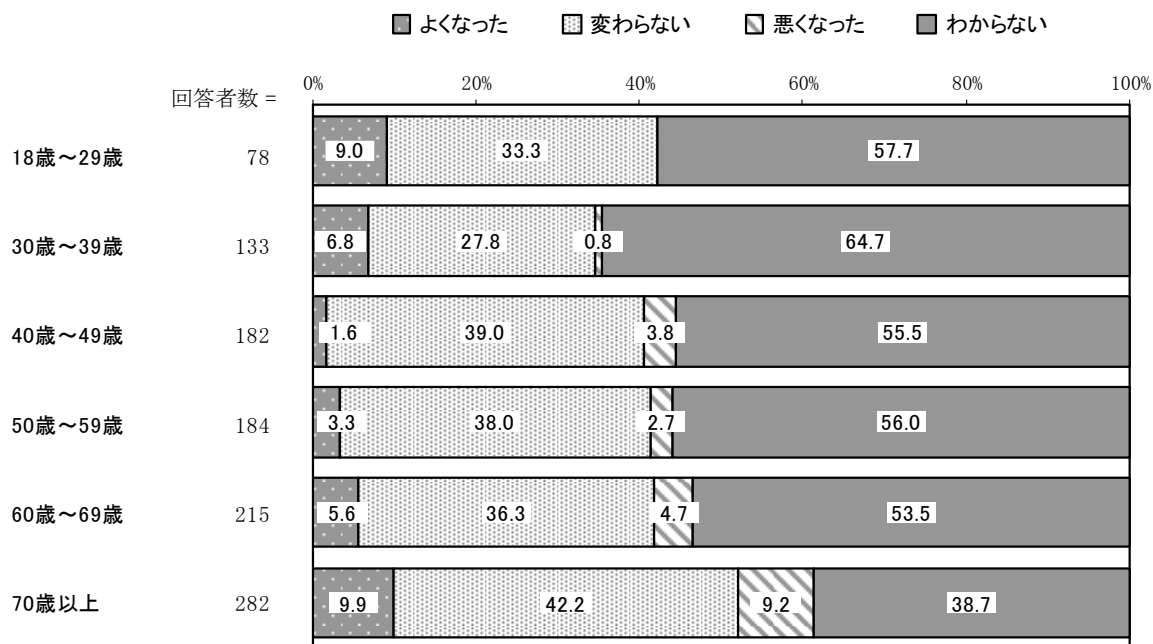
コミュニティセンターエリア別で見ると、他に比べ、西南エリア、南エリアで「変わらない」の割合が、東エリアで「悪くなった」の割合が高くなっています。



② 障害者が暮らしやすい環境

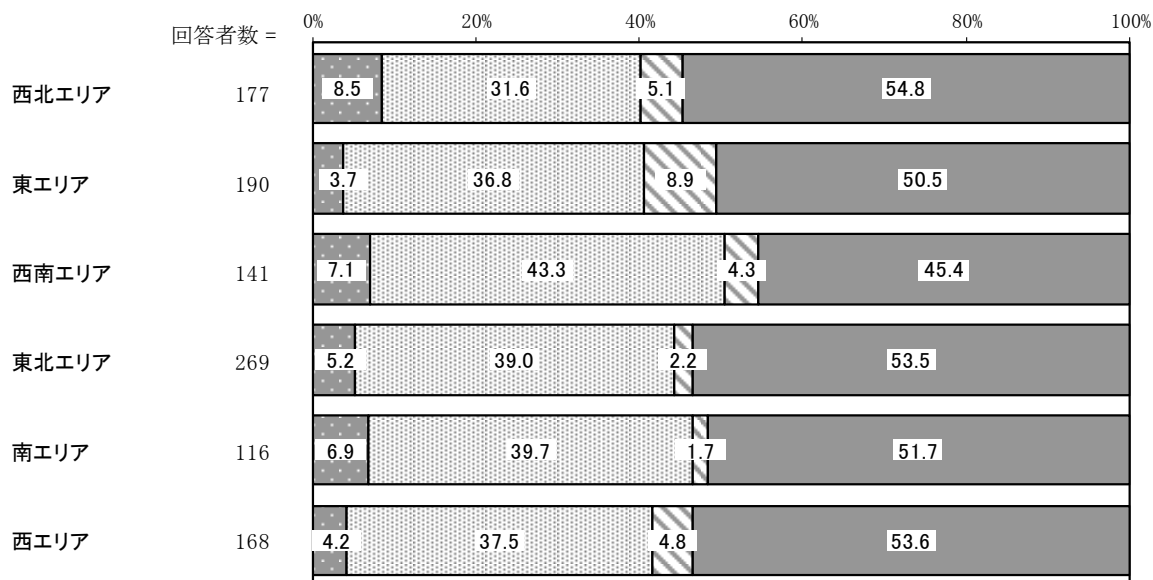
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、70歳以上で「変わらない」の割合が高くなっています。



【コミュニティセンターエリア別】

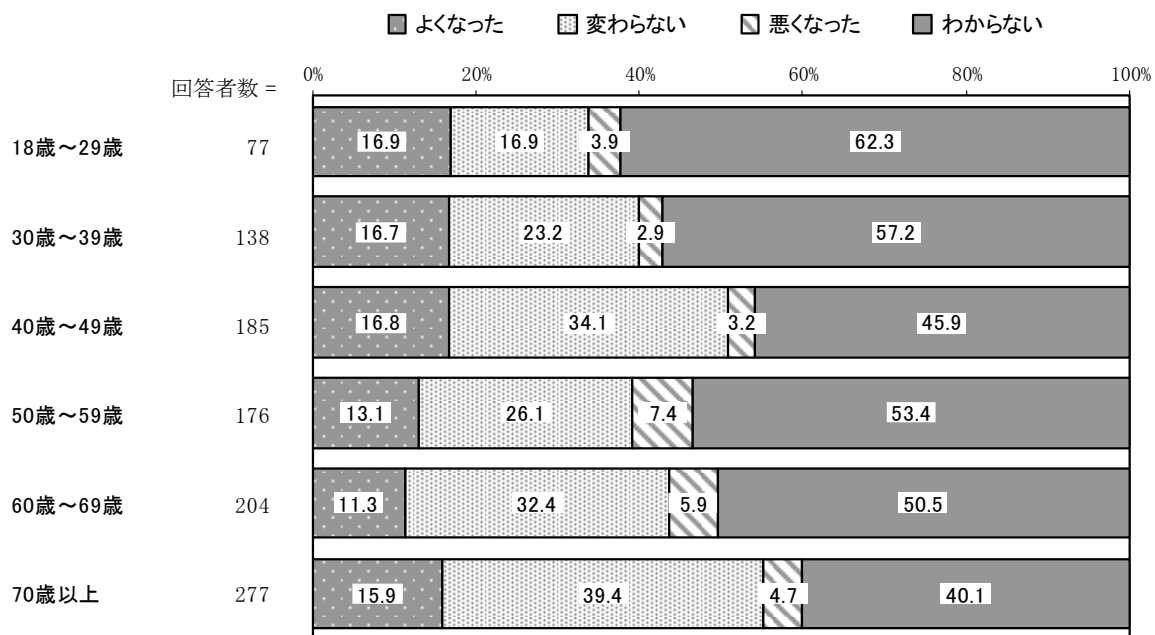
コミュニティセンターエリア別で見ると、他に比べ、西南エリアで「変わらない」の割合が高くなっています。



③ 子育てしやすい環境

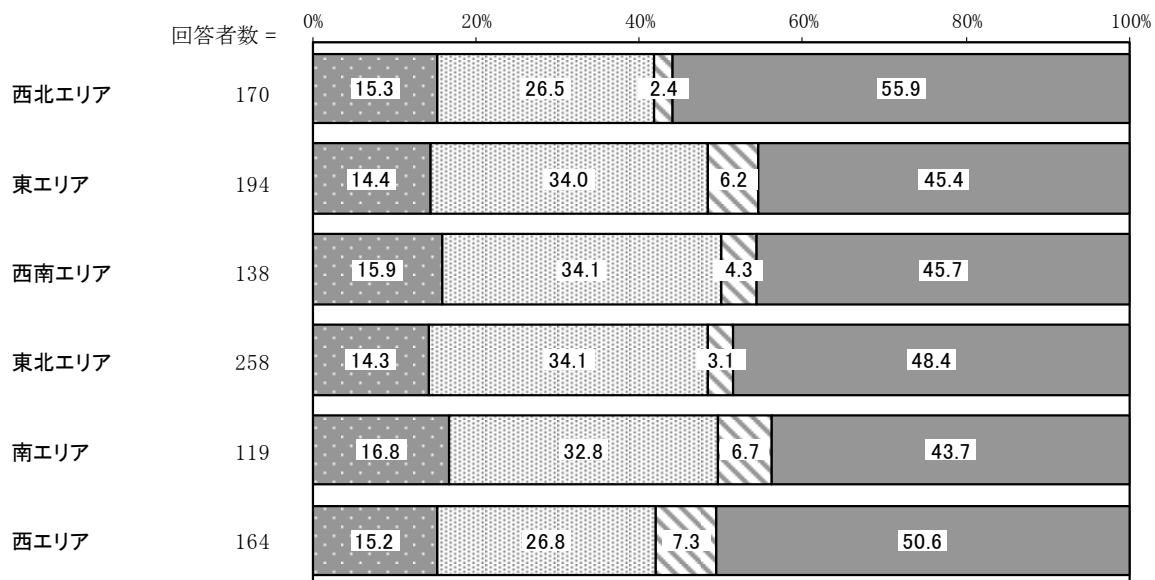
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で「変わらない」の割合が高くなっています。



【コミュニティセンターエリア別】

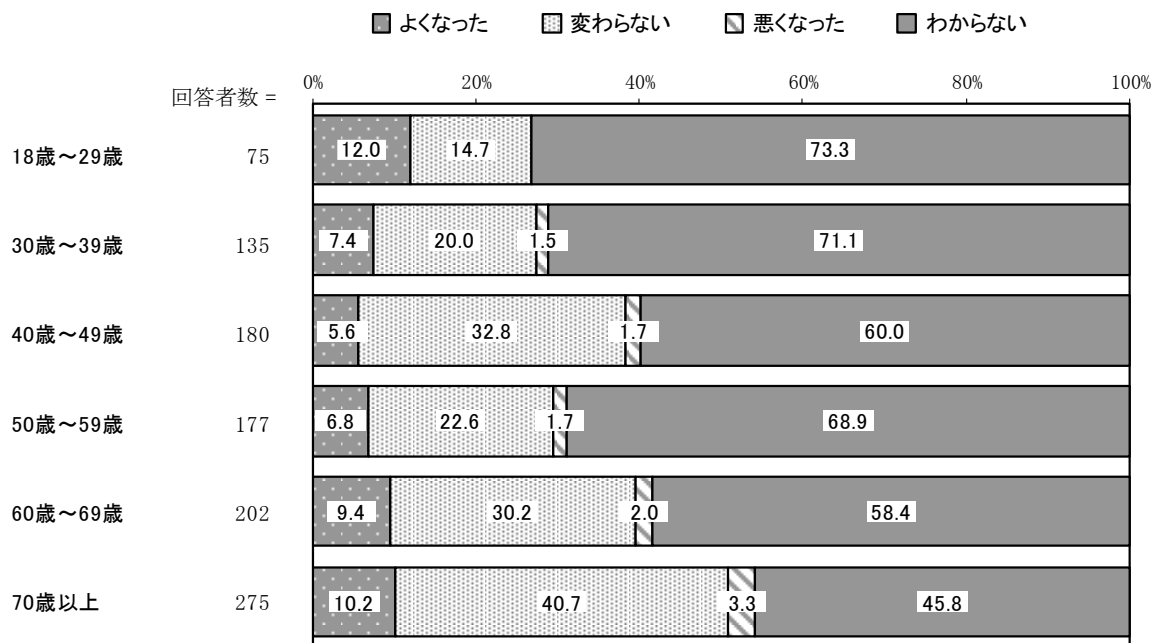
コミュニティセンターエリア別でみると、東エリア、西南エリア、東北エリアで「変わらない」の割合が高くなっています。



④ 相談窓口とネットワークの充実

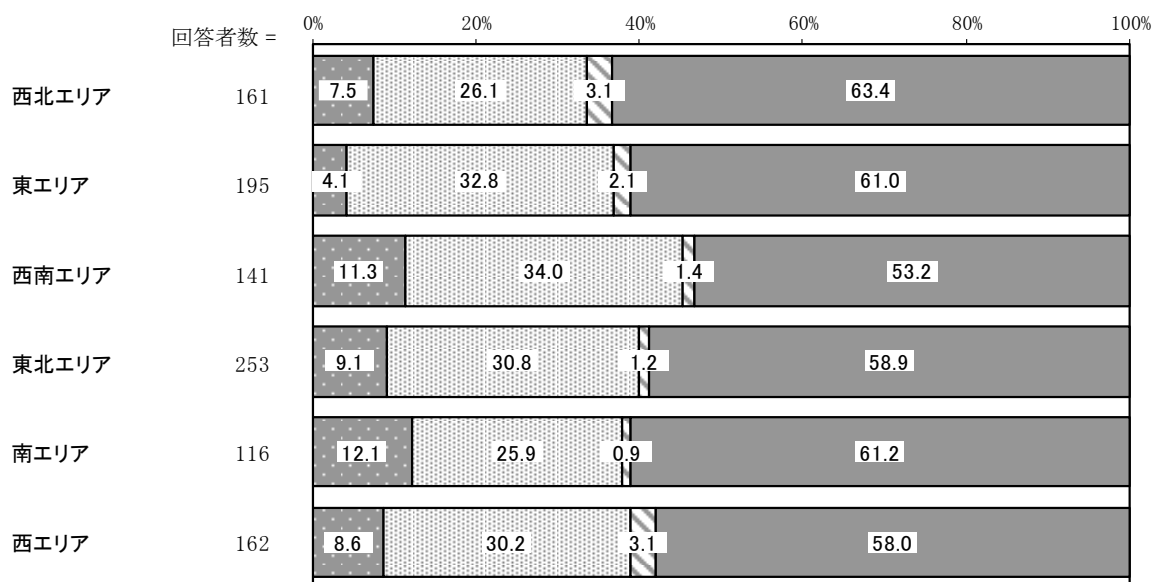
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、70歳以上で「変わらない」の割合が高くなっています。



【コミュニティセンターエリア別】

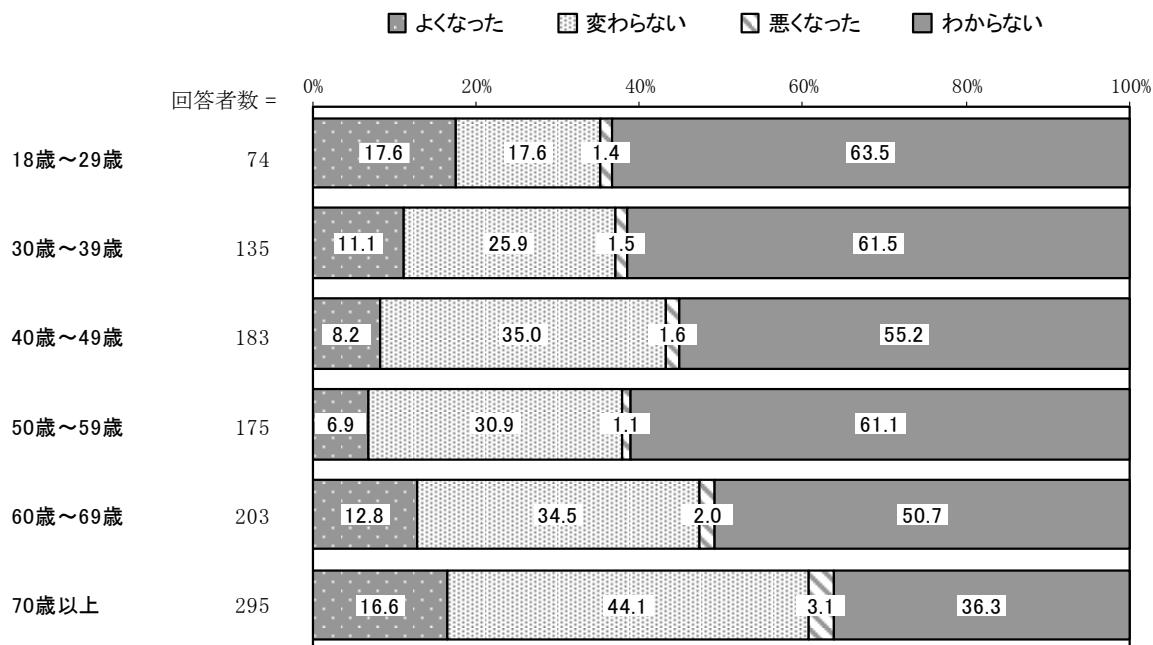
コミュニティセンターエリア別で見ると、他に比べ、西南エリアで「変わらない」の割合が高くなっています。



⑤ 保健や福祉に関する情報の得やすさ

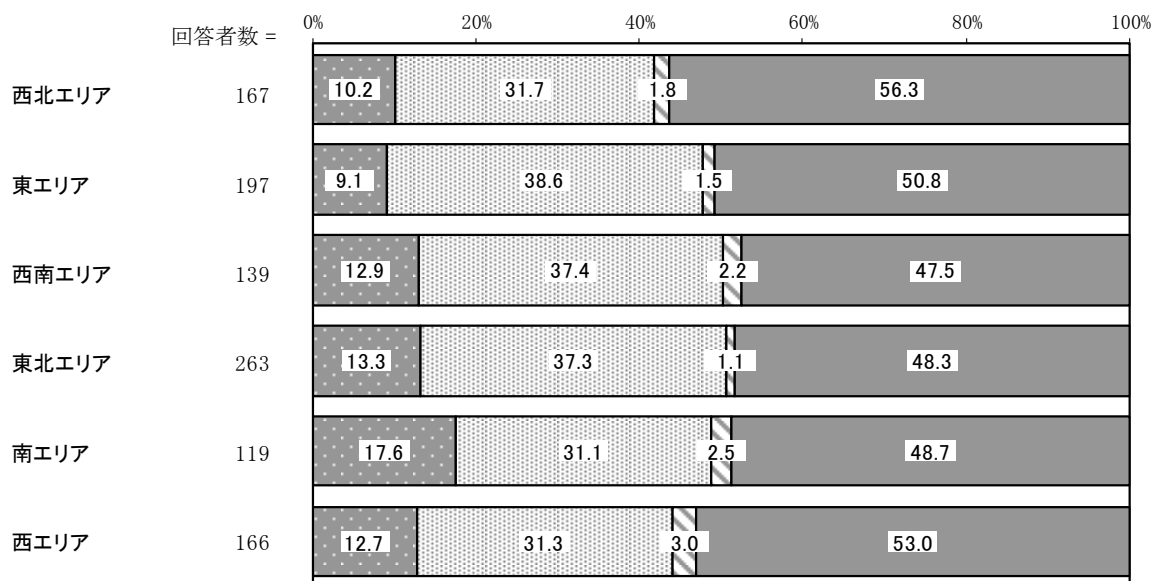
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳～29歳、70歳以上で「よくなった」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「変わらない」の割合が高くなる傾向がみられます。



【コミュニティセンターエリア別】

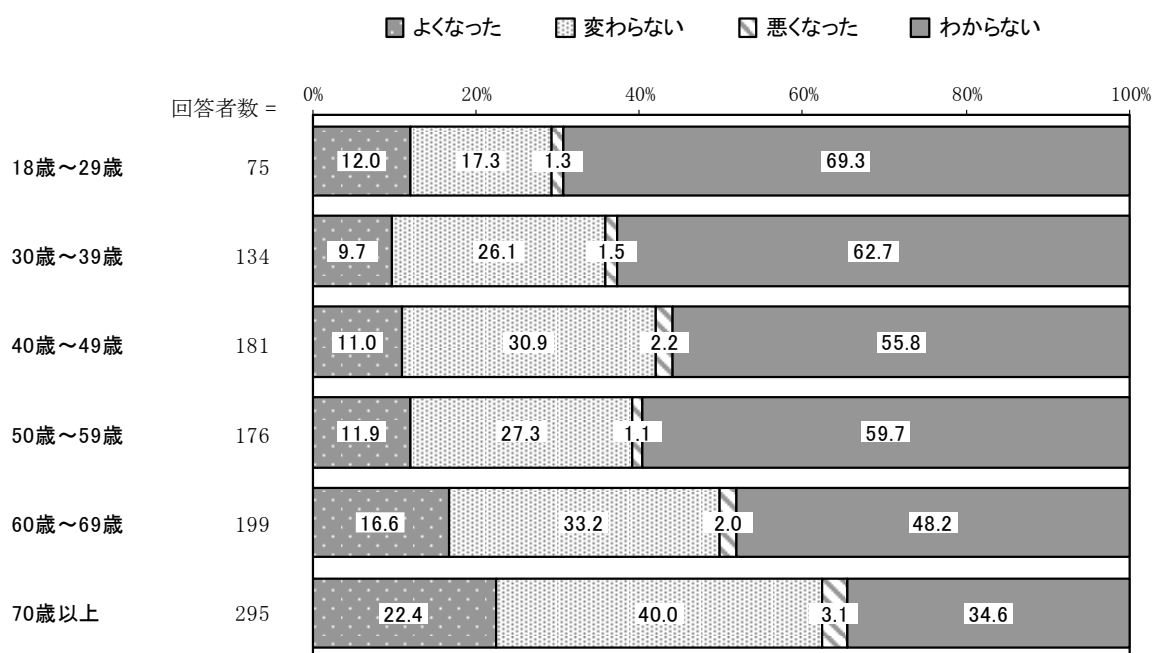
コミュニティセンターエリア別でみると、南エリアで「よくなった」の割合が高くなっています。また、東エリア、西南エリア、東北エリアで「変わらない」の割合が高くなっています。



⑥ 健康づくりの推進や介護予防

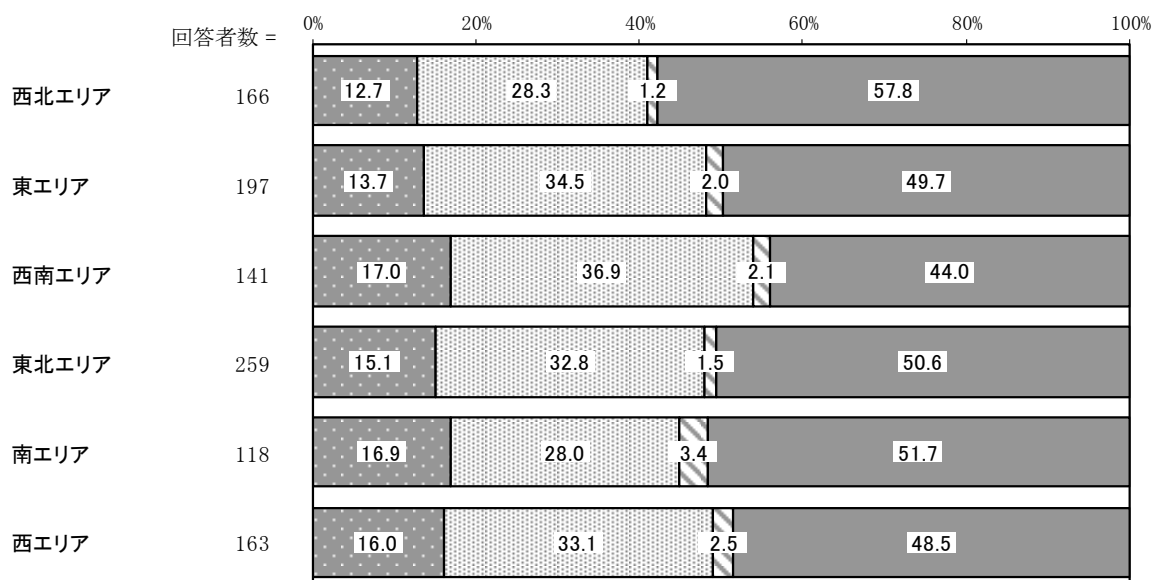
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「変わらない」の割合が高くなる傾向がみられます。



【コミュニティセンターエリア別】

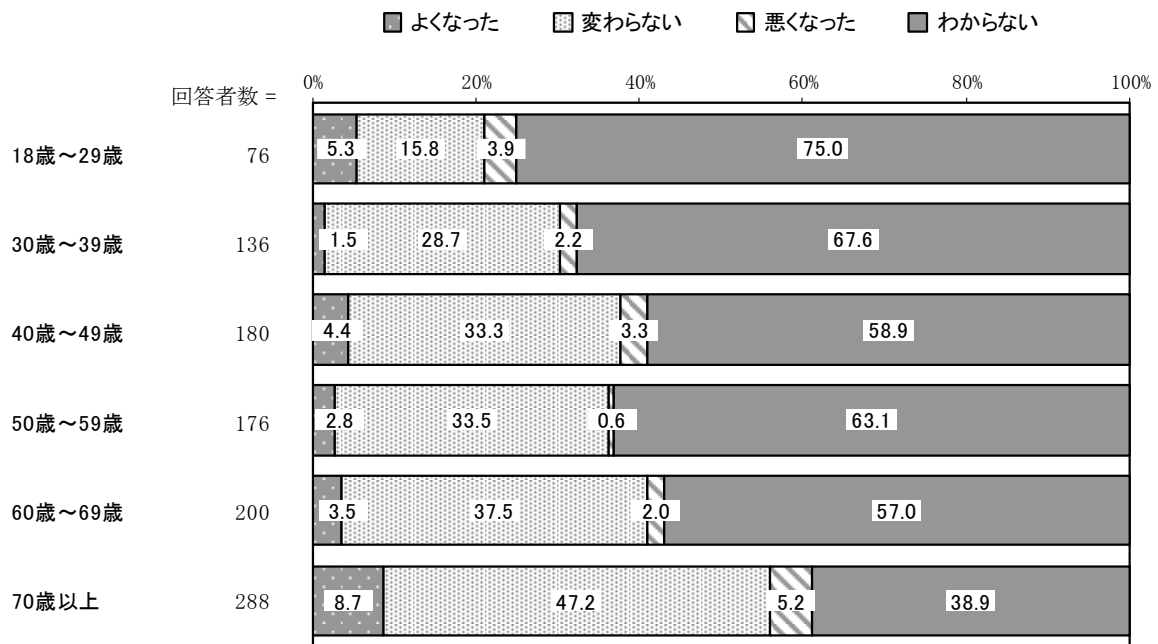
コミュニティセンターエリア別でみると、他に比べ、西南エリアで「変わらない」の割合が高くなっています。



⑦ 地域活動への参加のしやすさ

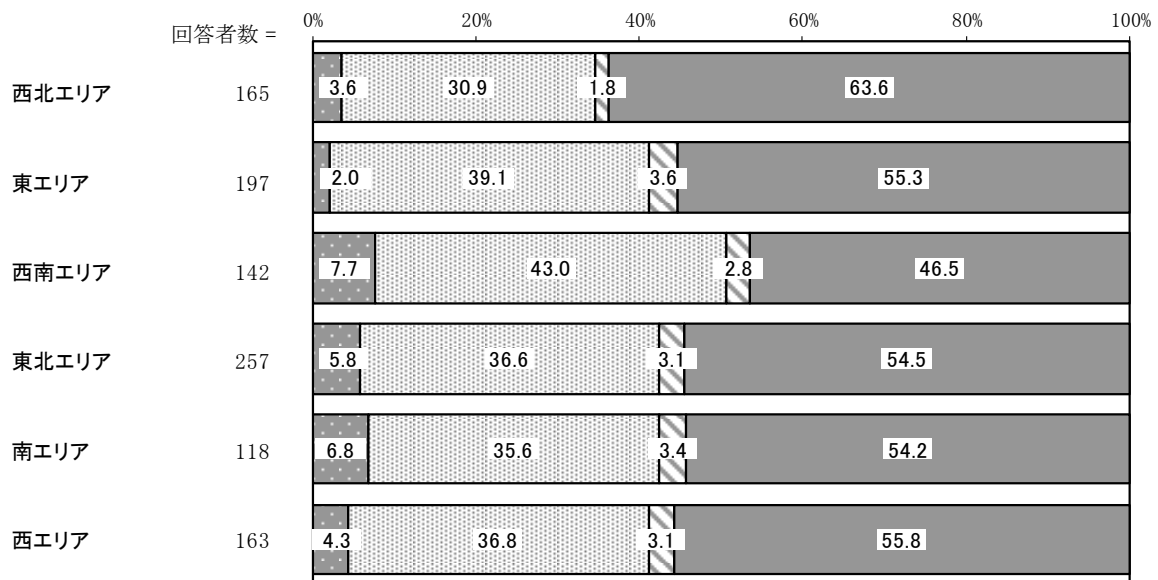
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「変わらない」の割合が高くなっています。



【コミュニティセンターエリア別】

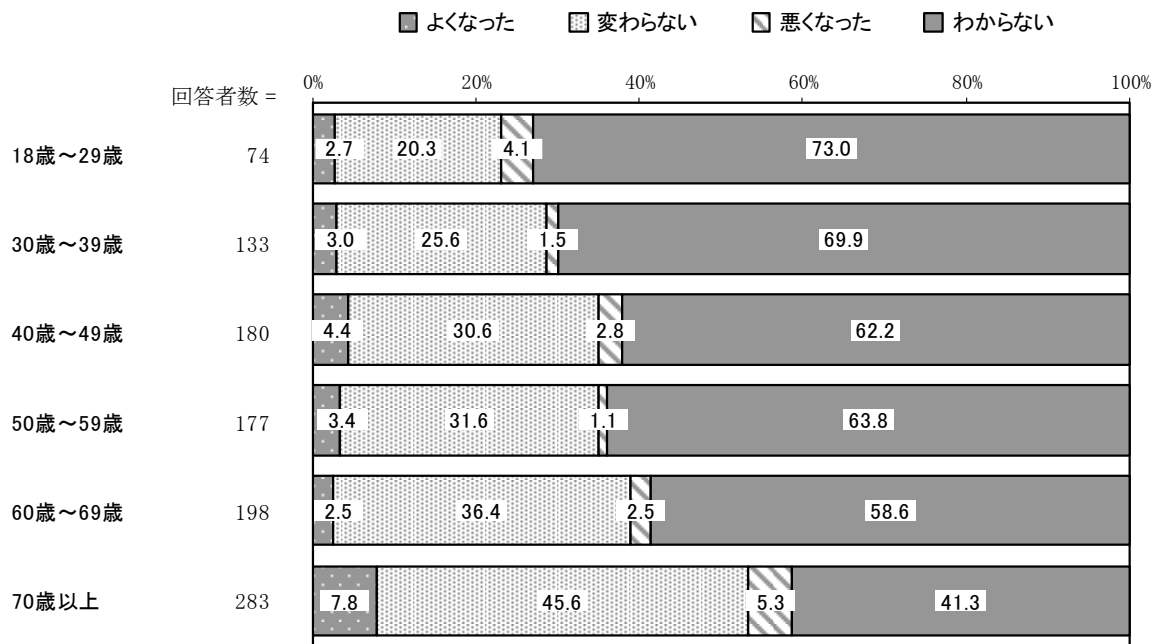
コミュニティセンターエリア別でみると、他に比べ、西南エリアで「変わらない」の割合が高くなっています。



⑧ 地域の活動拠点の充実

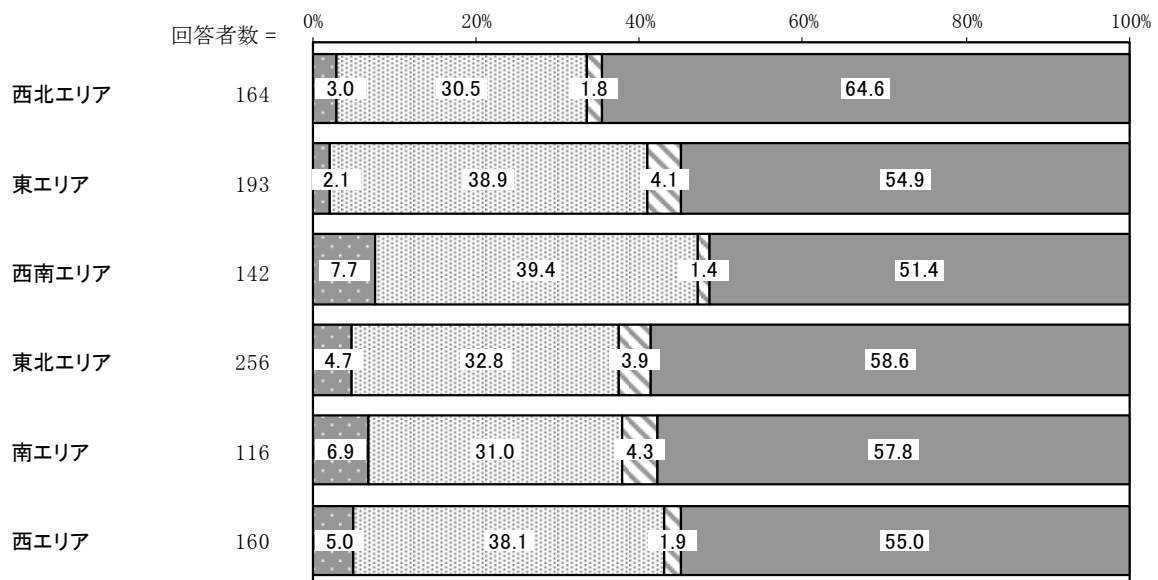
【年齢別】

年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれて「変わらない」の割合が高くなっています。



【コミュニティセンターエリア別】

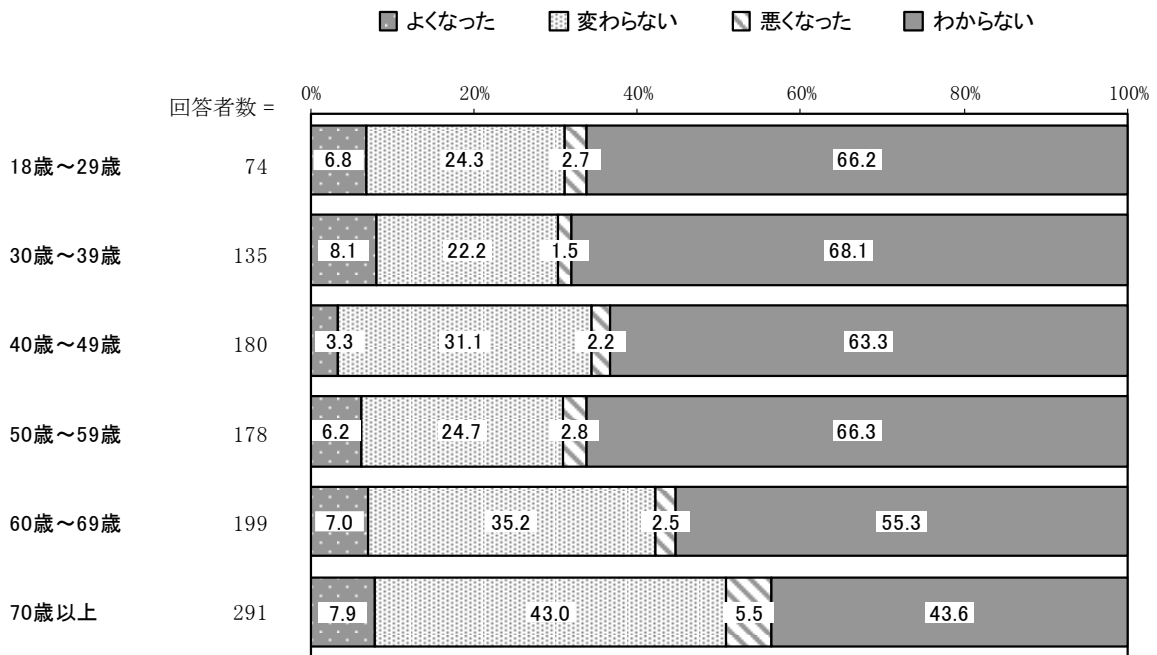
コミュニティセンターエリア別で見ると、他に比べ、東エリア、西南エリア、西エリアで「変わらない」の割合が高くなっています。



⑨ 子ども、障害者、高齢者の権利を守る環境

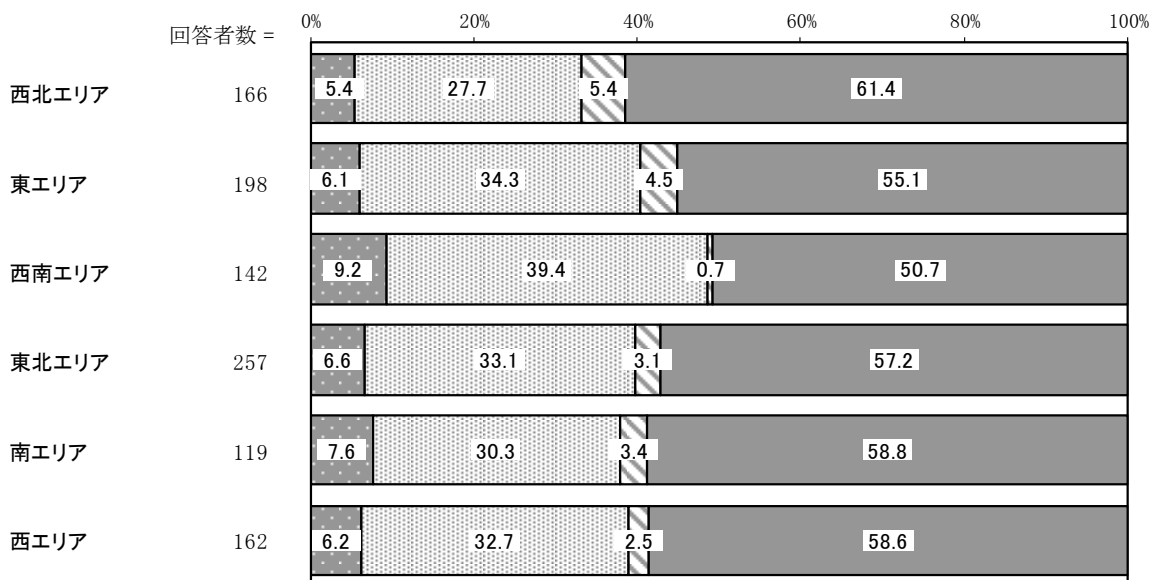
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「変わらない」の割合が高くなる傾向がみられます。



【コミュニティセンターエリア別】

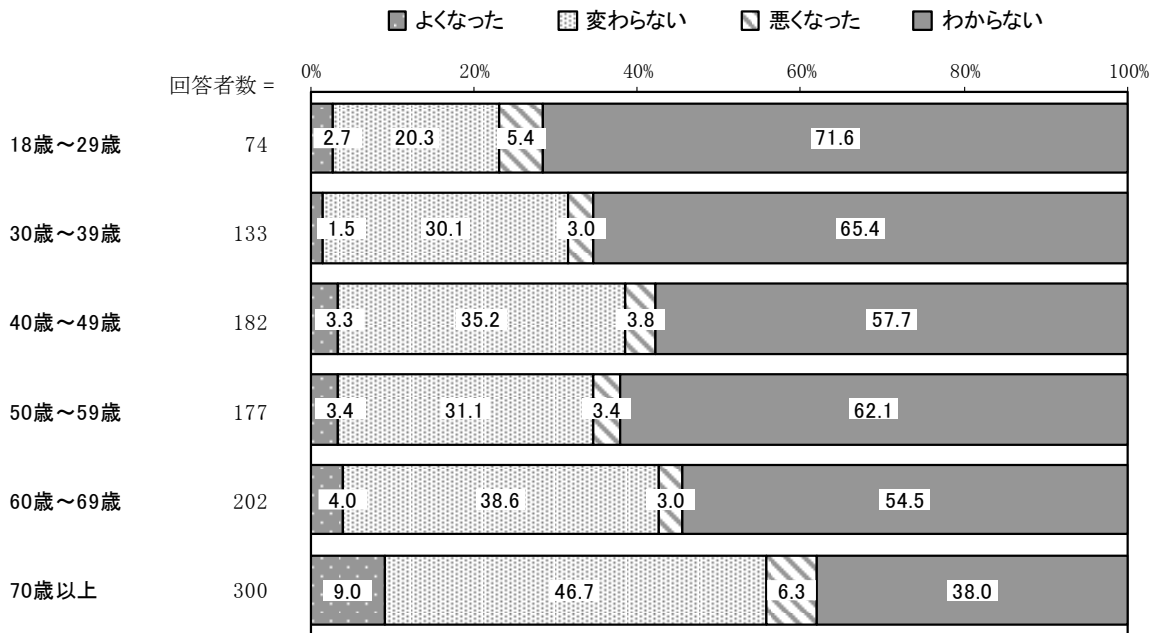
コミュニティセンターエリア別でみると、他に比べ、西南エリアで「変わらない」の割合が高くなっています。



⑩ 地域の人、団体等とのつながり

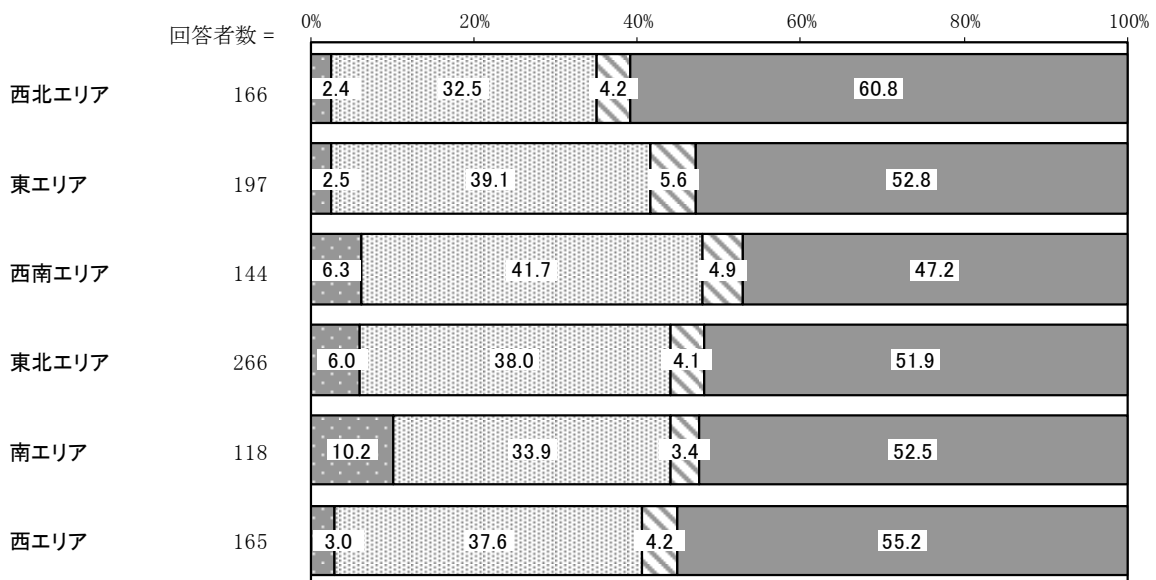
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「変わらない」の割合が高くなる傾向がみられます。



【コミュニティセンターエリア別】

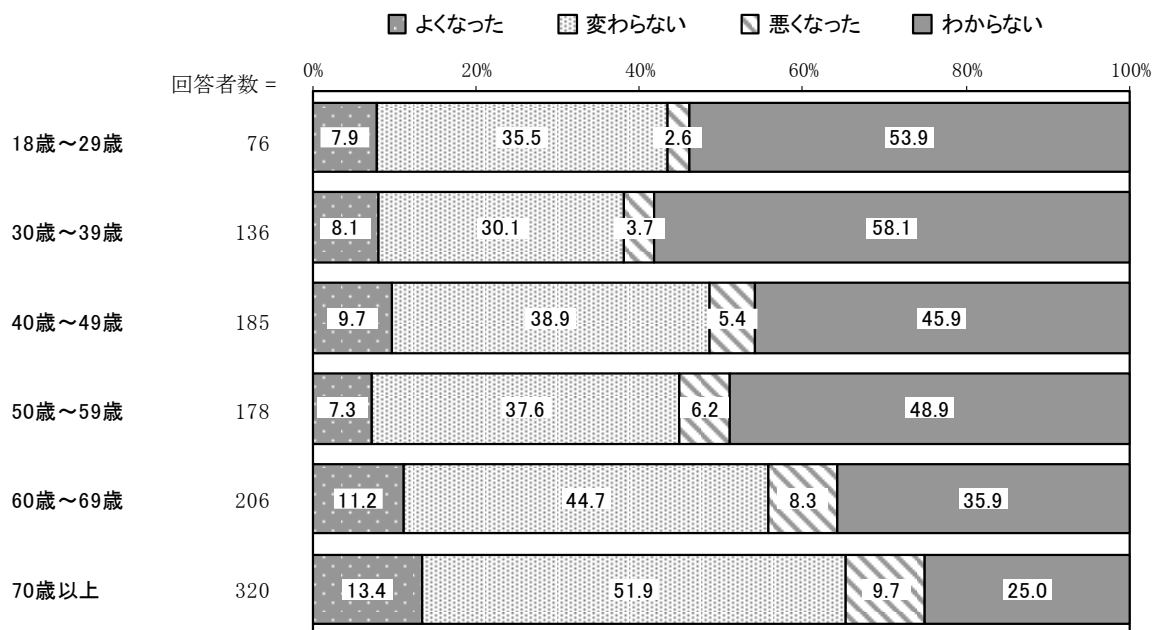
コミュニティセンターエリア別でみると、他に比べ、西南エリアで「変わらない」の割合が高くなっています。



⑪ 住まいや地域の生活環境

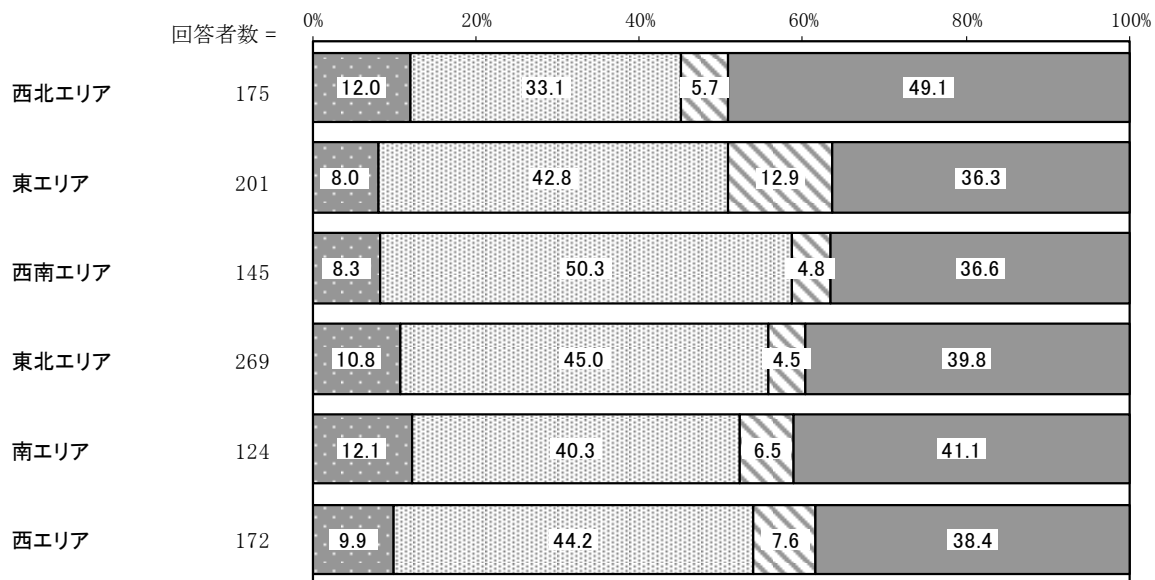
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で「変わらない」の割合が高くなっています。



【コミュニティセンターエリア別】

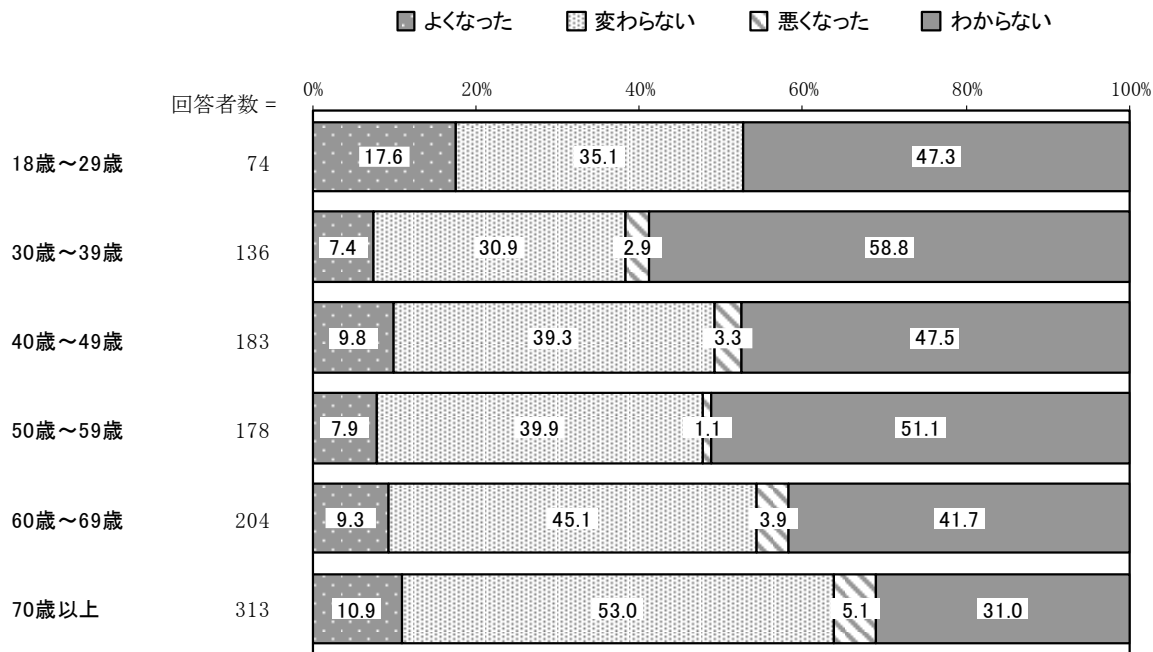
コミュニティセンターエリア別でみると、他に比べ、西南エリアで「変わらない」の割合が高くなっています。



⑫ 災害などに対する安全な環境

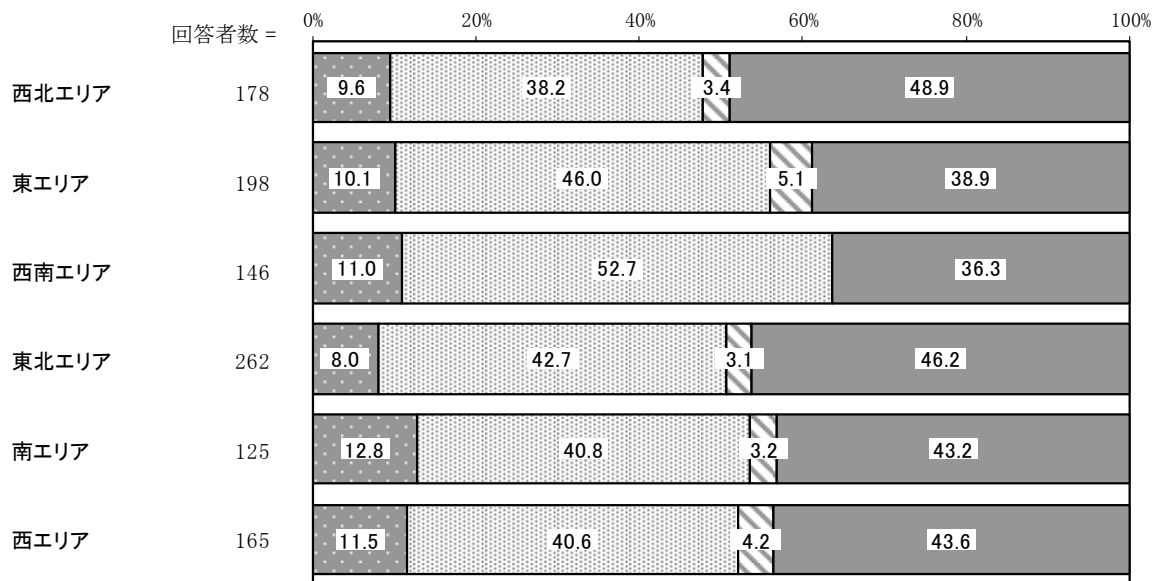
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、18歳～29歳で「よくなった」の割合が高くなっています。また、70歳以上で「変わらない」の割合が高くなっています。



【コミュニティセンターエリア別】

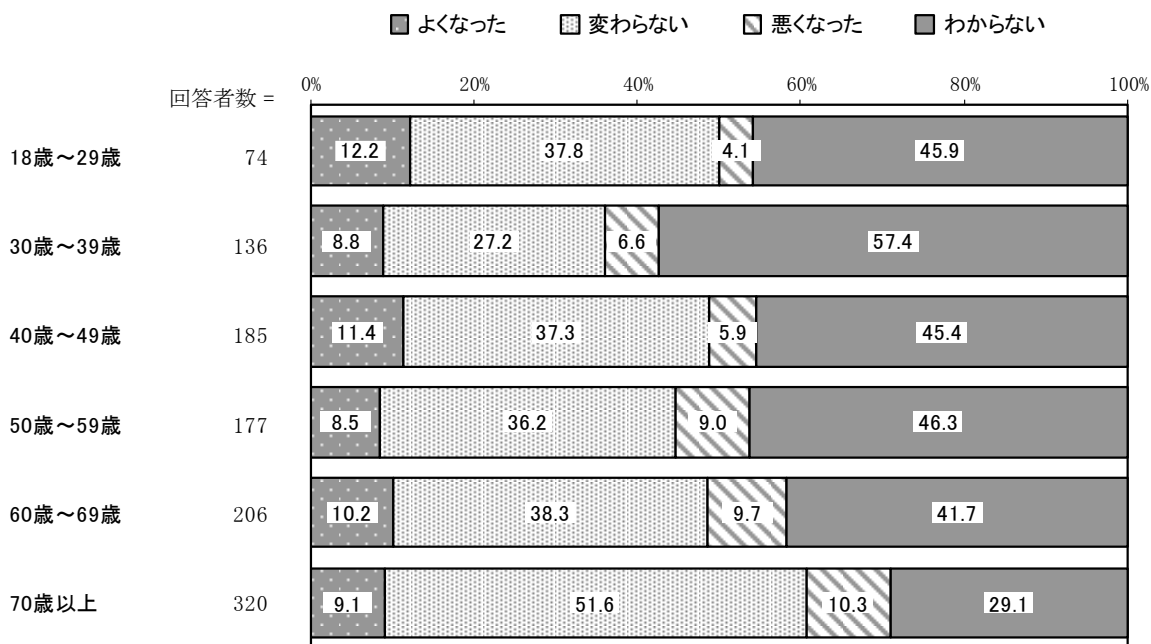
コミュニティセンターエリア別で見ると、他に比べ、西南エリアで「変わらない」の割合が高くなっています。



⑬ 犯罪などに対する安全な環境

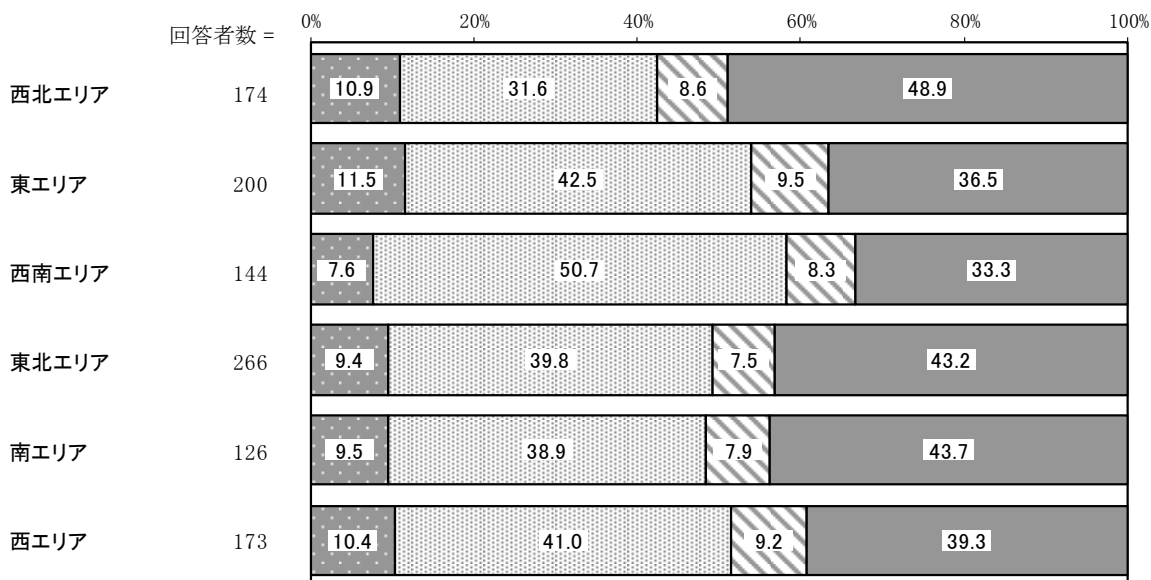
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、70歳以上で「変わらない」の割合が高くなっています。



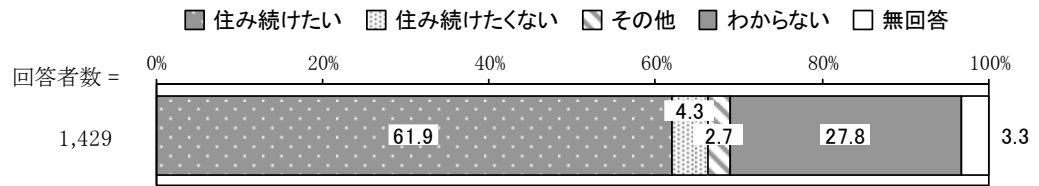
【コミュニティセンターエリア別】

コミュニティセンターエリア別で見ると、他に比べ、西南エリアで「変わらない」の割合が高くなっています。



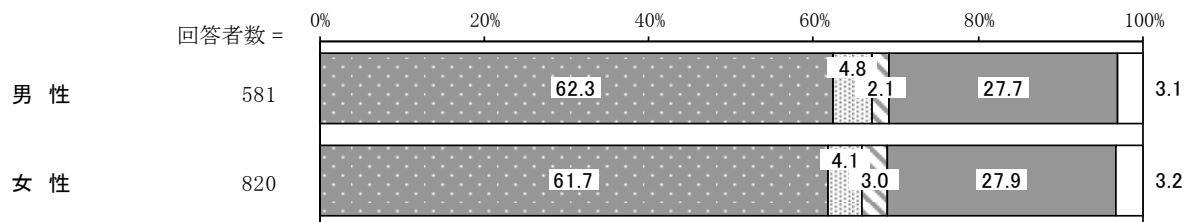
問 43 あなたはこれからも寝屋川市に住み続けたいですか。(○は1つ)

「住み続けたい」の割合が61.9%と最も高く、次いで「わからない」の割合が27.8%となっています。



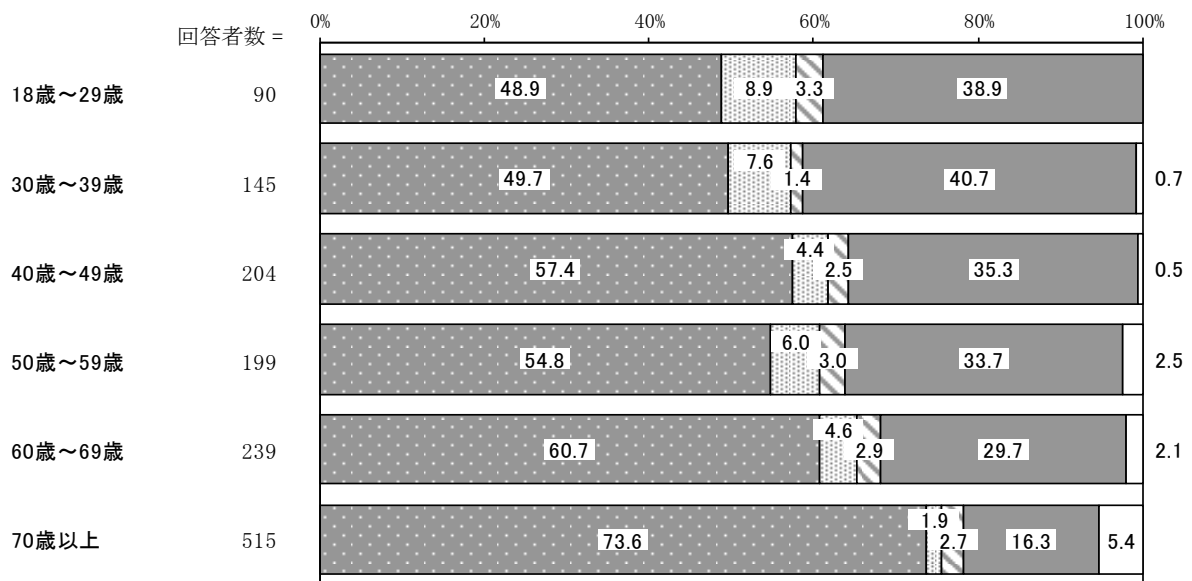
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



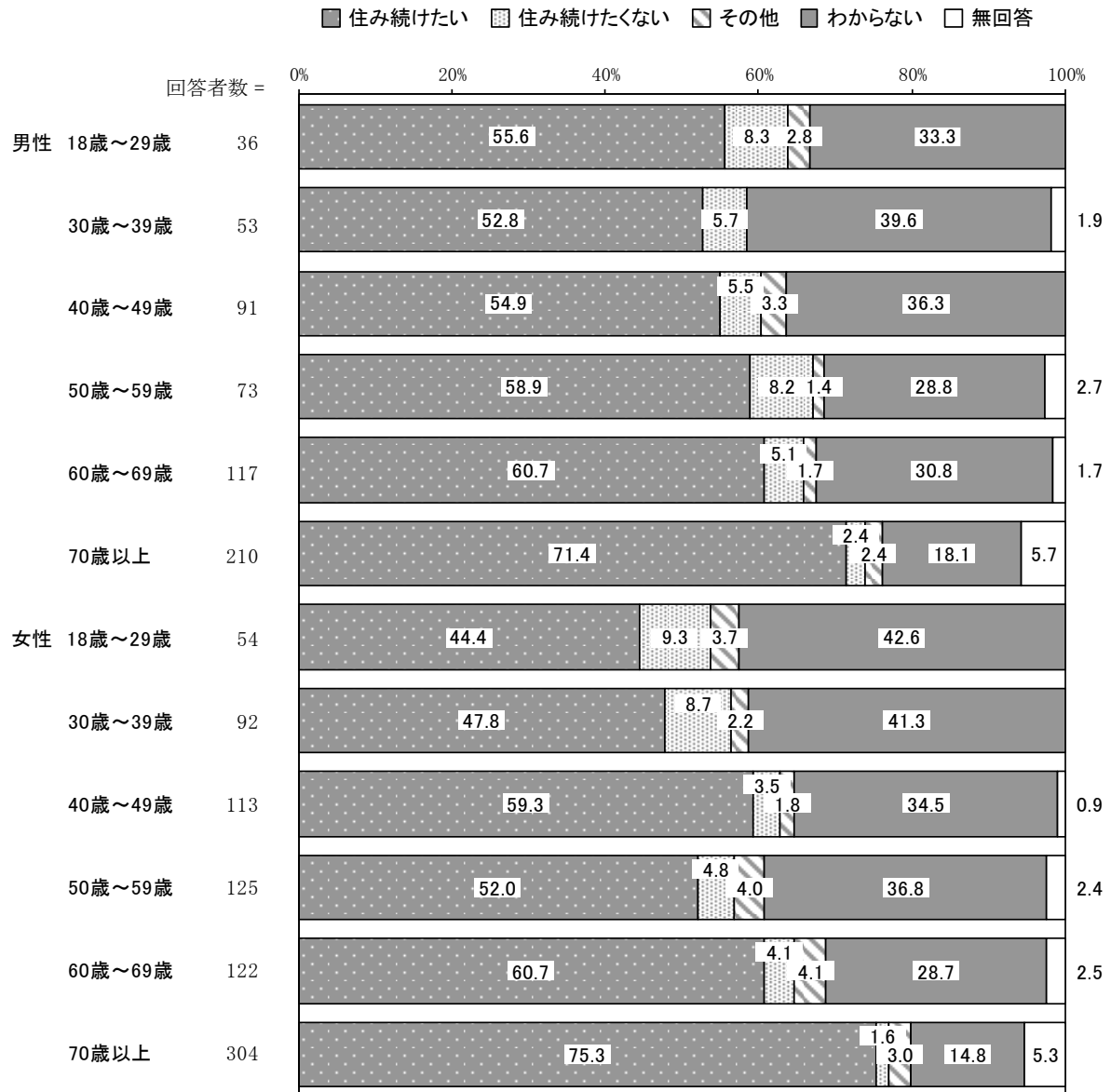
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「住み続けたい」の割合が高くなる傾向がみられます。



【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、男女とも年齢が高くなるにつれ「住み続けたい」の割合が高くなる傾向がみられます。



2 団体調査

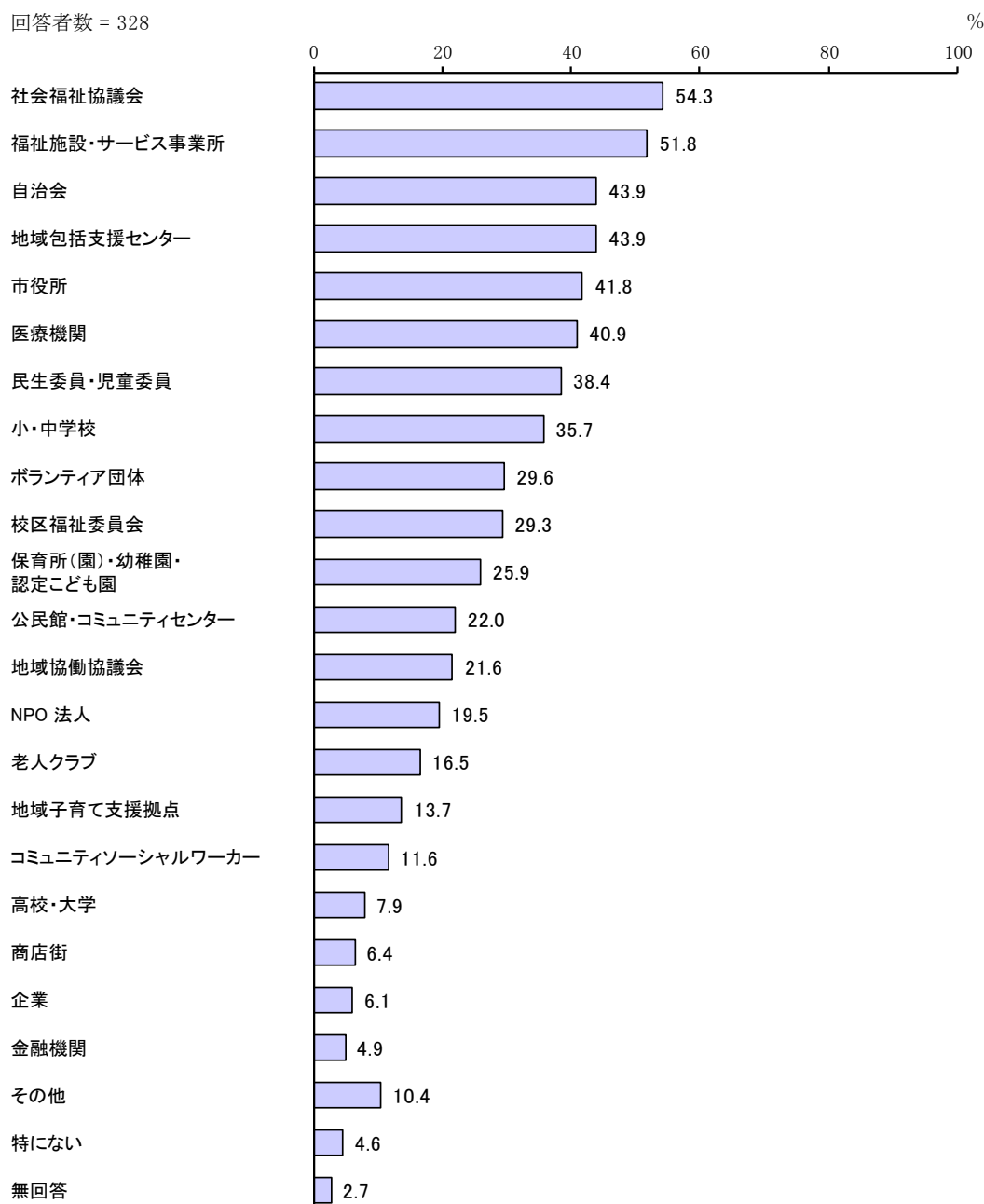
問1 活動の中で、地域と一緒にやっていることや、地域に向けてやっていることはありますか。

- ・ 自治会と協力しながら、イベントや企画の手伝い
- ・ 寝屋川を中心とした、地域美化、清掃活動
- ・ 地域に住むお年寄りの方の見守り活動
- ・ 歌や音楽の発表をはじめとする文化的活動
- ・ カフェ・サロンを定期的に関き地域住民、高齢者とのふれあい活動 など

問2 現在、連携・協力関係にある団体、機関等がありますか。(該当するものすべてに○)

「社会福祉協議会」の割合が54.3%と最も高く、次いで「福祉施設・サービス事業所」の割合が51.8%、「自治会」、「地域包括支援センター」の割合が43.9%となっています。

回答者数 = 328



問3 問2で1～22のいずれかに○を付けた場合、連携・協力関係にある団体、機関等とどのような活動を行っているか、具体的にお書きください。

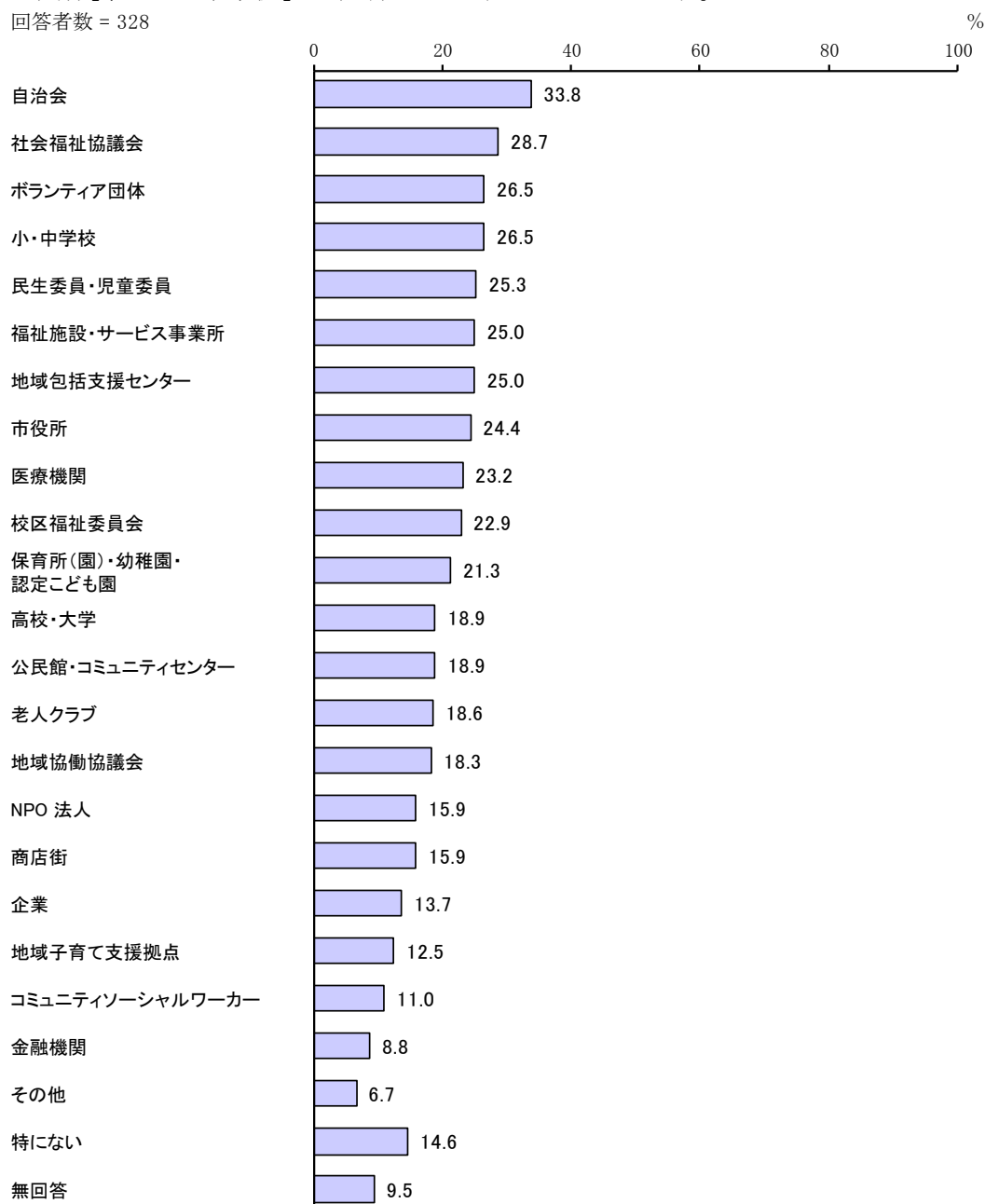
(問1と同様)

- ・ 自治会と協力しながら、イベントや企画の手伝い
- ・ 寝屋川を中心とした、地域美化、清掃活動
- ・ 地域に住むお年寄りの方の見守り活動
- ・ 歌や音楽の発表をはじめとする文化的活動
- ・ カフェ・サロンを定期的に関き地域住民、高齢者とのふれあい活動 など

問4 今後、連携・協力関係をとっていきたい団体、機関等がありますか。
(該当するものすべてに○)

「自治会」の割合が33.8%と最も高く、次いで「社会福祉協議会」の割合が28.7%、「ボランティア団体」、「小・中学校」の割合が26.5%となっています。

回答者数 = 328

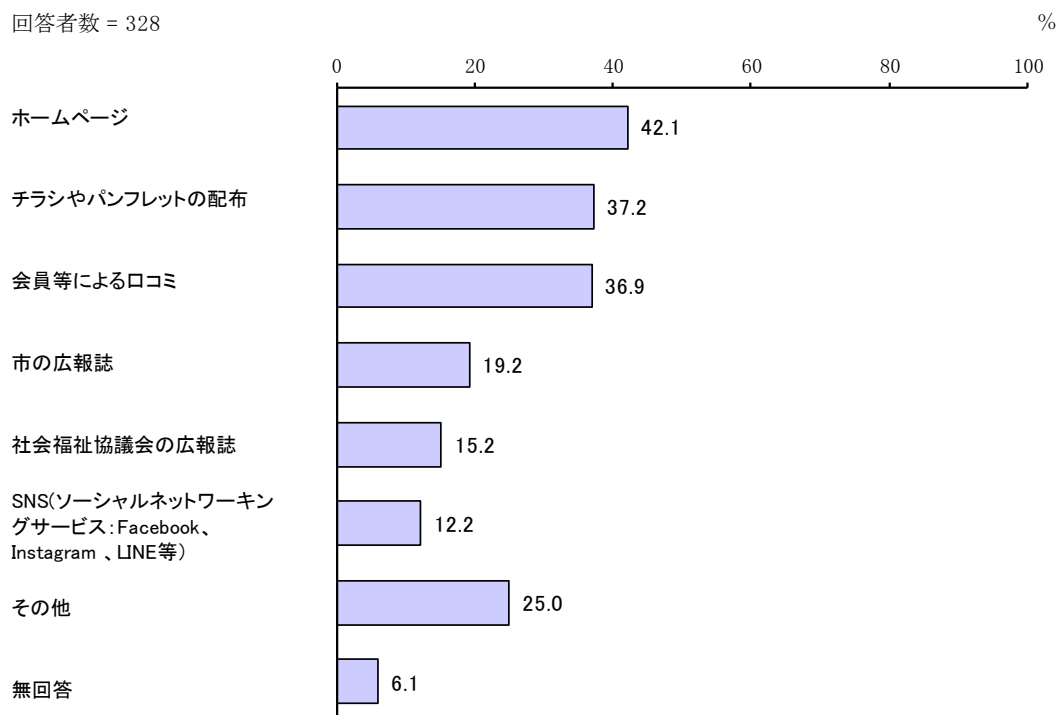


問5 問4で1～22のいずれかに○を付けた場合、連携・協力関係をとっていきたい団体、機関等とどのような活動を行っていきたいか、具体的にお書きください。

- ・ 災害対策、避難時の連携強化
- ・ 幼稚園、保育園など児童に訪問してもらい高齢者のいい刺激になるといい
- ・ 地元の企業には資金面での援助を行ってほしい
- ・ 公的な福祉でカバーしきれないサービスの提供
- ・ 児童・生徒のいじめ、不登校防止活動 など

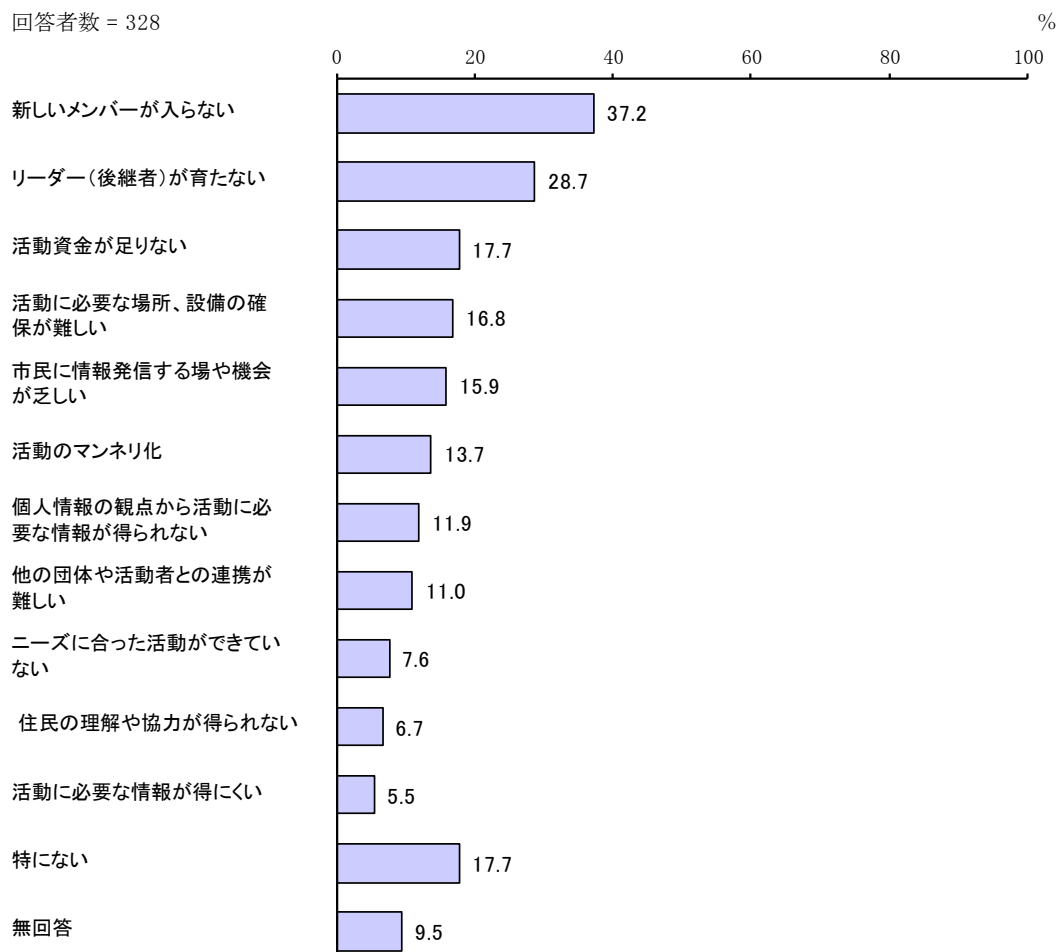
問6 貴団体では、団体の活動情報をどのように発信していますか。
(該当するものすべてに○)

「ホームページ」の割合が42.1%と最も高く、次いで「チラシやパンフレットの配布」の割合が37.2%、「会員等による口コミ」の割合が36.9%となっています。



問7 貴団体が活動を行う上で、困っていること・課題は何ですか。
(該当するものすべてに○)

「新しいメンバーが入らない」の割合が37.2%と最も高く、次いで「リーダー（後継者）が育たない」の割合が28.7%、「活動資金が足りない」、「特にない」の割合が17.7%となっています。



問8 その他の問題点、課題があれば、具体的に御記入ください。

- ・ 活動資金の不足、利用者へ負担増をお願いしたりせざるを得ない。無料であたりまえという考えの人も少なくない
- ・ 人手不足、人材が全体的に高齢化していて後継者が不足している。専門職の人材不足が深刻
- ・ 生活保護や精神、知的障害者に対しての蔑視がひどく、利用をためらう人が多い
- ・ 周囲からの苦情が多い
- ・ 個人情報の保護ということではほとんど情報が把握できない など

問9 貴団体が困っていること・課題について、どのように解決しようとお考えですか。

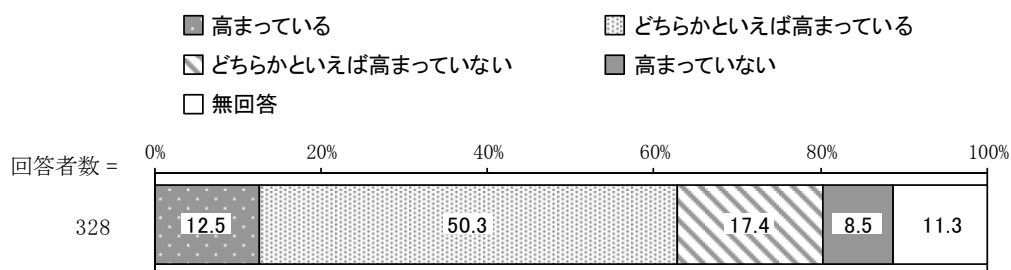
- ・ 公的な補助金の申請
- ・ 若者への積極的な声掛け、ロコミをふやす
- ・ そもそも解決など無理ではないか
- ・ 行政に対して制度を柔軟に実情に合わせて変更するよう呼びかけ など

問10 問9の解決に当たり、必要な支援はどのようなことだとお考えですか。

- ・ 施設の使用料を下げしてほしい、気軽に使えるような設備を整えてほしい
- ・ 必要なところに適切に補助金を
- ・ もっとトップダウンで定年後の公務員を送り込むなど、人材を直接確保してほしい
- ・ あなたたちも一緒に考えてください など

問11 活動されている中で、地域における地域福祉に対する意識は高まっていると感じますか。(○は1つ)

「どちらかといえば高まっている」の割合が50.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば高まっていない」の割合が17.4%、「高まっている」の割合が12.5%となっています。



問12 活動されている中で、地域の方からどのような日常の困りごと、地域の問題などをお聞きしますか。

- ・ 認知症の高齢者の介護、また出歩いているときに対応できなくなる
- ・ 老老介護の問題、高齢化した障害者の子を高齢の親が介護している
- ・ とにかくあらゆること、ささいなことに対して苦情が多い
- ・ ゴミ出しのルールが守られていない、カラスなど動物による害
- ・ 隣人関係の希薄化、自治会の未加入等 など

問 13 問 12 の困りごと、問題について、貴団体が対応できるもの・対応できないものにはどんなことがあげられますか。

【対応できるもの】

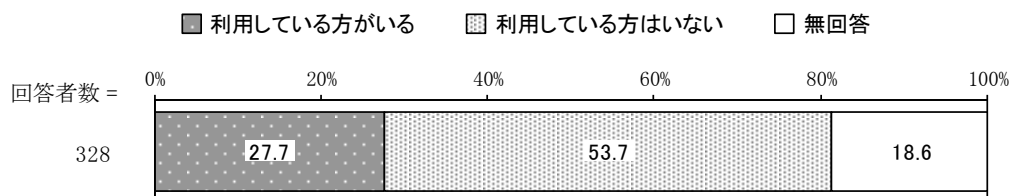
- ・ 基本的に何でも対応する、必要な関係各所に取り次ぐので大丈夫
- ・ 自分の団体のやっている内容については基本的に対応可能
- ・ 介護保険サービスでできる範囲なら対応可能
- ・ 悩み、相談、話を聞くこと、連携機関への取次 など

【対応できないもの】

- ・ 制度上許されていないこと、金銭が絡んでくるもの
- ・ 今すぐ〇〇しろなどという無茶な、理不尽な要求
- ・ 具体的なアドバイス、制度上、また無責任に言えない
- ・ あらゆることが人材不足でできることもできないとなってしまうことがある など

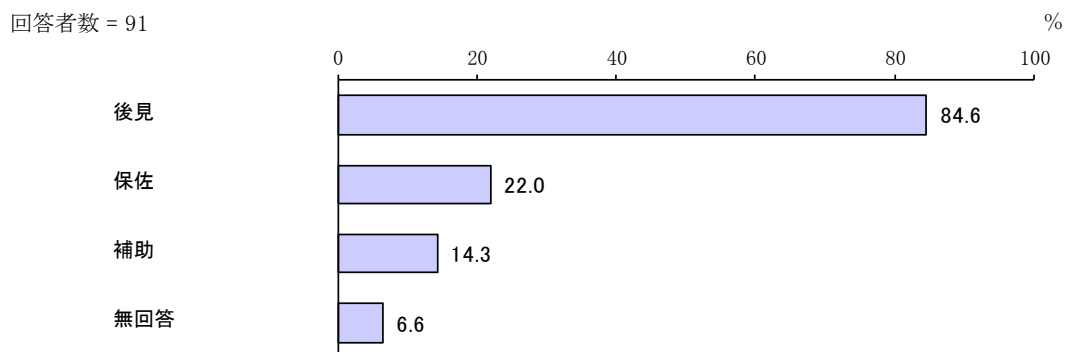
問 14 利用者等で成年後見制度を利用している方はいますか。

「利用している方がいる」の割合が 27.7%、「利用している方はいない」の割合が 53.7%となっています。



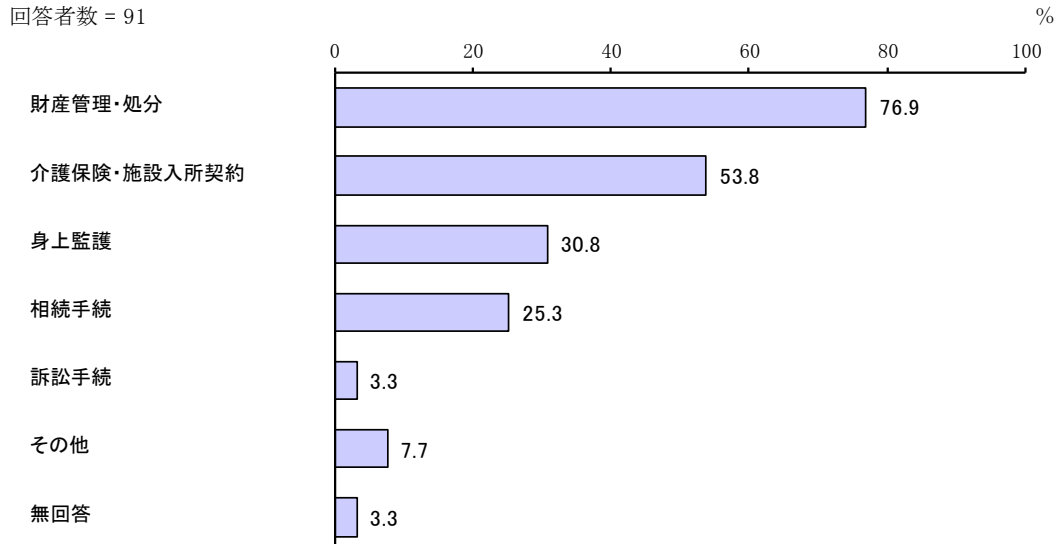
制度利用の状況（該当するものすべてに○）

「後見」の割合が 84.6%と最も高く、次いで「保佐」の割合が 22.0%、「補助」の割合が 14.3%となっています。



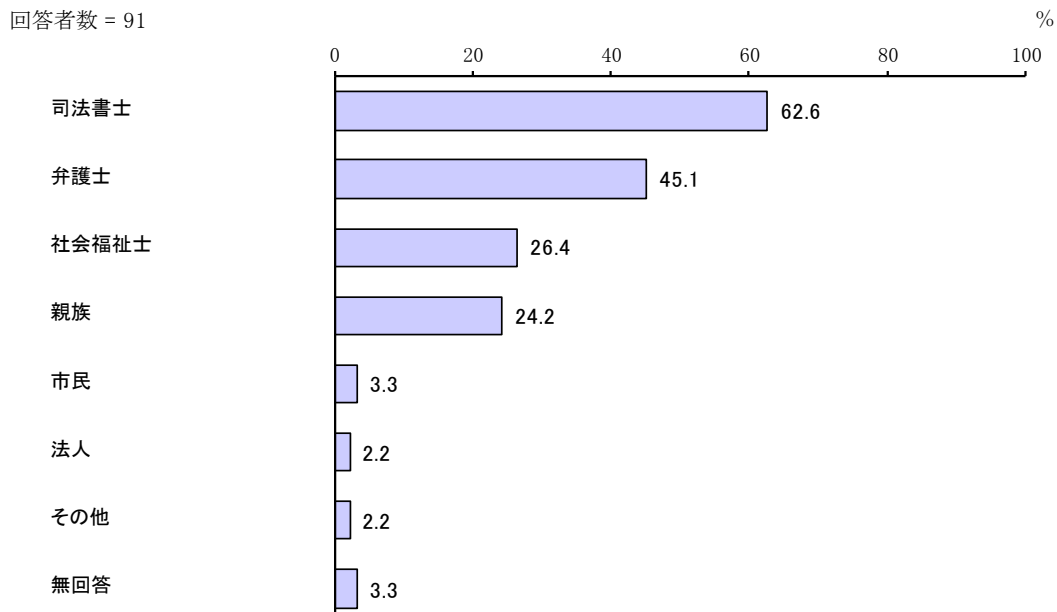
問 14-1 成年後見制度を利用する事となった動機は何ですか。
(該当するものすべてに○)

「財産管理・処分」の割合が76.9%と最も高く、次いで「介護保険・施設入所契約」の割合が53.8%、「身上監護」の割合が30.8%となっています。



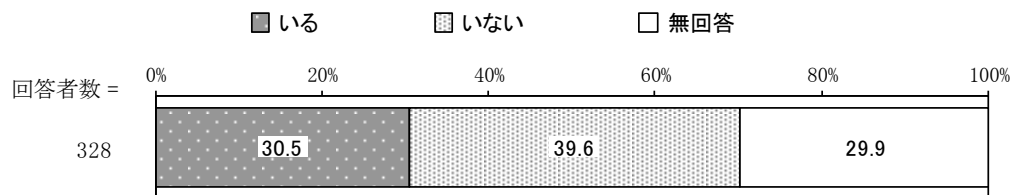
問 14-2 後見人等は誰ですか。(該当するものすべてに○)

「司法書士」の割合が62.6%と最も高く、次いで「弁護士」の割合が45.1%、「社会福祉士」の割合が26.4%となっています。



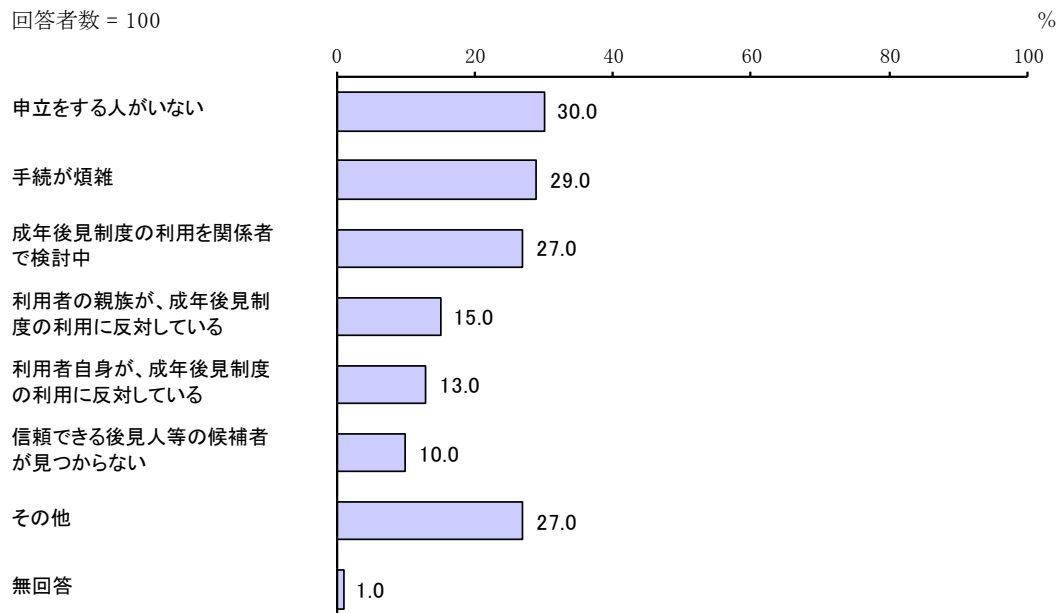
問 15 成年後見制度の利用が必要だと考えられるが利用に至っていない方はいますか。
また、その理由は何ですか。

「いる」の割合が 30.5%、「いない」の割合が 39.6%となっています。



その理由

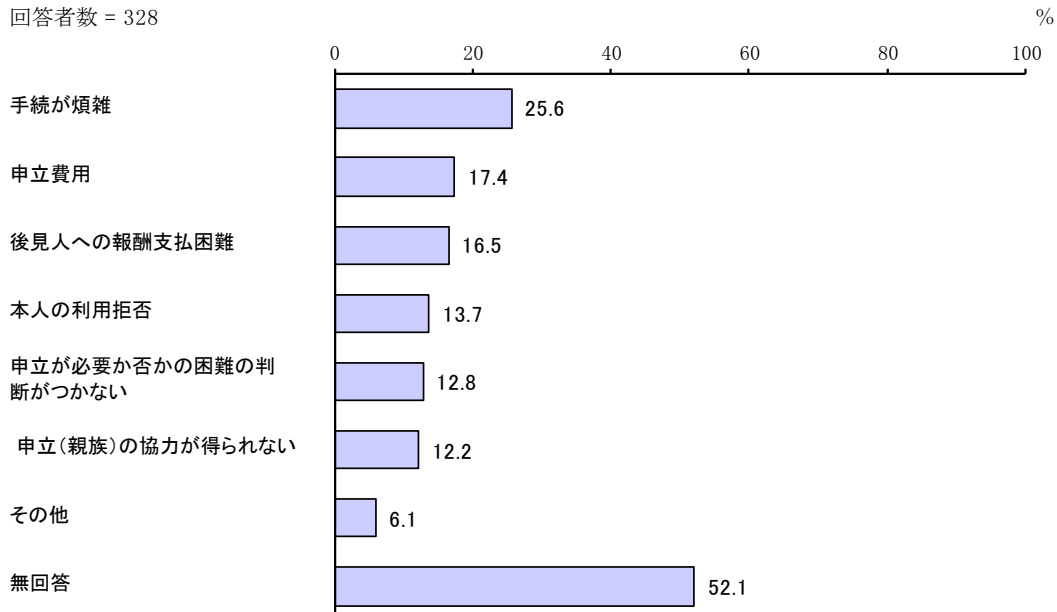
「申立をする人がいない」の割合が 30.0%と最も高く、次いで「手続きが煩雑」の割合が 29.0%、「成年後見制度の利用を関係者で検討中」の割合が 27.0%となっています。



問 16 成年後見制度の申立をする上で課題はありますか。(該当するものすべてに○)

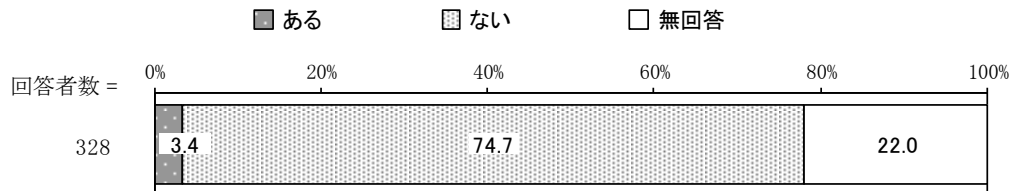
「手続きが煩雑」の割合が 25.6%と最も高く、次いで「申立費用」の割合が 17.4%、「後見人への報酬支払困難」の割合が 16.5%となっています。

回答者数 = 328



問 17 法人後見事業を実施する予定はありますか。(1つに○)

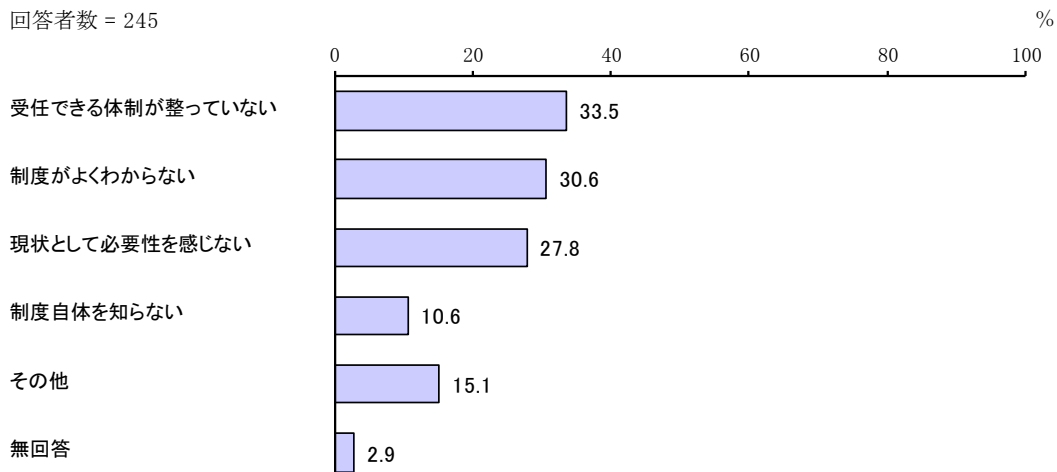
「ある」の割合が 3.4%、「ない」の割合が 74.7%となっています。



問 17-1 その理由は何ですか。(該当するものすべてに○)

「受任できる体制が整っていない」の割合が 33.5%と最も高く、次いで「制度がよくわからない」の割合が 30.6%、「現状として必要性を感じない」の割合が 27.8%となっています。

回答者数 = 245



問 18 今後、貴団体として行政との協働でどのようなことに取り組めると思いますか。

- ・ 障がい、疾患、高齢者、介護などに対して理解を深めてもらうための啓発活動
- ・ 災害時の避難や、支援が必要な人たちについての情報共有、地域防災への協力
- ・ どんなことができるのかわからない
- ・ より良い地域にしていくための意見交換や協力 など

問 19 地域福祉の推進（こんな地域になってほしい、地域福祉計画や福祉施策に望むことなど）についての御意見等、御自由にお書きください。

- ・ 障害のある人と、健常者、様々な人がお互いに助け合って暮らしていきやすい地域にしてほしい
- ・ 多くの団体があるので大変とは思いますが、各団体と行政担当者と連携が密にとれるような話し合いや共有の場をなるべくたくさん設けてほしい
- ・ ボランティアといって無償のものだけでなく、若者の参加にインセンティブをつける意味でも有償ボランティアについても検討してほしい
- ・ バスなど公共交通機関の充実や、移動の補助をしてほしい
- ・ 明るく元気な地域になってほしい など

調査票

地域福祉計画の見直しに向けたアンケート調査（市民）

地域福祉計画の見直しに向けたアンケート調査（団体）

地域福祉計画の見直しに向けたアンケート調査のお願い

～第四次寝屋川市地域福祉計画の策定に向けた調査～

市民の皆様には、日頃から市政の推進に御理解、御協力を頂き、誠にありがとうございます。

寝屋川市では、「みんながつながる地域福祉プラン（第三次寝屋川市地域福祉計画）」（計画期間 平成28年度から令和2年度まで）の下、市民や関係者の皆様と連携して、地域福祉に関する活動・事業を推進しているとともに、現在、令和3年度を初年度とする第四次寝屋川市地域福祉計画の策定を進めています。

計画の策定に当たっては、市民の皆様の日常生活の現状や意識、地域づくりに関する考え方などを把握する必要があると考えており、「地域福祉計画の見直しに向けたアンケート調査」を市民の皆様をお願いしております。

今後の寝屋川市の地域福祉のための大切な調査ですので、お忙しいところ大変恐縮ではございますが、御協力をお願いいたします。

令和元年 10月

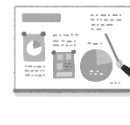
寝屋川市

寝屋川市の地域福祉の推進に向け、御意見をお聞かせください



調査票を送付

アンケート調査に回答



アンケートも含め、
様々なデータを
確認・協議

皆様からいただいた回答を寝屋川市の地域福祉にいかします！

◇調査について

- ・調査の対象者は、寝屋川市在住の18歳以上の市民3,000人を無作為に抽出させていただいております。
- ・御記入いただいた内容は、全て統計的に処理を行い、個々の回答内容を公表したり調査の目的以外に使用することはありません。

◇調査票の記入について

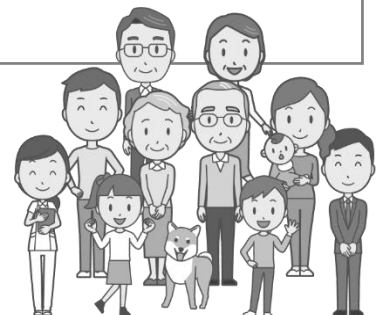
- ・調査票の記入に当たっては、お送りした封筒に記載されている宛て名の御本人がお答えください。御本人が病気、障害などのため、御家族の方などが代わりに記入される場合は、御本人の御意見に基づいて記入していただきますようお願いいたします。
- ・設問に選択肢のあるものは、あなたのお考えに近い答えの番号に○を付けてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、()内に具体的に御記入ください。
- ・設問ごとに「○は1つ」や「○はいくつでも可」等回答方法を設定させていただいておりますので、その設問に沿った御回答をお願いします。
- ・お答えいただきにくい設問がある場合は、お答えいただける設問だけにお答えください。

◇調査票の回収について

御記入いただきました調査票は、**無記名のまま**同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに**10月31日（木）**までにポストへ入れてください。

このアンケート調査に関する御質問などは、下記までお問い合わせください。

寝屋川市 福祉部 福祉総務課 TEL 072-838-0171(直通)
FAX 072-838-9800



問1 あなたの年齢、性別をお答えください。

【年齢】()歳
【性別】 1 男 2 女 3 その他

問2 あなたのお住まいの小校区はどこですか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| 1 池田小校区 | 2 石津小校区 | 3 宇谷小校区 |
| 4 梅が丘小校区 | 5 神田小校区 | 6 北小校区 |
| 7 木田小校区 | 8 楠根小校区 | 9 国松緑丘小校区 |
| 10 啓明小校区 | 11 木屋小校区 | 12 桜小校区 |
| 13 点野小校区 | 14 成美小校区 | 15 田井小校区 |
| 16 第五小校区 | 17 中央小校区 | 18 西小校区 |
| 19 東小校区 | 20 堀溝小校区 | 21 三井小校区 |
| 22 南小校区 | 23 明和小校区 | 24 和光小校区 |

問3 現在同居されている世帯の構成は。(○は1つ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 ひとり暮らし | 2 夫婦のみ |
| 3 親と子ども(二世帯世帯) | 4 親と子どもと孫(三世帯世帯) |
| 5 その他() | |

問4 あなた御自身を含め、御家族に高校生年代以下の子どもがいますか。
(○はいくつでも可)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1 就学前の子どもがいる | 2 小学生の子どもがいる |
| 3 中学生の子どもがいる | 4 高校生年代の子どもがいる |
| 5 高校生年代以下の子どもはいない | |

問5 あなた御自身を含め、御家族に介護が必要な高齢者や障害のある人がいますか。
(○はいくつでも可)

- | |
|--|
| 1 介護が必要な高齢者や障害のある人はいない |
| 2 介護が必要な高齢者がいる
→どなたですか。(次のいずれかに○を付けてください)
(1 あなた御自身 2 同居の家族 3 別居の家族) |
| 3 障害のある人や障害のある子どもがいる
→どなたですか。(次のいずれかに○を付けてください)
(1 あなた御自身 2 同居の家族 3 別居の家族) |
| 4 その他() |

問6 あなたは就業または就学されていますか。(○は1つ)

1 会社員・公務員(正規雇用)	2 派遣社員・契約社員・嘱託社員
3 パート・アルバイト・内職	4 会社・団体等の役員
5 自営業・自由業	6 農業
7 専業主婦・主夫	8 学生
9 無職	10 その他()

問7 あなたの現在の健康状態は。(○は1つ)

1 健康
2 概ね健康
3 持病、痛みなどがあるが、日常生活に支障はない
4 病気、痛みなどで生活に支障がある
5 ねたきり(または、ほとんどねたきり)
6 その他()

問8 あなたが市の福祉に関する情報を得る手段はどれですか。(○はいくつでも可)

1 市の広報誌	2 社会福祉協議会その他福祉団体の広報誌
3 公共施設の掲示やパンフレット	4 自治会の回覧板
5 新聞、テレビなど	6 インターネット
7 携帯アプリ	8 SNS
9 口コミ(知人から等)	10 寝屋川市・大阪府等の公的な相談窓口
11 その他()	

問9 あなたや同居の御家族は、近所の人とどの程度の交流がありますか。
(○はいくつでも可)

	あなた御自身	同居の御家族
困ったときには相談したり助けあう人がいる	1	1
家を行き来するような親しい人がいる	2	2
道などで会えば親しく話をする人がいる	3	3
あいさつをする程度	4	4
ほとんど(全く)つきあいはない	5	5
同居している家族がいない		6

問 10 通勤や通学は除いて、あなたが日常の買物、活動などで行動する範囲は、次のどれに近いですか。(○は1つ)

- 1 自治会・町内会の範囲
- 2 小学校区の範囲
- 3 中学校区の範囲
- 4 コミュニティセンターエリア(2つの中学校区)の範囲
- 5 寝屋川市の半分ぐらいの範囲
- 6 寝屋川市の全域
- 7 寝屋川市を超えた範囲
- 8 その他 ()

問 11 あなたが外出する頻度はどのくらいですか。(○は1つ)

- 1 週4回以上
- 2 週2～3回
- 3 週1回
- 4 月に数回
- 5 年に数回
- 6 していない

問 12 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

- 1 週4回以上
- 2 週2～3回
- 3 週1回
- 4 月に数回
- 5 年に数回
- 6 会っていない

問 15 あなたは福祉、介護、子育てなどに関して困ったときに、だれ（どこ）に相談しようと思いますか。（○はいくつでも可）

- | | |
|---------------------------------|---------------|
| 1 家族や親族 | 2 近所の人 |
| 3 友人や知人・職場の同僚 | 4 民生委員や福祉委員 |
| 5 寝屋川市の公的な相談窓口 | 6 大阪府の公的な相談窓口 |
| 7 地域包括支援センター（高齢者の総合相談窓口） | |
| 8 地域子育て支援拠点（地域子育て支援センター・つどいの広場） | |
| 9 子育て世代包括支援センター | |
| 10 障害者・障害児の相談支援事業所 | |
| 11 福祉の施設やサービス提供事業所 | |
| 12 医療機関（病院・診療所など）や薬局 | |
| 13 学校・幼稚園・保育所（園）・認定こども園 | |
| 14 まちかど福祉相談所（住民が中心の地域の相談窓口） | |
| 15 社会福祉協議会 | |
| 16 その他（ | ） |
| 17 どこに相談すればよいか、わからない | |
| 18 相談できる人（ところ）はない | |
| 19 だれか（どこか）に相談したいとは思わない | |

問 16 これまでに福祉、介護、子育てなどで困ったときに、あなたが実際に相談したことがある人（ところ）がありますか。（○はいくつでも可）

- | | |
|---------------------------------|---------------|
| 1 家族や親族 | 2 近所の人 |
| 3 友人や知人・職場の同僚 | 4 民生委員や福祉委員 |
| 5 寝屋川市の公的な相談窓口 | 6 大阪府の公的な相談窓口 |
| 7 地域包括支援センター（高齢者の総合相談窓口） | |
| 8 地域子育て支援拠点（地域子育て支援センター・つどいの広場） | |
| 9 子育て世代包括支援センター | |
| 10 障害者・障害児の相談支援事業所 | |
| 11 福祉の施設やサービス提供事業所 | |
| 12 医療機関（病院・診療所など）や薬局 | |
| 13 学校・幼稚園・保育所（園）・認定こども園 | |
| 14 まちかど福祉相談所（住民が中心の地域の相談窓口） | |
| 15 社会福祉協議会 | |
| 16 その他（ | ） |
| 17 どこに相談すればよいか、わからなかった | |
| 18 相談できる人（ところ）はなかった | |
| 19 だれ（どこ）にも相談していない | |
| 20 相談するような困ったことはなかった | |

問 17 あなたは、日常生活の中で、どのようなときに生きがいや充実感を感じますか。(○はいくつでも可)

1 家族や親族と過ごしているとき	2 友人や知人と交流しているとき
3 趣味や好きなことをしているとき	4 地域の活動に参加しているとき
5 学習やスポーツをしているとき	6 仕事や家事をしているとき
7 その他 ()	8 特に楽しいと感じることはない

問 18 隣近所で困っている方がおられた場合、「1手助けできる（現在既に手助けしている）こと」、「2今後手助けできると思うこと」はありますか。また、あなたが「4現在、または、将来的に手助けをしてほしいと思うこと」はありますか。それぞれに○を付けてください。

	1 手助けできる（現在、既に手助けしている）	2 今後手助けできる	3 手助けできない	4 現在、または、将来的に手助けをしてほしいと思うこと
①安否確認の声かけ	1	2	3	4
②話し相手	1	2	3	4
③悩み事、心配事の相談	1	2	3	4
④ちょっとした買い物	1	2	3	4
⑤ちょっとした家事（電球交換など）	1	2	3	4
⑥ごみ出し	1	2	3	4
⑦食事づくりや洗濯	1	2	3	4
⑧短時間の子どもの預かり	1	2	3	4
⑨子育ての相談	1	2	3	4
⑩保育園、幼稚園の送迎	1	2	3	4
⑪通院の付き添い・送迎	1	2	3	4
⑫病気の時の看病	1	2	3	4
⑬高齢者や障害のある人の介護、介助	1	2	3	4
⑭災害時における避難	1	2	3	4

問 19 へ

＜問 18 で「2 今後、手助けできる」、「3 手助けできない」を選択された方におたずねします。＞

問 19 現在、手助けできない、または、手助けできない理由は何ですか。
(○はいくつでも可)

- | | |
|---|------------------------|
| 1 | 仕事や家事、学校などの都合で忙しく時間がない |
| 2 | 手助けしたいが、手助けする方法がわからない |
| 3 | 手助けしたいが、きっかけがつかめない |
| 4 | 自分の興味や自由な時間を優先したい |
| 5 | 体力的に手助けするのが難しい |
| 6 | その他 () |

問 20 あなたの防災に対する日頃からの取組や、災害など緊急時の対応について、お聞かせください。

	はい	いいえ
①災害時の避難場所について知っていますか	1	2
②災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要ですか	1	2
③隣近所で、自力で避難が困難だと思われる人（ひとり暮らし高齢者や障害のある人など）を知っていますか	1	2
④自力で避難が困難だと思われる方の避難支援者になってもよいですか	1	2
⑤日頃から地域の防災訓練に参加していますか	1	2
⑥地域に自主防災組織があることを知っていますか	1	2

問 21 大地震などの災害が起こった時に、あなたは家族以外の災害時に支援が必要な方のためにどのような助け合いや協力ができますか。(○はいくつでも可)

- | | |
|----|-----------------|
| 1 | 安否確認 |
| 2 | 災害状況や避難情報の伝達 |
| 3 | 安全な場所への避難の手助け |
| 4 | 家族や親族への連絡 |
| 5 | 一時的な保護 |
| 6 | 生活必需品の確保 |
| 7 | 介護や手当てが必要な人への対応 |
| 8 | 精神的なケア |
| 9 | 協力できない、または、難しい |
| 10 | わからない |
| 11 | その他 () |

問 22 あなたは、身近な地域における住民同士の助け合い、支え合いを推進していくためには、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(〇はいくつでも可)

- | |
|--|
| 1 地域での活動拠点や交流の場の整備
2 地域の助け合い活動の意義と重要性のPR
3 住民同士の助け合い・支え合い活動の場の整備
4 住民同士の助け合い・支え合い活動の調整を行う人材の育成
5 地域における相談支援体制の充実
6 ボランティア団体やNPO等への支援
7 地域での防災活動の推進
8 成年後見制度等の権利擁護の推進
9 生活困窮世帯の支援
10 その他 () |
|--|

問 23 あなたは、福祉に関する次のような活動に参加していますか。また、今後参加したいと思いますか。(〇はいくつでも可)

	1 運営 スタッフ として 参加 して いる	2 参加 者 と して 参加 して いる	3 今後、 運営 スタッフ として 参 加 して み たい	4 今後、 参加 者 と して 参加 して み たい	5 参加 した いと は 思 わ な い
①自治会、地域協働協議会、校区福祉委員会（サロン）などの身近な地域での福祉活動	1	2	3	4	5
②ボランティア、NPOなどの団体での福祉活動	1	2	3	4	5
③同じ福祉ニーズや課題をもつ人どうしの当事者活動	1	2	3	4	5
④その他 ()	1	2	3	4	5
⑤特にない	1	2	3	4	5

問 24 へ

問 25 へ

問 27 あなたは、地域にある社会福祉施設（老人福祉施設、保育所等）は地域とどのように関わっていけばいいと思いますか。（〇はいくつでも可）

- 1 地域の行事等への参加・協力
- 2 施設の利用者と地域住民との日常的な交流
- 3 専門分野に関する研修会の開催や地域の勉強会への講師派遣
- 4 ボランティアを希望する住民等の受け入れ
- 5 地域住民の交流会等のコーディネートや開催場所の提供
- 6 災害時の避難受入等の支援
- 7 相談体制の充実
- 8 その他（)

問 28 生活困窮者自立支援法について、どの程度知っていますか。（〇は1つ）

- 1 聞いたことがあり、内容も知っている
- 2 聞いたことはあるが内容はよくわからない
- 3 知らない

問 29 あなたは生活困窮の問題や支援制度についてどう思われますか。（〇は1つ）

- 1 自分や自分の身近な人が問題に直面しており、必要な制度だと思う
- 2 自分の身近に問題に直面している人はいないが、必要な制度だと思う
- 3 必要のない制度だと思う
- 4 生活困窮の問題や制度に関心がない
- 5 その他（)

問 30 経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することが困難になったとして、必要と思われる支援内容は、次のどれですか。（〇はいくつでも可）

- 1 就労その他の自立に関する相談支援を行う事業
- 2 離職により住居を失った人、または、失うおそれのある人に対し家賃相当分を支給する事業
- 3 就労に向けての訓練など段階に応じたあっせん、サポートをする事業
- 4 住居のない人に対し、一定期間宿泊場所や衣食の提供を行う事業
- 5 家計を管理し、生活費を計画的に支出できるようにサポートする事業
- 6 経済的理由により学習の機会が少ない子どもに対し、学習支援の場を提供するなどの事業
- 7 わからない
- 8 その他（)

問 31 「成年後見制度」を御存知ですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1 よく知っている | 2 少し知っている |
| 3 よく知らないが聞いたことがある | 4 全く知らない |

<問 31 で「1 よく知っている」「2 少し知っている」と答えた方におたずねします。>

問 32 どこで「成年後見制度」を知りましたか。(○はいくつでも可)

- | |
|--------------------------------|
| 1 新聞記事、雑誌、テレビのニュースで知った |
| 2 市役所や社会福祉関係の窓口で知った |
| 3 パンフレットやホームページ等で知った |
| 4 説明会等で知った |
| 5 友人、知人、親戚等から聞いた |
| 6 実際に身近に「成年後見制度」を利用している人を知っている |
| 7 その他 () |

<問 32 で「6 「成年後見制度」を利用している人を知っている」と答えた方におたずねします。>

問 33 実際に利用しているのはあなたから見てどなたですか。(○は1つ)

- | | | |
|------|---------|-----------|
| 1 親 | 2 子ども | 3 兄弟姉妹 |
| 4 親戚 | 5 友人、知人 | 6 その他 () |

問 34 高齢者や障害のある人にとって、日常生活の中で将来的に不安を感じると思われるものはどのようなことですか。(○はいくつでも可)

- | | |
|--------------|------------|
| 1 日常的な金銭管理 | 2 各種行政手続 |
| 3 福祉サービス利用手続 | 4 医療に関する手続 |
| 5 その他 () | 6 特にない |

問 35 あなた自身が認知症などで判断が十分にできなくなったとき、「成年後見制度」を利用したいと思いませんか。(○は1つ)

- | | | |
|------|-------|---------|
| 1 はい | 2 いいえ | 3 わからない |
|------|-------|---------|

問 36 へ

問 37 へ

<問 35 で「1 はい」と答えた方におたずねします>

問 36 後見人は誰になってもらいたいですか。(○はいくつでも可)

- | |
|-------------------------|
| 1 親、子、兄弟姉妹、配偶者、その他親族 |
| 2 専門職(弁護士、司法書士、社会福祉士など) |
| 3 法人後見 |
| 4 市民後見人 |
| 5 その他 () |

<問 35 で「2 いいえ」と答えた方におたずねします>

問 37 「成年後見制度」を利用したくない理由は何ですか。(○はいくつでも可)

- 1 後見人でなくても家族がいるから
- 2 費用がどのくらいかかるか心配だから
- 3 家庭裁判所に申し立てることに抵抗があるから
- 4 手続きが大変そうだから
- 5 後見人になって欲しい人が見当たらないから
- 6 他人(家族含む)に財産などを任せることに不安があるから
- 7 家族・親族との信頼関係が崩れるおそれがあるから
- 8 どういうときに利用してよいかわからないから
- 9 その他()

問 38 あなたは、「市民後見人」について知っていますか。また、興味はありますか。
(○は1つ)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 知っており、興味もある | 2 知ってはいるが、興味はない |
| 3 知らないが、興味はある | 4 知らない |

問 39 社会福祉協議会が行っている事業や活動について、あなたが御存知のものをお聞かせください。(○はいくつでも可)

- 1 校区福祉委員会活動(ふれあいサロン、子育てサロン、見守り活動など)
- 2 まちかど福祉相談所(コミュニティソーシャルワーカー)
- 3 緊急時安否確認(かぎ預かり)事業
- 4 ボランティアセンター(ボランティアの依頼・相談、災害ボランティアなど)
- 5 福祉教育(小・中学校での車イス体験、高齢者擬似体験など)
- 6 当事者組織・団体の支援(介護者の会、ひとり暮らし高齢者の会、地域貢献委員会など)
- 7 献血
- 8 高齢者や障害者の送迎サービス(移送サービス、外出援助サービス)
- 9 車イスの貸出し
- 10 元気アップ介護予防ポイント事業
- 11 募金・社協会費(赤い羽根共同募金、歳末たすけあい運動募金、社協会員募集)
- 12 広報(社協だより「虹」、ホームページ、SNS)
- 13 生活困窮者自立支援事業(困窮者やひきこもり、就労等の相談支援)
- 14 生活福祉資金の貸付(生活費や就学費など)
- 15 日常生活自立支援事業(認知症や障害者の金銭管理等の支援)
- 16 善意銀行(金品の寄附の受付、払出し)
- 17 その他()

	現在の状況				以前と比べた状況			
	1 満足	2 どちらかといえば満足	3 どちらともいえない	4 不満	1 よくなった	2 変わらない	3 悪くなった	4 わからない
③ 子育てしやすい環境	1	2	3	4	1	2	3	4
④ 相談窓口とネットワークの充実	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤ 保健や福祉に関する情報の得やすさ	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥ 健康づくりの推進や介護予防	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦ 地域活動への参加のしやすさ	1	2	3	4	1	2	3	4
⑧ 地域の活動拠点の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
⑨ 子ども、障害者、高齢者の権利を守る環境	1	2	3	4	1	2	3	4
⑩ 地域の人、団体等とのつながり	1	2	3	4	1	2	3	4
⑪ 住まいや地域の生活環境	1	2	3	4	1	2	3	4
⑫ 災害などに対する安全な環境	1	2	3	4	1	2	3	4
⑬ 犯罪などに対する安全な環境	1	2	3	4	1	2	3	4

問 43 あなたはこれからも寝屋川市に住み続けたいですか。(○は1つ)

1 住み続けたい 2 住み続けたくない 3 その他 () 4 わからない
--

問 44 日常生活で困っていることや、寝屋川市の福祉についての御意見等がありましたら、御自由にお書きください。

--

御協力ありがとうございました。

地域福祉計画の見直しに向けたアンケート調査のお願い

～第四次寝屋川市地域福祉計画の策定に向けた調査～

皆様には、日頃から市政の推進に御理解、御協力を頂き、誠にありがとうございます。

寝屋川市では、「みんながつながる地域福祉プラン（第三次寝屋川市地域福祉計画）」（計画期間 平成28年度から令和2年度まで）の下、市民や関係者の皆様と連携して、地域福祉に関する活動・事業を推進しているとともに、現在、令和3年度を初年度とする第四次寝屋川市地域福祉計画の策定を進めています。

計画の策定に当たり、地域福祉に関わる活動や事業を行っている団体等に、活動の状況、活動する上での課題などの御意見をお聞きするため、本調査票を送付させていただきました。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、調査の趣旨を御理解の上、御協力をお願いいたします。

令和元年10月

寝屋川市

◇調査について

- ・調査の対象者は、寝屋川市内で地域福祉に関わる活動や事業を行っている団体等600～700団体等をお願いしています。
- ・御記入いただいた内容は、全て統計的に処理を行い、個々の回答内容を公表したり、調査の目的以外に使用することはありません。

◇調査票の記入について

- ・設問に選択肢のあるものは、貴団体等の考えに近い答えの番号に○を付けてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、()内に具体的に御記入ください。
- ・設問ごとに「○は1つ」や「○はいくつでも可」等回答方法を設定させていただいておりますので、その設問に沿った御回答をお願いします。
- ・自由記載の設問については、貴団体等のお考え等を御自由にお書きください。
- ・アンケート調査票をデータで御希望される場合は、お手数ですが下記の連絡先にお問い合わせください。（入力後のアンケート調査票を御印刷の上、「調査票の回収について」のとおり御回答願います。）
- ・御回答いただいた内容についてお尋ねしたり、今後、計画推進への御協力をお願いするため記名式としております。

◇調査票の回収について

御記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに **10月31日(木)** までにポストに入れてください。

このアンケート調査に関する御質問などは、下記までお問い合わせください。

【連絡先】寝屋川市 福祉部 福祉総務課

TEL 072-838-0171(直通)

FAX 072-838-9800

E-mail fukushi@city.neyagawa.osaka.jp



団体について、お答えください。

団体名			
代表者名			
記入者名			
連絡先			
会員数	名	活動年数	年
主な活動区域	1 () 地区 2 市内		
	3 近隣市町含む広域 4 その他 ()		
活動開始のきっかけ、主な活動内容について			

問1 活動の中で、地域と一緒にいることや、地域に向けて行っていることはありますか。

問2 現在、連携・協力関係にある団体、機関等がありますか。(該当するものすべてに○)

- 1 自治会
- 2 地域協働協議会
- 3 校区福祉委員会
- 4 民生委員・児童委員
- 5 老人クラブ
- 6 コミュニティソーシャルワーカー
- 7 ボランティア団体
- 8 NPO法人
- 9 福祉施設・サービス事業所
- 10 医療機関
- 11 商店街
- 12 企業
- 13 保育所(園)・幼稚園・認定こども園
- 14 小・中学校
- 15 高校・大学
- 16 地域包括支援センター
- 17 地域子育て支援拠点
- 18 社会福祉協議会
- 19 公民館・コミュニティセンター
- 20 金融機関
- 21 市役所
- 22 その他()
- 23 特にない

問3 問2で1～22のいずれかに○を付けた場合、連携・協力関係にある団体、機関等とどのような活動を行っているか、具体的にお書きください。

問4 今後、連携・協力関係をとっていきたい団体、機関等がありますか。(該当するものすべてに○)

- 1 自治会
- 2 地域協働協議会
- 3 校区福祉委員会
- 4 民生委員・児童委員
- 5 老人クラブ
- 6 コミュニティソーシャルワーカー
- 7 ボランティア団体
- 8 NPO法人
- 9 福祉施設・サービス事業所
- 10 医療機関
- 11 商店街
- 12 企業
- 13 保育所(園)・幼稚園・認定こども園
- 14 小・中学校
- 15 高校・大学
- 16 地域包括支援センター
- 17 地域子育て支援拠点
- 18 社会福祉協議会
- 19 公民館・コミュニティセンター
- 20 金融機関
- 21 市役所
- 22 その他 ()
- 23 特になし

問5 問4で1～22のいずれかに○を付けた場合、連携・協力関係をとっていきたい団体、機関等とどのような活動を行っていきたいか、具体的にお書きください。

問6 貴団体では、団体の活動情報をどのように発信していますか。

(該当するものすべてに○)

- | | | |
|---|---|--|
| 1 | 市の広報誌 | |
| 2 | 社会福祉協議会の広報誌 | |
| 3 | チラシやパンフレットの配布 [配布場所： _____] | |
| 4 | ホームページ | |
| 5 | SNS (ソーシャルネットワーキングサービス：Facebook、Instagram、LINE 等) | |
| 6 | 会員等による口コミ | |
| 7 | その他 (_____) | |

問7 貴団体が活動を行う上で、困っていること・課題は何ですか。

(該当するものすべてに○)

- | | |
|----|------------------------|
| 1 | 活動のマナー化 |
| 2 | 新しいメンバーが入らない |
| 3 | リーダー(後継者)が育たない |
| 4 | 市民に情報発信する場や機会が乏しい |
| 5 | ニーズに合った活動ができていない |
| 6 | 活動に必要な情報が得にくい |
| 7 | 住民の理解や協力が得られない |
| 8 | 他の団体や活動者との連携が難しい |
| 9 | 活動に必要な場所、設備の確保が難しい |
| 10 | 活動資金が足りない |
| 11 | 個人情報観点から活動に必要な情報が得られない |
| 12 | 特になし |

問8 その他の問題点、課題があれば、具体的に御記入ください。

--

問9 貴団体が困っていること・課題について、どのように解決しようとお考えですか。

--

問 10 問 9 の解決に当たり、必要な支援はどのようなことだとお考えですか。

問 11 活動されている中で、地域における地域福祉に対する意識は高まっていると感じますか。(○は 1 つ)

- 1 高まっている
 - 2 どちらかといえば高まっている
 - 3 どちらかといえば高まっていない
 - 4 高まっていない

問 12 活動されている中で、地域の方からどのような日常の困りごと、地域の問題などをお聞きしますか。

問 13 問 12 の困りごと、問題について、貴団体が対応できるもの・対応できないものにはどんなことがあげられますか。

【対応できるもの】

【対応できないもの】

問 16 成年後見制度の申立をする上で課題はありますか。(該当するものすべてに○)

- 1 申立(親族)の協力が得られない
- 2 手続きが煩雑
- 3 本人の利用拒否
- 4 後見人への報酬支払困難
- 5 申立費用
- 6 申立が必要か否かの判断がつかない
- 7 その他()

問 17 法人後見事業を実施する予定はありますか。(1つに○)

- 1 ある
- 2 ない

<問 17で「2 ない」と答えた方に伺います。>

問 17-1 その理由は何ですか。(該当するものすべてに○)

- 1 制度がよくわからない
- 2 受任できる体制が整っていない
- 3 現状として必要性を感じない
- 4 制度自体を知らない
- 5 その他()

問 18 今後、貴団体として行政との協働でどのようなことに取り組めるとお考えですか。

問 19 地域福祉の推進(こんな地域になってほしい、地域福祉計画や福祉施策に望むことなど)についての御意見等、御自由にお書きください。

御協力ありがとうございました。